

Compliance Data Exchange

(CDX)

Version 7.6

ユーザーマニュアル

変更履歴

Revision	Date	Description
1.0	Oct-04-2011	Initial Release
2.0	June-21-2012	Changes with CDX Release 2.0 included
3.0	May-16-2013	Changes with CDX Release 3.0 included
3.7	July-31-2014	Changes with CDX Release 3.7 included
4.1	Nov-18-2014	Changes with CDX Release 4.0 and 4.1 included
4.2	May-07-2015	Changes with CDX Release 4.2 included
4.3	July-15-2015	Changes with CDX Release 4.3 included
4.4	Nov-10-2015	Changes with CDX Release 4.4 included
5.0	June-17-2016	Changes with CDX Release 5.0 included
5.1	Nov-01-2016	Changes with CDX Release 5.1 included
5.2	Feb-15-2017	Changes with CDX Release 5.2 included
5.3	June-01-2017	Changes with CDX Release 5.3 included
5.3.1	Aug-17-2017	Changes with CDX Release 5.3.1 included
5.4	Feb-19-2018	Changes with CDX Release 5.4 included
5.5	Apr-23-2018	Changes with CDX Release 5.5 included
6.0	Sep-10-2018	Changes with CDX Release 6.0 included
6.1	Mar-6-2019	Changes with CDX Release 6.1 included
6.2	Sep-23-2019	Changes with CDX Release 6.2 included
6.2.1	Mar-4-2020	Changes with CDX Release 6.2.1 included
6.2.2	June-2-2020	Changes with CDX Release 6.2.2 included
7.0	July-9-2020	Changes with CDX Release 7.0 included
7.1	Oct-1-2020	Changes with CDX Release 7.1 included
7.2	Nov-2020	Changes with CDX Release 7.2 included
7.3	Jan-20-2021	Changes with CDX Release 7.3 included
7.4	Apr-21-2021	Changes with CDX Release 7.4 included
7.5	June -21- 2021	Changes with CDX Release 7.5 included
7.6	Nov-24-2021	Changes with CDX Release 7.6 included

上記のリリース変更の詳細については、CDX ページの対応するリリースノートをご覧ください。

CONTENTS

はじめに	7
CDX - はじめに	8
基本要件	8
費用	8
企業登録	8
システムアクセス	12
ログイン	12
IDの確認/新しいパスワードの発行依頼	13
使用条件の承諾	15
仮パスワードの変更	15
お知らせの確認と同意	16
CDX のナビゲーション	17
ユーザー情報 / ログオフ	17
ビューの変更	17
メインメニューとボタン	17
情報/詳細	23
作業画面	23
検索結果画面からのショートカット	23
データシートの新規作成	24
データシートとは?	24
データシートの新規作成	24
データシートのタイプ	24
申告範囲	26
材料データシートの作成	26
コンポーネントの新規作成	41
規制ウィザードを使用して部品や材料データシートを作成	57
データシートの更新	61
ツリーの表示・検索	63
サプライヤー情報画面	63
送信先情報画面	65
送信先の追加	65
入力依頼	69
エラーチェック	70
エラーチェックの結果表示	70
データシートの社内送信/送信/全送信	72
データシート分析	75
材料分類	75
材料	75
化学物質	75
Where-Used 分析	75
分析タイプを選択する	75
分析するデータシートの選択	76
分析	76
繰り返し(必要であれば)	76
データシートのインポート/エクスポート	77
IMDS から既存データシートをインポート	77
IPC1752A, IPC1754, IEC62474 ファイルからデータシートをインポート	82
IPC1752A, IPC1754, IEC62474 ファイルへデータシートをエクスポート	86
SCIP Dossier へデータシートをエクスポート	87

SCIP マルチセレクトサポート	90
<input type="checkbox"/> 入力依頼	92
<input type="checkbox"/> 入力依頼の内容	92
<input type="checkbox"/> 入力依頼に関する用語：送信先と送信元	92
<input type="checkbox"/> データシート属性	93
<input type="checkbox"/> 管理用データ	93
<input type="checkbox"/> 入力依頼のステータス	93
<input type="checkbox"/> 入力依頼の作成	94
<input type="checkbox"/> サプライヤーの選択	96
<input type="checkbox"/> プロジェクトの作成	98
<input type="checkbox"/> 入力依頼の送信	98
<input type="checkbox"/> 入力依頼の拒否	98
<input type="checkbox"/> 入力依頼への対応	99
<input type="checkbox"/> 既存データシートの入力依頼への割り当て	99
<input type="checkbox"/> データシートの新規作成	99
<input type="checkbox"/> 入力依頼の完了	99
<input type="checkbox"/> レポート	100
<input type="checkbox"/> データシートレポート	100
<input type="checkbox"/> 材質宣言レポート	100
<input type="checkbox"/> SDoC レポート	101
<input type="checkbox"/> 紛争鉱物申告マネージャー	104
<input type="checkbox"/> ビューの変更	104
<input type="checkbox"/> 検索結果画面からのショートカット	106
<input type="checkbox"/> CMD の新規作成	107
<input type="checkbox"/> CMD とは何か？	107
<input type="checkbox"/> 新規 CMD	107
<input type="checkbox"/> 詳細	107
<input type="checkbox"/> CMD 詳細での製錬所の概要	117
<input type="checkbox"/> サプライヤーデータ画面	118
<input type="checkbox"/> 送信先情報画面	118
<input type="checkbox"/> エラーチェックプロシージャ	120
<input type="checkbox"/> CMD の全送信	122
<input type="checkbox"/> CMD 品質レポート	123
<input type="checkbox"/> CMD のインポートとエクスポート	126
<input type="checkbox"/> CMD のインポート	126
<input type="checkbox"/> サプライヤーCMD ロールアップ	129
<input type="checkbox"/> CMD のエクスポート	131
<input type="checkbox"/> CMD リクエスト	133
<input type="checkbox"/> リクエストの内容	133
<input type="checkbox"/> 管理データ	133
<input type="checkbox"/> CMD リクエストステータス	133
<input type="checkbox"/> リクエストの作成	134
<input type="checkbox"/> 受信企業の選択	134
<input type="checkbox"/> プロジェクトの作成	137
<input type="checkbox"/> リクエストの完了	137
<input type="checkbox"/> リクエストの拒否	138
<input type="checkbox"/> 入力依頼への対応	138
<input type="checkbox"/> リクエスト用の既存 CMD の割り当て	138
<input type="checkbox"/> CMD の作成	138
<input type="checkbox"/> リクエストの完成	139

不足分レポート	140
不足分レポートの作成と編集	141
レポート検索	146
レポートの設定	146
送信済み一覧	147
検索条件	147
CMD とデータシートリクエストの一括送信	150
受信済み一覧	153
承認/拒否	153
データシート/CMD の承認	153
データシートの拒否	154
受信したデータベースの SCIP Dossier のエクスポート	154
受信したリクエストへの既存データベースの割り当て	155
複数のデータシートの拒否	155
検索のヒント	157
ワイルドカードでの検索	157
検索結果の設定	157
データシート検索オプション	157
コンポーネントの検索項目	157
セミコンポーネントの検索項目	158
材料の検索項目	159
データシート検索	160
SDoC 検索	160
化学物質の検索項目	160
化学物質リクエスト： 化学物質の追加リクエスト	161
化学物質の変更の検索	162
化学物質グループ / 規制の変更	162
規制化学物質の概要	163
CMD 検索オプション	163
CMD 検索	163
CMD テンプレート検索	164
CMD 製鍊所検索	165
企業検索	166
システム管理メニュー	168
個人設定	168
パスワードの変更	170
ビューの変更	170
通知	170
企業	170
製鍊所の管理	173
組織の追加	176
組織の削除	176
ユーザー	176
ユーザー承認プロファイル	176
ユーザーの作成	177
ユーザーID を組織に割り振る	179
ユーザーの無効化	179
パスワードリセット	179
ユーザー アカウントの管理	179
トラストユーザー	180
データシート管理	180
CMD 管理	181
CDX ライセンス	181
企業固有化学物質リスト	184

企業固有の規制	185
CMD 品質プロファイルマネージャー	189
プロファイルの作成	189
不足分レポートマネージャー	192
組織レポート	192
統計	193
CDX の使用ヘルパー	194
MDS Queue and Collection Manager (QCM)	194
SCIP Submission	194
IMDS Import	196
クリップボード	198
ツリー検索	198
化学物質グループ	199
ツリーフィルター	199
検索結果の設定	200
検索結果のエクスポート	200
企業固有エンハンスメント	201
サプライヤー部品番号送信先	201
ボッシュグループ - 固有拡張機能	201
ボッシュサプライヤー登録	201
顧客により提供されたデータシート	201
同一階層申告	201
部品 / アイテムナンバー	201
規制	202
規制物質概要	202
CDX セキュリティ	204
物理セキュリティ	204
オペレーティングシステムセキュリティ	204
データベースセキュリティ	204
ネットワークセキュリティ	204
ファイアウォールセキュリティ	204
データ転送	204
ウェブアプリケーションサーバー	204
アプリケーションセキュリティ	204
CDX - アドオンサービス	206
プロジェクトサポート	206
CDX ウェブサービス	206
アップロード	206
ダウンロード	206
CDX - 基本情報	207
CDX の使用条件	207
CDX に対応するブラウザバージョン	207
言語	207
60 分インアクティビティ自動ログアウト	207
アイテムの選択	207
色が薄くなったアイコン/記号	207
化学物質	207
ネットワークパフォーマンス指標	208
CDX 内のチェックルール一覧	210
用語説明	211
有効な情報	214

はじめに

環境保護の取り組みは、我々の世界でその役割を増してきています。あらゆる業界で、企業が精査しなければならない化学物質がますます増え、さらに自社製品に含まれる有害な化学物質を削減することを求められています。加えて、企業は無駄を省き、必要なリソースの削減（無駄なリソースを再生させて、製品に還元すること）も必要です。また経済のグローバル化も進み、顧客目線で考えると、企業は国内の規制や法律だけに注意しているだけでは済まなくなっています。このため、国際的な法律や規則に準拠し、これらの要求を設計や製造プロセスに組み込まなければならなくなりました。

そこで DXC Technology (DXC) は、リサイクルや環境情報マネージメントのパイオニアとして、[Compliance Data Exchange \(CDX\)](#) というソリューションを提供し、お客様の自社製品の材料情報を、サプライチェーンを通して収集、管理、分析、蓄積できるようにしました。CDX システムを使用すると、自社製品に含まれる、または製造過程で使用される全ての化学物質の情報を、いつでもどこにいても必要な顧客に提供したり、環境コンプライアンスの規定に沿って自社の情報を分析したりすることができます。CDX システムでは、Hong Kong Convention (HKC) 、REACH、SVHC、WEEE、紛争鉱物といった法規制の要求に従うために、サプライチェーン上の全ての企業が、CDX を使用してデータを収集することができます。

CDX 紛争鉱物申告 (CMD) マネージャーを使用することで、ドッド＝フランク・ウォール街改革・消費者保護法の要求事項に対応することができます。とりわけ CMD マネージャーは、ユーザー企業のサプライチェーン上で情報をコントロールすることで、申告のプロセスや取引先から受け取った情報のとりまとめに有効となります。これは、CDX 上で取引先が作成した CMD を管理し、CDX にさらに登録することなく CMD を取引先と交換することも可能になります。

CDX - はじめに

基本要件

CDX にアクセスするためには、ユーザーはインターネット接続とサポート対象のブラウザを用意する必要があります。技術的制約により、ユーザーは、例えば Microsoft Internet Explorer Version 10.0 、 Firefox 及び Google Chrome の最新バージョンのように、DXC がサポートするバージョンのブラウザを使用してください。 (CDX Information Pages, www.cdxsystem.com > How to start > System Information から確認できます。)

サポート対象以外のブラウザやバージョンでも、CDX をご利用いただけるものが存在します。しかしほルプデスクでは、サポート対象のブラウザを使用した場合の問題以外は対応いたしかねますのでご了承ください。いかなる場合も、ブラウザのインターネットオプションで Java Scripting を有効にしてください。ブラウザの設定が正しく行われていないと、CDX アプリケーションが正しく動作しません。CDX では Web アプリケーション、ブラウザナビゲーションといった多くの異なる処理が同時に行われているため、キーボードや画面の「戻る」ボタンを使った場合、CDX のシステムコントロールが阻害され、期待する動作ができなくなります。このため、必ず CDX のボタンや、CDX の画面がナビゲートする機能を使用してください。

費用

ユーザー自身で企業を登録し、CDX を使ってデータシート (MDS) や紛争鉱物申告書 (CMD) を作成、顧客に送信することは、無料で実施できます。しかし、CDX の利点を最大限に生かすためには、サプライヤーからデータシートを受け取るという事が必要になってきます。サプライヤーから受け取ったデータを自社の部品構成に組み込むためには、その受信データシート分の費用をお支払い頂く必要があります。費用体系については、CDX Information Pages > How To Start > Order MDS License / Order CMD License のページをご参照ください。

料金の中には、CDX の運用、メンテナンス、Web サービス、ヘルプデスクによる 1 次レベルのサポートが含まれています。CDX の Web サービスをご利用頂くには少なくとも一番小さいレベルのご注文を頂く必要があります。さらに、標準インターフェースを使った場合も、この費用体系のデータシート数にカウントされます。ただし、CDX とお客様の社内システムとの連携に関するあらゆるサポート (例: コンサルティング) は含まれませんので、必要な場合は別途費用がかかります。

CMD マネージャーを使用することや、CMD ワークフローや Excel アップロード経由で取引先から得た CMD を取り込むことは、おののの CDX 企業 (CDX Information Pages > How To Start > Order CMD License を参照) の暦年の利用料金がベースとなります。

企業登録

注意: 各企業または各拠点は、CDX に 1 企業として登録することができます。これは自社、関連企業と顧客やサプライヤーとの間の区別をはっきりとさせるために行われます。オンラインで企業登録を行う前に、既に自社企業が登録されているかどうかを、[CDX Service Desk](#) に問い合わせていただくことをお勧めします。一度企業が登録されると、カンパニーアドミニストレーター (自社企業の管理者権限を持つユーザー) は他のユーザーと他のカンパニーアドミニストレーターを作成することができます。社内の担当者が頻繁に交代したり退職したりすることを考えると、最低でも 2 名以上のカンパニーアドミニストレーターを CDX の企業に登録することを強くお勧めします。

企業登録はホームページ (CDX Information Pages → CDX Login → 登録 → 企業を登録する) から行えます。

顧客から CDX に登録するための招待メールを受け取った場合、顧客はすでに企業を事前登録しています。企業を再度登録する必要はありません。受信したメールをよく読み、付属のリンクを使用して事前登録を有効にしてください。

企業登録

企業情報

次のフィールドにあなたの会社情報を入力してください。赤い印が付いているフィールドは入力必須です。

企業名

住所

郵便番号

市町村名

州

メールボックス

DUNSナンバー

国名 *

あなたの企業は紛争鉱物の 製錬所ですか。

カンパニーアドミニストレーター

ここにカンパニーアドミニストレーター情報を入力します。このユーザーは、あなたの企業の管理者を担当します。組織の作成やユーザーの管理を行います。

カンパニーアドミニストレーターのEメールアドレスが正しいことを確認してください。登録した企業情報が送信されます

CDXはグローバルなシステムのため、電話番号には国番号を含めてください。

ビデオチュートリアル (英語)

- Register Your Company in CDX
- Accept Received MDS
- Create Material with Substances
- Send / Propose MDS
- Create Manager - Getting Started
- GMD Selection
- Import a GMD
- Submit a GMD

ヘルプ

- CDXユーザー マニュアル
- 使用条件
- プライバシーに関する声明
- コメント
- CDXトレーニング

ビデオチュートリアル (英語)

- Register Your Company in CDX
- Accept Received MDS
- Create Material with Substances
- Send / Propose MDS
- Create Manager - Getting Started
- GMD Selection
- Import a GMD
- Submit a GMD

あなたはどのようにしてCDXを知りましたか？

よろしければ、あなたがCDXを知った経緯もしくは弊社システムを紹介した方を教えてください

あなたはどのようにしてCDX コンサルティング/トレーニング/パートナー を知りましたか？ 読書 インターネット

ユーザーは企業情報と 1 名のカンパニーアドミニストレーターの情報を入力します。

赤いアスタリスク * がついているフィールドは全て入力必須です。このフォームを送信すると、システムは同一名称の他の企業が既に登録されていないかどうかをチェックします。この処理は単純に文字を照合しているだけですので、実際に対象の企業が登録されているかどうかを確認できるものではありません。企業としてコンプライアンス業務を 1 点に集中させたい場合、DXC で管理している「拒否リスト」に特定の文字を登録すると、その文字列を含む企業名は、オンラインで登録できないように設定することができます。

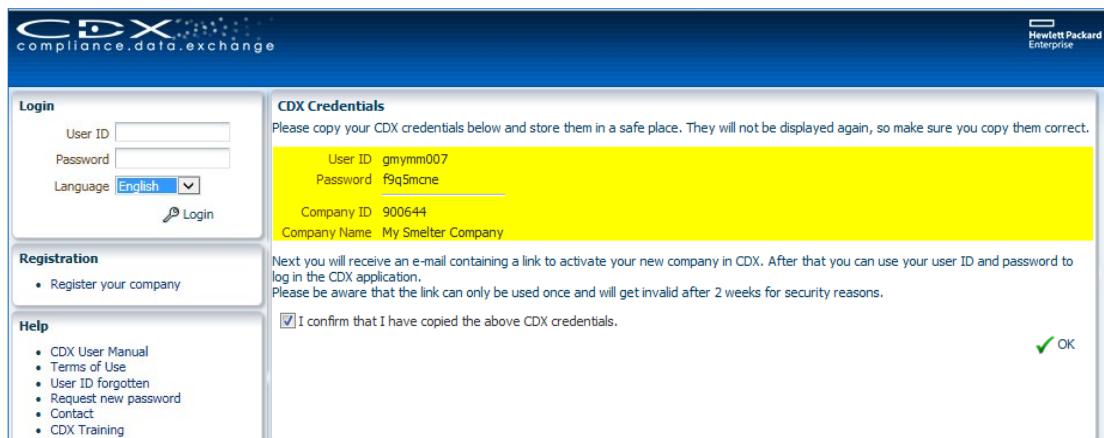
CDX には、紛争鉱物の機能が含まれているため、紛争鉱物の製錬所が特別な企業として登録できます。自社企業を製錬所として CDX に登録したい場合は、企業登録の際に “あなたの企業は紛争鉱物の製錬所ですか？” というチェックボックスにチェックを入れると、追加で “ 製錬所施設 ” というタブが表示されます。お客様の企業を製錬所として CDX 上で有効にするための次の手順が案内されます。製錬所施設の管理についての詳細は、このマニュアルの [システム管理メニュー > 企業 > 製錬所の管理](#) をご参照ください。一般の企業の登録のため、最初はこのチェックボックスにはチェックは入っておらず、“ 製錬所施設 ” タブも表示されていません。

注意: 一般企業との区別をつけるため、“ 製錬所施設 ” タブは施設の情報とその施設で製造されている全ての鉱物の情報を入力する製錬所だけに有効です。1 つの製錬所には、複数の施設がある場合があり、各施設では複数の鉱物を製造していることもあります。“ 企業情報 ” タブにその製錬所の本社の情報を入力し、“ カンパニーアドミニストレーター ” タブはその製錬所の本社の企業管理者の情報を入力します。

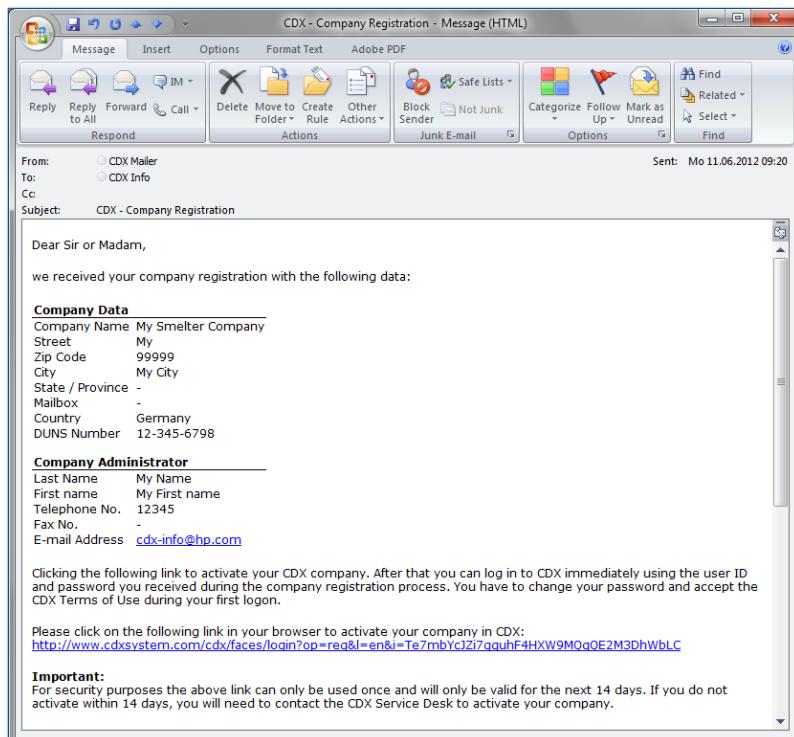
更に、企業登録するユーザーが 1 人のカンパニーアドミニストレーターとなり、E メールでカンパニーアドミニストレーターのユーザー ID 情報へのリンクを受け取れるようにすることを、強く推奨します。もしカンパニーアドミニストレーターと実際に登録した人物が別だとすると、システムからの E メールを無視したり消したりしてしまう可能性があります。

注意: E メールアドレスの欄に入力したアドレスには、システムからの確認メールが配信されるため、必ずそのユーザー ID に関する正しいアドレスを入力してください。ユーザー ID は企業単位ではなく必ず個人単位に割り当ててください。許可されたユーザーの氏名、E メールアドレスだけが ID に関連付けられます。各担当者が自分のユーザー ID で CDX の業務を行なうようにしてください。

入力が完了したら、「次へ」をクリックします。すると CDX への登録についての確認画面が表示されます。この画面で承認すると、ユーザー ID 、パスワード 、企業 ID 、企業名といった CDX の登録情報が表示されます。これらの登録情報をコピーして、安全な場所に保存してください。この画面は一度閉じてしまうと二度と表示されませんので、必ず正しくコピーされたことを確認してください。



CDX 登録情報を確認すると、ユーザーに対して新しい企業を CDX 上で有効にするためのリンクが E メールで送られます。この URL を使って企業を有効化しなければ、ユーザーは CDX にログインすることができません。その後には、ユーザー ID とパスワードを使って CDX アプリケーションにログインすることができます。以下の画面は、カンパニードミニストレーターが企業登録した際に送られる E メールのサンプルです。この E メールは CDX システムから配信されるため、システムからのメールを正しく受信できるように、自社の IT 部門に設定を依頼してください。まれにファイアーウォールレベルでブロックされるケースや、迷惑メールやスパムメールのフォルダに振り分けられてメールがユーザーに届かないケースがあります。このメールはコンピューターから配信されるため、メール上のリンクをクリックするようなリクエストに応じることはできませんし、E メールを通すために文字を入力することもできません。



注意: 一部の E メールのアプリケーションが、URL の途中にキャリッジリターン（改行）を挿入してしまう場合があります。もし URL が開かない場合は、URL より以下のライン上におそらく何か文字が入っている可能性があります。Windows のメモ帳のようなアプリケーションに、対象の行を編集しないようそのままコピーし、行と行の間の改行文字を削除してから、URL をクリックしてください。

URL にアクセスすると、CDX への登録を承認するかキャンセルするかの選択肢が表示されます。キャンセルをクリックすると再びこの URL に戻って承認をすることはできません。

注意: この URL はメールで送られてから 14 日間有効です。もしこの 14 日間の間に URL を開かなかった場合は、それ以降アクセスできません。

以下の図は、ある企業を有効化するページです。

CDX compliance.data.exchange

Company Activation

Thank you for your CDX company registration with the following data:

Company ID 900635
Company Name My Company 12
Street My Street
Zip or Postal Code 99999
City My City
State / Province
Country Germany

Pressing the Activate button to activate your CDX company. After that you can log in to CDX immediately using the user ID and password you received during the company registration process. You have to change your password and accept the CDX Terms of Use during your first logon. If you have not registered this company or if you do not want to activate this company in CDX please press the Cancel button to discard the company registration.

Activate Cancel

「有効化」をクリックすると、CDX 登録が完了します。更にこの企業登録の過程で受け取ったユーザーIDとパスワードを使ってCDXにログインすることができます。

CDX - Compliance Data Exchange

Information

Your CDX Company Registration is completed. You can log in CDX by using the userid and password you received during the registration.

OK

カンパニーアドミニストレーターの権限と役割は以下の通りです:

- 自社（だけに限る）のユーザーの作成
- 自社のユーザープロファイルの変更
- 自社のユーザーのパスワードリセット
- コンタクトパーソンの割り当て
- 担当から外れた、または退職したユーザーの無効化
- CDX 企業に必要最低限のカンパニーアドミニストレーターがいることを確認（担当者の休暇や外出などを含む）
- データシート数を確認し、購入したレベルのデータシート数の上限に達しそうになった場合は追加注文を行い、購入手続きが正しく行われているかどうかを確認
- CDX 企業のデータシート統計へのアクセス

新しいユーザーを作成するときは、毎回ユーザーIDと関連づけられているEメールアドレスの画面が表示されます。そして仮のパスワードが作成され、Eメールで新しいユーザーに直接送られます。このメールにはパスワードだけが含まれており、ユーザーIDは含まれていません。このため、カンパニーアドミニストレーターは対象のユーザーにユーザーIDを伝達する必要があります。

CDX - Compliance Data Exchange

Information

A user with the User ID **ghpntn001** and the e-mail address **cdx-info@hp.com** was created and should receive an e-mail containing the password to this ID. For security reasons, the e-mail will NOT contain the User ID. Please inform the user of their new User ID. For security reasons, we recommend giving this information in person, by snail mail, telephone or voicemail and not by e-mail.

OK

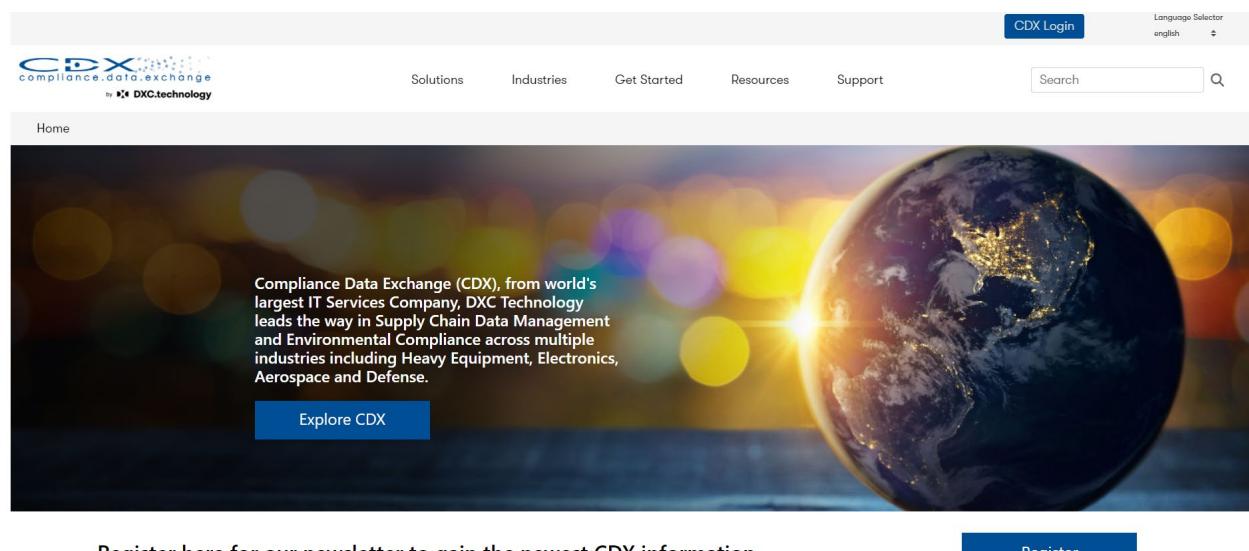
新しいユーザーは全員、最初のログイン時に CDX 使用条件を読み、承諾する必要があります。

注意: 全てのユーザーは登録されているEメールアドレスと電話番号を常に正しい状態にしておく責任があります。カンパニーアドミニストレーターも同様です。システムのセキュリティの観点から、全てのユーザーは自分のユーザーID、氏名、Eメールアドレスを使わなければなりません。パスワードリセットは、IDに紐づけられたEメールでしか行われません。

システムアクセス

CDXを利用するには、CDX インフォメーションページ: www.cdxsystem.com にアクセスします。

CDXにアクセスすると、画面上部にいくつかのメニュー（タブ）が用意されています。CDX System → Supportを開くと、よくお寄せいただくご質問への回答をまとめた、FAQ（よくあるご質問集）を確認できます。以下のキャプチャーはCDXホームページの画面です。



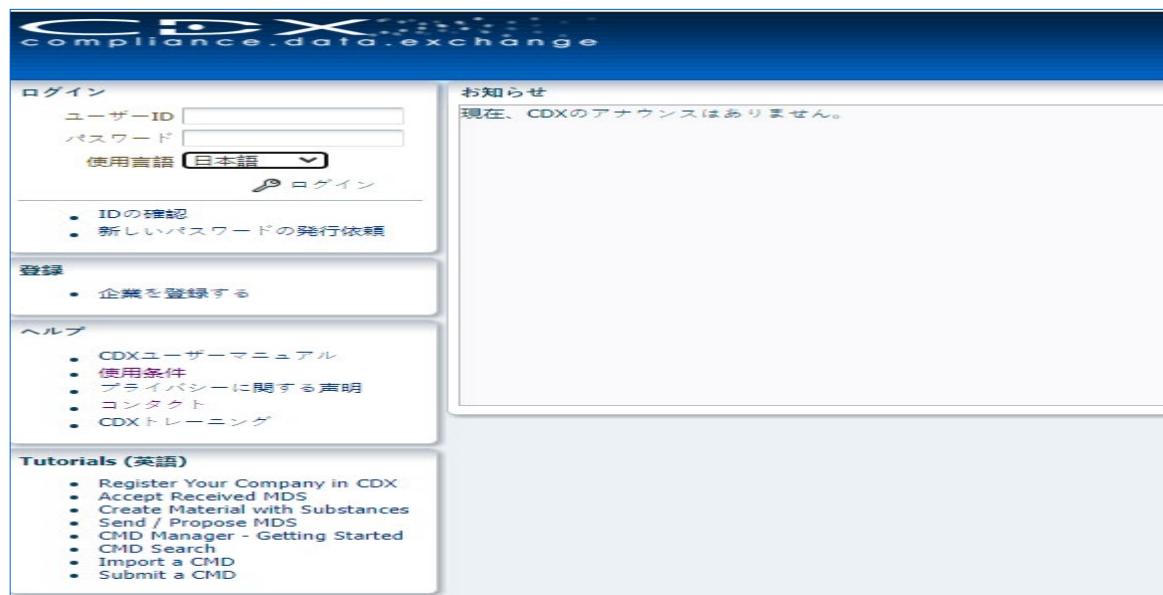
The screenshot shows the CDX homepage. At the top, there is a navigation bar with links for 'CDX Login', 'Language Selector (english)', 'Solutions', 'Industries', 'Get Started', 'Resources', 'Support', and a search bar. The main content area features a large image of the Earth at night with city lights. Overlaid on this image is text about CDX's mission in Supply Chain Data Management and Environmental Compliance across industries like Heavy Equipment, Electronics, Aerospace, and Defense. A blue 'Explore CDX' button is located in the bottom left of this area. Below the main image, there is a call-to-action: 'Register here for our newsletter to gain the newest CDX information' next to a 'Register' button.

ログイン

を開き、「CDX Login」ボタンを押して、
CDXシステムにアクセスします。

[CDX Login](#)

次の図はCDXログインページの画面です。

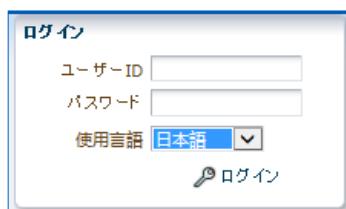


The screenshot shows the CDX login page. It features a 'ログイン' (Login) form with fields for 'ユーザーID' (User ID) and 'パスワード' (Password), a '使用言語' (Language) dropdown set to '日本語' (Japanese), and a 'ログイン' (Login) button. Below the form are links for 'IDの確認' (ID Confirmation) and '新しいパスワードの発行依頼' (Request for New Password). A '登録' (Registration) section contains a link for '企業を登録する' (Register Company). On the right, there is a 'お知らせ' (Announcement) box stating '現在、CDXのアナウンスはありません。' (No announcements are available at the moment). At the bottom, there are sections for 'ヘルプ' (Help) with links to 'CDXユーザーマニュアル' (CDX User Manual), '使用条件' (Usage Conditions), 'プライバシーに関する声明' (Privacy Statement), 'コントラクト' (Contract), and 'CDXトレーニング' (CDX Training). There is also a 'Tutorials (英語)' (Tutorials (English)) section with links to various training topics.

この画面で、ユーザーIDとパスワードを入力します。ユーザーIDは企業IDとは異なりますのでご注意ください。ユーザーIDは、企業名と、該当するユーザーの情報で構成されています。企業IDは全て数字です。一方、ユーザーIDはアルファベット（小文字）の後に数字となっています。

ユーザーIDとパスワードは大文字と小文字を区別します（例：“SPRING”と“Spring”は異なる文字列として識別されます）。ログインできなくなることを防ぐため、最初のログインの際に、ユーザーIDとパスワードを、システムからの自動配信メールからコピー（<CTRL><C>）&ペースト（<CTRL><V>）することをお勧めします。システムで自動作成するパスワードは、全て小文字のアルファベットと数字です。また、混乱を防ぐため”o”、“0”、“1”、“1”は使用していません。ユーザーIDは通常、5つのアルファベット（小文字）の後に3桁の数字となっています。

ログインの前に、表示言語を選択できます。現在はドイツ語、英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、日本語、韓国語、中国語が利用可能です。ただし、多国語で表示ができていても、入力項目は全てCDXで認められている英語しか対応しておりませんので十分ご注意ください。加えて、CDXでは入力項目は各言語に翻訳されません。



ログイン

ユーザーID

パスワード

使用言語

IDの確認/新しいパスワードの発行依頼

IDやパスワードを忘れることが多いと思われます。そういうよくあるケースに備え、CDXにはユーザーIDの再確認やパスワードの再発行の機能があります。ただし、これらの機能は、最も重要なユーザーIDに紐づくEメールアドレスを照合してユーザーIDの特定や新パスワードの発行を行います。このため、常にシステム上に最新のEメールアドレスを登録しておくことが必須となります。

もしユーザーIDを忘ってしまった場合は、CDXのログイン画面にある「IDの確認」というリンクを使う事で、簡単にユーザーID（複数の場合もあります）を再確認できます。



ヘルプ

- CDXユーザー マニュアル
- 使用条件
- IDの確認
- 新しいパスワードの発行依頼
- コンタクト
- CDX Training

リンクをクリックすると、Eメールアドレスを入力する画面が現れます。



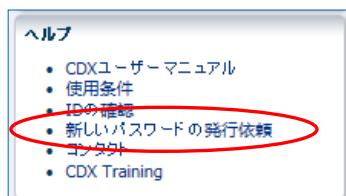
CDX - Compliance Data Exchange

IDの確認

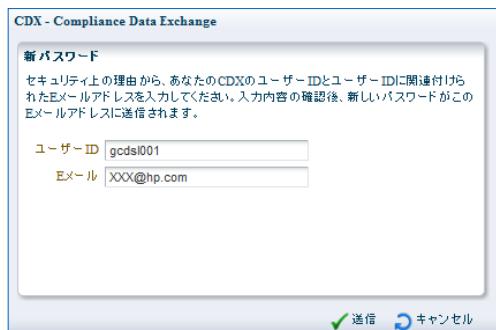
Eメールアドレスを入力し、送信ボタンを押してください。この電子メールアドレスに紐づくCDXユーザーIDがあなたに送信されます。

Eメール

入力した E メールアドレスに紐づくユーザーIDの一覧が、システムから送信されます。さらに、パスワードが分からぬ場合は「新しいパスワードの発行依頼」というリンクからパスワードを再発行できます。



リンクをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



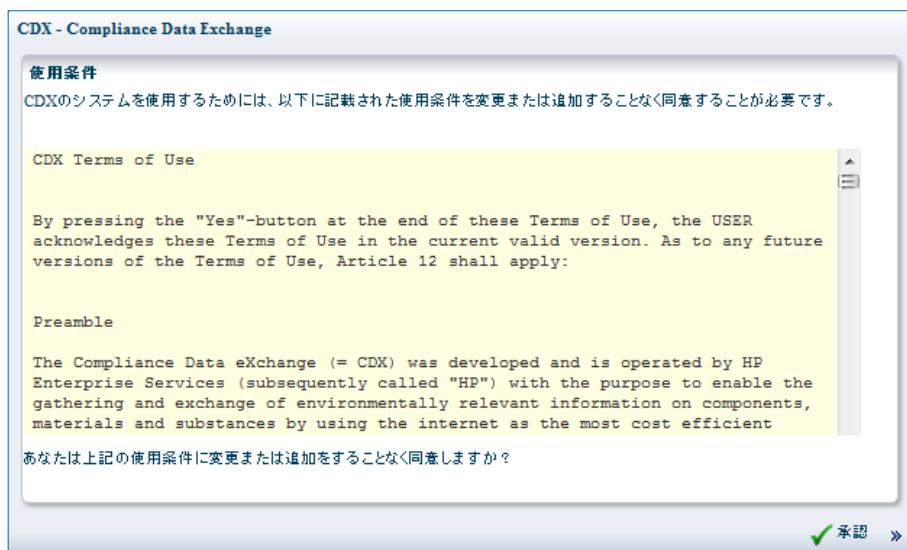
新パスワードの発行を行う際には、そのユーザーIDと紐づく正しいEメールアドレスの入力が必要となります。パスワードリセットを行うために、入力するEメールアドレスは、あらかじめ CDX のシステムに登録しているEメールアドレスと同一でなければなりません。

Eメールアドレスのチェックが行われた後、もし問題（例：ユーザーIDが既に期限切れ、もしくは前回のパスワードリセットから一度もログインに成功していない状態で再びパスワードリセットを行おうとしたなど）がなければ、新しいパスワードが、入力したEメールアドレスに送信されます。新しいパスワードは規則性のないアルファベットのため、ログインの際にはEメールからコピー/ペーストすることを強くお勧めします。新しいパスワードでログインをした後、パスワードの変更が求められます。

ユーザーIDが間違っている、IDに紐づく正しいEメールアドレスではない、ユーザーIDが有効期限切れになっている、または前回のパスワードリセットから一度もログインに成功していない状態で再びパスワードリセットを行おうとした場合には、エラーメッセージが表示されます。特に前回のパスワードリセットから一度もログインに成功していない場合のエラーは、パスワードリセットのEメールを受け取れずに何度もパスワードリセットのボタンを押してしまう、という事態を避けるためにあります。もし CDX システムからの自動配信 E メールが受け取れないという問題が発生した場合は、社内の IT 部署の担当者にお問い合わせ頂き、「ID の確認」のリンクをたどってなぜ E メールが受け取れないのかを調査してもらうよう依頼してください。E メールを受け取れないとこれ以上 CDX を使用することができません。

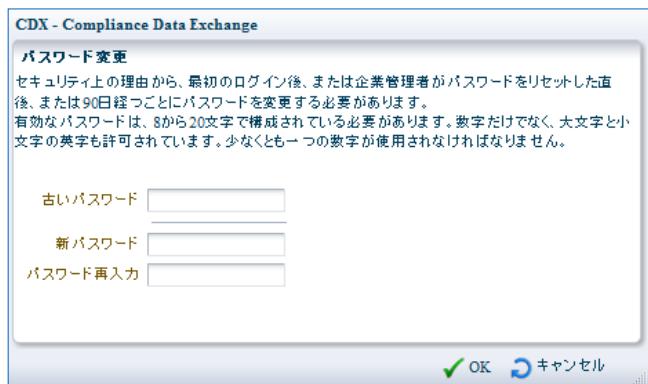
使用条件の承諾

初めてのログイン (E メールで仮のパスワードを受け取ってログイン) した際、必ず使用条件 (Terms of Use) に承諾し、パスワードを変更しなければ次に進めません。以下の図は使用条件の画面の例です。



いくつかのブラウザもしくは画面の解像度によっては、画面をスクロールしないと「承諾」または「拒否」ボタンが現れない場合があります。ユーザーは必ず使用条件を読み、承諾しないと先に進めません。「拒否」を押すとスタートページに戻り、CDX を使用することはできません。

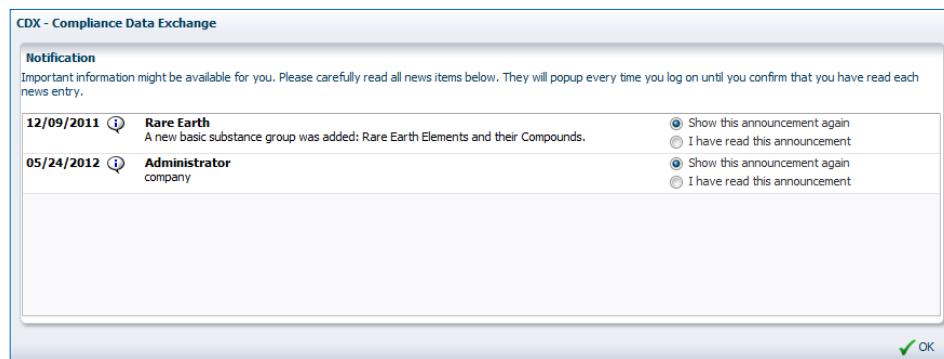
次のステップは初期パスワードを変更する作業です。ユーザーは「システム管理」>「パスワード変更」オプションからパスワードを変更できます。セキュリティの観点から、パスワードリセット (CDX ログインページの「新パスワードの発行」のリンクで行った場合、およびサービスデスクに依頼した場合も含む) の後、少なくとも 90 日毎にパスワードを変更する必要があります。



パスワードを変更する際は、古いパスワードとご自身で考えた新しいパスワードを入力します。パスワードは 8~20 文字です。また、全て ASCII もしくは Latin 1 (ISO-8859-1) の文字を使用し、最低 1 つ以上の数字を入れる必要があります。

お知らせの確認と同意

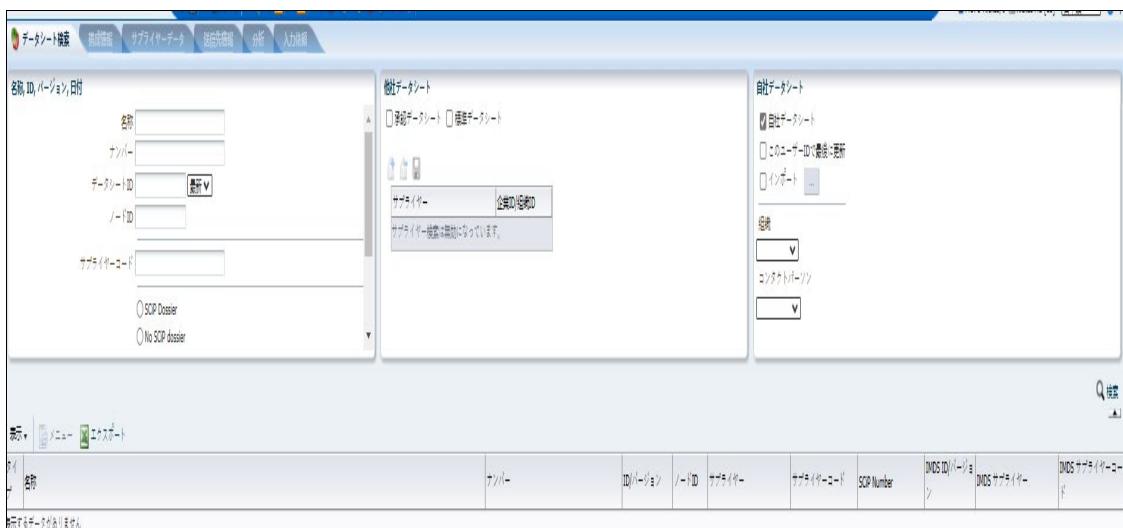
CDXに関するお知らせがあると、ログイン直後にお知らせが表示され、既読として非表示にするか、次のログイン時にもう一度表示させるかを選ぶことができます。このお知らせ画面は、パスワードを変更する必要がある時には表示されない場合があります（その次にログインするときに表示されます）。ユーザーは必ずメッセージを読んだという事を意思表示しないと、次に進むことができません。次の図は一般的なお知らせ画面です。



MDSがある場合は、追加の通知アイテムが以下に示すようにお知らせダイアログに個別に表示されます。



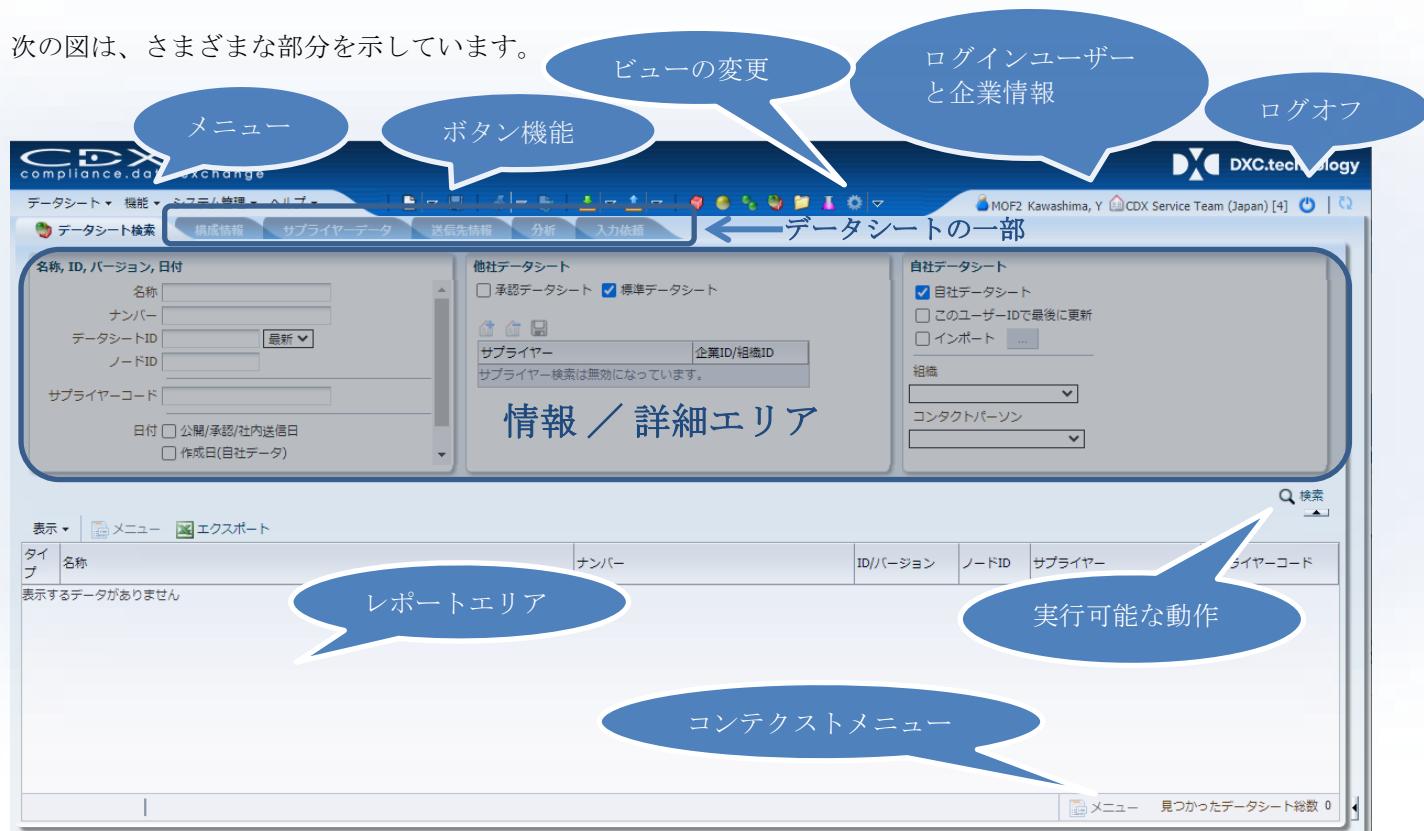
一度「OK」をクリックすると、CDXの基本画面に切り替わります。以下の図はCDXの初期画面です。



CDX のナビゲーション

CDX にログインすると、以下のように、いくつかの領域に分かれた画面が現れます。

次の図は、さまざまな部分を示しています。



ユーザー情報 / ログオフ

このエリアでは、ユーザーの氏名と CDX の企業 ID が表示されます。また、サインオフするためにログオフボタンが右上の端に配置されています。 (Logout) さらに隣には「ステータスインディケーター」も配置されています。 (Status Indicator).

ビューの変更

では、データシート情報 (MDS) と紛争鉱物情報 (CMD) を管理することができます。CDX の見た目をシンプルにし、CMD と MDS の機能へのより論理的なアクセスを提供するために、個人的なニーズに応じてメニュー/ビューを変更することができます。CMD のみで作業する場合は、「CMD ビュー」を設定してください。MDS をより重視する場合は、「MDS ビュー」を使用してください。システム管理メニューで、またはツールバーの設定ボタン (Settings) でビューを変更することができます。

メインメニューとボタン

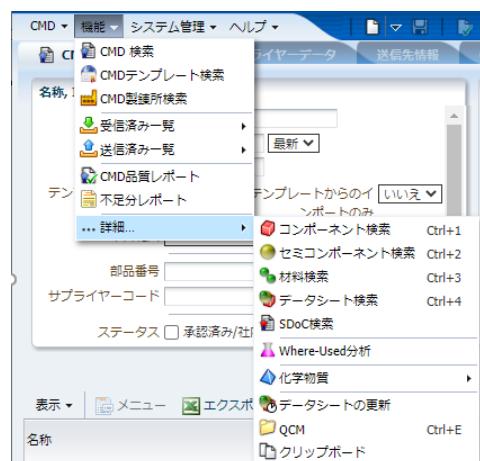
メインメニューとボタンは、ログインしているユーザーが持っている権限で使える全ての機能を表しています。このメニューはインタラクティブになっており、選択したメニューはハイライトで色が付きます。各メニューをクリックすると、作業画面がその機能に対応する画面に切り替わります。その時に利用できないメニューは文字が薄くなり選択できないようになっています。

選択したビュー (MDS または CMD) によって、メニュー項目は異なります。

どのビューを選択したかに関わらず、非アクティブなビューのすべてのメニュー項目は、"…詳細"ボタンから常に利用可能です。

次のセクションでは、MDS ビューの各メニュー項目について説明します。CMD ビューで利用可能なメニュー項目については、CMD セクションで説明します。

右はメニューの画面です。



データシートメニュー/ ツールバー ボタン

これらの機能はデータシートメニューの下で有効なアイテムです：

新規作成

「データシート」>「新規作成」を選択するか、ツールバーのボタン を押すことでこの機能を使用することができます。このボタンはメニューの「データシート」>「新規作成」を選択したときと同じです。このボタンからは以下のことができます：

メニュー	内容	ツールバー
コンポーネント	コンポーネントの新規作成しデータシートを表示	
セミコンポーネント	セミコンポーネントの新規作成しデータシートを表示	
材料	材料の新規作成しデータシートを表示	
入力依頼	入力依頼の新規作成しデータシートを表示	
Conflict Minerals Declaration	CMD(紛争鉱物申告)の新規作成と表示	
CMD リクエスト	新しい CMD リクエストの作成と開く	
SDoC	SDoC の新規作成し、SDoC レポートを表示	

保存

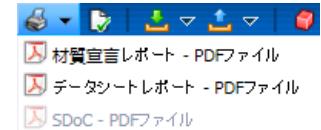
この機能は「データシート」>「保存」メニューからでも、ツールバーの ボタンからでも実行することができます。このボタンは、その画面でユーザーが保存する必要がないときには表示されません。この機能は、その時作業中の情報を CDX システムに保存する機能です。例えばデータシートや入力依頼、企業内の組織の編集やユーザーデータ、SDoCs などの編集中に使うことができます。

以下の表は、それぞれのメニューの動きの説明です：

メニュー	内容	ツールバー
新バージョン	データシートを編集する時しか利用できません。同じノード ID で変更されたデータシートを新しいバージョンで保存します。既存のデータシートは変更されません。自社のデータシートでない限り、新しいバージョンのデータシートは作成できません。	
新しいデータシート	データシートを編集する時しか利用できません。変更されたデータシートを新しい ID で保存します。既存のデータシートは変更されません。	

印刷 / PDF として保存

「データシート」 > 「印刷」 もしくはツールバーのボタン  を使ってこの機能を利用できます。このボタンを利用すると、「データシート」 > 「印刷」と同じメニューが表示されます。



このメニューでは、以下の表のようにデータシートの情報を違うタイプのレポートとして印刷することができます：

メニュー	内容
材質宣言レポート	データシートを表示しているか、編集中の時だけ利用できます。もしくは SDoc を表示しているか、編集中の時だけ利用できます(ユーザーがこの SDoc を所有している場合)。対象のデータシートの材質宣言レポートを生成します。材質宣言レポートには、特定の物質(禁止または制限)およびデータシート内に含まれる特定の化学物質が造船業界で定義された条約及びガイドラインに従っているかどうかを識別します。
データシートレポート	データシートを表示しているか、編集中の時だけ利用できます。対象のデータシートのデータシートレポートを生成します。このレポートには、データシートに含まれるアセンブリや材料を構成する化学物質のリストが含まれます。
SDoc	SDoc を表示しているか、編集中の時だけ利用できます。SDoc で指定された全てのデータシートとその関連の材質宣言の SDoc レポートを作成します。SDoc レポートには、指定されたデータシートとその関連の材質宣言の責任者を特定し、彼らは法律に準拠しており、含有化学物質情報を適切に管理していることを保証します。 SDoc レポートは船のリサイクルのために、国際海事機関(IMO)によって定義されます。

インポート

以下の表は、それぞれのメニューの動きの説明です：

メニュー	内容
MDS パルクリクエストのインポート	データシートリクエストを新規に作成しているとき、またはデータシートリクエスト送信ボックスにいるときにのみ使用できます。記入済みの MS Excel テンプレートを CDX にインポートして、複数のサプライヤーに同時に大量のデータシートリクエストを送信することができます。
IMDS データシートのインポート	IMDS の既存のデータシートを、編集可能なデータシートとして CDX にインポートします。
IPC1752A クラス C/D	この機能は、IPC1752A クラス C または D 宣言ファイルを、独自の編集可能なデータシートとして CDX にインポートします。インポートされた 1 つの宣言書は、記録されている製品の数に応じて、複数のデータシートになる場合があります。
IEC62474	この機能は、IEC62474 宣言ファイルを独自の編集可能なデータシートとして CDX にインポートします。
IPC1754 Class E/F/G	この機能は、IPC1754 クラス E, F または G 宣言ファイルを、独自の編集可能なデータシートとして CDX にインポートします。
…詳細	CMD ビューで使用可能なメニュー項目を表示します。

エクスポート

以下の表は、それぞれのメニューの動きの説明です：

メニュー	内容
IPC1752A クラス D	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IPC1752A クラス D またはクラス C 宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
IPC1752A クラス C	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IPC1754 クラス E, F または G 宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
IPC1752A クラス E	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IPC1754 クラス E, F または G 宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
IPC1752A クラス F	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IPC1754 クラス E, F または G 宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
IPC1752A クラス G	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IPC1754 クラス E, F または G 宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
IEC62474 IEC62474 NEW	データシートを表示または編集する際にのみ使用でき、有効なデータシートライセンスが必要です。IEC62474(ed.1)または IEC62474 NEW(ed.2)宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは、XML ファイルとして保存されます。
SCIP Dossier	データシートを閲覧または編集する際に、有効なデータシートライセンス(最低「エントリーレベル」)を持っている場合にのみ使用できます。データシートを SCIP Dossier にエクスポートします。
…詳細	CMD ビューで使用可能なメニュー項目を表示します。

確認

データシートを表示しているか、編集中の時だけ利用できます。データシートのエラーチェックを行い、問題があった場合は一覧で表示します。このチェック機能は、ツールバーのボタン  からも起動することができます。

社内送信

データシートの編集中のみ使用できます。データシートを社内送信し、自社で作成した他のデータシートやモジュールに参照できるようにします。

承認

この機能は、承認、拒否または送信の取り消しをまだしていない受信データシートを表示している時だけ有効です。次の画面で承認/拒否ボタンが表示され、承認することができます。

拒否

この機能は、承認、拒否または送信の取り消しをまだしていない受信データシートを表示している時だけ有効です。次の画面で承認/拒否ボタンが表示され、拒否することができます。

転送

以下の表は「転送」メニューで使用できるオプションの説明です:

メニュー	内容
転送	承認済みで、かつ送信元が転送を許可しているデータシートを開いている時だけ利用できます。転送バージョンのコピーを作成し、送信先に送ることができます。ただし構成情報は編集できません。転送は、1つの承認済みデータシートにつき1回しか行えません。
転送されたデータシート	転送された受信データシートを開いているときにしか使えません。選択したデータシートの転送バージョンを表示します。

オリジナルのデータシート	承認データシートの転送バージョンを開いているときしか使えません。オリジナルのデータシートを表示します。	
--------------	---	--

削除

表示しているデータを削除します。削除できるのはデータシート、入力依頼、組織（カンパニーアドミニストレーターのみが可能です）です。受信データシートは削除できません。加えて、自社以外のデータは削除できません。

無効化

この機能は、受信して承認されたデータシートを閲覧する場合にのみ使用できます。この機能を使用して、受信したデータシートを無効化（廃止）することができます。無効化されたデータシートは、参照を検索する際に検索できなくなり、まだリリースされていないデータシートで参照された場合、警告やエラーが発生します。リリースされたデータシートの範囲内では、それらは有効なデータであり続けます。送信先が無効化しても、データシートは製造者と他のすべての送信先に対しては有効なままとなります。データシートの送信先は、無効化されたデータシートを受信トレイで検索することができますが、その際には「送信先によって無効化されたデータシート」としてフラグが立てられます。

ログオフ

ユーザーを CDX から退出（ログオフ）させ、ログイン/ニュースページを表示させます。ログオフのボタン  は画面の右上にあります。

機能メニュー/ボタン

機能メニューには IMDS で利用できる各機能の一覧が含まれています。ほとんどの機能はツールバーにボタンで表示されています。各機能の詳細は以下の表の通りです：

メニュー	内容	ツールボタン	メニュー
コンポーネント検索	コンポーネントデータシート（自社、受信済み、公開済み）の検索画面を開きます。		 機能  システム管理  ヘルプ
セミコンポーネント検索	セミコンポーネントデータシート（自社、受信済み、公開済み）の検索画面を開きます。		 コンポーネント検索 Ctrl+1
材料検索	材料データシート（自社、受信済み、公開済み）の検索画面を開きます。		 セミコンポーネント検索 Ctrl+2
データシート検索	全てのデータシート（自社、受信済み、公開済み）の検索画面を開きます。		 材料検索 Ctrl+3
SDoC 検索	SDoC の検索画面を開きます。		 データシート検索 Ctrl+4
受信済み一覧	受信済みデータシート、入力依頼、CMD、CMD 依頼の検索画面を開きます。		 SDoC検索
送信済み一覧	送信済みデータシート、入力依頼、CMD、CMD 依頼の検索画面を開きます。		 受信済み一覧
Where-Used 分析	特定の条件に合うデータシートを検索（分析）する画面を開きます。		 送信済み一覧
化学物質			Compliance Dashboard
化学物質検索	化学物質の検索画面を開きます。		Where-Used 分析
化学物質の申請	これまで存在しなかった化学物質の追加依頼を行うための化学物質依頼画面を開きます。		化学物質
化学物質の変更履歴	化学物質の変更を検索する画面を開きます。		データシートの更新

化学物質グループ/規則変更の検索	化学物質グループや規則の変更を検索するための画面を開きます。		
規制物質概要	別の独立した画面が開きます。全ての一般的な規制や企業固有の規制情報を見ることができます。		
データシート更新	データシートを更新するための画面を開きます。		
データシート QCM	MDS Queue and Collection Manager (QCM) を開きます。		
クリップボード	クリップボードを開きます。		
…詳細	CMD ビューで使用可能なメニュー項目を表示します。		

システム管理メニュー

システム管理メニューでは、企業情報の管理を行います。ユーザー承認プロファイルの種類によってはこのオプションは利用できません。各機能の詳細は以下の通りです:

メニュー	内容	システム管理メニュー
個人設定	ログインしているユーザーの E メールアドレスや電話番号といった全ての情報を表示し、個人情報を編集できます。	
パスワード変更	パスワードの変更ができます。	
ビューの変更	ユーザーがビュー (MDS ビューまたは CMD ビュー) を変更することができます。	
通知	閲覧可能でまだ確認していないお知らせを表示します。	
企業	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。自社の組織を検索する画面を開きます。	
ユーザー	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。自社のユーザーを検索する画面を開きます。	
トラストユーザー	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。他企業のトラストユーザー、またはそうでないユーザーを検索します。カンパニーアドミニストレーターはこの画面からトラストユーザーもしくはそうでないユーザーを指定できます。	
データシート管理	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。データシート管理画面を開き、複数のデータシートを別の組織に移動させることができます。	
CMD 管理	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。CMD 管理画面を開き、複数の CMD を別の組織に移動させることができます。	
CDX ライセンス	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。企業のライセンスの使用状況を表示します。企業管理者がライセンスのクレジットを発注することができます。	
企業固有の化学物質リスト	自身の企業の企業固有の化学物質リストの検索画面を開き、カンパニーアドミニストレーターはそれを作成したり、編集したりすることができます。	
企業固有の規則	カンパニーアドミニストレーターで有効な MDS ライセンスをお持ちの方のみご利用いただけます。会社固有の規定を管理するための画面を開きます (閲覧、作成、削除)。	
CMD 品質プロファイルマネージャー	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。自身の品質レポートを検索し、品質レポートに新しいプロファイルを作成するための画面です。 Opens the screen to search for and create new profiles for your Quality Reporting.	
不足分レポートマネ	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。不足分レポート	

一覧	一覧標準テンプレートを作成する画面を開きます。	
組織レポート	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。ユーザーが割り当てられていない社内の組織を表示します。	
データシート統計	カンパニーアドミニストレーターのみが利用できます。その企業に関連する統計情報を確認できます。	

ヘルプメニュー

ヘルプメニューの各機能は以下の通りです:

メニュー	内容	ヘルプ
CDX ユーザーマニュアル	CDX ユーザーマニュアル(PDF ファイル)	CDX ユーザーマニュアル
ビデオチュートリアル	CDX の機能を紹介したいくつかのビデオが含まれます。	ビデオチュートリアル (英語)
Web サービス	ウェブサービスマニュアルと利用可能な zip ファイル、ウェブサービスのためのサポートスキーマ(xsd files)が含まれます。	Web サービス
使用条件	使用条件(PDF ファイル)を新規画面で開きます。	② 使用条件
プライバシーに関する声明	DXC の個人情報保護方針(pdf ファイル)を新規ウィンドウで開きます。	② プライバシーに関する声明
ヘルプデスクにメールを送信する	別の独立したウィンドウを開き、ユーザーは CDX アプリケーションを介して CDX ヘルプデスクに連絡することができます。スクリーンショットを添付することもできます。	② ヘルプデスクにメールを送信する
ネットワークパフォーマンスインデックス	使用しているネットワークや PC 上での CDX のパフォーマンスを測定することができます。	ネットワークパフォーマンスインデックス
CDX について	CDX の現バージョンの情報を表示します。	② CDX について

情報/詳細

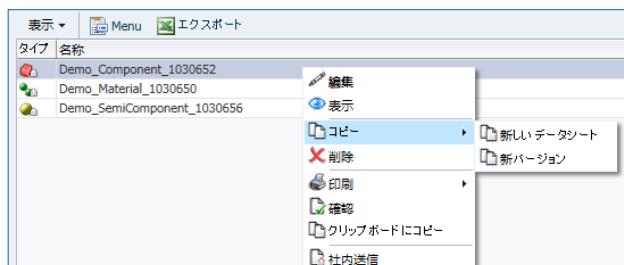
詳細画面は情報を入力したり、入力した情報を表示したりする領域です。

作業画面

この領域には、検索、キャンセル、作成機能を持つボタンが配置されています。これらのボタンをクリックすることで入力依頼、データシート、CDX ユーザーの検索結果や詳細をこのエリアの下に一覧表示させます。

検索結果画面からのショートカット

上記のボタンやメニューに加え、検索結果画面において特定のデータシートを選択した状態で右クリックすると、部品検索の結果として表示される下に、よく使われる機能のショートカットがメニューとなって表示されます。代わりに、コンテキストメニューを開くためにメニューをクリックすることができます。

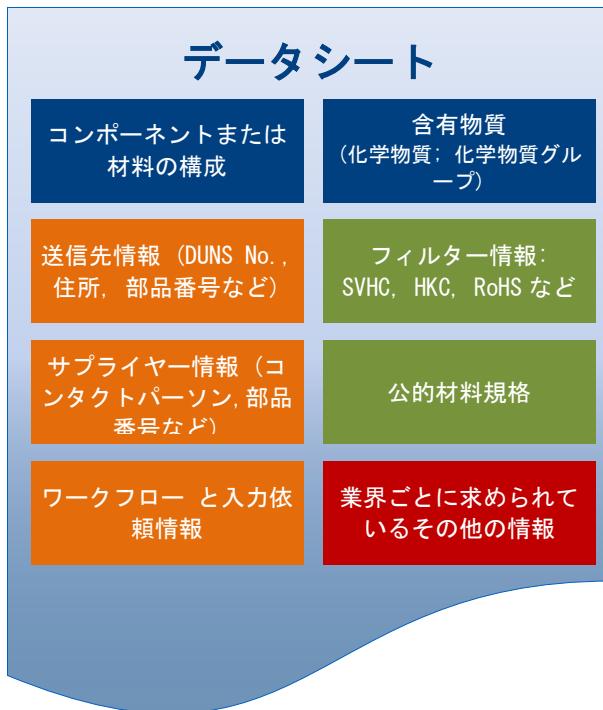


データシートの新規作成

真っ先にやるべきことの1つとしては、データシートの新規作成です。既存のデータシートを参照するかどうかはともかく、顧客に送ったり、またレポートを作成したりするため、まずは自分の構造を作成することです。

データシートとは？

データシートとは、以下のような複数のデータの単位がまとまって構成されているとご理解ください：



これらの各領域は、以下のセクションで説明します。

データシートの新規作成

メニュー、または、ツールバーのボタン から新規作成することができます。最初、コンポーネントかセミコンポーネントか材料のどれを作るのかを決めなければなりません。後から変更出来ないので、ご注意ください。

データシートのタイプ

以下の表に、コンポーネント、セミコンポーネント、材料の特徴をまとめています：

データシート タイプ	説明	参照先の親ノード	参照できる子ノード	質量
材料	均質な構造を表している。 - 仮にスライスして断面を見たとしても、層や成分の違いを確認することができない(ただし電子部品は除く)	他の材料、セミコンポーネント、コンポーネント	他の材料、化学物質	単体ではまだ質量は決まっていない
セミコンポーネント	材料と類似しているが、アセンブリまたは最終製品になる前に加工を必要とするものを表している。例えば、鉄板や被覆線など。長さ、体積、面積単位で使用される。	他のセミコンポーネント、コンポーネント	他のセミコンポーネント、材料、化学物質	単体ではまだ質量は決まっていない

データシート タイプ	説明	参照先の親ノード	参照できる子ノード	質量
コンポーネント 	アセンブリまたは質量が決まった部品を表し、数量で数えられるもの。例えばボルトやエンジン部、シートなど。コンポーネントのデータシートは質量が決まっておいて、構成上減らされることはない。	他のコンポーネント	他のコンポーネント、セミコンポーネント、材料、化学物質	質量が決まっている

データシート管理を容易に進めるために、CDX では上の表にある通り、材料、セミコンポーネント、コンポーネントを記号で表しています。これらの記号は構成のツリー中や検索画面などに表示されます。また特定の条件に当てはまる場合は記号が以下のように変化します:



記号に家のマークがついている場合は、自社データシートであることを表します。 (コンポーネント、セミコンポーネント、材料)



地球マークがついている記号は、全ユーザーが利用できる公開データであることを表しています。 (コンポーネント、セミコンポーネント、材料)



封筒マークがついている記号は、サプライヤーから送信された受信データシートであることを表しています。 (コンポーネント、セミコンポーネント、材料)

CDX の材料は全て、突き詰めると  という記号で表される化学物質の集まりです。化学物質リストは、社外で制御された化学物質の検証リストです。100%開示の場合では、ツリー構造の最上部からの全てのパスの最後は、化学物質で終了する必要があります。

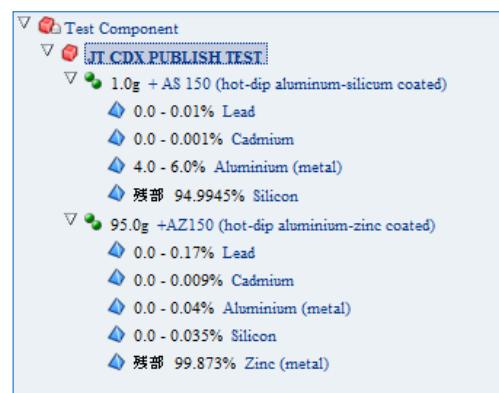
化学物質は、化学元素（例：鉄、銅）や基本化合物（例：アクリル樹脂、酸化亜鉛）です。化学物質は個別の CAS No. (Chemical Abstract Number) もしくは一般的な機能で定義されます。基本的には以下の 3 種類のカテゴリーに分けられます:

- **CAS No. で表される化学物質** - これは CAS No. が割り当てられている化学物質で、例えば鉄 (CAS# 7439-89-6) のように、明確に定義がされているものです。
- **擬似物質** - 擬似物質は、CAS No. を持たないが該当物質を正確に表すことができる化学物質または化学物質のグループを指します。例えば”アクリル樹脂”などです。これらの化学物質は実在の化学物質として認められており、以下に説明するワイルドカードとは異なるという事にご注意ください。
- **ジョーカーまたはワイルドカード** - これらは特定の化学物質を示すものではありません。ワイルドカードの使用はごく少量に限られており、CAS No. の項目には”system”という文字列が登録されています。代表的な例は”Misc., not to declare”です。要申告または禁止物質をこのジョーカーまたはワイルドカードとして報告することは禁止されています。

他にデータシートについて知っておくべきことは、構成情報のページには、親子関係を含むツリー構造を有しています。以下の図は、ツリー構造を表したものです。

”Test Component”は”JT CDX PUBLISH TEST”と”+AZ150 (hot-dip aluminium-zinc coated)”の親ノードです。逆に見ると”JT CDX PUBLISH TEST”と”+AZ150 (hot-dip aluminium-zinc coated)”は”Test Component”の子ノードです。さらに”JT CDX PUBLISH TEST”は”+AS150 (hot-dip aluminium-silicium coated)”の親ノードです。

多くの場合、ユーザーは子ノードしか修正しませんが、ツリーの最上位ノードも編集モードでエラーを修正することが重要になってきます。



申告範囲

ユーザーは自身で申告のレベルを決める（事前に取引先と合意されていることが望ましい）ことができます。CDX では以下をサポートします：

全申告とは素性情報を全て提供し、構成上の質量やパーセンテージも全て報告することです。全ての構成部品の質量は製品分に積み上がります。パーセンテージの情報は 100%になるまで積み重ねられます。データシートは全申告（100%申告チェックボックス）としてマークされます。そして全申告のデータチェック手法に則り、質量やパーセンテージに不足がある場合はエラーとして報告されます。

部分申告は不完全な全申告となります。構成情報のいくつかが提供され、質量の合計は製品の完成重量とは異なる結果となります。

1 レベル申告は最低限の部分的な申告となります。この申告では、構成情報を持たない（構成がなかつたり、あつても 1 ノードのみ）データシートも取引先へ送信することができます。そのような空のデータシートでは必要な情報は添付として提供されることになります。

データシートが編集中の時には、構成中にノードや参照が含まれるが、そのデータシートは部分申告となり、また全申告へ変更することも可能です。

新しいデータシートにとっての初期値は部分申告となります。申告タイプとデータの受信企業により、異なったデータチェックが実施されます。例えば、1 レベル申告には特別な情報を要求する企業があるかもしれません。ユーザーは企業の固有な要求とシステム拡張を “[企業固有エンハンスメント](#)” 章で確認することができます。

もっとも頻繁に作られているデータシートのタイプは材料とコンポーネントです。さっそく新しい材料を作ってみましょう。

材料データシートの作成

材料はユーザーが直接作成するもっとも基本的なデータシートです。CDX は材料報告のシステムであるため、材料の名前より、材料の中にどの化学物質が含まれているかを顧客に報告することが、材料データシートを作成する目的となります。業界が異なることでまた要求も異なります。要求とは、材料分類や、材料に関するその他の詳細を知るために必要なものです。MSDS (Material Safety Data Sheet) は、CDX のデータシートを作成するのに十分な情報は含まれていない、という事に注意してください。データシートには最終製品に含まれる材料を構成する化学物質が 100%含まれていますが、MSDS にそこまでの情報が含まれていることはごくまれです。

新しい材料データシートを作るとき、下記のような画面が出て来ます。（この例では、右側にある全ての項目が既に展開されていますので、後ほどまた展開する必要がありません。）全ての必須項目は*と表示されています。

材料が「Is Article」と表示されている場合のみ、「Article Category」を入力する必要があります。Article Category は、[MDS を SCIP データベースにアップロードする](#)ための前提条件です。

The screenshot shows the DXC compliance.data.exchange interface. On the left, the 'Material' screen is displayed with a list of materials and a search/filter bar. On the right, a detailed view of a material record is shown. The record includes fields for 'Type' (Material), 'ID/バージョン' (2195968 / 0.01), 'ノードID' (2195968), 'サプライヤー' (Rickes AG), '100%宣言' (unchecked), 'SCIP Compliance' (unchecked), 'SCIP Number', 'Brand', 'Type', 'Model', and 'Is Article' (checked). The 'Article Category' section is expanded, showing '名称' (Material_2152979) and 'Identifier(s)' with various dropdown menus and search fields. A sidebar on the right lists other sections: '日付', 'クエリ一覧', '製品のビジネス情報', '材料分類*', '材料情報', '公的材料規格', '備考', '添付ファイル', and '使用される場所'.

テキストフィールドに値を入力して、ボタンをクリックして完全な説明を見つけることができます。Article Categoryについての詳細な情報が必要な場合は、ヘルプボタンのリンクを使用してください。虫眼鏡をクリックして、Article Categoryを検索することもできます。

The screenshot shows the 'Article Category Search' dialog box. The search criteria are set to 'Level 1'. The results list includes various categories such as 'Live animals', 'Plastics and articles thereof', 'Vegetable products', and 'Live bovine an... Cattle'. Each result provides a brief description and a detailed breakdown of sub-categories. At the bottom right, there are buttons for 'Total records found: 20002', 'Apply', and 'Quit'.

適用 をクリックして選択を確定します。

また、"サブコンポーネントのデフォルト Article Category"を定義することもできます - それは、Article Categoryが定義されていないコンポーネントノード内の子の成形品のArticle Categoryを表します。虫眼鏡をクリックして、デフォルトのArticle Categoryを検索することもできます。

共通情報

共通情報について詳しく説明します:

以下の表に、各項目の説明を記載します:

項目名	説明	入力必須かどうか
タイプ	システムが自動で表示 - データシートのタイプ(材料、セミコンポーネント、コンポーネント)。タイプによって項目が異なるため、この画面からデータシートのタイプを変更することはできません。	該当なし
ID / バージョン	システムが自動で表示 - 前半の番号はデータシートの ID を表しています。新バージョンが作成されても、ID 番号は変わりません。一方後半のバージョン番号は(/0.01)から変更になります。データシートが「リリース」されると(詳細は以降を参照)、バージョンは整数に代わり編集ができなくなります。	該当なし
ノード ID	システムが自動で表示 - この番号はデータベースでそのデータシートを一意に特定するための番号です。バージョン番号が 0.01 の場合に限り、上の ID と同じ番号になります。	該当なし
自動承認済み	MDS がジョブによって承認されたか、それともユーザーが手動で承認したかどうかを示すチェックボックスです。	該当なし
サプライヤー	システムが自動で表示 - データシートを作成した企業名が表示されます。	該当なし
100% 宣言	このチェックボックスでは、このデータシートが 100%宣言されているかどうかを示します。“100%宣言”チェックボックスがセットされていることで、ユーザーはそのデータシートを全申告として作成することができ、完全な情報を提供しなければならなくなります。もし親ノードにチェックを入れていて、子ノードにチェックを入れていない場合、エラーが出て、次のステップに進めません。	業界による

項目名	説明	入力必須かどうか
SCIP Compliance	SCIP 準拠のためにこのフィールドにチェックを入れます。このフラグのデフォルト値は、企業の管理画面からトリガーされます(プロファイル「カンパニーアドミニストレーター」を持つユーザーのみ利用可能)。	任意
SCIP Number	この番号は MDS トップノードと参照されるすべてのノードの一部です。これは読み取り専用の属性であり、自動化された SCIP 送信または Web サービス(後の状態)によってのみ更新することができます。 IMDS からインポートされた、または Web サービスでインポートされた MDS では、参照されていない MDS ツリーのノードでも SCIP Number を利用できます。	該当なし
ブランド	製品の公開ブランド名	任意
タイプ	製品の公開タイプ	任意
モデル	製品の公開モデル名	任意
Is Article	貴社の製品が、REACH 規則 O5A の観点から成形品であるかどうかを示すチェックボックスです。製品が成形品の場合は、チェックを入れてください。材料が成形品の場合は、「製品事業情報」に「Article Category」が必要です。	任意 / SCIP 報告の場合は、はい
Article Category	Article Category は、データシートを SCIP データベースにエクスポートする際の前提条件です。拡大鏡を使って、Article Category を検索することができます。ヘルプボタンには、詳細情報へのリンクがあります。 IMDS からインポートされた、または Web サービスでインポートされた MDS では、参照されていない MDS ツリーのノードでも Article Category を利用できます。	任意 / SCIP 報告の場合は、はい
サブコンポーネントのデフォルト Article Category	このフィールドの値は、コンポーネントノード内の子 Article の Article Category フィールドのデフォルト値を表します(存在しない場合)。Article Category は、データシートを SCIP データベースにエクスポートする際の前提条件です。拡大鏡を使って、デフォルトの Article Category を検索することができます。	任意 / SCIP 報告の場合は、はい
サブコンポーネントのデフォルト Article Category	このフィールドの値は、コンポーネントノード内の子 Article の Article Category フィールドのデフォルト値を表します(存在しない場合)。Article Category は、データシートを SCIP データベースにエクスポートする際の前提条件です。拡大鏡を使って、デフォルトの Article Category を検索することができます。	任意 / SCIP レポートでは「はい」
名称	自社で管理している材料名称です。作成時は初期名称が表示されているため、上書きしなければなりません。チェックのルールによってはエラーが出されることがあります。	必須
Additional Names	自社がこのデータシートをどのように参照しているのか、自社独自の用語で説明する追加の名称。  を使用して複数の名称を追加するか、追加の名称を選択せずに  を1回クリックしてすべてを削除することができますが、その場合、追加の名称を全て削除することを確認するメッセージが表示されます。表にある名称は  でテキストファイルにエクスポートすることができます。	任意
社内材料コード	材料を参照するためにどのようなコードを使用していますか？  複数のコードをテキストファイル(1行1コード)から取り込んだり、  を使用して(複数の)コードを追加したり、  を使用して取り除いたりすることができます。  を使用することでテーブルからのコードをテキストファイルにエクスポートすることができます。	任意
Additional Identifiers	自社がこのデータシートをどのように参照しているかを数字で示す追加の名前。  を使用して複数の識別子を追加するか、追加の識別子を選択せずに  を1回クリックしてすべてを削除することができますが、追加の識別子を全て削除することを確認するメッセージが表示されます。表にある名称は  でテキストファイルにエクスポートすることができます。	任意

日付情報

時にそのデータシートが作成されたり、最後に更新されたりした日の情報が重要になる場合があります。ここでは表示される日付情報について説明します:

↓ 日程

作成日 2016/08/19
リリース日 -
確認日 -

各項目の詳細は以下の通りです:

項目名	詳細
作成日	データシートが作成された日付(ドイツ時間)
リリース日	データシートがリリースされた(これ以上編集できない状態になった)日付(ドイツ時間)
確認日	データシートにエラーチェックが行われた日付(ドイツ時間) – いつのルールに沿ってチェックされたのかを知るために有効です。

クエリー一覧

このエリアには、宣言されている製品に関するクエリのリストが含まれています。これらのクエリは、範囲内における規制によって設定され、宣言の範囲内の規制によって異なることがあります（このエリアは、カンパニーアドミニストレーターがシステム管理 > 企業で範囲内の規制を定義する前には表示されません）。

↓ Query Lists

↓ AD-DSL Query List

Requires the use of substances on the AD-DSL

Contains Conflict Minerals

Contains Radioactive Material(s)

Contains Biocide Material(s)

AD-DSL クエリー一覧は、IAEG®の航空宇宙・防衛産業(AD Industry; www.iaeg.com を参照)のための IAEG®当局が提供するクエリー一覧の一例である。他の当局は、独自のクエリー一覧を指定することができます。クエリー一覧は、各当局によって定期的に更新されます。

IPC1754 宣言 (AD 業界標準) は、業界に関連する一連のクエリ文(クエリー一覧)に対するサプライヤーの回答を提供します。例えば、ある種の物質が製品に含まれているかどうかについてのクエリ文を参照することができます。宣言が複数の業界に適用される場合は、ここに複数のクエリ文を含めることができます。

MDS 作成者は、規則で義務付けられているクエリー一覧に含まれる各クエリ文に対して応答しなければなりません。

上記の例で示したフィールドが何を意味するのかを説明します。

項目名	説明	入力必須かどうか
Requires the use of substances on the AD-DSL	製品が AD-DSL(または他の業界固有のリスト)に記載されている物質の使用を必要とする場合は、この質問に Yes、No、または Not Applicable で答えてください。	業界依存
Contains Conflict Minerals	製品に紛争鉱物が含まれている場合は、この質問に Yes、No、または Not Applicable で答えてください。	業界依存
Contains Radioactive Material(s)	製品に放射性物質が含まれているかどうか、この質問に Yes、No、または Not Applicable で答えてください。	業界依存
Contains Biocide Material(s)	製品に殺生物質が含まれているかどうか、この質問に Yes、No、No, または Not Applicable で答えてください。	業界依存

製品のビジネス情報

このセクションは、すべてのデータシートの詳細のトップノードに表示されますが、コンポーネントデータシートにのみ関連しており、後述します：

▼ 製品のビジネス情報

材料分類

材料分類は材料データシートには必須です。この情報は、この領域に格納されます。このフィールドの要件は、業界によります。



④をクリックすると、次のように報告対象の業界分類を選択することができるメニューが開きます：



CDX 材料分類は VDA 材料分類に基づいています。データシート作成時に材料を選択すると、以下の図のように全ての分類が一覧表示されます：

CDX - Compliance Data Exchange

材料分類

材料分類 IMDS

▼ 1: Steel and iron materials

- 1.1: Steels / cast steel / sintered steel
 - 1.1.1: unalloyed, low alloyed
 - 1.1.2: highly alloyed
- 1.2: Cast iron
 - 1.2.1: Cast iron with lamellar graphite / tempered cast iron
 - 1.2.2: Cast iron with nodular graphite / vermicular cast iron
 - 1.2.3: Highly alloyed cast iron

▼ 2: Light alloys, cast and wrought alloys

- 2.1: Aluminium and aluminium alloys
 - 2.1.1: Cast aluminium alloys
 - 2.1.2: Wrought aluminium alloys
- 2.2: Magnesium and magnesium alloys
 - 2.2.1: Cast magnesium alloys
 - 2.2.2: Wrought magnesium alloys
- 2.3: Titanium and titanium alloys

▼ 3: Heavy metals, cast and wrought alloys

- 3.1: Copper (e.g. copper amounts in cable harnesses)
- 3.2: Copper alloys
- 3.3: Zinc alloys
- 3.4: Nickel alloys
- 3.5: Lead

▼ 4: Special metals

- 4.1: Platinum / rhodium
- 4.2: Other special metals

▼ 5: Polymer materials

- 5.1: Thermoplastics
 - 5.1.a: filled Thermoplastics
 - 5.1.b: unfilled Thermoplastics
- 5.2: Thermoplastic elastomers
- 5.3: Elastomers / elastomeric compounds
- 5.4: Duromers
 - 5.4.1: Polyurethane
 - 5.4.2: Unsaturated polyester
 - 5.4.3: Other duromers
- 5.5: Polymeric compounds (e.g. inseparable laminated trim parts)
 - 5.5.1: Plastics (in polymeric compounds)
 - 5.5.2: Textiles (in polymeric compounds)

▼ 6: Process polymers

- 6.1: Lacquers
- 6.2: Adhesives, sealants
- 6.3: Underseal

▼ 7: Other materials and material compounds (scope of mixture)

- 7.1: Modified organic natural materials (e.g. leather, wood, cardboard, cotton fleece)
- 7.2: Ceramics / glass
- 7.3: Other compounds (e.g. friction linings)

▼ 8: Electronics / electrics

- 8.1: Electronics (e.g. pc boards, displays)
- 8.2: Electrics

▼ 9: Fuels and auxiliary means

- 9.1: Fuels
- 9.2: Lubricants
- 9.3: Brake fluid
- 9.4: Coolant / other glycols
- 9.5: Refrigerant
- 9.6: Washing water, battery acids
- 9.7: Preservative
- 9.8: Other fuels and auxiliary means

選択した材料分類に該当する分類が、別の材料分類リストでも見つかりました。このチェックボックスにチェックを入れている場合、CDXは自動的にこの材料分類を追加することができます。

◀ 前へ ▶ 次へ ✓ 適用 ⌂ キャンセル

この画面から適切な分類を選択し、 適用 をクリックします。

他の利用可能な分類（ISO22628、JAMP、AD-DSL、IEC62474 または ECHA 材料/混合物）のいずれかを選択すると、異なるメニューが表示されます。

CDX - Compliance Data Exchange

Classification

Classification JAMP

- M-100: Stainless steel
- M-119: Other ferrous alloys, non-stainless steels
- M-120: Aluminium and its alloys
- M-121: Copper and its alloys
- M-122: Magnesium and its alloys
- M-123: Nickel and its alloys
- M-124: Zinc and its alloys
- M-125: Precious metals
- M-126: Lead and its alloys
- M-127: Sn-Pb solder
- M-128: Lead-free solder
- M-129: Gold
- M-130: Platinum
- M-149: Other non-ferrous metals and alloys
- M-150: Ceramics
- M-151: Glass
- M-199: Other inorganic materials
- M-200: PolyVinylChloride (PVC)

CDX - Compliance Data Exchange

Classification

Classification ISO22628

- ▼ **Metals**
 - Steel and iron materials
 - Special metals
 - Heavy metals, cast and wrought alloys
 - Light alloys, cast and wrought alloys
- ▼ **Polymer (excluding Elastomer)**
 - Process polymers
 - Polymer (excluding Elastomer)
 - Others (compounds, electronics, electrics)
- Elastomers
- Glass
- Fluids
- Modified organic natural materials (MONM)

Classification

Classification AD-DSL

- TF001: Ablative
- TF002: Abrasive
- TF003: Absorbent
- TF004: Adhesion promotior
- TF005: Adsorbent
- TF006: Aerating and deaerating agents
- TF007: Antiadhesive
- TF008: Alloying element
- TF009: Anticalking agent
- TF010: Anticondensation agent
- TF011: Antifreeze agent
- TF012: Antioxidant
- TF013: Antiredeposition agent
- TF014: Anti scaling agent
- TF015: Antistain agent
- TF016: Antistatic agent
- TF017: Antistreaking agent
- TF018: Barrier (Sealant)

Classification

Classification IEC62474

- ▼ **1: Inorganic materials**
 - ▷ M-10: Steels and ferrous materials
 - ▷ M-12: Non-ferrous metals and alloys
 - ▷ M-15: Precious metals
 - ▷ M-16: Non-metallic inorganic materials
 - ▷ M-19: Other inorganics
- ▼ **2: Organic materials**
 - ▷ M-20: Unfilled thermoplastics resin
 - ▷ M-25: Filled thermoplastics resin
 - ▷ M-30: Duromers
 - ▷ M-32: Elastomers
 - ▷ M-34: Natural materials
 - ▷ M-39: Other organics
- ▼ **3: Materials for product operation**
 - ▷ M-40: Materials for product operation

Classification

Classification ECHA Materials

- ▼ **metal**
 - ▽ 66369: iron (and alloys of, except steel)
 - 66370: iron, not alloyed
 - 66371: ferro-alloy containing copper, except steel
 - 66372: ferro-alloy containing tin, except steel
 - 66373: other ferro-alloy, except steel
- ▽ 66374: steel
 - 66375: carbon steel (non-alloyed steel)
 - 66376: stainless steel
 - 66377: alloy steel (except stainless steel)
 - 66378: containing copper
 - 66379: containing tin
- ▼ **plastic (and polymers)**
 - 66485: polyethylene, low density (ldpe)
 - 66486: polyethylene, high density (hdpe)
 - 66487: polypropylene (pp)

Classification

Classification ECHA Mixtures (EUPCS)

- ▼ **F: Mixtures for further formulation**
 - ▼ **P: Products**
 - ▼ **PC: Chemical products (excludes biocidal products)**
 - ▼ **PC-ADH: Adhesives and sealants**
 - PC-ADH-1: Adhesives and sealants - househ
 - PC-ADH-2: Adhesives and sealants - building
 - PC-ADH-3: Adhesives and sealants - footwea
 - PC-ADH-4: Adhesives and sealants - paper a
 - PC-ADH-5: Adhesives and sealants - transpor
 - PC-ADH-6: Adhesives and sealants - woodw
 - PC-ADH-7: Adhesives and sealants - assembl
 - PC-ADH-8: Multi-component adhesives and s
 - PC-ADH-OTH: Other adhesives and sealants
 - ▼ **PC-AIR: Air care products**
 - PC-AIR-1: Air care products for indoor rooms

AD-DSL オプションには、材料に追加する IPC1754 使用記述子がすべて含まれています。希望する分類をハイライトして、 適用 をクリックします。

同一のデータシート上に全ての材料分類を入力することができます。選択した材料分類にマッピングされている別の材料分類リストに材料分類がある場合は、リストの下にあるチェックボックスを選択し、「次へ」で該当する材料分類を選択し、「適用」ですべての材料分類を材料分類リストに追加することができます。

CDX - Compliance Data Exchange

Classification

Further mapping classifications are available in another classifications list. Please select the classification to add additionally.

Primary Classification IMDS Primary Classification IMDS
Mapped Classification JAMP Mapped Classification ISO22628

M-120: Aluminium and its alloys	Light alloys, cast and wrought alloys
--	--

A classification that maps to the selected one was found in another classification list. CDX can add this classification automatically when this checkbox is selected.

Classifications

	Classification
<input type="button" value="List"/>	<input type="button" value="Classification"/>
JAMP	M-120: Aluminium and its alloys
IMDS	2.1.1: Cast aluminium alloys
ISO22628	Light alloys, cast and wrought alloys

材料情報

一部の業界では、標準材料情報が含まれる必要があります。ほとんどの材料には、いずれか1つが含まれます。両方とも含まれることはありません:

▼ 材料情報

項目名	詳細	入力必須かどうか
標準材料コード	主に金属の場合 - 一般的に UNS または他の番号体系で金属材料の構成を一意に表す記号を入力します。材料の構成の代わりに、多くの標準材料規格で詳細が定義されています。	業界と材料分類による
材料記号	主に樹脂材料の場合 - ISO で定められている記号を入力します。	業界と材料分類による

公的材料規格

標準材料番号とは異なり、公的材料規格は材料の性質を参照し、100%の物質情報を表すものではありません。この情報が必要かどうかは、業界と分類に依存しています。

公的材料規格

企業	材料規格	材料規格 下

公的材料規格を入力する場合は、上の画面に表示されている  のボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます:

CDX - Compliance Data Exchange

公的材料規格/OEM材料規格の追加

企業

公的材料規格

材料規格

材料規格コード

ABS - American Bureau of Shipping

AISI - American Iron and Steel Institute

AMS - Aerospace Material Specifications

API - American Petroleum Institute

AS - Australian Standard

AS/NZS - Australian / New Zealand Standard

ASME - American Society of Mechanical Engineers

ASN - Czech public norm

ASTM - American Society for Testing and Materials

BS - British Standard

CDA - The Copper Development Association

CSN - Czech state norm

DIN - Deutsche Industrie Norm, published by Deutsches Institut fuer Normung (German standards agency)

DIN EN - Deutsche Industrie Norm / European Norm

EN - European Standard, published by CEN (European Committee for Standardisation)

EN ISO - European Norm / International Organisation for Standardisation

GB - China National Standard

GL-Vorschrift - German Lloyd / Rules for Classification and Construction of Seagoing Ship

GOST - Russian Standard

GOST-R - Russian Standard

IEC - International Electronic Committee

IEEE - Institute for Electrical and Electronical Engineering

IPC - Institute of Printed Circuits

IRAM - Instituto Argentino de Normalización y Certificación

IS - Indian Standard

ISO - International Standards Organization

JAMA - Japan Automobile Manufacturing Association

次に、表示される画面で規格を選択すると元の画面に戻り、コードを（必須）を入力します：

CDX - Compliance Data Exchange

公的材料規格 OEM材料規格 の追加

企業 公的材料規格 ▼

材料規格 ISO - International Standards Organization ▼

材料規格コード

 追加  キャンセル

備考

取引先の要求により、ユーザーはこの欄に SDS が必要かどうかを申告することができます。（例：材料中に、液体、スプレー、潤滑油やグリースが含まれるような場合）

この項目には材料についての補足を自由な文字列（半角英数字）で入力することができます。“This is only a guess and we do not stand behind this declaration” のような例は有用ではなく、かつ望ましくありません。この項目は任意です。

添付

ユーザーはここで添付ファイルと、データシート中のそれについてのショートメッセージを追加することができます。以下のファイルフォーマットがアップロード可能です：xls, xlsx, doc, docx, pdf, zip。ユーザーは1個当たりのサイズが10MBまでのファイルを最大5個までアップロードすることができますが、合計サイズは20MBを上限とします。

ファイルの追加 と **削除** ボタンを使用してファイルの添付や削除を行うことができます。

ドキュメントを追加すると、新しいウインドウが開き、追加したいファイルを参照して、選択可能なタイプのリストからドキュメントタイプを指定するように求められます。デフォルト値は「その他」で、安全使用説明書(SUI)、安全データシート、インポートソース、およびドキュメントタイプに応じたレポートが利用可能です。必要に応じて追加情報を入力し、 **適用** をクリックしてこのステップを終了します。

システムアップロード中にファイルはウイルススキャンされます。ウイルスが発見された場合は、直ちにユーザーに通知されます。

Where used

この領域は、新しく作成されたデータシートでは常に空です。MDSツリー構造で（自社、承認済み、または公開）データシートが参照されるとすぐに、このエリアには、選択されたデータシート（ノード）が最初のツリーレベルで直接使用されている、すべてのユーザー自身のデータシート（現在開いているものを除く）が表示されます。参照されたノードが使用しているデータシートは、その名称、部品番号、ID / バージョン、および量 / 質量 /

パーセンテージに関する情報と共に表示されます。

Where used

View Export

Name	Number	ID / Version	Amount / Weight / Percent
Nothing found to display.			
			Total records found 0

構成情報の追加

材料についての基本情報を入力したら、その材料の構成情報を追加します。

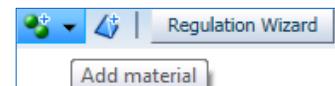
構成情報を作成するには2つの方法があります：

- 右上部にある“Add Material” や “Add a Substance reference” ボタンを使用する または
- そばの規制ウィザードを使用する（ボッシュ社の取引先はこちらを推奨されています）

最初の方法は好ましい方法として以下に記載されています。規制ウィザードについてはその後に説明します。

左側のツリー構造で材料を選択して右クリックすると、材料または化学物質の追加オプションのみが表示されます。

参照というのは、検索の結果添付される別のデータシートや化学物質にデータシートがリンクされることを意味します。ノードというのは、この構造が現在このデータシートでのみ使用可能で、ほかの構造に追加できないことを意味します。



化学物質の追加

材料作成の場合、ツールバーの  ボタンから化学物質を追加することができます。いくつかの条件を加えることで検索結果を制限することができます。（例：特別な物質グループやリストに含まれる物質のみを検索する）ユーザーは“グローバル化学物質リスト”かまたは“企業固有化学物質リスト”の中で検索を行うことができます。以下の画面は、ベーシックポリマーのグループから検索した画面です：

CDX - Compliance Data Exchange

検索条件

CAS No.	<input type="text"/>	化学物質グループ一覧 Global Substance Lists	<input type="button" value="▼"/>
名称/別名	<input type="text"/>		
EU-Index	<input type="text"/>		
Einecs-No.	<input type="text"/>		

検索

名称	CAS No.	EU-Index	Einecs-No.	ノード ID	別名
AAMS	-	-	-	9079	Basic Polymer: AAMS
AASMS	-	-	-	9157	Basic Polymer: AASMS
AB	-	-	-	31261	Basic Polymer: AB
ABAK	-	-	-	4554	Basic Polymer: ABAK
ABMAMOL	-	-	-	8188	Basic Polymer: ABMAMOL
ABS	-	-	-	4555	Basic Polymer: ABS
ABS+ASA	-	-	-	5104	Basic Polymer: ABS+ASA
ABS+PA6	-	-	-	5105	Basic Polymer: ABS+PA6
ABS+PBT	-	-	-	6707	Basic Polymer: ABS+PBT
ABS+PBT-I	-	-	-	6713	Basic Polymer: ABS+PBT-I
ABS+PC	-	-	-	8808	Basic Polymer: ABS+PC
ACS	-	-	-	4556	Basic Polymer: ACS
AEPDS	-	-	-	4557	Basic Polymer: AEPDS
AES	-	-	-	5285	Basic Polymer: AES
ΔMMA	-	-	-	4558	Basic Polymer: ΔMMA

Menu 見つかったデータ 469

適用 キャンセル

CDX - Compliance Data Exchange

Search Criteria

CAS No.	<input type="text"/>	ECHA Substance ID	<input type="text"/>
Name/Synonym	<input type="text"/>	ECHA Substance Name	<input type="text"/>
EU-Index	<input type="text"/>	ECHA Iupac Name	<input type="text"/>
Einecs-No.	<input type="text"/>	ECHA CAS Name	<input type="text"/>
Basic Substance group/list	<input type="text" value="Global basic Substance Lists"/>		
<input type="text"/> <input type="button" value="Search"/>			

View

Name	CAS No.	EU-Index	Einecs-No.	Node ID	Synonym
1,2,3-Tribromo-3,3-difluoropropane	666-25-1	-	-	29987	-
1,2,3-Trichlorobenzene	87-61-6	-	201-757-1	7238	Benzene, 1,2,3-trichloro-
1,2,3-Trichloropropane	96-18-4	602-062-00-X	202-486-1	65	-
1,2,3-Trideoxy-4,6,5,7-bis-O-((4-propylphenyl)methylene)-nonitol	882073-43-0	-	-	34508	-
1,2,3-trifluoro-5-[4-(4-pentylcyclohexyl)phenyl]benzene	137019-95-5	-	603-995-5	46290	1,1'-Biphenyl, 3,4,5-trifluoro-4'-(trans-4-pentylcyclohexyl)-
1,2,3-Trimethylbenzene	526-73-8	-	208-394-8	64	Hemellitol
1,2,3-Trithian-5-amine, N,N-dimethyl	31895-21-3	-	-	2334	SAN
Propane, 1,2,3-trichloro-1,1,2,3,3-pentafluoro-	76-17-5	-	-	6369	1,2,3-Trichloropentafluoropropane

Total records found 8

適切な化学物質が見つかり、行をクリックするとその行に色が付きます。その状態で  適用 をクリックします。画面の左側では、追加された化学物質に色がついた状態になり、右側にはその詳細が表示されます。以下の図はそのサンプルです:

Details

Common Information

Type Basic Substance
 SCIP Number
 CAS No. 96-18-4
 EINECS-No. 202-486-1
 EU-Index 602-062-00-X
 ECHA Substance ID 100.002.261
 ECHA Substance Name 1,2,3-trichloropropane
 ECHA Iupac Name 1,2,3-trichloropropane
 ECHA CAS Name Propane, 1,2,3-trichloro-
 Confidential

Name(s)
 Name(s) 1,2,3-Trichloropropane

Identifier(s)

Amounts and Weights
 Portion 0.15 %

Basic Substance group/list

Process Chemical

以下の表に各項目の詳細を説明します:

項目名	説明	入力必須かどうか
タイプ	そのノードのタイプを表します。化学物質、材料、セミコンポーネント、コンポーネントのいずれかです。	該当なし
名称	その化学物質の名称(別名)を表します。この名称は IMDS に登録されている化学物質リストと同じです。	該当なし
CAS No.	その化学物質の CAS.No(Chemical Abstract Number)です。IMDS に登録されている化学物質リストと同じです。	該当なし
Einecs-No.	その化学物質の Einecs-No.です。 IMDS に登録されている化学物質リストと同じです。	該当なし
EU-Index	その化学物質の EU-Index 番号です。IMDS に登録されている化学物質リストと同じです。	該当なし
ECHA 物質 ID	その化学物質の ECHA 物質 ID です。	該当なし
ECHA 物質名称	その化学物質の ECHA 物質 ID 名称です。	該当なし
ECHA Iupac 名称	その化学物質の ECHA Iupac 名称です。	該当なし

項目名	説明	入力必須かどうか
ECHA CAS 名称	その化学物質の ECHA CAS 名称です。	該当なし
機密扱い	チェックを付けると、その化学物質の閲覧が制限されます。化学物質が何か (ID や名称など) を知ることができるのは、同じ企業内か、トラストユーザーに指定されたユーザーのみです。	任意
含有率 / %	その化学物質が含まれている含有率で、「固定値」/「範囲値」/「残部」(システムが自動計算)の 3 種類あります。ジョーカー/ワイルドカードには「残部」を指定しないようしてください。	任意 / 100%の宣言に必要
化学物質グループ/リスト	その化学物質が、化学物質グループに含まれていた場合に、そのグループを表示させます。この情報は CDX に登録されている化学物質リストと同じです。	該当なし
プロセスケミカル	もしこの化学物質がプロセスケミカルに該当する場合、それを認識しており、それは反応残留物や不純物であるかを示す必要があります。	化学物質による

必要な情報を入力したら、ツリーのトップをクリックしてください。次に、今追加した化学物質と同一階層（同じ親ノードを持つ兄弟の位置）に材料を追加します。（ただしこれは一例であり、本来このような構成は推奨されません）。

既存の材料の追加（参照）

材料を追加するには、“参照”と“ノード”2つの方法があります。全てのデータシートを“参照”や“ノード”で追加するとき、どちらも結果は同じです。参照というのは、他のデータシートを検索し、自分のデータシートに追加することです。ノードというのは、自分で一からツリー構造を作っていくことです。

この場合、我々は公開材料を検索しました。検索の詳細については、このマニュアルの“[検索](#)”セクションを参照してください。

検索の結果、次のような材料を見つけました：



タイプ	名前	材料記号	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	ノード ID	サプライヤー
100 Cr 2	-	-	-	-	16945 / 1	16945	CDX Standard Materials
100 CrMo 5	-	-	-	-	16946 / 1	16946	CDX Standard Materials
100Cr2	-	1.3501	1.3501	-	12950 / 1	12950	CDX Standard Materials
100Cr6	-	1.3505	1.3505	-	12951 / 1	12951	CDX Standard Materials
100Cr6 (Ball and roller bearing steel)	-	-	-	-	25953 / 2	36169	CDX Standard Materials
100CrMoMoSiB8-4-6	-	1.3539	1.3539	-	12961 / 2	27618	CDX Standard Materials
100CrMoMoSiB8-4-6 (Ball and roller bearing steel)	-	-	-	-	25960 / 2	36176	CDX Standard Materials
100CrMnSiH4	-	1.3518	1.3518	-	16021 / 1	16021	CDX Standard Materials
100CrMnSiH4 (Ball and roller bearing steel)	-	-	-	-	25954 / 2	36170	CDX Standard Materials
100CrMnSi6-4	-	1.3519	1.3519	-	16022 / 1	16022	CDX Standard Materials

 **適用** をクリックします：

この左側のツリー構造が変わったので、ご注意ください。そして、右側は左側で選択されたノード"101Cr6"の構成情報です。

構成情報タブの右側については、前の章でほとんど説明しましたが、その他にリサイクル情報という項目があります。「材料にリサイクル材が含まれますか?」という項目で「はい」を選択すると、以降の項目が入力可能になります:

プレコンシューマリサイクル材の割合(ISO 14021参照)			
プレコンシューマリサイクル材は、製造工程における廃棄物の流れから取り出された材料です。その発生と同一の工程で再使用できる加工不適合品、研磨不適合品、スクラップなどの再利用を除きます。			
0.0	-	0.0	%

ポストコンシューマリサイクル材の割合(ISO 14021参照)			
ポストコンシューマリサイクル材は、家庭から排出される材料、または製品のエンドユーザーとしての廃棄物、工業廃棄物及び各種廃棄物から本物の目的のためにもはや使用できなくなった製品として発生する材料です。これらには、流通経路から廃棄される材料も含まれます。			
0.0	-	0.0	%

リサイクル情報とは言い換えるとリサイクル材の含有です。世界の多くの地域では、材料にある量のリサイクル材を含めることを求めています。またそれ以外の地域でも、ある閾値以上のリサイクル材が使われていた場合は、奨励金が支払われることもあります。

プレコンシューマリサイクル材は、製造工程で排出された材料からのリサイクル材、ポストコンシューマリサイクル材は家庭から廃棄された材料からのリサイクル材です。これらの定義については他業界でも一般的に使われている ISO 14021 の定義を参照してください。リサイクル材を使用している場合は、この項目に入力することをお勧めします。

材料の追加-ノード

ツリー構造のトップを右クリックし、追加 > 材料 > ノードを選択しました。

以下の画面の右側は、前述と同じ構成情報が表示されています。

データシート検索 構成情報 * サプライヤーデータ * 送信先情報 * 分析 入力依頼

▼ フィルター 共通の規制 (フィルターなし) 検索 | フィルターリスト | 規制ウィザード

Material_2195968
ABAK
100Cr2
Material_2195970

詳細

共通情報 *
タイプ: 材料
Is Article:

名称
Identifier(s)

数量と質量
含有率: 固定値 %

材料分類
一覧 材料分類

材料情報
標準材料コード
材料記号

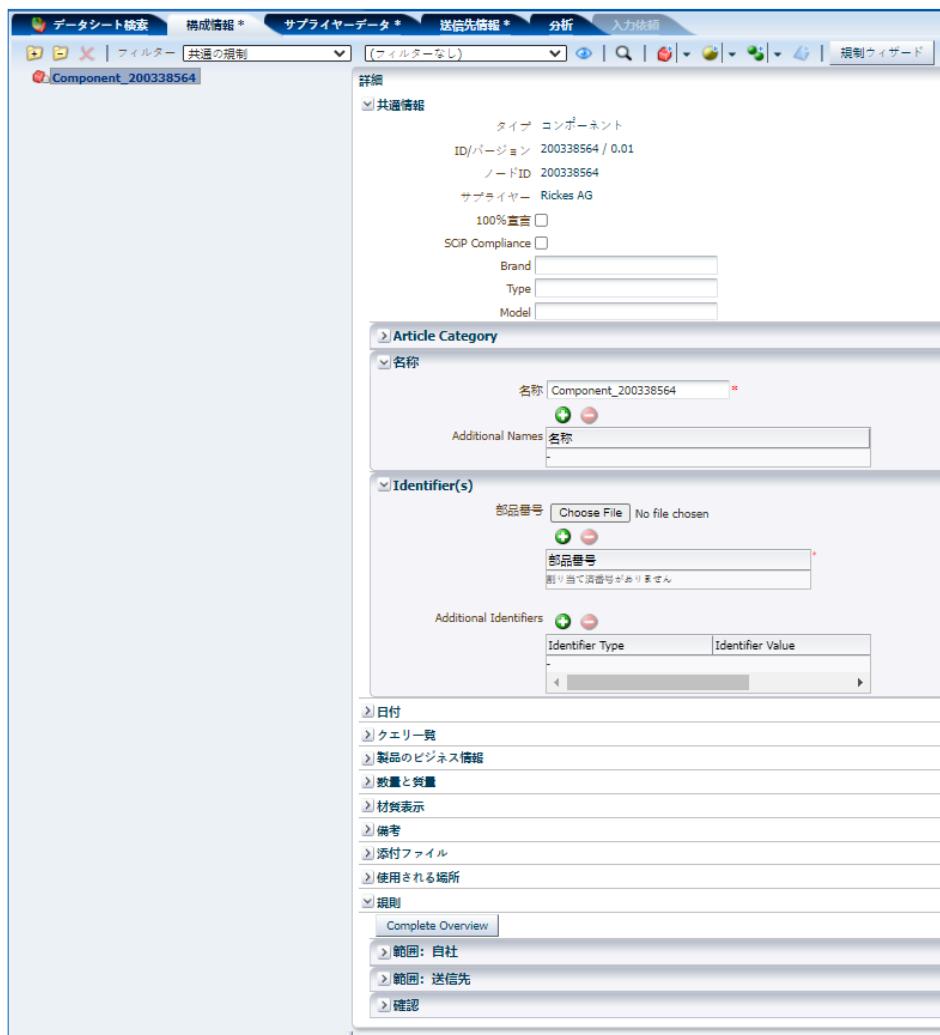
公的材料規格
公的材料規格
企業 材料規格 材料規格コード
...
0.0 - 0.0 %

リサイクル情報
材料にリサイクル材が含まれますか。
プレコンシューマリサイクル材料の割合(ISO 14021参照)
プレコンシューマリサイクル材料は、製造工程における廃棄物の流れから取り出されますか。
0.0 - 0.0 %

ポストコンシューマリサイクル材の割合(ISO 14021参照)
ポストコンシューマリサイクル材は、家庭から排出される材料、または製品のエンド-of-life材
0.0 - 0.0 %

コンポーネントの新規作成

もっとも使用されているデータシートのタイプはコンポーネントデータシートです。メニューから、もしくはツールバーの  ボタンからコンポーネントを新規作成することができます。新規作成 > コンポーネントを選択すると、以下の画面が表示されます。



Component_200338564

詳細

共通情報

タイプ コンポーネント
ID/バージョン 200338564 / 0.01
ノードID 200338564
サプライヤー Rickes AG
100%宣言
SCIP Compliance
Brand
Type
Model

Article Category

名称

名称 Component_200338564  
Additional Names

Identifier(s)

部品番号 Choose File No file chosen
 
部品番号
取り扱い番号がありません

Additional Identifiers  

Identifier Type	Identifier Value
<input type="text"/>	<input type="text"/>

日付

クエリー

製品のビジネス情報

数量と質量

材質表示

備考

添付ファイル

使用される場所

規則

Complete Overview

範囲: 自社

範囲: 送信先

確認

初期の名称を意味のある名称に変更することを忘れないでください。部分申告や全申告の場合、質量は入力必須項目となります。

構成情報の詳細をご覧ください:



詳細

共通情報 *

タイプ コンポーネント
ID/バージョン 200338564 / 0.01
ノードID 200338564
サプライヤー Rickes AG
100%宣言
SCIP Compliance
Brand
Type
Model

新しいフィールドの定義は以下の表のとおりです。

項目名	説明	必須かどうか
ブランド	製品の公開ブランド名	任意
タイプ	製品の公開タイプ	任意
モデル	製品の公開モデル名	任意
Article Category	Article Category は、データシートを SCIP データベース にエクスポートするための前提条件です。虫眼鏡をクリックして、Article Category を検索することができます。ヘルプボタンには詳細情報へのリンクがあります。	任意 / SCIP 報告の場合は、はい
サブコンポーネントのためのデフォルトの Article Category	このフィールドの値は、コンポーネントノード内の子項目(存在しない場合)の Article Category フィールドのデフォルト値を表します。虫眼鏡をクリックして、デフォルトの Article Category を検索することができます。	任意 / SCIP 報告の場合は、はい

新項目-製品のビジネス情報/ 数量と質量/ 材質表示

大部分の項目の内容は材料と同じです。新項目は以下の図で強調されています：

The screenshot shows a form with three main sections highlighted in blue:

- 製品のビジネス情報** (Product Business Information):
 - 製品グループ (Product Group): Text input field.
 - データシート改訂 (Data Sheet Revision): Text input field.
 - 製造国 (Manufacturing Country): A dropdown menu with the placeholder "国を選択してください..." (Please select a country).
 - 製造拠点 (Manufacturing Facility): Text input field.
- 数量と質量** (Quantity and Quality):
 - 部品質量 (Part Weight): Text input field with unit selection (g, kg, oz, lb, etc.).
 - 質量公差 +/- (Tolerance): Text input field with unit selection (%).
 - 部品質量(自動計算値) (Automated Calculation Value): Text input field.
 - 自動計算値との差 (Difference from Automated Calculation Value): Text input field.
- 材質表示** (Material Representation):
 - 法律で義務付けられている (Required by law): A checkbox.
 - 樹脂・ゴム製部品への材質表示 (Material representation for resin/rubber parts): A checkbox.

以下の表に各項目の定義を説明します：

項目名	説明	必須かどうか
製品グループ	これは、製品のグループ化のための任意の記述子です。IPC1754 規格の一部です。	任意
MDS リビジョン	このフィールドは、IPC1754 規格の一部として任意のリビジョン記述子を記述します。	任意
製造国	製品が製造されている国を選択してください。	任意
製造拠点	IPC1754 規格の一部である製造拠点の任意の名称。	任意
部品質量	これは、コンポーネントの記述重量(図面重量)です。- 部分申告と全申告の際に必要となります。1 レベル申告の場合は、質量情報が不足しているという状況とこれは入力されるべきであるという情報がデータチェックルーチンによって提供されます。	任意 / はい
質量公差 +/-	これは主に子ノードから値を修正するために使用されます。一部の人は、図面上の公差のためにこれで値を制限します。しかし、それはこの項目の目的ではありません。	任意
部品質量(自動計算値)	システムから自動生成されます。親ノードの全ての子ノードの測定された重量の合計です。ツリー構造全体の重量ではなく、直接の子ノードの重量のみを意味します。	該当なし
自動計算値との差	システムから自動生成されます。- アイテムごとに測定された重量(明記重量)と項目ごとに算出した重量の差の百分率。	該当なし

項目名	説明	必須かどうか
法律による義務付け	これは部品が法律に基づいてリサイクルするためのマークをする必要があるかどうかをはい/いいえで示しています。	業界による
樹脂・ゴム製部品への材質表示	法律により答えが義務付けられている場合、このボックスで入力ください。	業界による

トップノードのデータを入力すると（もしトップノードにて 100%宣言するチェックボックスを入れたら、追加の部品の全ても 100%宣言する必要があります。そうしないと、エラーが出ることになります。）他の構成情報などを追加することができます。この時点で、全てのオプションが利用可能であることがわかります。



新項目—規制

この項目は部品データシートにのみ有効で、全ての単独の部品ノード毎に全ての構成情報についての概要を与えるものになります。それは指定された規制（REACH, RoHS, ELV, バッテリー, パッケージング やその他）に含まれています。“確認”セクション内で、ユーザーは自身の部品が規制に従っていて、全ての関連データを提供しているかどうかを記載することができます。全てのデータシートにこの確認がなされた後、ドロップダウンメニューが最上位のノードにのみ表示されます。この“規制”項目を使用することはいくつかのサプライヤーにとって必須となっています（“企業固有エンハンスメント”章を参照）。他のデータシート提供社にとって、この項目は顧客と事前の合意のもとに使用されることが推奨されています。

部品中の子ノードがない場合、規制項目は空となります。構成の追加に進み、後で改めて規制項目を確認しましょう。

Regulations

Complete Overview

- REACH
- RoHS
- ELV
- Batteries
- Packaging
- Other

Confirmation

Regulation	Regulation complied?	Relevant data provided?
REACH SVHC	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RoHS	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ELV	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
GADSL	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Batteries	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Packaging	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
IMO	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
REACH Annex XIV	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
REACH Annex XVII	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RoHS Future	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>



構成情報の追加

このセクションでは、タイプ別で様々な構成情報を追加することについて説明します。

規制ウィザードを使用して構成情報を追加すること（ボッシュ社の取引先に推奨されている）も可能ですが、これについては後ほど説明することになります。

コンポーネントの追加- 参照

コンポーネントのアイコンをクリックすると、二つの選択肢が選べます：

まず参照で既存のコンポーネントを検索します。もし画面の右の詳細の中の 100%宣言にチェックを入れたら、全て子ノードも 100%宣言にチェックを入れなければなりませんので、ご注意ください。

下記の例では、サプライヤーから提供された既存のコンポーネントを探し出して、そして追加しました：

データシート検索 構成情報* サプライヤーデータ* 送信先情報* 分析 入力候補

△ Component_200338564
△ Electronic component

詳細

共通情報

タイプ: コンポーネント
ID/バージョン: 1030835 / 2
ノードID: 1030835
サプライヤー: Rickes AG
100%宣言:
Brand
Type
Model

Article Category

名称
Identifier(s)
日付
クエリー観
製品のビジネス情報
数量と質量
材質表示
備考
添付ファイル
使用される場所
規則
範囲: 自社
範囲: 送信先
確認

構成情報の詳細をご覧ください:

詳細

共通情報

タイプ: コンポーネント
ID/バージョン: 1007222 / 2
ノードID: 1109184
サプライヤー: Rickes AG
100%宣言:
SCIP Number
Brand
Type
Model

Article Category

名称
Identifier(s)
日付
クエリー観
製品のビジネス情報
数量と質量

数量:
部品質量: 20.0 g
質量公差: +/-
部品質量(自動計算値): 20.0 g
自动生成値との差: 0.0%

材質表示
備考
添付ファイル
使用される場所
規則

範囲: 自社

California Proposition 65

	名称	CAS No.	日付	D/P	制限値/制限条件	しきい値	エントリ	含有率	質量	材料	免除
	1,2,3-Trichlor...	96-18-4		D	0.01	0.001%		3.0 %	0.6	REACH Mat...	
	Potassium-dic...	7778-50-9		D	0.01	0.001%		2.0 %	0.4	REACH Mat...	
	Tris(2-chloroe...	115-96-8		D	0.01	0.001%		5.5 %	1.1	REACH Mat...	

REACH規制

REACH Candidate List
バージョン: 17, 有効期間開始日: 12/03/2020 - 有効期間終了日:

	名称	CAS No.	日付	D/P	制限値/制限条件	しきい値	エントリ	含有率	質量	材料
	1,2,3-Trichlor...	96-18-4		D	0.1%	0.1%	E2011	3.0 %	0.6	REACH Mat...
	Potassium-dic...	7778-50-9		D	0.1%	0.1%	E2010	2.0 %	0.4	REACH Mat...
	Tris(2-chloroe...	115-96-8		D	0.1%	0.1%	E2010	5.5 %	1.1	REACH Mat...

RoHS

バージョン: 17, 有効期間開始日: 01/11/2021 - 有効期間終了日: 01/18/2021
この規制は、送信先企業にも適用されます: [679, SAP-Customer SubOrg]
EC適合宣言書が添付されています:
RoHSに関するメーカーの声明が添付されています:

	名称	CAS No.	日付	D/P	制限値/制限条件	しきい値	エントリ	含有率	質量	材料	免除
	Potassium-dic...	7778-50-9		P	0.1%	0.1%		2.0 %	0.4	REACH Mat...	

範囲: 送信先
確認

構成情報の中の共通情報、日付、材質表示や備考などのタブは既に説明しました。”数量と質量”についてはこれから説明します。

部品質量、質量公差+/-、部品質量（自動計算値）、自動計算値との差などの項目は前のセクションで説明しました。ここで入力する必要があるのは、組み立てるためにこのコンポーネントを利用する数量です。

数量と質量

数量

部品質量 0.8 kg

質量公差 +/- 1.0%

部品質量(自動計算値) 0.8 kg

自動計算値との差 0.0%

CDX では、数量かける部品質量でアッセンブリの重さを計算します。この例では、数量を 10 で入れていて、部品質量は 800g (0.8 kg) でトップノードには以下の結果が得られます：

数量と質量

部品質量

質量公差 +/- %

部品質量(自動計算値) 8000.0 g

自動計算値との差 -20.0%

自動計算値との差は 20% にご注意ください。 (部品質量 (自動計算値) / 部品質量)

規制情報のエリアでは、部品の追加の際には以下の情報が表示されます：

MDS Search Ingredients Supplier data Recipient data Analysis MDS Request

Filter Common Regulations (No Filter) Regulation Wizard

Regulations Scope: own company

AD-DSL Batteries Version: 1, Valid From: - Valid To: 12/23/2019

Name	CAS No.	Date	D/P	Limit value / Rest	Threshold	Entry	Portion	Weight	Material	Exemption
C.I. Pigment...	12656-57-4	P	0.002%	0.002%	E2009	1.25 %	10.0	MaterialMix		
Cadmium silic...	13477-19-5	P			E2009	1.25 %	10.0	MaterialMix		

IMO REACH REACH Candidate List Version: 1, Valid From: 10/31/2018 - Valid To:

Name	CAS No.	Date	D/P	Limit value / Restriction	Threshold	Entry	Portion	Weight	Material	Exemption
1,2,3-Trichlor...	96-18-4	D	0,1, however prohibi...	0.1%	E2011	0.875 ...	7.0	MaterialMix		
Lead chromate	7758-97-6	D	0,1, however prohibi...	0.1%	E2010	2.5 %	20.0	MaterialMix		
Tris(2-chloroethyl) pho...	115-96-8	D	0,1, however prohibi...	0.1%	E2010	5.5 %	44.0	MaterialMix		

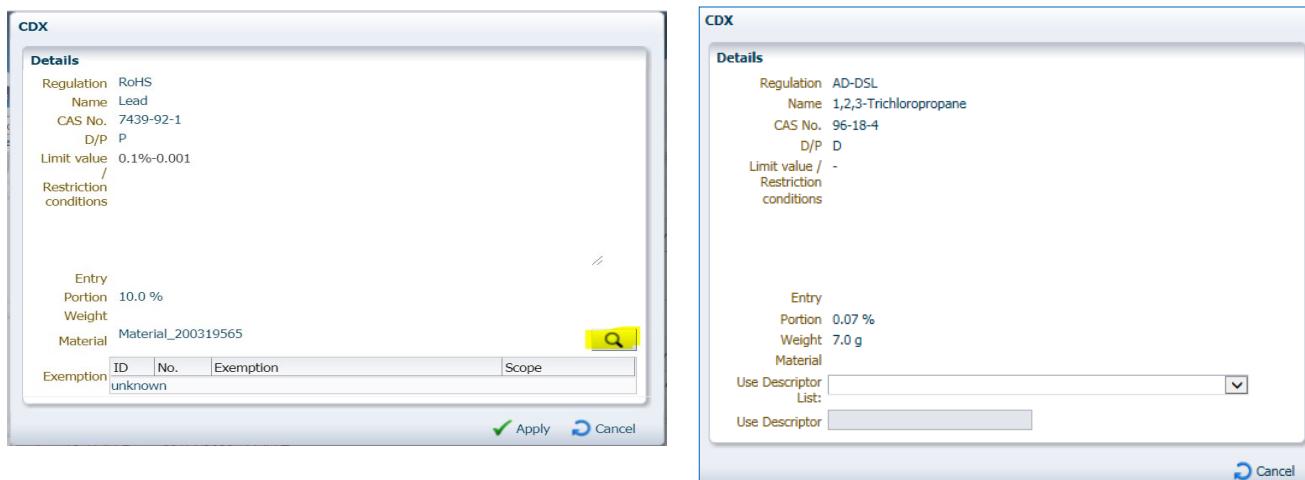
REACH Annex XIV Version: 1, Valid From: - Valid To:

Name	CAS No.	No.	Date	D/P	Limit value / Re	Threshold	Entry	Portion	Weight	Material
Asbestos, unspecified	1332-21-4							1.25 %	10.0	MaterialMix
Lead chromate	7758-97-6	10	5/21/2015	P				2.5 %	20.0	MaterialMix
Tris(2-chloroethyl) pho...	115-96-8	13	8/21/2015	P				5.5 %	44.0	MaterialMix

ツリー構造の各コンポーネントノードに対して、その規制に関連する全ての化学物質が、名称、CAS No.、D/P(要申告/禁止)、制限値/規制条件、Entry、一部、質量、それが含まれている材料のような付加情報と一緒に、それぞれの規制エリアにリストアップされています。特定の成分の下で複数回発生している化学物質は、単数回発生している化学物質のリストを折りたたんで集計して表示します。これにより、例えば、ある化学物質がある成形品の下で全く報告されていないかどうかを、集合体を表示して最初に識別し、次にその化学物質を使用している材料を深く掘り下げて識別し、可能性のある改善シナリオを決定することができます。

一部の規制については、適用除外または IPC1754 使用記述子が必要であり、対応フィールドで または ボタンをクリックするか、コンテキストメニュー（マウスの右クリック）を使用して編集することができます。

「unknown」のフィールドをダブルクリックすることで、除外項目を埋めることができます。



使用記述子については、関連するすべての使用記述子を含むドロップダウンリストを使用することができます。現時点では、これらの使用記述子は規制「AD-DSL」にのみ利用可能です。

不足している、または間違っている規制関連情報は、各ノードのツリー構造と同様に、規制テーブルの最初の列にシンボルで表示されます。そのようなシンボルの上にカーソルを移動すると、短い説明とともにツールチップが表示されます。

Name	CAS No.	Date	D/P	Limit value / Restrict	Threshold	Entry	Portion	Weight	Material	Exemption
1,2,3-Trichlor...	96-18-4	2/15/2019	P	0.0001	0.01%		0.875 ...	7.0	MaterialMix	
Asbestos, unspec...	1332-21-4	10/31/2018	E				1.25 %	10.0	MaterialMix	
Lead chromate	7758-97-6	2/15/2019	P	0.0001	0.01%		2.5 %	20.0	MaterialMix	
Tris(2-chloroethyl) phosphate	115-96-8	2/15/2019	P	0.0001	0.01%		5.5 %	44.0	MaterialMix	
C.I. Pigment...	12656-57-4						1.25 %	10.0	MaterialMix	

閾値とチェックは「数量/質量」セクションの平均値の表示とは違い、最悪のケースで計算されます。これは、化学物質が範囲として提供されている場合に、範囲の最大値が使用され、規制チェック用に表示されることを意味します（列「一部」と「質量」）。化学物質が「残部」として宣言されている場合、その他すべての化学物質の最小発生量の合計を使用して計算されます。これにより、すべての化学物質が単独で考慮される必要があるため、閾値ベースの化学物質量が100%を超過する状況になる可能性があります。「均質材料」範囲の規制（RoHSなど）に従う化学物質は材料ごとに表示され、計算されますが、「成形品」範囲の規制（REACH § 33など）に従う化学物質は直接参照された材料での発生によって集計され、これには矢印形状の拡大記号を使用した单一発生の追加リストも含まれます。

このコンポーネント/セミコンポーネントに発見がある場合、ツリー構造の親ノードには、一般的なアイコン「規制情報」(§)または(%)が使用されます。以下のシンボルは、ツリービューの化学物質ノードと規制詳細表の詳細情報に使用されます。

§ 記述子の使用は可能だが、設定はできない

% 化学物質に"P"(禁止)と表示されており、期限に達しているか、期限が設定されていません。

- 閾値以上の化学物質または閾値が設定されておらず、"除外されていない"化学物質
- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、除外設定が割り当てられている"除外"化学物質

 化学物質には"P"(禁止)と表示されており、期限に達していません。

- 閾値以上の化学物質または閾値が設定されておらず、"除外されていない"化学物質

 e 化学物質には"E"(除外)と表示されており、期限に達しているか、期限が設定されていません。

- 閾値以上の化学物質または閾値が設定されておらず、"除外されていない"化学物質
- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、除外設定が割り当てられている"除外"化学物質
- 化学物質に"P"(禁止)と表示されており、期限に達している、または期限が設定されていない
- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、"除外"だが、除外設定が割り当てられていない化学物質

化学物質に"P"(禁止)と表示されており、期限に達していません。

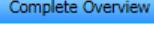
- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、除外設定が割り当てられている"除外"化学物質

e 化学物質には"E"と表示されており、期限に達していません。

- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、"除外されていない"化学物質
- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、除外されていると表示されているが、除外設定が割り当てられていない化学物質

化学物質には"P"と表示されており、期限に達していません。

- 閾値以上の化学物質、または閾値が設定されておらず、除外されていると表示されているが、除外設定が割り当てられていない化学物質

最上位の部品には、規制エリアの  ボタンをクリックすることで、以下の情報を伴って別画面が開き概要情報が提供されることになります：

CDX - Compliance Data Exchange											
Ingredients			Batteries and packaging			Confirmation					
Regulation	Constituent Node	Name	CAS No.	D/P	Limit value / Restrict	Threshold	Entry	Portion	Weight	Material	Exemption
ELV	Test_ELV_Lead	"Mercurous oxide"	-	P	0.1%-0.001	0.001	E2009			Material_200319565	
AD-DSL	Test_ELV_Lead	"Mercurous oxide"	-	E	-					Material_200319565	
RoHS	Test_ELV_Lead	"Mercurous oxide"	-	P	0.1%-0.001	0.001				Material_200319565	
AD-DSL	Test_ELV_Lead	Lead	7439-92-1	-						Material_200319565	
ELV	Test_ELV_Lead	Lead	7439-92-1	P	0.1%-0.001	0.001	E2009	10.0 %		Material_200319565	
RoHS	Test_ELV_Lead	Lead	7439-92-1	P	0.1%-0.001	0.001		10.0 %		Material_200319565	
Test_Conf_Reg	Test_ELV_Lead	Aldrin	309-00-2	P	-0.001	0.001				Material_200319565	
AD-DSL	Test_ELV_Lead	Aldrin	309-00-2	P	0.0001-0.0001	1.0E-4				Material_200319565	

構成タブ：物質関連の全ての規制が関連規制毎にリストされます。

また、アイコンをクリックすると、当該規制に関連して使用されている基本物質とその制限事項の詳細を示す新しいウィンドウが開き、例外の詳細を設定、閲覧することもできます。あるいは、プラスのアイコンをクリックする

同じウィンドウが開き、設定すべき例外がある場合は新しい例外を追加することができます。



バッテリーとパッケージングタブ: バッテリーとパッケージングに関する全ての物質がリストされます。

確認: 全ての関連データが提供された時に、対応された全ての規制が情報と伴いリストされます。

これらのタブの全ての情報は MS Excel ファイル形式にエクスポートすることができます。ユーザーがデータシート毎に作成したデータシートレポート中の詳細情報もエクスポート可能です。

これから他の構成情報を追加していきます。

コンポーネントの追加- ノード

ノードでコンポーネントを追加するとき、この構造はこのツリーにしか存在しないため、ほかのデータシートにて利用することができません。画面の右の詳細は親ノードの詳細の項目と似ています:

数量を追加する項目がありますが、備考欄はありません。一旦ここで情報を入力したら、子ノードの情報も追加する必要があります。

セミコンポーネントの追加- 参照

セミコンポーネントは、長さ、面積、または体積（: ワイヤー、ファブリックまたは金属素材、塗料）によって使用される製品を表すために利用します。コンポーネントの追加と似ていて、作り方は二つあります。- 参照かノード

まずは参照で、以下の画面のように、サプライヤーが作ったセミコンポーネントを検索し、使用しています:



画面の右側を見ると、以前にも見たことのある項目があります：



唯一の違いは”数量と質量”の領域です。セミコンポーネントの場合、質量の入れ方は二つがあります：

- 直接質量を入力します。
- CDX を利用して質量を計算します。 (利用するには、単位あたりの質量を入れる必要があります)

コンポーネントと同様に、質量を入力し、単位 (ミリグラム、グラム、キログラム、トン) を選択することができます。表示されている単位は、関係なく全ての質量はグラムで保存されます。CDX を使用し質量を計算するには、

自動計算ボタン  をクリックし、小さなウィンドウが開きます：

参照されたセミコンポーネントは、単位面積あたりによる質量が定義されています。したがって、どれほどの面積 (平方メートル) を使っているのを入力する必要があります。この例では、自動計算で 0.00025 を入力し、このとき、CDX がこの子ノードの質量を計算します。

親ノード (ツリーのトップ) を見ると、部品質量 (自動計算値) が増えましたが、まだトップノードの部品質量より少ないです：

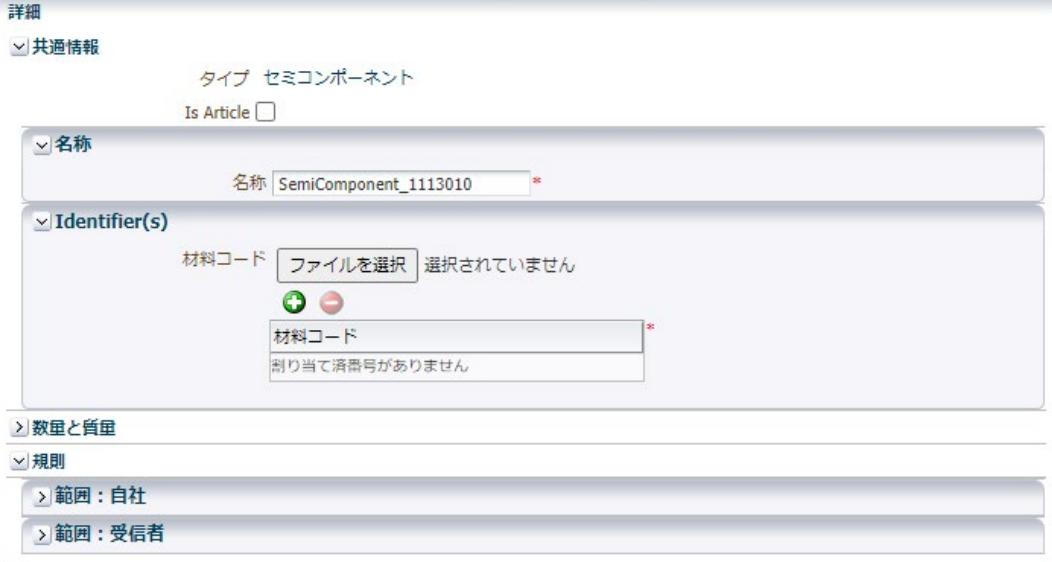


部品質量	10000.0	g	<input type="button" value="▼"/>
質量公差 +/-	<input type="text"/>		
部品質量(自動計算値)	8003.125 g		
自動計算値との差	-19.96875%		



セミコンポーネントの追加- ノード

ノードでセミコンポーネントを追加するとき、画面の右側には、限られた情報が必要とされます：



詳細

共通情報

タイプ セミコンポーネント

Is Article

名称

名称 SemiComponent_1113010 *

Identifier(s)

材料コード 選択されていません

材料コード *

割り当て済番号がありません

数量と質量

規則

範囲: 自社

範囲: 受信者

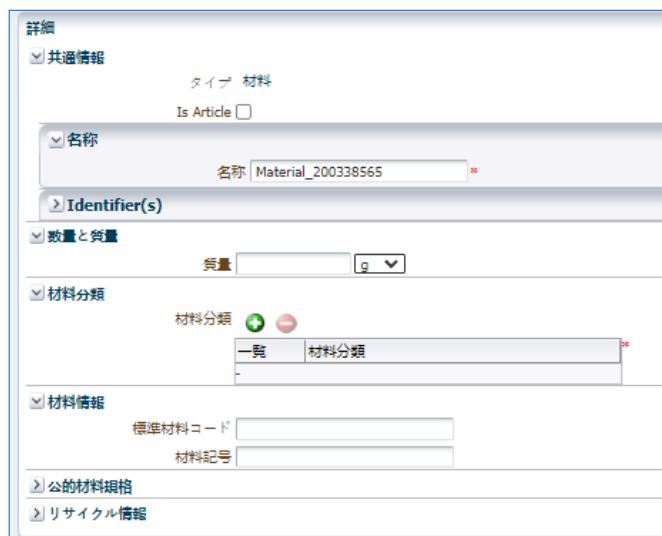
このセミコンポーネントはこのツリーにしか存在しないので、名称を変更し、重量を入力し、適切な測定値 (mg, g, kg, t) を選択し、規則を確認するだけです。さらに、セミコンポーネントが成形品である場合は、1 つ以上の部品番号や材料番号を追加したり、それぞれのボックスにチェックを入れたりすることができます。セミコンポーネントの "成形品" のフラグは、REACH § 33 の観点から成形品とみなされるセミコンポーネントを識別するためのものです。

もし、そのセミコンポーネントが "Is Article" のフラグが立っておらず、それがコンポーネント内で参照されている場合、そのセミコンポーネントは材料として扱われ、セミコンポーネントの規制範囲の項目はすべて上位レベルで考慮されます。フラグが設定されると、セミコンポーネントはコンポーネントとして扱われ、そのセミコンポーネント内の化学物質のすべての報告、分析、表示はそれに応じて扱われます。例えば、あるコンポーネントに材料とセミコンポーネントの両方が含まれていて、0.1%の閾値を定義している規制の下で、それぞれがコンポーネント重量の 0.05% の化学物質を保持している場合、そのコンポーネントは閾値を超えていたため、非適合とみなされま

す。もし、セミコンポーネントが"Is Article"のフラグが立っていた場合、その部品はその化学物質の 0.05%しか保有しておらず、適合状態は適合となります。セミコンポーネントに含まれるその化学物質の量に応じて、準拠または非準拠のどちらかになります。

材料の追加- 参照

参照で材料を追加する方法は既に紹介しましたが、コンポーネントでの参照は、画面の右側の詳細が若干変わります：



詳細

共通情報

タイプ 材料

Is Article

名称

名称 Material_200338565 *

Identifier(s)

数量と質量

Quantity g

Material Classification

Material Classification

Material Information

標準材料コード

材料記号

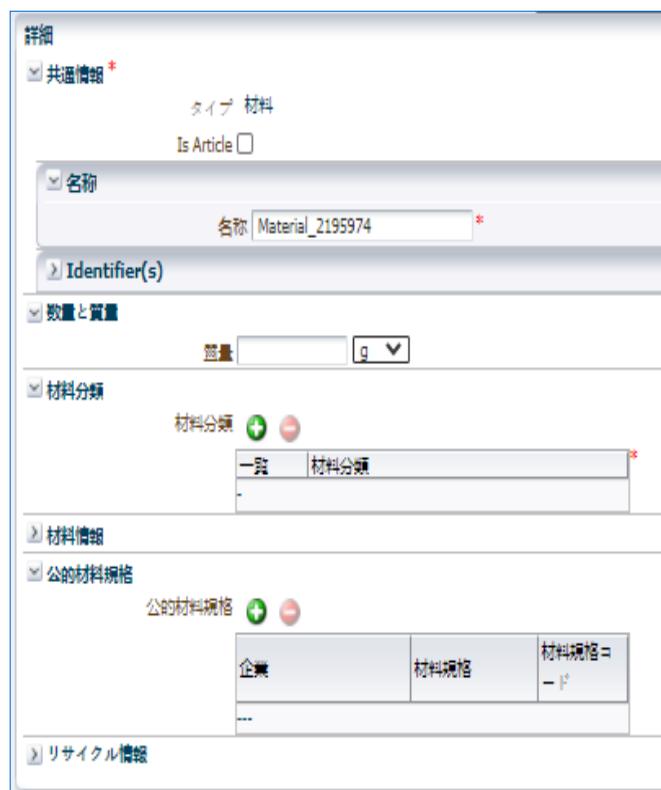
公的材料規格

リサイクル情報

この場合、含有率(1 ナノグラム=0.000001mg まで)ではなく、質量を入力しなければなりません。

材料の追加- ノード

コンポーネントにノードで材料を追加することは、材料にノードを追加することと似ています。唯一の違いは、材料の含有率ではなく、質量を入力することです:



詳細

共通情報*

タイプ 材料

Is Article

名称

名称 Material_2195974 *

Identifier(s)

数量と質量

質量 1.00 g ▾

材料分類

材料分類 + -

一覧	材料分類
----	------

リサイクル情報

もちろん、この材料の詳細構成を入力しなければいけません。

参照化学物質の追加

化学物質は参照でしか追加できません。化学物質が追加されると、以下のような画面が開き、質量を入力する必要があります: この物質は直接部品に追加されているため、ここに質量を入力する必要があります :



詳細

共通情報

タイプ 化学物質

Basic Polymer: ABAK

Acrylonitrile-butadiene-acrylate

Plastic: ABAK

SCIP Number

CAS No. -

Einecs-No. -

EU-Index -

機密扱い

名称

名称 ABAK

Identifier(s)

数量と質量

含有率 固定値

1.00 %

化学物質グループ / リスト

化学物質グループ / リスト Basic polymers

プロセスケミカル

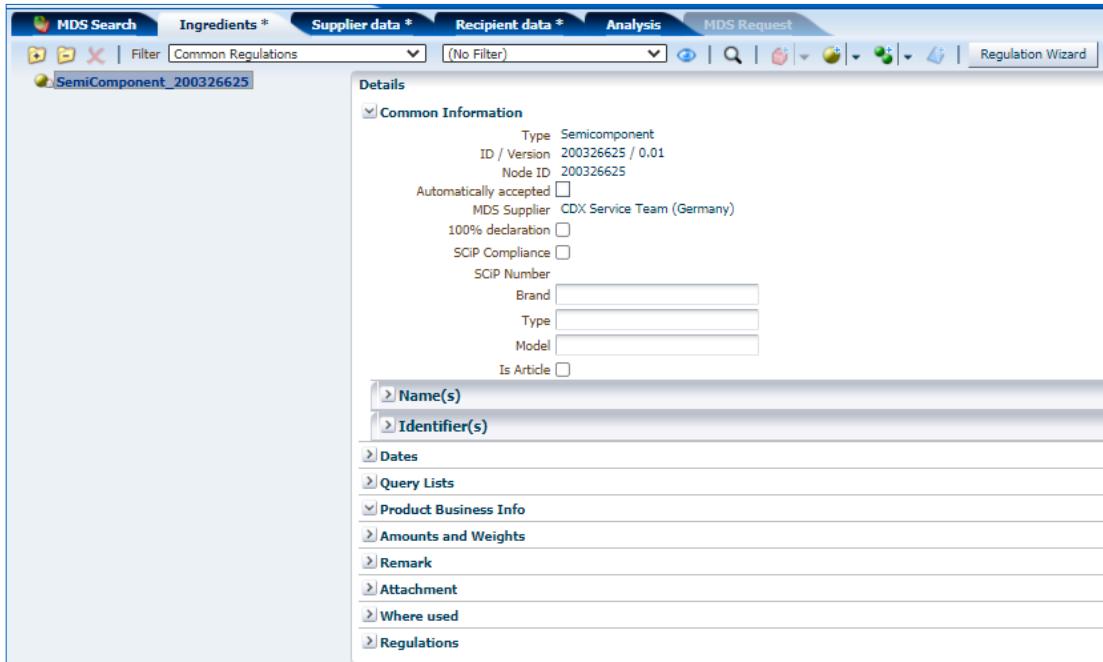
プロセスケミカル いいえ

CDX バージョン 6.2 からは、均質材料に関する規則がデータシートの範囲内であれば、材料への化学物質の追加のみが認められ、(セミ)コンポーネントへの追加は認められなくなりました。

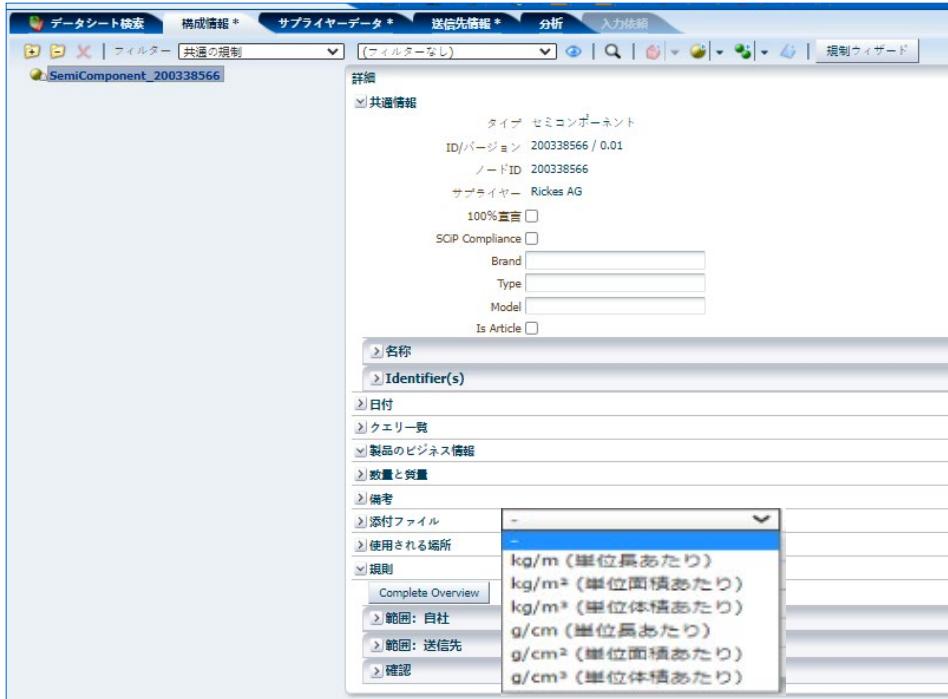
セミコンポーネントの新規作成

三つ目のデータシートのタイプはセミコンポーネントです。セミコンポーネントは、コンポーネントに追加されるまでに、固定の重さを持っていないという性質が材料に似ています。

メニューから、もしくはツールバーの  ボタンからセミコンポーネントを新規作成することができます。:



右側の詳細画面をご覧ください:



ほとんどの項目は既に紹介してきたものと同じです。セミコンポーネントはデフォルトでは成形品とはみなされないので、成形品であるかどうかを決定しなければなりません。セミコンポーネントの"Is Article"フラグは、REACH § 33 の観点から成形品とみなされるセミコンポーネントを識別するのに役立ちます。もし、セミコンポーネントに"Is Article"というフラグが設定されておらず、それがコンポーネント内で参照されている場合、そのセミコンポーネントは材料であるかのように振る舞い、すべてのセミコンポーネントの規制範囲の項目は上位レベルで考慮されます。フラグが設定されると、セミコンポーネントはコンポーネントとして扱われ、そのセミコンポーネ

ント内の化学物質のすべての報告、分析、表示はそれに応じて扱われます。例えば、あるコンポーネントに材料とセミコンポーネントの両方が含まれていて、0.1%の閾値を定義している規制の下で、それぞれがコンポーネント重量の0.05%の化学物質を保持している場合、そのコンポーネントは閾値を超えていたため、非適合とみなされます。もし、セミコンポーネントが"Is Article"というフラグが設定されていた場合、そのコンポーネントはその化学物質の0.05%しか保有しておらず、適合状態は適合となります。セミコンポーネントに含まれるその化学物質の量に応じて、準拠または非準拠のどちらかになります。

セミコンポーネントのもう1つの違いは**数量と質量**です。

ここでの質量は、**単位あたりの質量**です。

これは必須ではありませんが、データシートを顧客に送信するとき、もしくは将来的に自分の組織で利用するとき、非常に便利になります。

適切な名前(と任意の質量)を入れたら、右上のボタン()または後述する規制ウィザードを使って構成情報を追加します。すでに説明した化学物質の動作を考慮してください。もし「均質材料」に言及している規制がデータシートの範囲内であれば、化学物質を材料に追加することが許されますが、(セミ)コンポーネントには追加できません。

セミコンポーネントの追加-参照

セミコンポーネントにセミコンポーネントの追加することは、コンポーネントにセミコンポーネントを追加することと似ています。違いは、質量ではなく、含有率を入力することです:

詳細

共通情報*

タイプ セミコンポーネント
ID/バージョン 200338566 / 0.01
ノードID 200338566
サプライヤー Ricks AG
100%宣言

SCIP Compliance

Brand
Type
Model

Is Article

名称

Identifier(s)

日付

クエリ一覧

製品のビジネス情報

数量と質量

単位あたりの質量

備考

添付ファイル

使用される場所

規則

Complete Overview

範囲: 自社

範囲: 送信先

確認

規制	規制は遵守されていますか？	関連データは提供されていますか？
REACH Annex XIV	適切な値を選択してください	適切な値を選択してください
REACH Annex XVII	適切な値を選択してください	適切な値を選択してください
REACH Candidate ...	適切な値を選択してください	適切な値を選択してください
RoHS Future	適切な値を選択してください	適切な値を選択してください

セミコンポーネントの追加-ノード

ノードでセミコンポーネントを追加するとき、以下の情報を提供する必要があります:

詳細

共通情報*
タイプ セミコンポーネント
Is Article

名称
名称 SemiComponent_2195977 *

Identifier(s)
材料コード Choose File No file chosen
+ -
材料コード
割り当て済番号がありません

数量と質量
含有率 固定値
%
規則
範囲: 自社
範囲: 送信先

参照で追加するときと同じく、含有率を入力することが求められます。加えて、ユーザーは1つまたは複数の部品番号または材料番号を入力し、必要に応じてセミコンポーネントを"Is Article"としてフラグを立て、名前を変更する必要があります。セミコンポーネントノードの場合は、規制を確認する必要があります。

材料の追加- 参照

先に述べたように、参照によって材料を追加することができ、右側は下記のような画面となります:

Details

Common Information
Type Material
ID / Version 32508 / 2
Node ID 38694
Automatically accepted
MDS Supplier CDX Standard Materials
100% declaration
SCIP Number
Brand
Type
Model
Is Article

Name(s)

Identifier(s)

Dates

Query Lists

Product Business Info

Amounts and Weights
Portion Fix %

Classifications
Classification
List Classification
IMDS 3.2: Copper alloys

Material Information

Norms / Standards

Recycle

Remark

Attachment

Where used

セミコンポーネントに追加するときには、含有率を入力する必要があります。

これはこの材料のこの親ノードの中でのパーセンテージです。さらに、もしこの材料にリサイクル材が入っている場合、リサイクル情報という項目に入力することができます。

材料の追加- ノード

ノードで材料を追加するとき、以下のような画面が見られます:

詳細

共通情報 *

タイプ 材料

Is Article

名称

名称 Material_2195978 *

Identifier(s)

数量と質量

含有率 固定値 %

材料分類 *

材料分類

一覧 材料分類 *

材料情報

公的材料規格

リサイクル情報

セミコンポーネントに追加するとき、**数量と質量**の含有率を入力する必要があります。これはこの材料のこの親ノードの中でのパーセンテージを意味します。さらに、もしこの材料にリサイクル材が入っている場合、**リサイクル情報**を入力することができます。

化学物質の追加

化学物質は参照でしか追加できません。化学物質が追加されると、以下のような画面が開きます。含有率のパーセンテージを入力する必要があります:

詳細

共通情報

タイプ 化学物質

Basic Polymer: ABAK

Acrylonitrile-butadiene-acrylate

Plastic: ABAK

SCIP Number

CAS No. -

EINECS-No. -

EU-Index -

機密扱い

名称

名称 ABAK

Identifier(s)

数量と質量

含有率 固定値 %

化学物質グループ / リスト

化学物質グループ / リスト Basic polymers

プロセスケミカル

プロセスケミカル いいえ

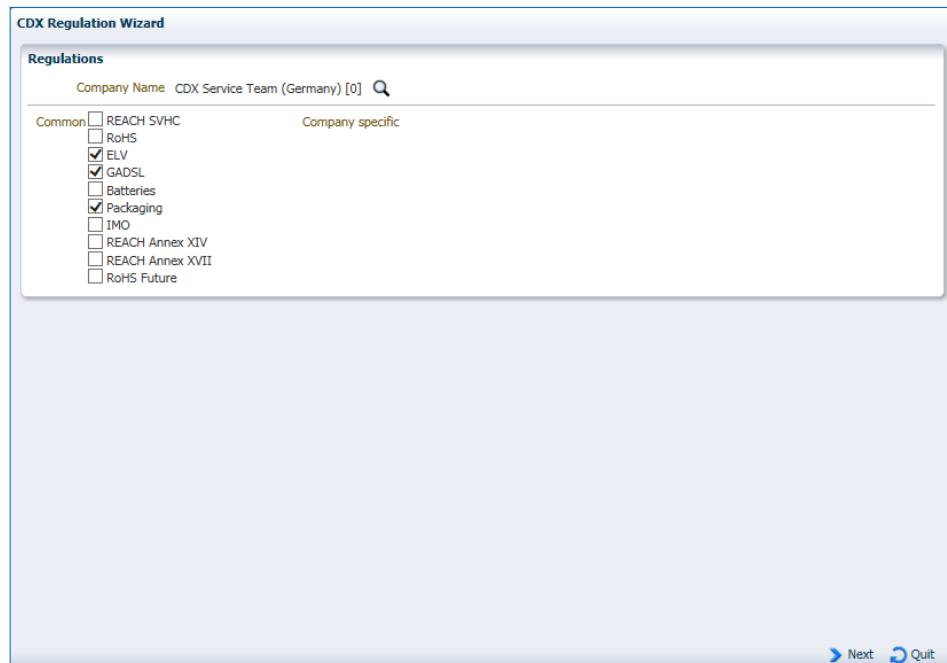
CDX バージョン 6.2 からは、均質材料に関する規制がデータシートの範囲内であれば、化学物質を材料に追加することができますが、(セミ)コンポーネントには追加できません。

規制ウィザードを使用して部品や材料データシートを作成

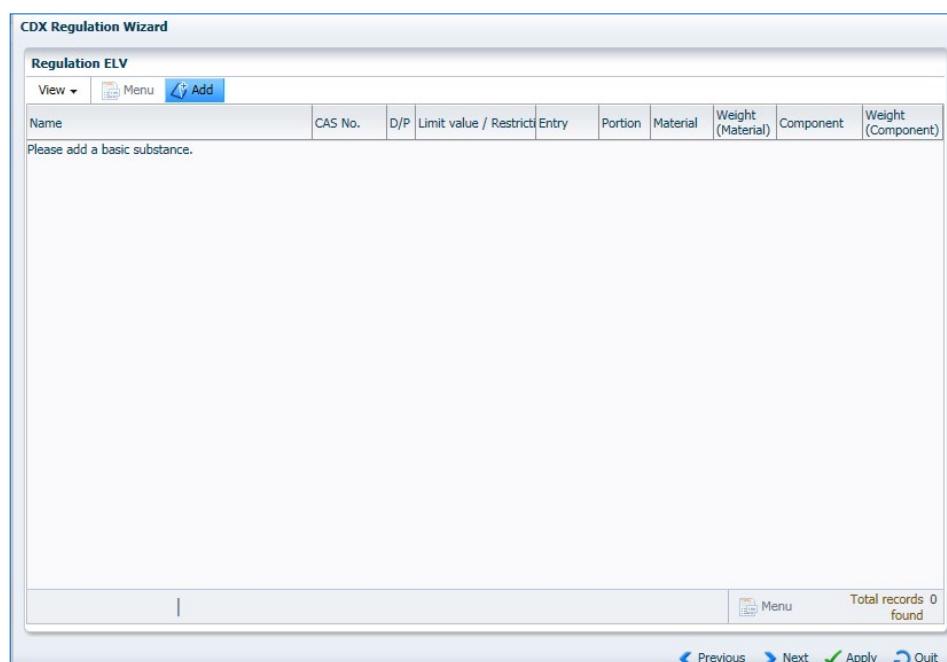
企業は自身の製品に関して異なった規制についての情報を収集しています。業界や製品のタイプ、国等に依存するもの、成分規制、例えば対象物質を完全に禁止とするものやある環境下においてのみ使用を許可するもの等、さまざまな異なる規制があります。顧客の規制要求に応えるために、規制関連物質を伴う部品や材料データシートを作成するには、規制ウィザードを使用することができます。

ボッシュ社と取引のある全ての企業は規制ウィザードを使用することができます。

規制ウィザードを始める時、ユーザーは自身のデータシートを送信したい企業を選択する必要があります。システムからは選択した企業の要求を満たすための規制情報を表示し、これらの規制を通して要求されている情報をガイドすることになります。例としては、この企業は一般 ELV, GADSL とパッケージング規制に関する情報を要求しています：



Next をクリックすることで、ELV 規制の詳細がユーザーに表示されます。そこでユーザーは ELV 関連物質を追加（追加のみ）することができます：



ユーザーは ELV 関連物質を CAS No., 名称/類似名, EU-Index や EINECS-No を使用することで検索できます。検索

画面で、ユーザーは MS Excel ファイルへのエクスポートすることができます：  Export ボタンを使用して検索結果をエクスポートするか、  Export all ボタンを使用してこの規制に関連する全ての物質をエクスポートすることができます。

必要な物質を選択して、  **Apply** をクリックします。すると、規制の詳細と構成ツリー内の位置についての情報を含んだ新しい画面が開きます：

CDX Regulation Wizard

Details Regulation

Regulation ELV
Substance Lead
CAS No. 7439-92-1
D/P P
Limit value / 0.1
Restriction conditions
Entry E2009

Please select a component or select 'New Component' and change/leave the default name to create a new one.
Component

Please select a material or select 'New Material' and change/leave the default name to create a new one.
Material

Weight (Material) g

Please enter the portion of the substance in the material.
Portion Substance %

 **Apply**

ここでユーザーは物質の親部品と親物質を決めたり/選んだりする必要があります。ユーザーは既存のノードや新規のノードを選択することができます。ユーザーは既存のノードや新規のノードの初期名称を取り除くことができます。加えてユーザーは質量（材料や新規の部品のために）と材料中の物質の割合を入力しなければなりません。例として、以下の情報の入力をしました：

CDX Regulation Wizard

Regulation ELV

View ▾  

Name	CAS No.	D/P	Limit value / Restr	Entry	Portion	Material	Weight (Material)	Component	Weight (Component)
Lead	7439-92-1	P	0.1	E2009	10.0 %	Test_ELV_Lead	3.0 g	Test_ELV_Lead	10.0 g

ユーザーは複数の物質を追加することができます。そして、物質の追加を終わる時には  **Apply** をクリックする必要があります。背景のツリー構成は適応されています。次の規制を入力する際には  **Next** をクリックしてください。例では、GADSL 規制が表示されています。- ここでユーザーは GADSL 関連物質を追加することができます：

CDX Regulation Wizard

Regulation GADSL

View ▾  

Name	CAS No.	D/P	Limit value / Restr	Entry	Portion	Material	Weight (Material)	Component	Weight (Component)
Please add a basic substance.									

ユーザーが物質を選択して、  **Apply** をクリックすると、この GADSL 物質のツリー構造詳細を示すウィザードが開きます- これによりユーザーは以前見たものを取り除いたり、変更したりできます：

CDX Regulation Wizard

Details Regulation

Regulation GADSL
Substance Chromium, ion (Cr 6+)
CAS No. 18540-29-9
D/P

Limit value /
Restriction conditions

Entry

Component or select 'New Component' and change/leave the default
Test_ELV_Lead
Component Component_GADSL_Chromium, ion (...)

Weight (Component) g

Please select a material or select 'New Material' and change/leave the default name to create a new one.

Material Material_GADSL_Chromium, ion (...)

Weight (Material) g

Please enter the portion of the substance in the material.

Portion Substance %

ここまでELV物質のために、“Test_ELV_Lead”という新しい材料の入った“Test_ELV_Lead”という新しい部品を作成してきました。ここでGADSL物質を以下に組み込むことができます。

- 最上位ノードの部品1024849か
- Test_ELV_Leadか
- 新たな部品

対応するノードを選択するか作成して、そこで入力が要求される質量と割合を入力してください。

最後に、次の画面からパッケージング物質を検索して、必要な情報を入力し、をクリックします。

新たに作成された部品は以下の構造になります：

MDS Search **Ingredients *** **Supplier data *** **Recipient data *** **Analysis** **MDS Request**

Component_1093421

1x Test_ELV_Lead
3.0g Material_ELV_Lead
10.0% Lead

1x Test_GADSL_Chromium, ion (...)
1.0g Material_GADSL_Chromium, ion (...)
0.1% Chromium, ion (Cr 6+)

1x Test_Packaging_Cadmium-nitrate
1.0g Test_Packaging_Cadmium-nitrate
0.1% Cadmium-nitrate

Details

Common Information

Type Component
ID / Version 1093421 / 0.01
Node ID 1093421
MDS Supplier CDX Service Team (Germany) Supplier
100% declaration
Name *
Part/Item No.

Dates

Product Business Info

Amounts and Weights

Parts Marking

Remark

Attachment

Regulations

Scope: own company
Complete Overview

Scope: Recipients

Confirmation

Regulation	Regulation complied?	Relevant data provided?
REACH SVHC	<input type="text"/>	<input type="text"/>
RoHS	<input type="text"/>	<input type="text"/>

“Test_ELV_Lead”の規制エリアには以下の情報が表示されています：

画面右にある規制テーブルの1つにある目の記号をクリックすると、影響のある規制と制約事項に関して使用される基本化学物質の詳細が、新しい画面で表示されます。またはプラス記号をクリックすると、同じ画面が開いて新しい例外を追加することもできます。

Test_ELV_Lead の構成中の Lead に対して 10% (0.3g) の割合を入力していますが、RoHS 規制は 0.1 の割合でしか許容していないので、ここでユーザーは免除事項を含めなければなりません。上部の免除事項テーブルにある鏡のアイコンをクリックすると、以下の画面が開きます。そこでユーザーは適切な免除事項を選択することができます。

CDX

Exemption

Liste: RoHS ANNEX III
RoHS ANNEX IV
RoHS exemptions, valid before 09/20/2010
RoHS exemptions, referenced in IPC-1752 v1.1

ID	No.	Exemption	Scope
2378	41	Lead in solders and termination finishes of electrical and electronic components and finishes of printed circuit boards used in ignition modules and other electrical and electronic engine control systems, which for technical reasons must be mounted directly on or in the crankcase or cylinder of hand-held combustion engines (classes SH:1, SH:2, SH:3 of Directive 97/68/EC of the European Parliament and of the Council(*))	31 December 2011
2389	18(b)	Lead as activator in the fluorescent powder (1 % lead by weight or less) of discharge lamps when used as sun tanning lamps containing phosphors such as BSP (BaSiZrO ₅ :Pb)	
2390	4(g)	Mercury in hand crafted luminous discharge tubes used for signs, decorative or architectural and specialist lighting and light-artwork, where the mercury content shall be limited as follows: (a) 20 mg per electrode pair + 0.3 mg per tube length in cm, but not more than 80 mg, for outdoor applications and indoor applications	

Apply **Cancel**

免除事項はそれぞれの規制テーブルに含まれることになります:

CDX compliance.data.exchange

MDS Functions Administration System Admin Help

Component Search Ingredients Supplier data Recipient data Analysis MDS Request Regulation Wizard

Component_200319562 Test_ELV_Lead 3.0g Material_200319565 10.0% Lead

Regulations

Scope: own company

AD-DSL
Version: 4, Valid From: 12/04/2019 - Valid To: 12/23/2020

D/P	Limit value / Restrict	Threshold	Entry	MAX_PO	Weight	Material	Exemption
		0%				Material_20...	

ELV
Version: 6, Valid From: 06/10/2020 - Valid To: 06/22/2021

D/P	Limit value / Restrict	Threshold	Entry	MAX_PO	Weight	Material	Exemption
P	0.1%	0%	E2009	10.0 %		Material_20...	

RoHS
Version: 10, Valid From: 09/14/2020 - Valid To:
EC Declaration of Conformity attached
Statement of manufacturer for RoHS attached

D/P	Limit value / Restrict	Threshold	Entry	MAX_PO	Weight	Material	Exemption
P	0.1%	0%		10.0 %		Material_20...	

これを完成させるには、規制 > 確認エリアの質問に回答しなくてはなりません。これは編集中の部品データシートにのみ有効です。顧客側が要求しているにも関わらずユーザーが回答していない場合には、データチェック時にエラーメッセージが表示されます。

Regulations

Complete Overview

Scope: own company

Scope: Recipients

Confirmation

Regulation	Regulation complied?	Relevant data provided?
AD-DSL	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
Demo_Regulation_2	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
Demo_Regulation_3	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
ELV	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
GADSL	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
Packaging	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
REACH Annex XIV	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
REACH Annex XVII	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>
RoHS	Please select appropriate value <input type="button" value="▼"/>	Please select appropriate value <input checked="" type="checkbox"/>

データシートの更新

取引先のデータシートが自身の企業内のデータシートに組み込まれて使用される際には、取引先のデータシートの更新を確認するための手段が CDX のユーザーにはあります。この機能は、取引先により更新されたデータシートをリストし、個別に所有したり公開されたりしたデータシートに名前付けを行います。この機能では、サプライヤー

が更新したデータシートを参照している自社または公開データシートの名称を一覧で表示します。また取引先により更新されたデータシートの古いバージョンへの参照を行います。この動きは CDX が自動的にこの内容を作成することを除き、"Where-used"分析に類似しており、ユーザーがこの画面を入力すると直ぐにそれを表示して、検索を実行します（初期値：新たな取引先入力の全てを検索）。

更新画面では、ユーザーは部品の固有 ID や名称を検索することができ、データシートタイプ（自社/公開/受信）のフィルターをかけることができます。検索結果の条件は 500 件までです。

注意： このリストの更新は非同期で行います（Where-used 分析のように）。従って、何か変更があった場合も直ぐに見られるようになります。

更新には二つのステップがあります。最初のステップでは、古い参照を新しい物に置き換えることによって更新は行われます、その後二つ目のステップが行われます： データチェック。データチェックの結果にエラーが含まれなければ、その時にデータシートは置き換えられます。そうでなければ、エラーを直すために処理は手動で進められることになります。利便性を考慮して、複数のデータシートが同時に処理（更新と置換）されます。

- 公開及び自社データシートの古いバージョンとは直前のバージョン番号
- 受信データシートの古いバージョンとは受信データシートの直前のバージョン番号

分析を使用せずに、どの企業も更新検索を使用することができます。リストへの入力は止められることができ、全ての入力が終了してから処理を再開することができます。この機能が導入された後に発生した新たな更新に対してのみ、更新リストは作成されます。以前に更新された古いデータに対しての遡及した分析は行われません。

データシートの新しいバージョンを作成するためにデータシート更新機能を使用する際には、参照更新は適時置き換えられることになります。しかし、既存の CDX の機能を使用して新しいバージョンを作成することは可能です。データチェック機能のより、参照データシートの関連する更新が可能かどうかは判定されます。可能であれば、関連する参照データシートに警告メッセージが表示されます。システムが古いバージョンを見つけた場合、ユーザーはそれを置き換えたくなるでしょう、置換ボタンは自動的に古いバージョンに表示され、それを使用することで現行バージョンに置き換えることができます。

データシート更新画面は CDX の機能メニューに組み込まれています。Functions → MDS updates メニューを選択すると、データシート更新画面が表示されます、そこではデータシートの新旧バージョンの情報、その中で参照されているデータシートの情報が表示されます。更新リストから他の CDX 画面と同様に、データシートは別のタブ中で参照したり編集したりすることができます。

The screenshot shows the 'MDS updates' interface with the following sections:

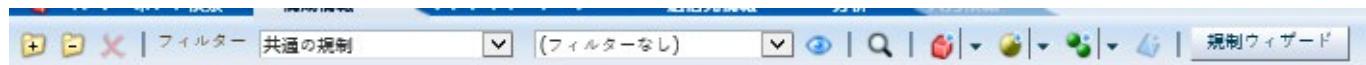
- own MDS:** Contains fields for Type of MDS, Name, Part/Item No., ID, and a 'Check results' dropdown. It also includes a 'View old own MDS' button and a 'Rows Selected' counter (1).
- Reference:** Contains fields for Type of MDS, Origin, Name, Part/Item No., ID, and a 'Change Date' field with a date range (10/20/2015 to 10/20/2015). It includes a 'Search' button.
- Data Tables:**
 - own MDS:** A table with columns: Type, Name, Part/Item No., ID / Version, New Version, and Check results. It lists several entries including 'MS - GL Engine/w Pump', 'Seawater pump', and 'LePard - The Demo Product'.
 - Reference:** A table with columns: Type, Name, Part/Item No., ID / Version, New Version, and Change Date. It lists entries for 'Seawater Pump' and 'AFMU_Material'.
- Bottom Buttons:** Includes 'View new reference', 'View old reference', 'Remove selected MDSs', 'Menu', and 'Total records 7 found'.

複数の置換が可能です。複数のデータシートを更新するためには、コントロールキーかシフトキーを押しながらテープル中から複数の行を選択することになります。この複数選択により、更新、リリース、削除を行うことができます。他のアクションには（古い自社データシートの閲覧、更新された自社データシートの編集、新/旧参照の閲覧）、複数行の選択を行うことはできません。複数行を選択すると、最初の行のみがこのアクションの対象となります。

参照データシートの新旧バージョンは、未完了の更新のユーザー確認のために表示されます。ユーザーがその変更は関係なく、新しいバージョンを作成したくないトスレバ、それは更新リストから取り除くことができます。

ツリーの表示・検索

画面の左側にツリーをコントロールするボタンがあります:



項目名	説明	アイコン
ツリーを展開する	選択したノードの下の構造を展開します。	
ツリーを省略する	選択したノードの下の構造を閉じます。	
化学物質リスト	構成ツリーに Global Substance List や企業固有化学物質リストを使用してフィルターをかけることができます。	Filter Global Substance Li
化学物質のフィルタ	選択されたフィルターによってツリー上の化学物質の情報を提供します。選択したフィルタに属される化学物質は、違う色で表示されます。	(No Filter)
化学物質リストの詳細を閲覧	物質グループ/リストが物質フィルター内で有効な時、このボタンを使用して選択したリストの詳細を閲覧することができます。	
ツリー検索	名称、番号、データシート ID やノード ID でツリーを検索することができます。	
すべてのノードを削除	このボタンを押すと、編集モードで指定された独自の MDS 構造全体の全体を破棄しますが、親ノードは保持します。	

サプライヤー情報画面

全てのタイプのデータシートには、サプライヤー情報画面があります。この画面にて、あなたのクライアントに自社の企業、組織やコンタクトパーソンなどの情報を提供します。全てのデータシートは、コンタクトパーソンの情報を提供しなければいけません。会社に割り当てられた最初のコンタクトパーソンが初期値となります。

データシートが IMDS からインポートされている場合は、IMDS のサプライヤー名と担当者も表示されます。

次の図はサプライヤーデータ画面です:



この画面では編集することができません。全ての情報は、あなたの会社の管理者によりコンタクトパーソンとしてフラグが付けられたユーザーから引き出されます。そこに情報の不足、誤りがある場合、会社の管理者は、管理画面で修正する必要があります。ドロップリストから適切なコンタクトパーソンを選択します。そして、システム

がコンタクトパーソンの E メール、電話番号、FAX 番号などを表示します。もし表示された情報が正しくない場合、システム管理 > 個人設定で修正することができます。

組織単位：選択リストを使用して、1つのデータシートを複数の OrgUnit にリンクすることができます。さらに、「すべての組織単位を追加」にフラグを立てるオプションもあります。

すべての OrgUnit がテーブルに表示されるか、ユーザーが所属するルート会社の OrgUnit を選択できます。表上の **+** を使って1つまたは複数の OrgUnit を追加したり、**⊖** で任意のものを削除したりできます。会社管理者は、すべての OrgUnit を選択することができます。データシートと OrgUnit 間のこの新しい関係は、データシートの新規バージョンでは維持されますが、データシートのコピーでは維持されません。これは、サプライヤー情報のデータシートの送信先には表示されません。ここでは、アクティブな OrgUnit のみが、選択のために表示されます。

SCIP 番号：これは MDS / OrgUnit の組み合わせごとにあります。これらは販売単位ごとに SSN (SCIP Simplified Notification) の SSN 機能に必要です。また、SCIP 番号は手動で編集することはできません。

別の列にはターゲット市場（国と地域）が表示され、プロバイダーは必要な数の国を追加し、地域をターゲット市場として選択できます。これらの2つの表はいつでも編集することができます（MDS のリリース後にも）。これらの新しい表は、編集と確認ができるようサプライヤーにのみ表示されます。

送信先情報画面

送信先というのは、これからデータを送信か、全送信の対象のことです。送信先には自分の会社を選択することはできません。もし送信先企業の配下に複数の組織がある場合、同じ ID/バージョンの組み合わせのデータシートで、同一企業では 1 つの組織にしか送信できません。もし同じ企業の中で複数以上の組織に送信したい場合、メニューから名前を付けて保存) 新規バージョンか新規データシートで新たなデータシートを作成し送信することができます。

以下の表に送信先情報画面のアイコンについてまとめています:

アイコン	動作名	説明
	送信先の追加	このボタンを押すと、送信先企業を検索する画面が表示されます。CDX に登録されている企業のみが検索結果に表示されます。
	入力依頼の割り当て	このボタンを押すと、データシートの入力依頼を割り当てます。 (MDS 入力依頼 のセクションを参照してください。)
	送信先 / 入力依頼の削除	選択した送信先を、送信先として無効にする(グレーアウトになります)、または送信先から削除します。または MDS の入力依頼を削除します。
	社内送信	このボタンを押すと、 社内送信 のプロセスが始まります。データシートが社内送信されたら、構成情報やサプライヤー情報が変更することができなくなります。
	送信	もしこのデータシートがまだ社内送信されず、且つ送信先は 1 つしかない場合は送信することができます。既に送信した場合、変更することは、送信先情報画面でしかできません。
	全送信	まだデータシートが送信されていない送信先企業が 1 件以上、送信先リストにある場合は使用することができます。このボタンを使用すると、全社に送信と同じようにデータシートがリリースされる 全送信 という操作を行うことができ、送信先の追加以外の変更をすることができなくなります。

送信先の追加

送信先の追加ボタンをクリックすると、CDX の送信先を検索する画面が開きます。送信先を見つけたら、ボタンをクリックすると送信先が追加されます。

送信先を選択し、ダブルクリックすると、以下のような画面が表示されます:

送信先情報画面



名称 GGI_Demo_SemiComponent_1032070 ID / バージョン 1032070 / 0.01 ノード ID 1032070 ステータス 編集モード

社内送信 | 送信 全送信

CDX Service Team (Germany) [0] 編集モード (08/19/2016)

詳細

転送情報

企業 CDX Service Team (Germany) [0]
組織 -
送信先ステータス 編集モード
サプライヤーコード 07-781-7617
名称 GGI_Demo_SemiComponent_103;
材料コード Browse...
+ -
材料コード
No number assigned
転送許可

説明

図面番号
図面作成日
設計変更番号

発注書

発注番号
納品番号

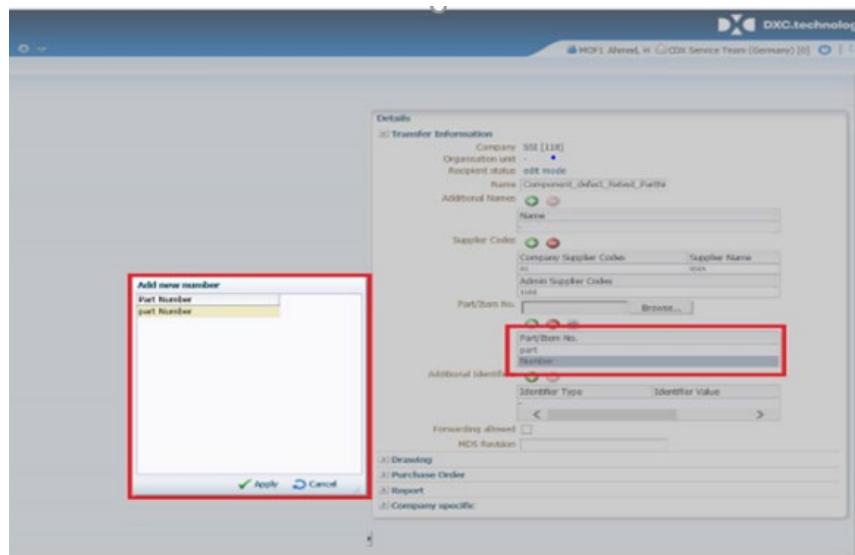
レポート

Report No.
Date of Report

右側の詳細画面について詳しく説明します:

サプライヤーコードが追加されると、ユーザーは、部品番号検索ダイアログを使用して、サプライヤ番号の部品番号が一致する送信先のために、特定のサプライヤー番号に有効な部品項目番号を選択することができます。

サプライヤー番号と部品番号のマッピングが設定されている場合は常に、部品番号の直接（手動）入力はできなくなります。代わりに部品番号の設定は、以下のダイアログから1つ以上の（有効な）サプライヤー番号を設定した後にのみ可能になります。



選択されたサプライヤーコードが削除され、そのサプライヤーコードに設定された送信先のために関連する部品番号を持っている場合、以下の確認メッセージが表示されます。



別の列にはターゲット市場（国と地域）が表示され、プロバイダーは必要な数の国を追加し、地域をターゲット市場として選択できます。これらの2つの表はいつでも編集することができます（MDSのリリース後にも）。これらの新しい表は、編集と確認ができるようサプライヤーにのみ表示されます。

項目名	説明	必須かどうか？
企業	送信先検索画面で選択した送信先です。CDX 企業名と企業 ID が表示されます。	該当なし
組織	送信先検索画面で選択した送信先です。組織を選択した場合、組織名と組織 ID が表示されます。	該当なし
送信先ステータス	<p>データシートのステータスです:</p> <p>編集モード: データシートがまだ送信されず、送信先が見られません。</p> <p>編集中: データシートが一旦拒否され、また修正を行っていることです。もう一回送信か全送信で送信先に送る必要があります。</p> <p>未開封: 送信先がまだデータシートを見ていません。</p> <p>開封: 送信先がデータシートを見ましたが、まだ承認か拒否をしていません。</p> <p>承認: 送信先がデータシートを承認しました。</p> <p>拒否: 送信先がデータシートを見て拒否しました。この場合、拒否の理由を記入必要があります。</p>	該当なし
サプライヤーコード	これは、サプライヤー側のシステムで情報を追跡する時に使用します。DUNS 番号が入ることもありますし、固有に採番されたコードを使用することもあります。	送信先による
名称	送信先が得た製品の名称です。構成情報画面での名称とは関係なく、送信先はこここの名称を見ることになります。	はい
Additional Names	これは、送信先が貴社の製品を購入するための追加の名称です。テーブル上部にある を使用して 1 つまたは複数の名称を追加するか、追加の名称を選択せずに を 1 回クリックして全てを削除することができます。または、 で表の名称をテキストファイルにエクスポートしてください。構成情報タブの Additional Names が何であるかは問題ではありません。	任意

項目名	説明	必須かどうか？
企業サプライヤーコード	<p>サプライヤーコードは、クライアントのシステムで貴社の情報を追跡する方法です。時には DUNS 番号が使用され、時には彼らは特別なコーディングシステムを持っているかもしれません。追加された送信先のために、企業サプライヤーコードを追加(+)するか、全ての企業サプライヤーコードを削除(-)することができます。(「管理」>「会社」の章で説明されているように)</p> <p>選択された送信先が事前に定義されたサプライヤーコードを持っている場合、サプライヤー名がテーブルに表示されます。この場合、有効なサプライヤーコードのみが受け入れられます。サプライヤーコードが無効の場合は、次のようなエラーメッセージが表示されます。入力されたサプライヤー番号は設定されたサプライヤー番号と一致しません。正しいコードを入力するには「はい」を選択し、入力を取り消すには「キャンセル」を選択してください。</p> <p>設定した会社のサプライヤーコードを追加すると、「追加ボタン」が非表示になるため、それ以上追加できません。また、追加した仕入先コードを編集しようとし、関連する品番があった場合、以下のようなメッセージが表示されます。「事前に設定されている品番の仕入先番号を削除しようとしています。部品番号も削除されます。」「はい」をクリックすると、関連する部品番号も削除されます。</p> <p>選択された送信先が CDX データベースにマッピングされている場合、会社のサプライヤーコードは異なります。サプライヤーコードを表示するためのテーブルは、マッピングが存在する場合、「サプライヤー名」の列によって拡張され、マッピングから設定されたサプライヤー名が表示されます。マッピングが存在しない場合は、列は表示されません。</p> <p>サプライヤーコードが追加されると、ユーザーは、部品番号検索ダイアログを使用して、サプライヤ番号の部品番号が一致する送信先のために、特定のサプライヤー番号に有効な部品項目番号を選択することができます。</p> <p>サプライヤー番号と部品番号のマッピングが設定されている場合は常に、部品番号の直接(手動)入力はできなくなります。代わりに部品番号の設定は、以下のダイアログから 1 つ以上の(有効な)サプライヤー番号を設定した後にのみ可能になります。</p>	送信先による
管理サプライヤーコード	貴社の企業情報すでにサプライヤーコードを定義している送信先を追加すると(「システム管理」>「企業」の章で説明されているように)、事前に定義されたコードは「管理者サプライヤーコード」として読み込まれ、編集できなくなります。	送信先による
部品/アイテム/材料番号	<p>送信先が得る製品の番号です。ここでは、 を使用してテキストファイルからインポートしたり、テーブル上部にあるを使用して、1つまたは複数の番号をここに追加することができます。部品/アイテム/材料番号を選択せずにを1回クリックすると、すべてを削除することができますが、全てを削除することを確認するメッセージが表示されます。また、を使用してテーブルから番号をテキストファイルにてエクスポートしたりすることができます。構成情報画面での部品番号とは関係なく、送信先はこの部品番号を見ることになります。</p> <p>事前に設定されているサプライヤーの部品番号が選択されている場合は、部品番号ごとの説明が表示されます。それ以外の場合は、部品番号と説明文のペアは存在せず、部品番号のみが表示されます。</p> <p>部品番号のアップロードは、あらかじめ部品番号が設定済みの送信先に対しては無効です。この場合は、まず分かっているサプライヤー番号を設定し、そのサプライヤー番号の既知の部品番号のリストから部品番号を選択する必要があります。</p>	任意
Additional Identifiers	これは、送信先が貴社の製品を購入するための追加の識別子です。テーブル上部にある  を使用して、ここに1つまたは複数の識別子を追加することができます。追加の識別子を選択せずに  を1回クリックすると、すべてを削除することができますが、追加の識別子を全て削除することを確認するメッセージが表示されます。または、  でテーブルの識別子をテキストファイルにエクスポートしてください。構成情報タブの Additional Identifiers が何であるかは問題ではありません。	任意

項目名	説明	必須かどうか？
転送許可	サプライチェーンの中にはデータシートを作らない企業もあります。このような企業は、他社から受信したデータシートを自分の顧客にただ転送するだけです。転送を許可する場合には、チェックボックスにチェックを入れます。	任意
サプライヤ一部品番号	これは、貴社が社内で製品を参照する方法であり、送信先の企業にも見えるようになっています。 追加されたデータシートの送信先が「サプライヤ一部品番号送信先」としてマークされている場合は、構成情報タブの部品番号(複数可)がここにコピーされます。 送信先の会社が「サプライヤ一部品番号送信先」でない場合、テーブルは自動的に入力されません。 上記の表を使用して、ここに1つ以上の番号を追加することができます。で入力した番号を削除するか、表の番号をテキストファイルにエクスポートしてください。	顧客による
データシート リビジョン	この送信先に有効な特定のリビジョン番号をここに入力することができます。	任意
図面番号	この製品に関連した CAD 図面番号。	顧客による
図面作成日	この製品に関連した CAD 図面の作成日。	顧客による
設計変更番号	この製品に関連した CAD 図面の設計変更番号。	顧客による
発注番号	この製品に関連した発注番号。	顧客による
納品番号	この製品に関連した納品番号。	顧客による
レポート No.	このデータシートがプロトタイプの部品の場合、プロトタイプレポート番号を意味します。	顧客による
レポート日	このデータシートがプロトタイプの部品の場合、プロトタイプの部品を提出した日を意味します。	顧客による
企業固有	送信先が企業固有の規定の遵守を要求している場合は、ここで企業固有の規定を確認する必要があります。規定の確認が不要な場合は空欄となります。	顧客による
コミュニケーション情報: ユーザー	このデータシートを拒否したユーザーのユーザーIDがシステムにより自動生成されます。(データシートが拒否される理由を問い合わせしたいとき使います。)	該当なし
拒否日	システムにより自動生成。これはデータシートを送信か全送信して拒否された日のことです。	該当なし
拒否の理由	もしデータシートを送信か全送信していて拒否された場合、送信先は拒否の理由を入力しなければいけません。	必須

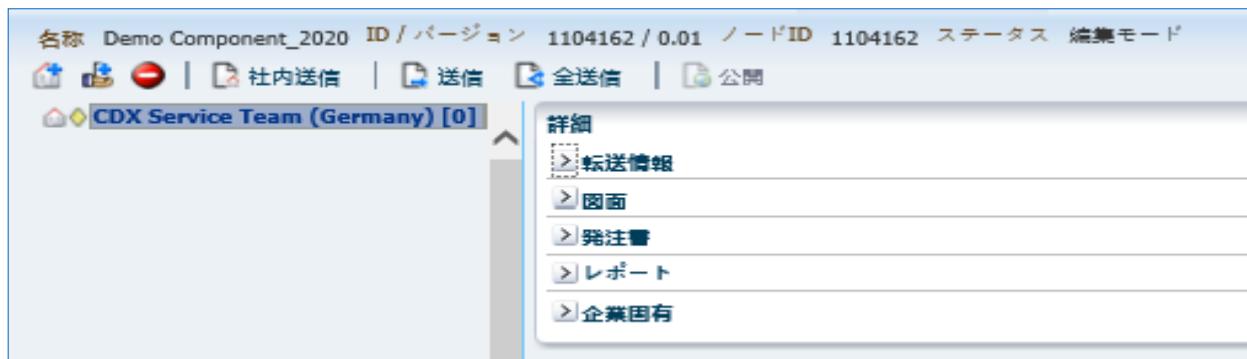
送信先詳細画面は構成情報画面と企業管理画面と似ています：画面の左側では、追加した送信先とその送信先のステータスと最終の更新日です。追加した送信先を選択したら、画面の右側は追加した企業の詳細情報となります。

送信先リストにはこの送信先の状態を表すアイコンが含まれています。交通信号のように、データシートを承認した場合は緑のアイコンです、拒否した場合は赤のアイコン、ほかの場合は（未開封、開封、社内システム処理中、等。）黄のアイコンです。さらに、追加した各送信先の前には、一般の送信先か、それとも入力依頼の割り当て先かを表示するマークが付いています。

入力依頼

送信先の追加ボタン以外、入力依頼の割り当てボタンもあります。このボタンをクリックすると検索画面が開きます。そして、依頼を選択することができます。

送信先情報タブで選択した送信先がリクエストに関連付けられている場合、入力依頼タブがアクティブになります。入力依頼タブはそれに応じてリクエストの詳細を更新します。さらに、送信先情報タブの詳細セクションの最後に短いリクエストの要約が追加されます。リクエスト詳細の表示ボタンをクリックすると、入力依頼タブに切り替わります。



選択した送信先がリクエストに関連付けられていない場合、入力依頼タブは非アクティブになります。

入力依頼の詳細については、入力依頼の章を参照してください。

エラーチェック

ツールバーのエラーチェックボタン か、データシートメニューのエラーチェック機能でいつでも自分のデータシートの構造をチェックすることができます。送信や全送信する前にも必ずエラーチェックが行われます。最もチェックする必要がある項目は、入力質量、数量、質量公差、リサイクル情報、公的材料規格、有効な構成情報、間違った構造、サプライヤーデータ画面や送信先情報画面のデータ不完備などになります。

エラーチェックの結果表示

チェックの結果は”エラー”か”情報”として表示されます。エラーの場合では、データシートの送信、全送信や社内送信などを防ぐことができますが、入力情報チェックの場合は防ぐことができません。ツリーの構造の入力上、通常でない部分を適切であるかどうか更なる調査していく必要があるので、入力情報を全部無視してはいけません。

エラーチェックに引っかからぬ場合、下記のメッセージが表示されます。



エラーが見つかった場合の画面は下記のように表示されます。

構成情報画面で、エラーチェックに引っかかったノードはエラーマーク () か警告マーク () が付いていま

す。エラーチェックの結果タブに出たノードは、詳細画面では適切なマークが現れます。

エラーチェックの結果テーブルに表示された行をダブルクリックするか、ポップアップメニューの"表示"をクリックすることで選択したノードの詳細画面が表示されます。ノードの詳細属性の表示が折りたたまれたグループに含まれている場合、このグループは自動的に展開されます。対応するフィールドは、別のタブ上に配置されている場合には、自動的に開かれます。

エラーチェックの実行結果が返ってきたら、最初のチェック結果が選択され、全てのエラーオブジェクトが表示されマークされます。

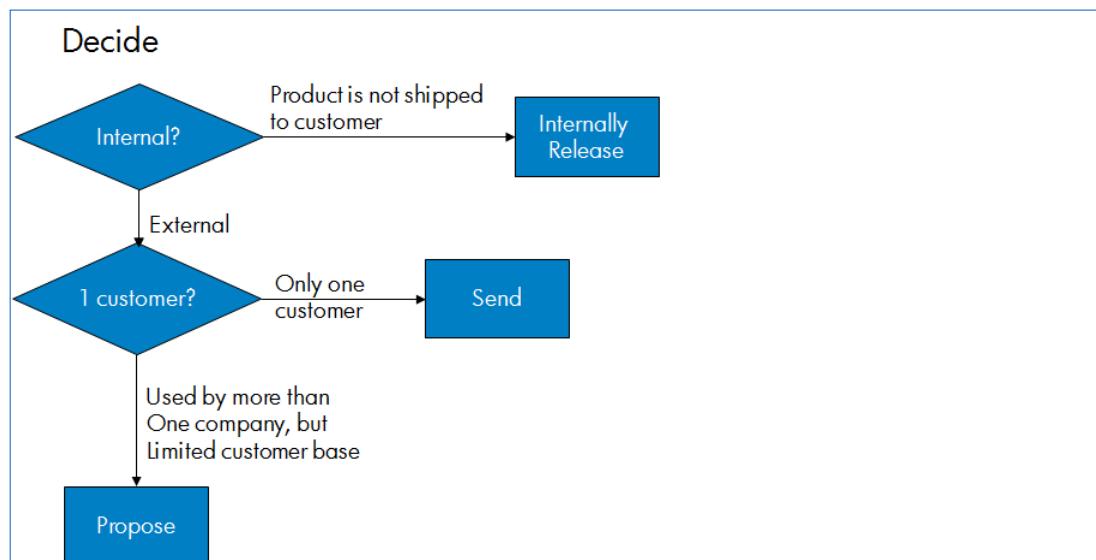
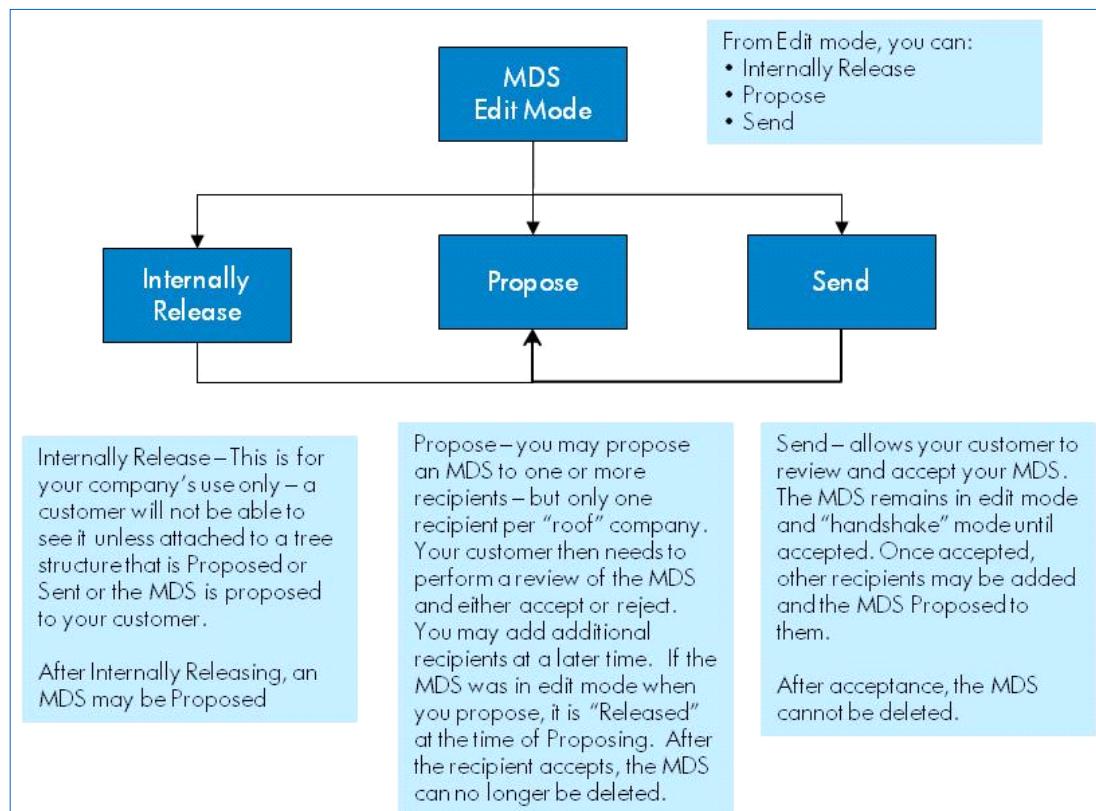
次のテーブルはエラーチェックの結果について詳しく説明します:

項目名	説明
No.	見つけたエラーや警告の番号です。
タイプ	見つけたもののタイプ。エラーか警告かどちらかのアイコンで表示します。
タブ	見つけたものが配置されているタブ。(構成情報画面、サプライヤーデータや送信先情報画面)
ノード/ 送信先	構成情報タブやサプライヤーデータタブで見つけたノード名とその関連したアイコンのことです。送信先データタブで見つけた送信先の企業名。
メッセージ	エラーか警告のメッセージです。メッセージの中にパラメーターが含まれるかもしれません。メッセージは選択されたアプリの言語次第で、多言語で表示することができます。

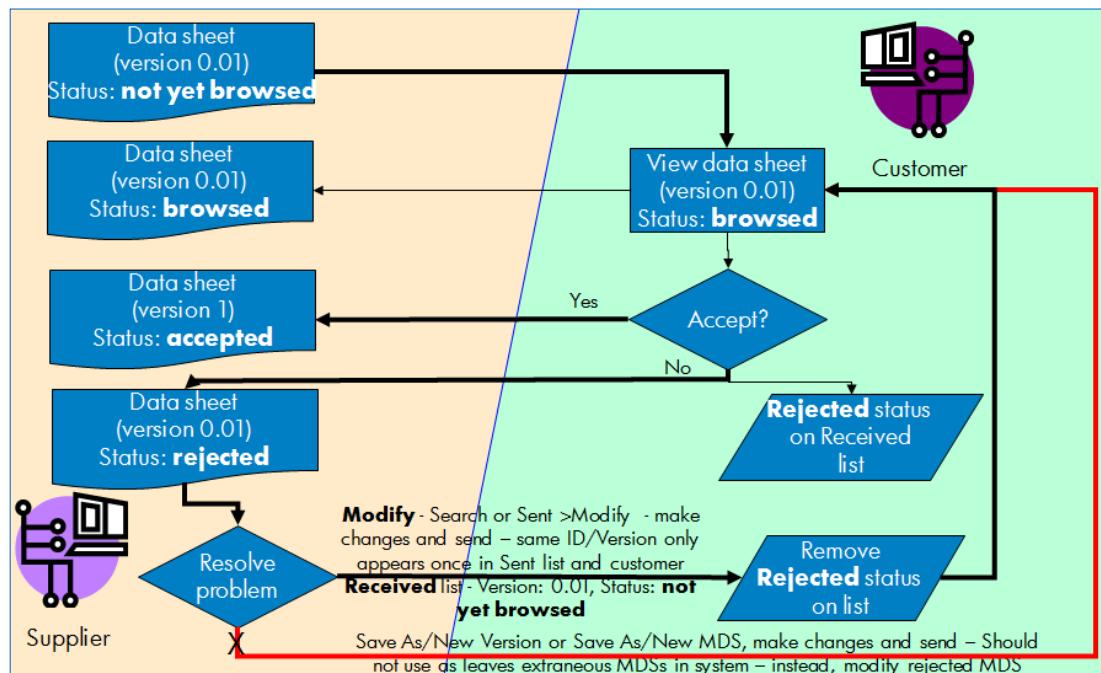
データシートの社内送信/送信/全送信

データシートは送信または全送信しないと、顧客はそのデータシートを見ることができません。以下の図は社内送信/送信/全送信の違いを説明したものです：

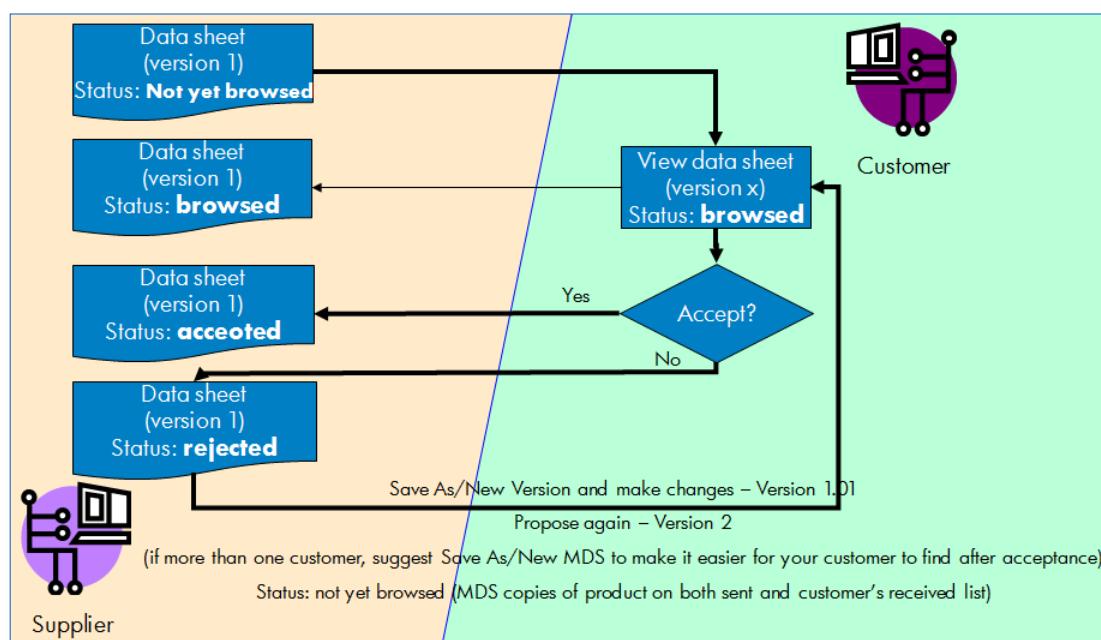
編集モードのデータシートに何が起こるか？



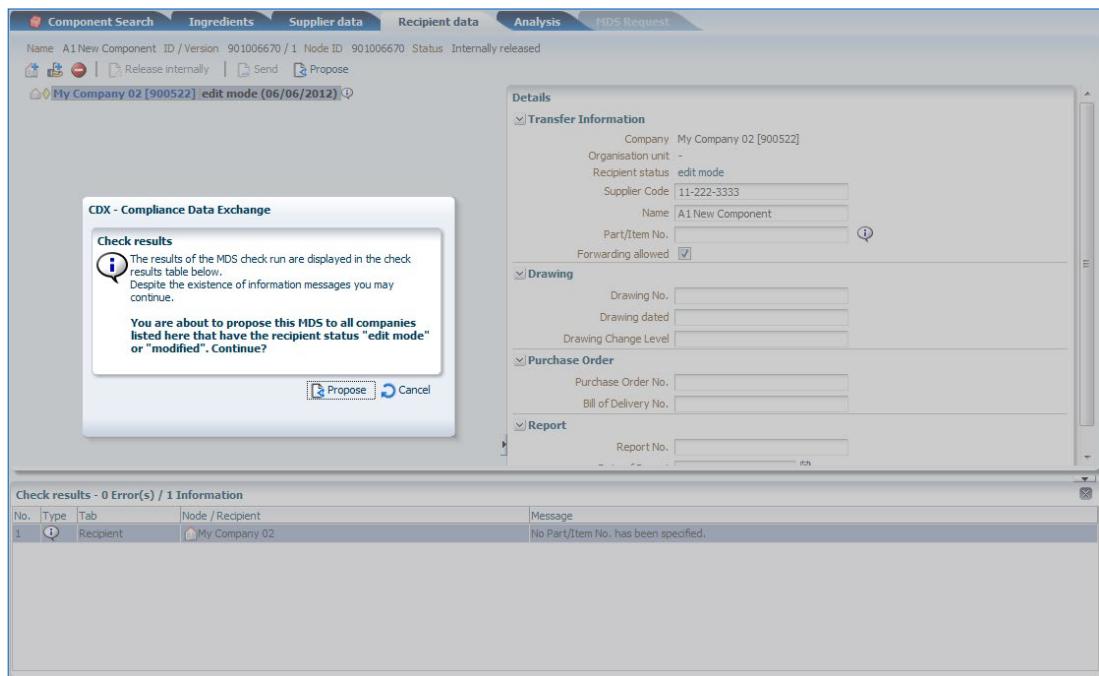
送信/受信の仕組み



全送信/受信の仕組み

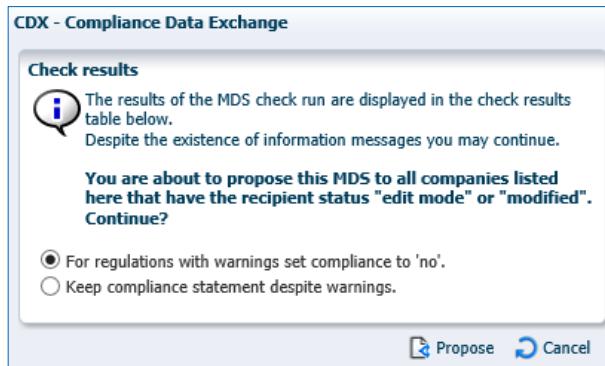


社内送信、送信、全送信のどれかにするかはともかく、CDX が最初に行うことは、エラーチェックです。以下の画面のように、既に社内送信していてこれから選択した送信先に全送信を行います:



データシートを社内送信、送信、全送信するためには、エラーを全て修正しなければなりません。情報が出た場合、全ての情報について修正する必要があるかどうか調べる必要があります。

チェックが規制に関連した情報を返した場合、ユーザーには、データシートレベルでの「規制準拠」ステータスの2つの機会があります（下図を参照）。ユーザーは、関連する規制の規制遵守を「no」に設定することができるか、またはコンプライアンスステートメントを保持するかのいずれかです。規制に関連する情報がない場合、下の図の2つのオプションは表示されません。



エラーチェックの結果をレビューしたら、動作を完了させまる必要があります。この例では、 を選択します。

データシート分析

分析の機能は CDX において大変有益で価値のあるツールです。対象となるデータシートに、制限物質リスト上にある物質が存在するかを確認したり、固有基本物質やデータシートを分析したりできます。

ユーザーはデータシート/モジュール検索を使用することである物質の分析を始めることができます。選択されたデータシートは分析タブをクリックすることで、全ての物質、材料、分類を分析することができます。そして、分析結果は選択された二つの測定単位のどちらでも表示させることができます：percentage [%] や 質量 [g]、計算された質量に基づく。データシートは測定質量なしで、データシートを参照することになります、そのため測定質量は計算の基礎とはなりません。

ユーザーは選択ボックス内で、望ましい分析を選択することができます：

材料分類

ユーザーはあるデータシートの中で使用されている材料分類の質量や割合によって細分化した内容を見ることができます。異なった材料でも同じ分類を持っているかもしれません。値は材料分類ごとに合算されて 1 つの値で表示されます。

材料

ユーザーはあるデータシートの中で使用されている材料 (ID/バージョンによって) の質量や割合によって細分化した内容を見ることができます。構成のツリー内に同じ ID が複数使用されていた場合、値は ID 每合算されて 1 つの値で表示されます。しかし、複数の ID によって同じ材料が表現されている場合、それらは複数回リストされることになります。CDX は ID により分析されますが、名称によっては分析されません。

化学物質

ユーザーはあるデータシートの中で使用されている化学物質の質量や割合によって細分化した内容を見ることができます。分析は化学物質のインデックスを使用して行われます、そこで同じファミリー (例えはいくつかの鉛物質群) にあるいくつかの化学物質はそれぞれ毎に分かれて集計されて、分析中に表示されます。

Where-Used 分析

ユーザーはどの部品にある材料や物質が含まれているかを知りたくなることがあるでしょう。これを調べるために、Where-Used 分析を使用することができます。このツールを使用するにはツールバー上にある を使用するか、メニューから Functions > Where-Used 分析 を選択して使用することができます。

分析タイプを選択する

以下に表示したようにいくつかの分析タイプがあります：

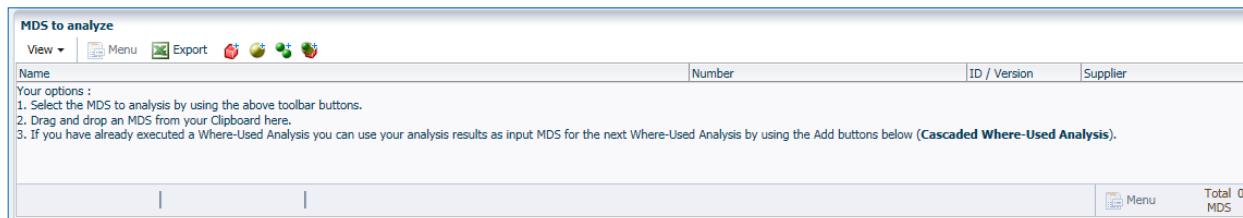
分析タイプの詳細は以下：

分析タイプ	説明
分類	選択された材料分類が自身の閲覧可能なデータシートのどこに使用されているかを調べる
データシート	固有のデータシート ID/バージョンが自身の閲覧可能なデータシートのどこに使用されているかを調べる
化学物質	固有の化学物質が自身の閲覧可能なデータシートのどこに使用されているかを調べる
化学物質グループ/リスト	選択された化学物質グループ/リストに存在する化学物質が自身の閲覧可能なデータシートのどこに使用されているかを調べる
機密扱い物質	自身の閲覧可能なデータシートのどこで化学物質がマークされているかを調べる
企業固有の化学物質リスト	企業固有リストに定義された化学物質が自身の閲覧可能なデータシートのどこに使用されているかを調べる
共通の規制	共通の規制で定義されている化学物質が所定の閾値を超えて参照されているのがどこかを調べる
企業固有の規制	企業固有の規制で定義されている化学物質が所定の閾値を超えて参照されているのがどこかを調べる

分析のタイプを選び、を使用して材料分類、データシート、化学物質を検索、またプルダウンメニューを使用して化学物質グループや用意された企業固有化学物質リストを選択することができます。

分析するデータシートの選択

次に通常の検索画面を使用して分析したいデータシートを選択する必要があります：



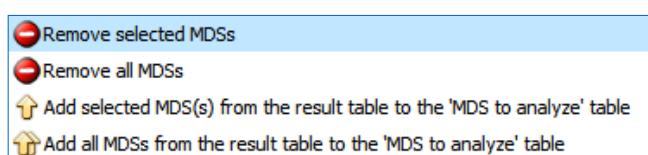
検索の方法はこのマニュアルに記載しています。全てを検索するには  **全て適用** を使用します。検索結果の上限は 500 件です。そのため検索する際には条件を設定する必要があるかもしれません。

分析

分析するためのデータシートを決定したのであれば、 **分析** をクリックして分析を実行します。

繰り返し（必要であれば）

CDX では繰り返しの分析を実行するためにユーザーに機能を提供しています。それは、分析結果を次の分析のソースとして使用することができます。ソースエリア上で右クリックすることで、元のソースからの全てをクリアして、以下ののような画面が開きます：



始めに全てのデータシートが取り除かれて、結果テーブルから全てのデータシートが追加されます。ユーザーはその際に新しい分析タイプを選択することができます。

データシートのインポート/エクスポート

現行 CDX では、IPC1752A クラス C/クラス D、IPC1754 クラス E/クラス F/クラス G、および IEC62474 宣言のインポートとエクスポート機能に加えて、IMDS データシートのインポート機能を提供しています。この機能は、IPC1752A、IPC1754、IEC62474 宣言書を提出する必要があるユーザーをサポートし、既存の IPC データを使用したデータシートの作成を簡素化します。IMDS データシートのインポートは、IMDS で既に利用可能なデータシートや他の産業でも使用されているデータシートを、CDX に再入力することなく処理したいという自動車メーカーのニーズに対応しています。

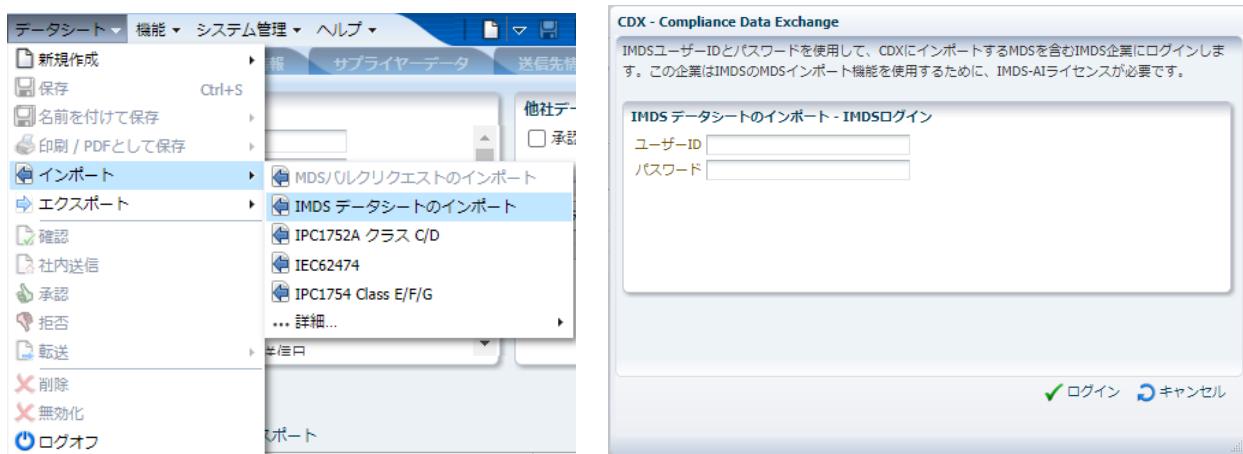
エクスポート機能には有効な CDX MDS ライセンスが必要ですが、インポート機能はライセンスなしで使用できます。カンパニーアドミニストレーターは、システム管理 > CDX ライセンスメニューからライセンスをオーダーすることができます。

IMDS から既存データシートをインポート

CDX には、International Material Data System(IMDS)から既存のデータシート(MDS)を CDX にインポートする機能があります。IMDS データシートのインポートは、以下の要件が満たされている場合、CDX から開始することができます。

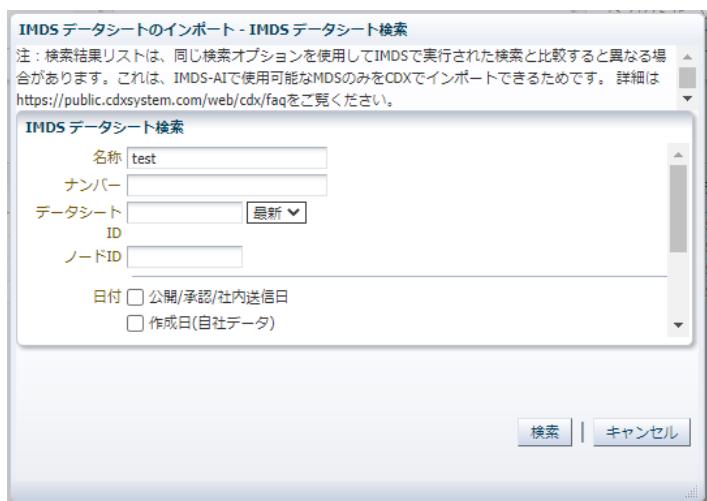
- IMDS 企業は、有効な IMDS AI ライセンスを所有しています（最低でもタリフ E が必要です）
- CDX ユーザーが CDX インポートウィザードを起動するには、有効な IMDS 認証情報（IMDS ユーザーID とパスワード）が必要です。
- IMDS から CDX へのデータ転送は、IMDS の利用規約に準拠しています。

IMDS データシートのインポートは、メニューのデータシート > インポート > IMDS データシートのインポートを選択することで開始されます。これにより、インポートウィザードが開始されます。

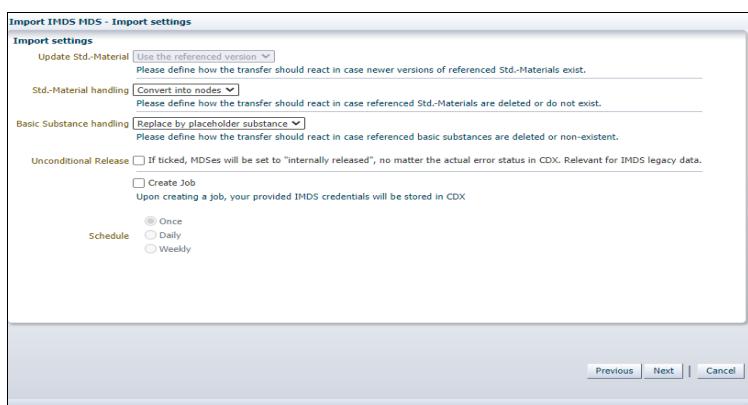


IMDS データシートを CDX にインポートするには、CDX と IMDS 間の接続を確立するために、最初に有効な IMDS 認証情報（IMDS ユーザーID とパスワード）を入力する必要があります。

認証情報の有効性を確認した後、システムは貴社が有効な IMDS AI ライセンスを所有していることを確認します。このチェックが成功すると、ウィザードの次のページが表示され、転送するデータシートを検索することができます。



ここで、適用するインポート設定を設定する必要があります。



標準材料の更新：参照されている標準物質の新しいバージョンが存在する場合の転送の処理方法を定義してください。（新しいバージョンに更新する、参照されたバージョンを使用する）

標準材料の処理：参照されている標準材料が削除済みの場合、または存在しない場合の転送の処理方法を定義してください。（ノードへの変換、転送をスキップ）

化学物質の取り扱い：参照されている化学物質が削除済みの場合、または存在しない場合の転送の処理方法を定義してください。（プレースホルダ物質に置換、転送をスキップ）

無条件のリリース：これを選択すると、CDX での実際のエラーステータスに関わらず、すべてのデータシートが「内部リリース」に設定されます。これは IMDS のレガシーデータのために必要です。

ジョブの作成：シパンニアードミニストレータは、通常のインポートプロセス(次項を参照)を使うのではなく、ジョブを作成したい場合、IMDS から複数のデータシート(制限なし)をインポートすることができます。ジョブは1回、日次、週次のいずれかで実行できます。

- 1回：検索パラメータに応じて、すべてのデータシートがインポートされます。

日次/週次：初回のロード時に、すべてのデータシートが同様にインポートされます。初回のロード（1日目）の後は、デルタのみが CDX にインポートされます。カンパニニアードミニストレータが日次または週次のジョブを作成する場合、実行時間（「時」、「分」）、「開始日」および「終了日」のパラメータを設定する必要があります（下の図を参照）。スケジュールジョブは1社につき1つしか作成できません。

追加ライセンスが必要です。

Create Job
Upon creating a job, your provided IMDS credentials will be stored in CDX

Once
 Daily at Hour Minute
 Weekly

from to

Jobs will be visible in the QCM where they can be managed

注意：IMDS-AI ライセンスで利用可能なデータシートのみが CDX でインポートできるため、同じ検索オプションで IMDS で検索した場合と比較して、検索結果のリストが異なる場合があります。つまり、IMDS 上のデータシートはリリースされた状態である必要があります（編集モードのデータシートはインポートできません）。新しいデータシートは、IMDS 内の日時ダウンロードファイルが作成された後にインポートできるようになります。

CDX にある IMDS ソースデータを更新する必要がある場合、新しいバージョンのインポートを作成する必要があります。これにより複製の整合性を確保できます。IMDS データシートは、データの重複を避けるために所定の企業がそれぞれ一度しかインポートできません。

CDX に転送するデータシートは、結果リストから最大 10 個まで選択することができます。複数選択する場合は、選択中に **Ctrl** キーまたは **Shift** キーを押してから、「次へ」ボタンをクリックして続行してください。

Import IMDS MDS - Select IMDS MDSs to import into CDX

Note: The search result list may differ compared to an executed search in IMDS with the same search options because only MDSs available via IMDS-AI can be imported by CDX. For further information please see: <https://public.cdxsystem.com/web/cdx/faq>

Select IMDS MDSs to import into CDX

View ▾

Type	Name	Number	ID / Version	Node ID	Supplier
Test Create Comp	Test-NT-001	905528624 / 1	905528624	IMDS Service Team	
Test Export Component	TEC1	904343627 / 1	904343627	IMDS Service Team	
Test for Publish symbol	-	905508336 / 1	905508336	IMDS Service Team	
Test RS	-	904363924 / 1	904363924	IMDS Service Team	
Test update ih	-	902034984 / 0...	902034984	IMDS Service Team	
Test w/ Node	-	905488385 / 1	905488385	IMDS Service Team	
Test-MMDS_GGi	-	904447708 / 1	904447708	IMDS Service Team	
TEst070917	-	905131450 / 1	905131450	IMDS Service Team	

Rows Selected 3 |

Previous | Next | Cancel

インポート ボタンを押すと、インポートプロセスが開始され、インポートウィザードはインポートされるすべてのデータシートのステータスと、失敗した場合のエラーメッセージを表示します。

IMDS データシートのインポート - インポートが進行中 ...

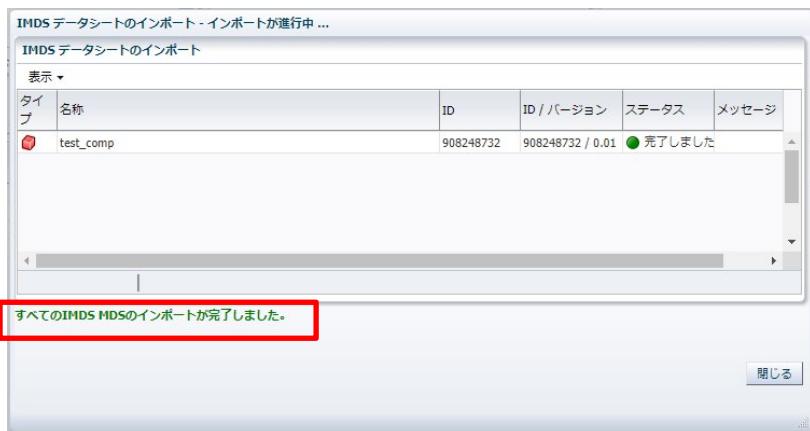
IMDS データシートのインポート

表示 ▾

タイプ	名称	ID	ID / バージョン	ステータス	メッセージ
Test	test_comp	908248732	908248732 / 0.01	処理中	

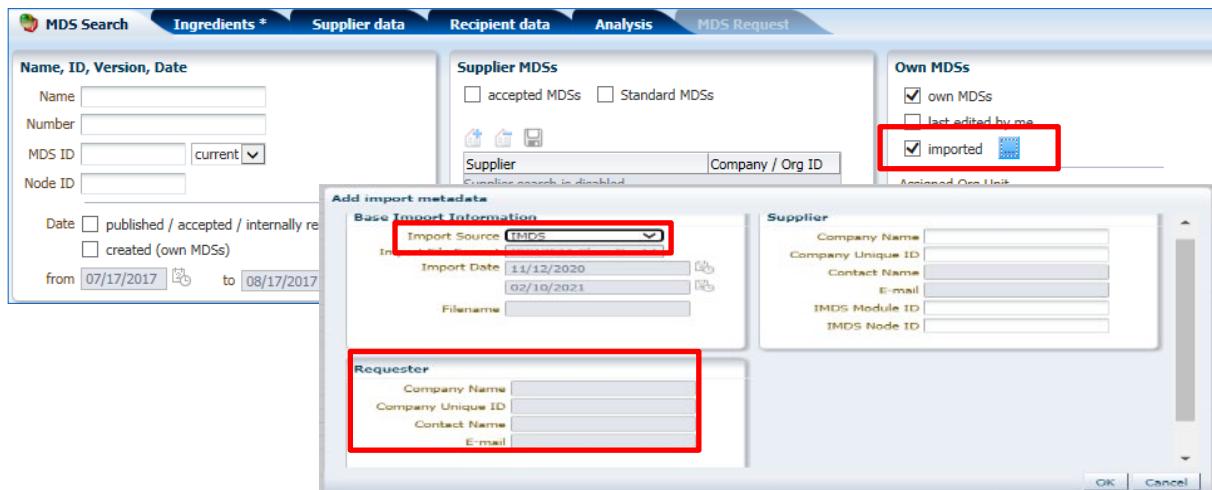
閉じる

インポート処理が終了すると、インポートが成功したかどうかに関わらず、完了に関する追加のメッセージがこのウィンドウに表示されます。したがって、表の状態とメッセージを確認してください。



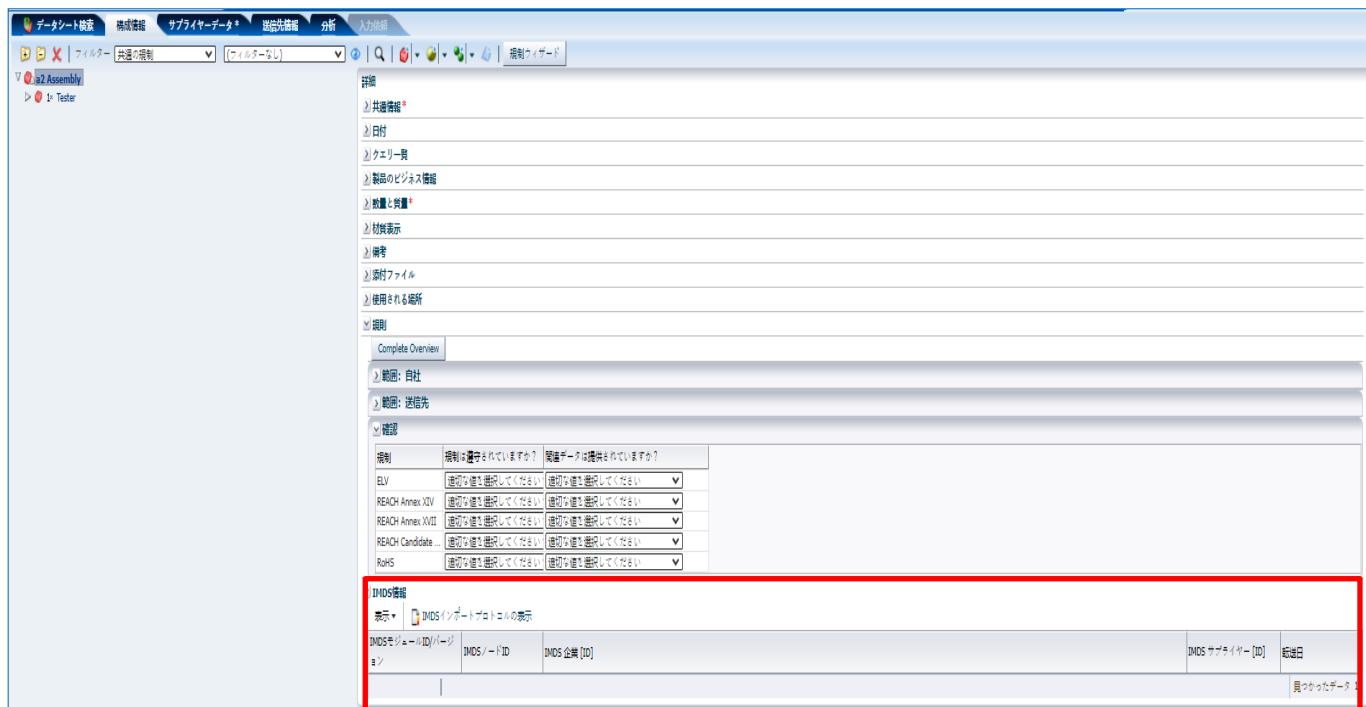
インポートが完了したら、ウィンドウを閉じてください。転送された編集可能なデータシートは、編集モードで自分のデータシートとして CDX に保存され、ユーザーが CDX 固有の情報を使ってデータシートを作り直したり、完成させたりすることができます。IMDS からリリースされたデータシートは、転送後に CDX が検証エラーを検出しなかつた場合には CDX においても、リリースされたデータシートになります。

インポートしたデータシートは、自社データセクションのインポート項目を有効にして、データシート(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)検索で検索することができます。インポートソース"IMDS"と IMDS モジュール ID または IMDS ノード ID を選択してください。検索結果は IMDS からインポートされたデータシートのみが表示されます。



インポートされたデータシートは、「自社データシート」セクションの「インポート」フィールドを有効にして、データシート(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)検索で検索することができます。検索対象を限定したい場合は、インポートソースを「IMDS」に選択し、IMDS モジュールおよび/またはノード ID を選択してください。企業名または企業固有の ID を指定することで、指定した IMDS 企業からのみインポートされたデータシートを制限することができます。検索結果には、IMDS からインポートされたデータシートのみが表示されます。

IMDS 内のサプライヤー名とサプライヤーコードが表示可能であれば、検索結果の「サプライヤー」と「サプライヤーコード」の欄に表示されます。



The screenshot shows the software's main interface with various tabs and sections. A red box highlights the 'IMDS Import Protocol' section, which contains a table with columns for 'IMDSモードID' (IMDS Mode ID), 'IMDSノードID' (IMDS Node ID), and 'IMDS企業ID' (IMDS Company ID). The table has three rows corresponding to the modes: ELV, REACH Annex XV, and REACH Annex XVII.

 **IMDSインポートプロトコルの表示** ボタンを押すと、転送プロセス中にデータシートに適用された変換に関する詳細情報が記載された IMDS インポートプロトコル(PDF 文書)が開きます。表の行を選択し、ボタンを押してインポートプロトコルを開くか保存してください。

「共通情報」 / 「IMDS情報」セクションの「IMDSサプライヤー」には、IMDSに登録済みの元のサプライヤー企業が表示されますが、これは所有者しか見ることができず、データシートをコピーする際には無視されます。

CDX ID / バージョン: 1113015 / 0.01 ユーザー: Kawashima, Yoshiko		ページ: 2 / 2 日付: 2020/11/26 9:26																				
IMDSインポートプロトコル 転送中のIMDSで適用された変換の文書化																						
<p>3 転送されたコンポーネントの特性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ツリーレベル</th> <th>部品番号: 部品名称: 部品名 名 化学物質名称</th> <th>部品番号: 部品コード: 部品コード CAS番号</th> <th>CDX ID / バージョン</th> <th>IMDSインポートプロトコル 影響を受ける各ノードまたは参照の変換</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>test_comp</td> <td></td> <td>1113015 / 0.01</td> <td>Original IMDS Attribute: Node_ID = 908248732 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 908248732 / 0.01 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428)</td> </tr> <tr> <td>-2</td> <td>Aluminium</td> <td></td> <td></td> <td>Original IMDS Attribute: Node_ID = 901869554 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 901869554 / 1 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428) Ignored IMDS Attribute: Tradename = Ignored IMDS Attribute: Name(DE) = Aluminium Ignored IMDS Attribute: Supplier = Ignored IMDS Attribute: Remark(DE) = Original IMDS Attribute: Classification = Aluminium and aluminium alloys</td> </tr> <tr> <td>-3</td> <td>Aluminium (metal)</td> <td>7429-90-5</td> <td>754</td> <td>Original IMDS Attribute: Node_ID = 781</td> </tr> </tbody> </table>			ツリーレベル	部品番号: 部品名称: 部品名 名 化学物質名称	部品番号: 部品コード: 部品コード CAS番号	CDX ID / バージョン	IMDSインポートプロトコル 影響を受ける各ノードまたは参照の変換	1	test_comp		1113015 / 0.01	Original IMDS Attribute: Node_ID = 908248732 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 908248732 / 0.01 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428)	-2	Aluminium			Original IMDS Attribute: Node_ID = 901869554 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 901869554 / 1 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428) Ignored IMDS Attribute: Tradename = Ignored IMDS Attribute: Name(DE) = Aluminium Ignored IMDS Attribute: Supplier = Ignored IMDS Attribute: Remark(DE) = Original IMDS Attribute: Classification = Aluminium and aluminium alloys	-3	Aluminium (metal)	7429-90-5	754	Original IMDS Attribute: Node_ID = 781
ツリーレベル	部品番号: 部品名称: 部品名 名 化学物質名称	部品番号: 部品コード: 部品コード CAS番号	CDX ID / バージョン	IMDSインポートプロトコル 影響を受ける各ノードまたは参照の変換																		
1	test_comp		1113015 / 0.01	Original IMDS Attribute: Node_ID = 908248732 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 908248732 / 0.01 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428)																		
-2	Aluminium			Original IMDS Attribute: Node_ID = 901869554 Original IMDS Attribute: Module_ID/Version = 901869554 / 1 Original IMDS Attribute: Supplier = Kawashima.Co.Ltd(900428) Ignored IMDS Attribute: Tradename = Ignored IMDS Attribute: Name(DE) = Aluminium Ignored IMDS Attribute: Supplier = Ignored IMDS Attribute: Remark(DE) = Original IMDS Attribute: Classification = Aluminium and aluminium alloys																		
-3	Aluminium (metal)	7429-90-5	754	Original IMDS Attribute: Node_ID = 781																		

EntServ Deutschland GmbH CDXIによって生成された

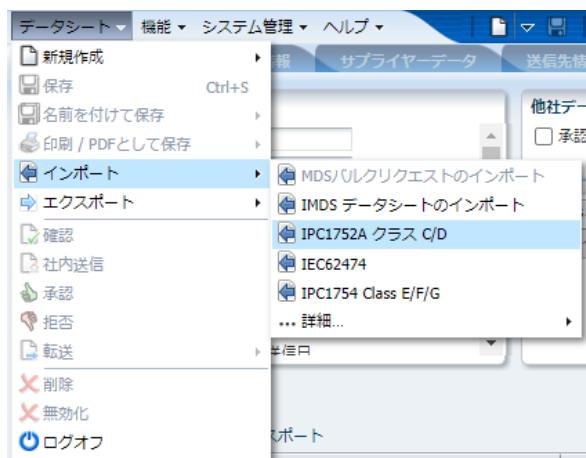
DXC DXC.technology

IPC1752A, IPC1754, IEC62474 ファイルからデータシートをインポート

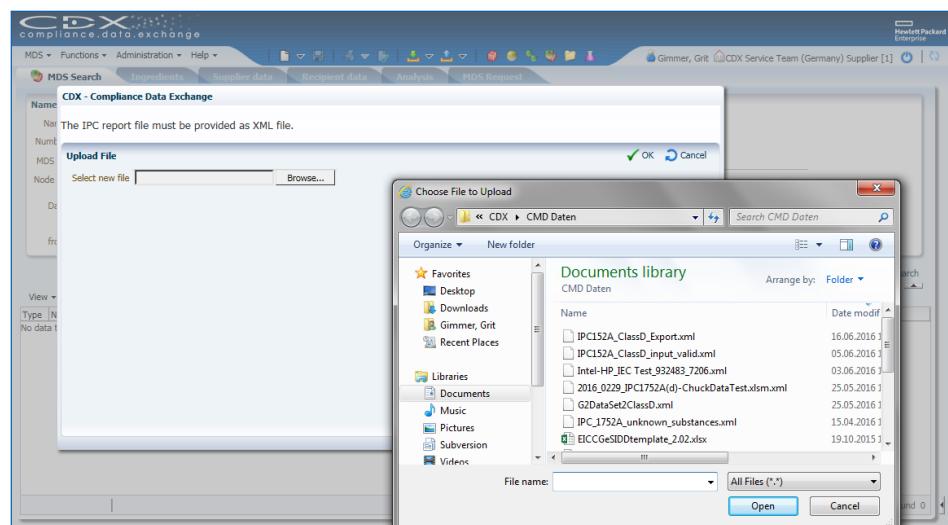
IPC1752A クラス C およびクラス D、IPC1754（クラス E、クラス F およびクラス G）、IEC62474 宣言書も、自社データシートとして CDX にインポートすることができます。インポートされた 1 つの宣言は、それが記録されている製品の数に応じて、複数のデータシートになることがあります。

インポートの処理の間、ユーザーはステップバイステップの対話型のウィザードにより処理を進めることができます。データシートのための追加の IPC 情報（例：インポート日等）はインポート後データシートの詳細が画面で確認することができます。インポートされたデータシートは編集モードの自社データとしてインポートされます。そこでそれは再度手を加えられ、更なる処理がなされることになります。

データシート > インポート > IPC1752A Class C/D、IPC1754 Class E/F/G、または IEC62474 のメニューからインポート処理を開始することができます。



次の画面でインポートするファイルを選択することができます。 をクリックしてコンピューター上の必要な XML ファイルを選択してそれを開いてください：



OK をクリックすると、内容確認レポートがスタートし、以下のウィザードが表示されます。そこではインポート処理の間ガイドが表示されます。ウィザードにはおのれの処理段階で異なる情報が表示されます。情報を注意しながら確認して、必要な情報を埋めるか選択してください。Back や Next のボタンをクリックして処理の間前後することになるかもしれません：

General Info

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Confirmation

The report has been successfully validated! This import process will guide you to through the data sheet creation process.

Important Notice

- The data sheet to be created will be owned by your company, and all imported information can be modified after new data sheet is created.
- The new data sheet will require only a subset of data from the report.
- For reference purpose, the original report file will be added to the data sheet as data sheet level attachment.

Supported by  Anthesis

Back | Next | Cancel

Declaration

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Confirmation

The information displayed below corresponds the node **/MainDeclaration/BusinessInfo/Declaration** in report.

Scope Class A Class D

Legal Declaration - Standard Supplier certifies that it gathered the provided information and such information is true and correct to the best of its knowledge and belief.

Supplier Acceptance Accepted

Supported by  Anthesis

Back | Next | Cancel

Supplier

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Confirmation

The information displayed below corresponds the node **/MainDeclaration/BusinessInfo/Response** in report.

Response Status

Expected Response Date 03/17/2016
Response Document ID
Lock Response Fields false

Authorized Representative

Name Amr Abd El Ghaffar
Phone 06142-803948
E-mail amr.abd-el-ghaffar@hpe.com

Company Information

Company Name
Company Unique ID
Company Unique ID
Authority

Contact Information

Contact Name Amr Abd El Ghaffar
Phone 06142-803948
E-mail amr.abd-el-ghaffar@hpe.com

Supported by  Anthesis

Back | Next | Cancel

Requester

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Confirmation

- The information displayed below corresponds the node **/MainDeclaration/BusinessInfo/Request** in report.
- The requester information will not be added to new data sheet.

Company Information	
Requester Information	Company Name <input type="text" value="String"/>
Request Date	08/13/1957
Request Document ID	<input type="text" value="String"/>
Respond By Date	08/13/1957
Company Contact	
Name	<input type="text" value="String"/>
Phone	<input type="text" value="String"/>
E-mail	<input type="text" value="String"/>

Supported by  Back Next Cancel

Product List

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Confirmation

- The information displayed below corresponds the node **/MainDeclaration/ProductList** in report.

Mfr Item Name <input type="text" value="Material_901019013"/>	Requester Item Name <input type="text"/>
Mfr Item Number <input type="text" value="123"/>	Requester Item Number <input type="text"/>
Unit type <input type="text" value="Each"/>	Mass <input type="text" value="100.0"/>
Effective Date <input type="text" value="2016-03-17"/>	UoM <input type="text" value="massPercent"/>

Item number 123 found The item number of the product is referenced in one of your company's MDS. The import process will create a new MDS version by default. Please use the option below if you choose to create a new MDS instead.

Create new MDS version Create new MDS

MDS with item number 123 found

Supported by  Back Next Cancel

Material/Substance

General Info Declaration Supplier Requester Product List Material/Substance Material/Substance Confirmation

- The information displayed below corresponds the node **/MainDeclaration/ProductList/Product/MaterialInfo/HomogeneousMaterialList/HomogeneousMaterial** in report.

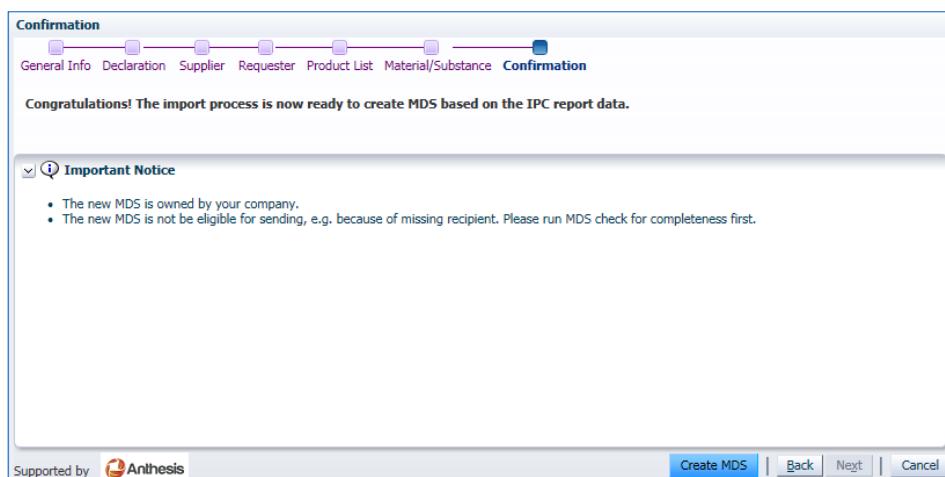
Material_901019013

(+) -Tartaric acid
(1) -3,7-Dimethyloctan-3-ol

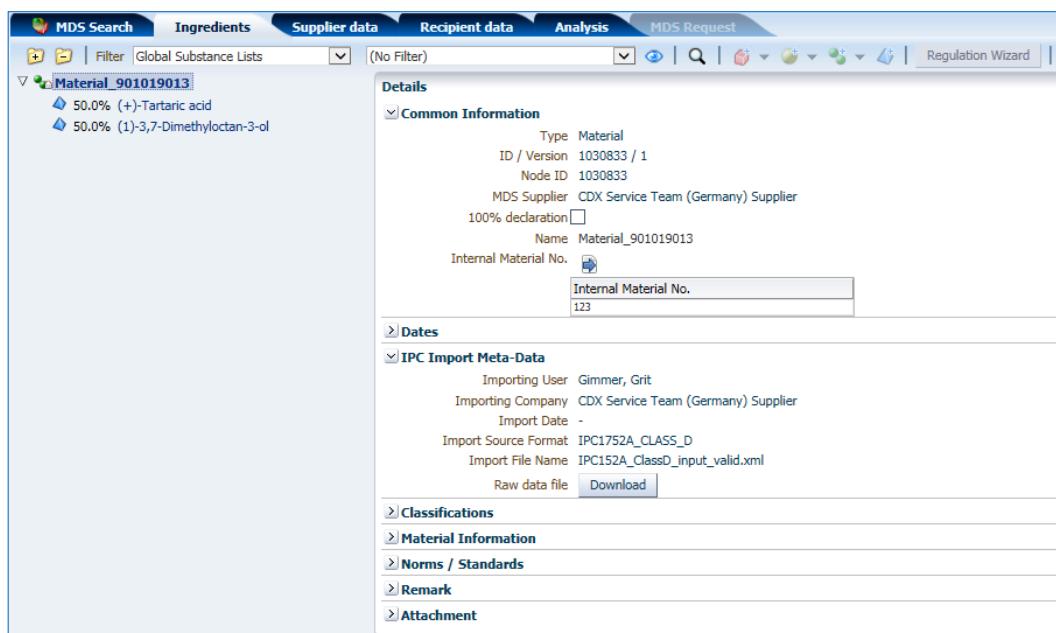
Details

Material Group	Material_901019013
Homogeneous Material	Material_901019013
UoM	massPercent
Mass	100.0

Supported by  Back Next Cancel



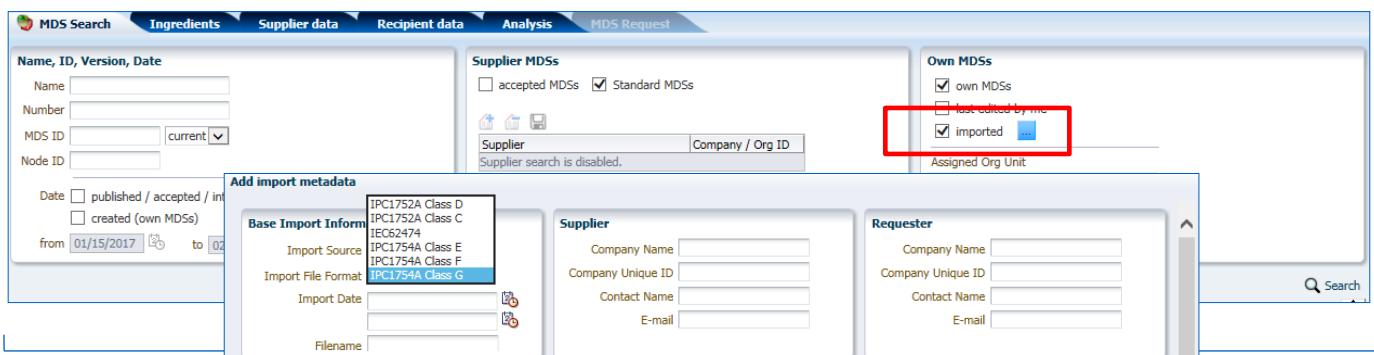
この画面が出ると、インポート処理は終了です、 “Create MDS” .をクリックすることでこれを完了することができます。作成されたデータシートは自社で所有でき、全てのインポートされた情報はデータシート内で編集することができます：



新しいデータシートはインポートされたレポートからデータのサブセットのみを要求します。参照目的のために、オリジナルのレポートファイルは、データシートレベル添付（詳細の IPC Import Meta Data セクションに）として、データシートに追加されます。

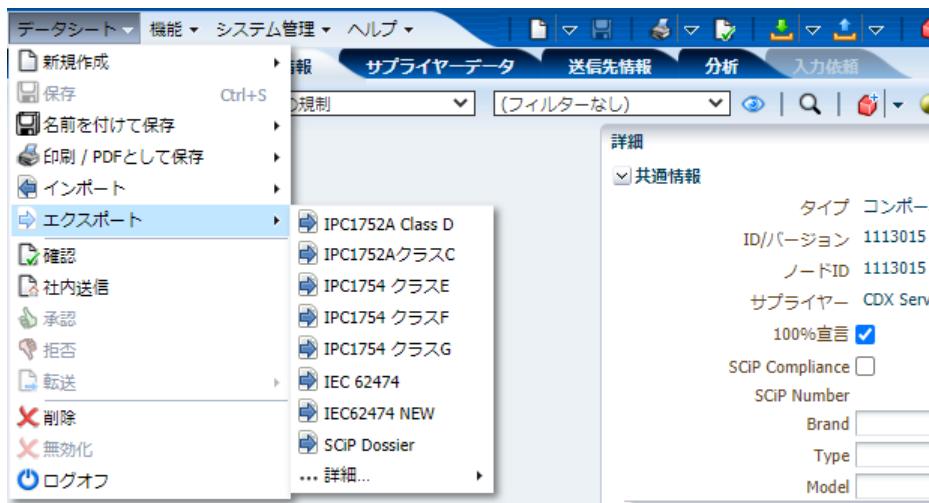
データシート内にはまだいくつか足りないデータがあるかもしれません。例えば受信データ等です。不完全や不足しているデータを見つけるためにデータシートチェックプロセスを動かしてください、そしてデータシートを完成させてください。

インポート機能に加えて、ユーザーはインポートした IPC1752A, IEC62474 or IPC1754 宣言書として作成された自社データシートのみをデータシート/部品/材料の検索画面内で探し出すフィルターをすることができます。



IPC1752A, IPC1754, IEC62474 ファイルヘデータシートをエクスポート

有効なデータシートライセンスがあれば、ユーザーは、IPC1752A クラス C またはクラス D、IPC1754 クラス E、F、G、または IEC62474（第 1 版および第 2 版「NEW」）宣言としてデータシートをエクスポートすることができます。この機能は、データシート検索（検索結果テーブルのコンテキストメニュー）、およびデータシートの表示または編集時に利用できます。選択した宣言にデータシートをエクスポートします。エクスポートされたデータは XML ファイルとして保存されます。エクスポートプロセスを開始するには、メニュー「データシート > エクスポート」を使用して、希望するフォーマットを選択してください。

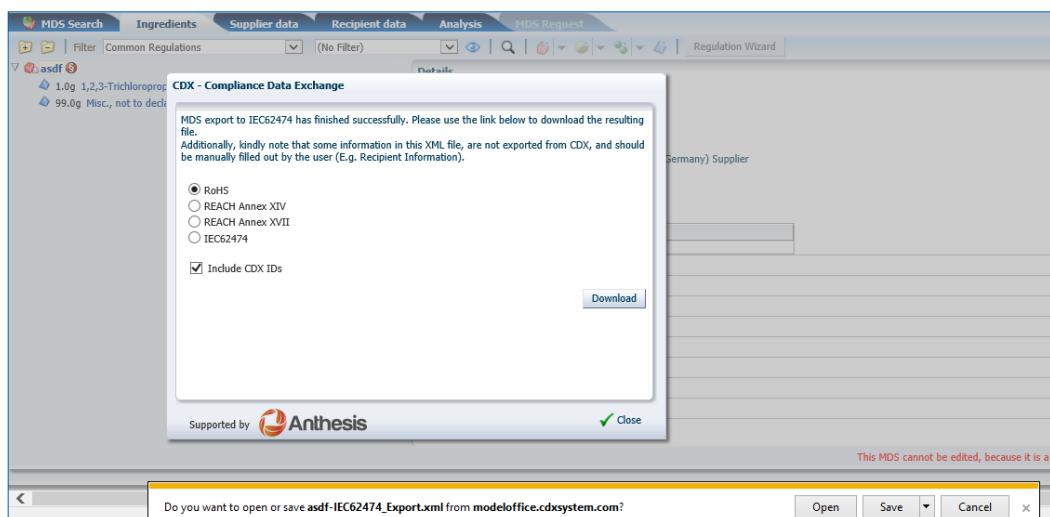


IPC1752A クラス C またはクラス D、または IEC62474 ファイルにデータシートをエクスポートする際に、エクスポートウィザードで、エクスポートファイルで報告する規制を選択できるようになりました。IPC 規則がリストアップされ、エクスポート用に 1 つ（クラス D および IEC62474 の場合）または複数（クラス C の場合）の規則を選択することができます。さらに、エクスポートファイルに CDX からの MDS ID を含めるかどうかを選択できます。デフォルトでは、データシートのノード ID、モジュール ID、企業 ID が含まれています。必要ない場合は、チェックボックスをオフにしてください。

IPC1754 の場合は、文書モード（配布または依頼/返信）を選択し、送信先の企業名を追加し、適用範囲の規制を選択する必要があります。「送信先一覧から選択」オプションで送信先企業名をリストから選択するか、「手動入力」オプションで送信先企業データを手動で入力することができます。



ダウンロードボタンをクリックして、結果のファイルをダウンロードしてください。

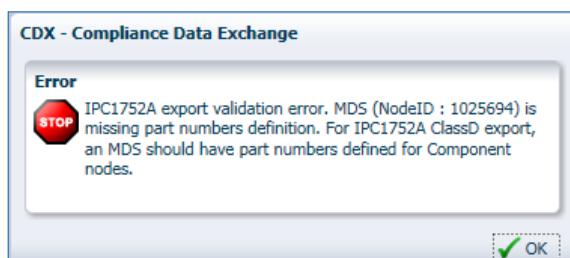


画面下部のメニューでファイルを開いたり、保存したりすることができます。

注意: 作成された IPC1752A Class C declaration を確認してみてください；CDX からエクスポートされた XML ファイルには欠けている情報があるかもしれません。それはユーザーによって（例：受信情報）手動で埋めなければなりません。

データシートが IPC1752A クラス C ファイルにエクスポートされた場合、すべての非規制物質はファイルにリストされません。レポートファイルには、そのような化学物質がデータシートに含まれていない場合でも、選択された規制の全化学物質の記載が含まれています。

エクスポート処理が始まる前に、システムはデータシートデータを確認しています。エクスポートがデータシート中の誤ったデータやデータの欠落により実行できなかった場合には、データシート中で何を変更する必要があるかの情報をエラーメッセージは表示することになります。：



必要な変更を行った上で、再度エクスポートを実行してください。

SCIP Dossier ヘデータシートをエクスポート

この機能は、有効なデータシートライセンス(Entry Level 以上が必要)を持っている場合に、データシートを閲覧または編集する際に利用できます。データシート > エクスポート メニューを使用して、希望するフォーマットを選択して、エクスポート処理を開始してください。



すると、「SCIP Dossierのエクスポート」ダイアログが直接開きます。

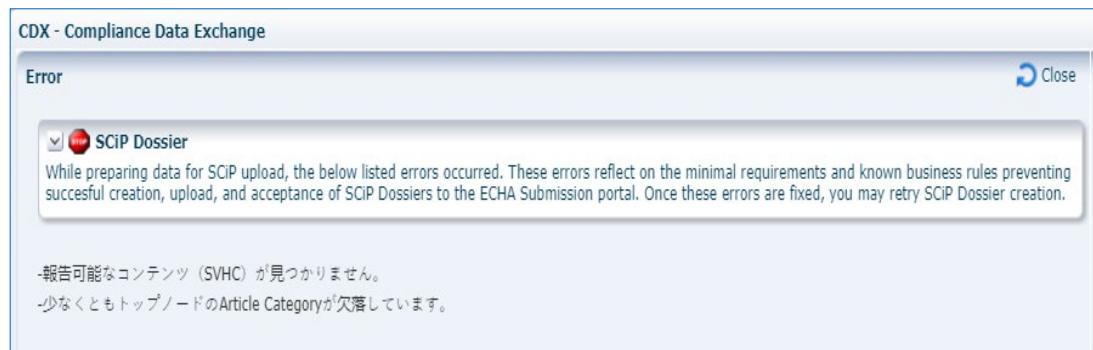


SCIP 認証をクリックすると新しいタブが開き、SCIP 提出に向けて企業で準備を行う方法を示すドキュメントが表示されます。

警告：このデータシート内の項目に Article Categories が含まれていない場合、データシートで設定されたデフォルト値を受け取るか、デフォルト値が指定されていない場合は前任者の値を受け取ることになります。SCIP Dossier の作成を許可する前に、以下のルールチェックが行われます。

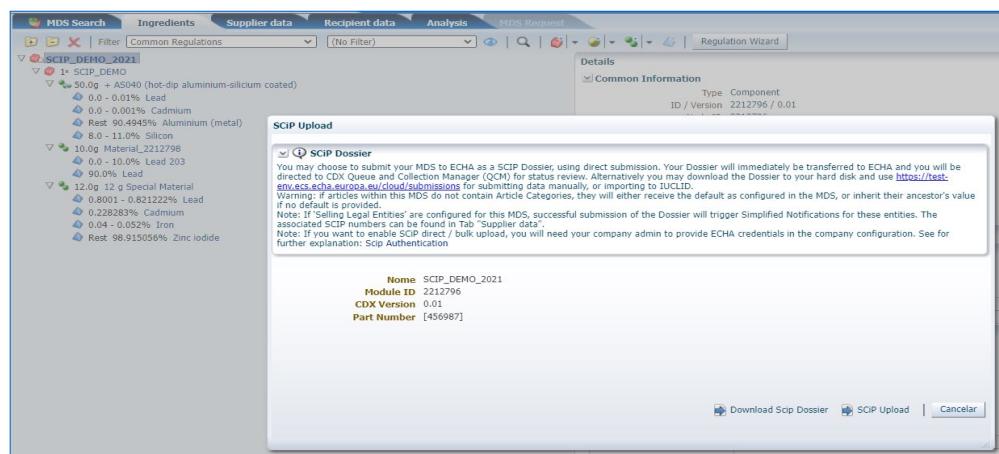
2. データシートは、REACH 候補リストの規制物質(現行版)を 0.1%以上含有する成形品を 1 つ以上有していなければならない。
3. 製品ビジネス情報の Article Category が、少なくともデータシートのトップノードに設定されていなければならない。
4. データシートは、含まれる全ての成形品に部品番号が設定されていなければならない。

失敗したかのチェックはすべて、エクスポートウィザードに一覧表示されます。



画面を閉じて、チェック基準を満たすようにデータシートを変更し、エクスポート処理を再開することができます。

データシートがすべてのルールチェックに合格した場合、エクスポートウィザードは以下のように表示され、SCIP Dossier をダウンロードまたは SCIP データベースに直接アップロードすることができます。



「SCIP アップロード」ボタンをクリックするとジョブが開始され、データシートの情報を SCIP データベースに転送します。ボタンをクリックすると、「SCIP アップロード」ダイアログ(上図参照)が消えます。その後、ポップアップ(下図参照)が表示されます。ユーザーは、関連する QCM フォルダに直接転送するかどうかを決めることができます。



Queue and Collection Manager (QCM) に、ジョブの状況といくつかの追加情報が表示されます。SCIP アップロードが失敗した場合は、QCM で再起動することもできます。

SCIP 参照

CDX は現在、それ自体の MDS のために SCIP Dossier の参照メカニズムを使用しています。SCIP 番号を格納している「会社所有」ノードを含んでいる ECHA に MDS がプッシュされるたびに、CDX は完全な Dossier を作成せずに、SCIP 参照を作成します。

サプライヤーパーツを受ける際に、CDX はまた SCIP Dossier の作成をサポートし、これらを SCIP 参照のために使用することも可能になります。ただし、サプライヤーパーツに対する SSN はこれによっては作成されず、送信先に特有の情報に基づいてこれに対する完全な Dossier が作成されますので、ご注意ください。

SCIP マルチセレクトサポート

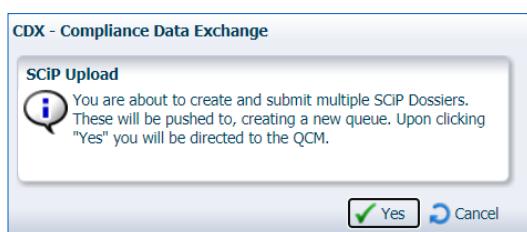
ECHA に転送する複数のデータシートを選択することが可能です。この機能は、MDS 検索、コンポーネント／サブコンポーネント、および材料検索で利用できます。さらに、分析データシートの「Where-Used-Analyzes」機能でも同様の動作が可能です。

複数のデータシートを選択している場合は、右クリックで機能を利用できます。

Type	Name	Part/Item No.	ID / Version	Node ID	Supplier	Supplier Code
ScipArticletTest	part	200052600 / 1	200052600	AB Company Marco		
ScipNumber	bla	200052289 / 0.01	200052289	AB Company Marco		
ScipTestComplex	bla	200051585 / 1	200051585	AB Company Marco		
ScipTestComplex2	bla	200051832 / 1	200051832	AB Company Marco		
Scip_Test_AllRulesFailed		200051817 / 0.01	200051817	AB Company Marco		
Scip_Test_PassArticel	Test1	200052344 / 1	200052344	AB Company Marco		
Scip_Test_PassblA	test2 [...]	200051846 / 1	200051846	AB Company Marco		
Scip_Test_Pass_Vers1	Test1	200051820 / 2	200052284	AB Company Marco		

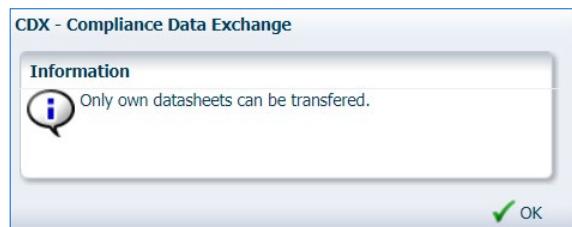
または、「MDS」 => 「エクスポート」 => 「SCIP Dossier」をクリックします。

「SCIP Dossier」ボタンをクリックすると、以下のポップアップが表示されます。



をクリックすると、QCM が開き、選択したデータシートが新しく作成された SCIP 送信フォルダに保存されます。 フォルダ

名には、転送されたデータシートの日時が含まれています。その後、ECHA へのアップロードが開始されます。



少なくとも 1 つのデータシートが選択されていないと、「SCIP Dossier」をクリックした後に以下のエラーメッセージが表示されます。

どうかに関わらず、無視され、転送されません。

独自のデータシート以外のデータシートは、選択されているか

入力依頼

入力依頼機能は非常に強力な機能ですが、それを使用する前に、CDX 外のサプライヤーと協力して、要件を伝えるためにそれを使用しようとしていることに同意しなければなりません。どの CDX を利用している企業に入力依頼する必要があります。この章では、入力依頼の機能の使い方についてご説明します。

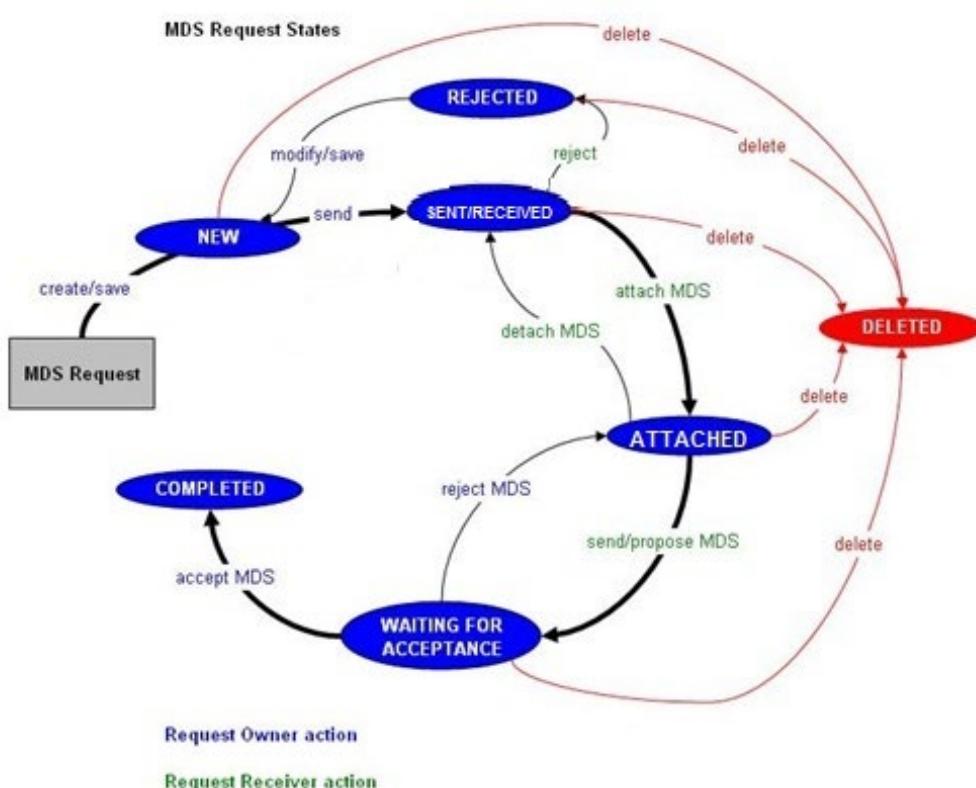
入力依頼の内容

入力依頼では、そのデータシートでの入力が必須となる属性と、入力するかを選択できる属性とに区別されています。

入力依頼には以下の内容が含まれます：

- 入力必須のデータシート属性のセット（基本属性、送信先固有の属性）
- 入力依頼主の指定により入力必須のデータシート属性（送信先固有の属性のみ）
- 入力依頼固有の管理データ

次の図は、入力依頼に関連するワークフローを示しています：



入力依頼に関する用語：送信先と送信元

データシート送信先は、データシート送信元への入力依頼を作成します。したがって、データシート送信先が入力依頼の所有者となり、データシート送信元が入力依頼の送信先となります。混乱を避けるために、データシート送信先とデータシート送信元という用語を使用します。

データシート属性

データシート属性は、**基本属性**および**データシート送信先固有の属性**の2種類に区分することができます。入力依頼主（データシート送信先）は、入力依頼の中で入力を求めるデータの項目を示します。ほとんどの項目はオプションですが、データシート属性の“部品番号”および“入力期限”は入力必須です。

基本属性は、直接データシートの情報を参照するため、全てのデータシート送信先に対して同じ情報となります。基本属性は以下のとおりです：

- データシートタイプ
- 100%申告
- 部品質量
部品質量（自動計算値）

データシート送信先固有の属性は[送信先情報]タブに関連付けられているデータ項目です：

- 部品番号
- 名称（必須）
- 図面番号
- 転送許可
- 設計変更番号
- 発注書番号
- 入力依頼を作成するときに、項目欄に補足用のコメントを入れないでください。入力された値が自動的に入力依頼のデータフィールドに割り当てられ、それ以上上書きできなくなります。空欄にしておくことで、データシート送信元はその値を入力するかを選択できます。

管理用データ

管理用データは、入力依頼を直接参照するデータです。これは、入力依頼主（データシート送信先）が、入力依頼を自社内で管理するために使用するデータで、以下のような項目を持っています：

1. プロジェクト：複数の入力依頼を処理するために使用します。プロジェクトは、カンパニードミニストレーラーによって作成され、データシート送信先企業全体で有効です。
2. 企業 / 組織：データシート送信先企業/組織とコンタクトパーソンの ID
3. 入力期限：データシート送信先でデータシートを受領したい日付
4. 拒否の理由：拒否する場合に入力必須の項目
5. 拒否の理由の履歴：全ての拒否の理由の履歴

入力依頼のステータス

入力依頼には次のようなステータスがあります：

- 新規の入力依頼（ステータス "new"）
- 入力依頼がデータシート送信元へ送信済み（ステータス "sent"、データシート送信元では "received"）
- データシート送信先が返信し、入力依頼を送付（ステータス "sent"、データシート送信元では "received"）
- データシート送信元がデータシートを割り当てたが、まだ未送信（ステータス "attached"），
- 割り当てられたデータシートが送信済み（ステータス "waiting for acceptance"）
- 割り当てられたデータシートが承認済み（ステータス "completed"）
- 入力依頼受領先（データシート送信元）が入力依頼を拒否（ステータス "rejected"）
- 入力依頼がキャンセルされた（ステータス "deleted"）

データシート依頼者は、入力依頼検索でコンテキストメニュー（マウスの右クリック）削除を使用するか、またはデータシート入力依頼の詳細でデータシートメニューの削除機能を使用することで、データシート入力依頼のステータスを変更することができます。

入力依頼の作成

プロジェクト使用の最初のステップは、プロジェクトを作成することです。この章での説明においては、未使用のプロジェクトがある（必須ではない）か、プロジェクトが既に作成されていると仮定します。

読み取り専用を除く全てのユーザープロファイルは、入力依頼を作成することができます。入力依頼を作成するには、2つのオプションがあります。

- データシート > 新規作成 > 入力依頼を使用して、单一の入力依頼を作成します。
- 提供された MS Excel テンプレートを使用して複数の入力依頼を作成し、CDX にファイルをアップロードします。

最初のオプションについては、次のセクションで説明します。MS Excel ファイルを使用して複数のデータシート要求を作成するための説明は、送信済み一覧の章を参照してください。

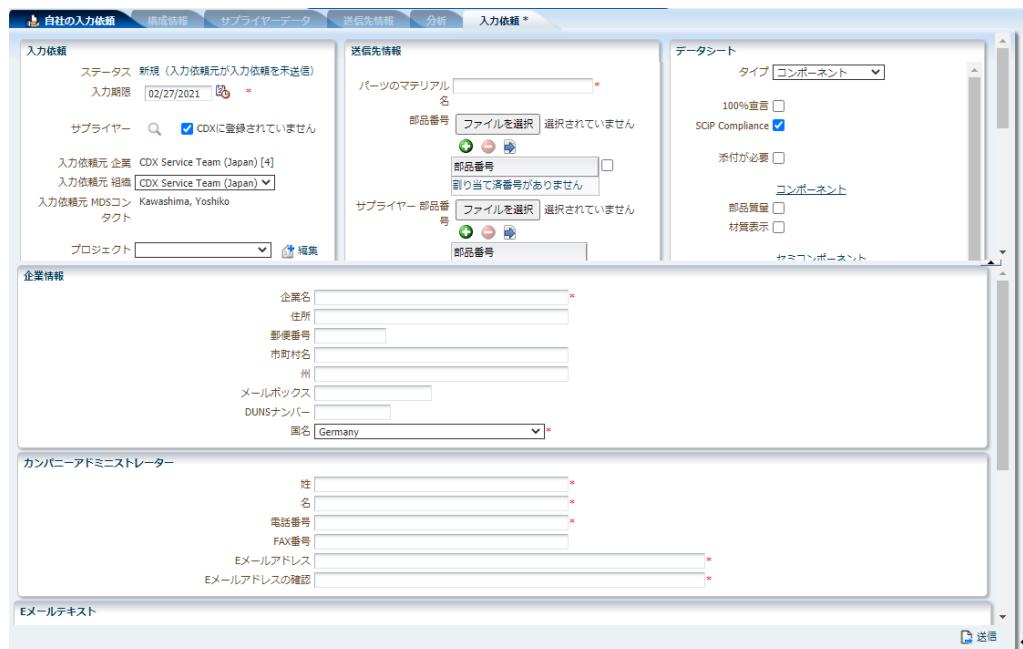
属性は次のとおりです：

項目名	説明
タイプ / プロジェクト	
ステータス	入力依頼の状態を表すステータス
入力期限	データシートの提出期限で、入力必須項目
サプライヤー	入力依頼を受領するデータシート送信元
入力依頼元企業	システムによって自動生成 - 入力依頼を作成した CDX 企業名、サプライヤーが入力依頼の返信を送信する先
入力依頼元組織	貴社で組織が割り当てられている場合、データを入力依頼している組織を選択することができます - 入力依頼されたデータシートを受け取るのはこの組織のみです。
入力依頼元 MDS コンタクト	入力依頼を作成する人のユーザーID からシステムが自動生成
プロジェクト	入力依頼に割り当てられたプロジェクト No.
ID	システムによって自動採番された入力依頼 ID
コメント	ここでは、サプライヤーへの追加情報、どのような情報を期待しているか、また入力依頼に答える方法を入力することができます。
添付ファイル	ここでは、添付ファイルと簡単な説明を入力依頼に追加することができます。許可されるファイル形式は、データシートの添付ファイルと同じです。1 ファイルあたりのサイズは 10MB までで、最大 5 つのドキュメントをアップロードすることができます。詳細については、データシートセクションの添付ファイルの章をご参照ください。
送信先情報	
企業サプライヤーコード	サプライヤーコードを入力する必要がある場合に入力します。作成時点で特定のコードを入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーがコードを変更することはできません。
管理サプライヤーコード	事前に定義されたサプライヤーコードを持つ CDX リストのサプライヤーを選択する場合（カンパニー・アドミニストレーターにより、システム管理 > 企業メニューにて行われる）、事前に定義されたサプライヤーコードは、"管理者サプライヤーコード" としてここにロードされます。
名称	名称は入力必須です。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
部品番号	部品番号は入力必須です。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。

項目名	説明
転送許可	転送を許可する場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
図面番号	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
図面作成日	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
設計変更番号	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
発注番号	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
納品番号	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
レポート No.	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
レポート日	入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。作成時点で特定の値を入力しておくこともできますが、その場合サプライヤーは値を変更することはできません。
データシート	
タイプ	部品、セミコンポーネント、材料の必要なタイプを選択します。
100% 宣言	化学物質を 100% 宣言する必要がある場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
部品質量	部品構成内の全てのコンポーネントに部品質量を入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
SCIP Compliance	このフィールドにチェックを入れて SCIP Compliance を確認します。このフラグのデフォルト値は、企業管理画面のトリガーです。
添付が必要	入力依頼されたデータシートに添付ファイルを明示的に依頼する場合は、このボックスにチェックを入れます。フラグが設定されている場合、顧客にそれぞれのデータシートを送信するためには、トップノードでの添付ファイルが必要です。
部品質量	ツリー構造のすべてのコンポーネントに項目ごとの質量の値を入力する必要がある場合は、このボックスにチェックを入れます。
材質表示	部品構成内の全てのコンポーネントの材質表示で回答必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
単位あたりの質量	部品構成内の全てのセミコンポーネントで単位あたりの質量を入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
材料記号	部品構成内の全ての材料で材料記号の入力を必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
標準材料 No.	部品構成内の全ての材料で標準材料 No.を入力必須にする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。
化学物質グループ/リスト	データシート中で参照したい化学物質グループ/リストを選択します。顧客へ提出するために自社の固有化学物質リストを選ぶこともできます。そのリストには要求されたデータシートに対して含まれるべきもの、または含まれるべきではないものが入っています。
規制	<p>入力依頼されたデータシートの対象となる全ての規則(共通規制と企業固有規制)を選択してください。依頼元の企業/組織単位(企業詳細で定義されている)に適用される全ての規制は、デフォルトでマークされています。</p> <p>依頼元の組織単位を変更することで選択を変更することができます。また、手動の「確認が必要です」の項目と同様に、適用範囲の規制にマークを付けたり外したりすることができますが、これは、入力依頼されたデータシートのために企業や組織単位のデフォルトの規制選択を上書きします。</p> <p>また、「影響を受けない製品を許可」のチェックを外すことで、入力依頼されたデータシートの規制確認で「影響を受けない製品」という回答を避けることができます。</p>

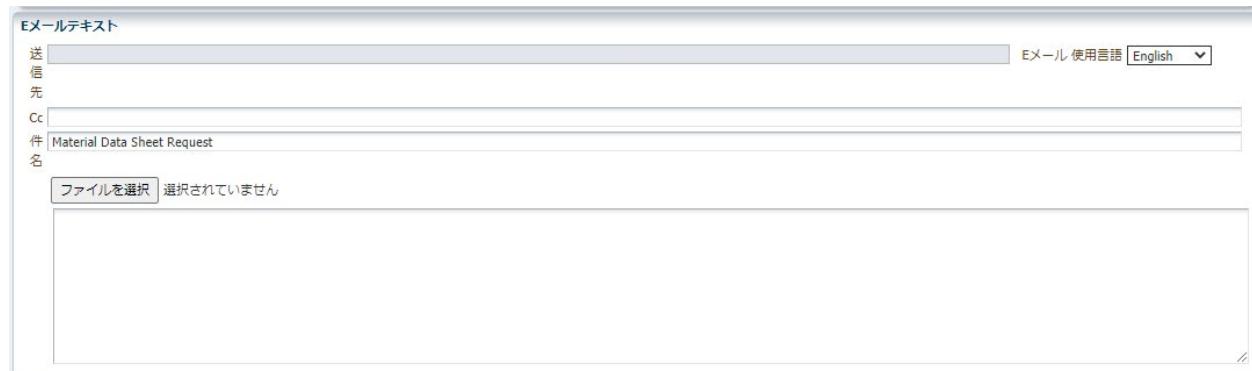
サプライヤーの選択

企業検索機能  を使用して、CDX 内に登録されている企業を検索するか、または CDX にまだ登録されていない企業にリクエストを送ることもできます。“CDX に登録されていない”という項目をチェックすることで、追加情報の項目が画面下部に表示されます：



CMD リクエストを送信したい企業に必要とされる情報の入力をお願いします（赤い*がついた項目は入力必須項目です）。

画面の最後には、システムが送信する E メールにメモを入れることもできます。ここには、まだ CDX に登録されていないサプライヤーや、入力依頼への回答方法についてのガイダンスが必要なサプライヤーのための有益な情報を追加することができます。貴社が有効な CDX ライセンスを持っている場合は、ここに添付ファイルを追加することができます。アップロードできるファイル形式は、xls、xlsx、doc、docx、pdf です。添付ファイルを削除するには  削除 ボタンをご利用ください。



保存して送信すると、入力したカンパニーアドミニストレーターに、CDX への登録の案内と、システムを利用するための関連情報が記載されたメールが届きます。

 Mi 31.01.2018 15:26
cdx-mailer@cdxsystem.com
Material Data Sheet Request (CDX Modeloffice 2)

To CDX Info

? If there are problems with how this message is displayed, click here to view it in a web browser.
Click here to download pictures. To help protect your privacy, Outlook prevented automatic download of some pictures in this message.

  Content.docx (33 KB)

Dear Datasheet Admin,

This email was generated by CDX on behalf of **Grit Gimmer, CDX Service Team (Germany) Supplier**. If you are in doubt about the authenticity of this email, please contact Grit Gimmer (grit.gimmer@dxctechnology.com). A personal message from Grit Gimmer might be available at the end of this email.

CDX Service Team (Germany) Supplier or their clients is required legally under one or more legislative requirements to report the use of certain chemical substances in their products and the products they contract for production. MZ Aktienges. is required, as their supplier, to support this activity. Their company records identify you as the contact at your company for this type of support.

The chemical substances are reported using a Material Data Sheet (MDS), which reports the chemical composition of the items you supply. An MDS is not the same as a Safety Data Sheet (SDS), which is designed to protect and inform employees. In contrast, an MDS is designed to protect consumers and the environment. Material Data Sheets are often created using the IPC-1755a or the IEC-62474 data standards.

CDX Service Team (Germany) Supplier has elected to use the **DXC Compliance Data Exchange (CDX)** as the supplier reporting data collection service for this information. If you do not have prepared MDS submissions for the required product or products, CDX will guide you through the creation process. To simplify reporting, Grit Gimmer has created an MDS Request in the CDX System, and has identified you as the initial CDX Company Administrator for your company. Your company has been pre-registered in CDX. Your company can use CDX to create or upload your MDS and provide the required information to this recipient client, without direct monetary cost to your company. If your company is not registered in CDX, you need to complete the registration process, activate your company, and follow the posted and received instructions before you can create or upload your MDS.

You are asked to create your submission by **2018-04-30**. Creation of the MDS will require gathering information from within your company and possibly from your suppliers, so you are encouraged to begin the process as quickly as possible.

Personal message from Grit Gimmer ("Material Data Sheet Request")

Please send your MDS ...

Important:
For security purposes the three links below can only be used once, and expire on the submit-by date above.

To complete registration and begin activation, please click the following link: [activate my company](#)
If your company is already registered in CDX, please click the following link: [logon CDX](#)
If you believe receiving this notification is an error, please click the following link: [reject registration](#)

カンパニー アドミニストレーターがこの企業登録を有効にするとすぐにEメールで通知されます。サプライヤー企業が登録を確認していない限り、あなたは登録依頼を更新および/または再送信することができます。これは、画面下部の送信ボタンを使用して、リクエスト自体で行うことができます。

ここでは、「送信履歴」も利用可能です。この表の項目をダブルクリックすると、既に送信された登録依頼メールを開くことができます。

Send History

Subject	E-Mail address	Date Sent	Sent Status	Has Attachment
Material Data Sheet Request	aya-allah.tarif@dxctechnology.com	5/14/2018	SENT	No
Material Data Sheet Request	aya-allah.tarif@dxctechnology.com	5/14/2018	SENT	No



既存のCDX内の企業にリクエストを送る際には、その企業はリクエストをCDX内で直接受け取ることになります。
“Material Data Sheet (MDS) リクエスト送信先”としてEメール情報を記載した全てのユーザーが、以下のようにEメールを受け取ることになります：

Mon 13.06.2016 14:19
CDX Mailer
Material Data Sheet (MDS) Request received from CDX Service Team (Germany) Supplier (Name:MDS Test Request)
To Gimmer, Grit

Action Items + Get more apps

Dear Grit Gimmer,

A Request for the Material Data Sheet (MDS) "MDS Test Request" due on 09/13/2016 has been sent by CDX Service Team (Germany) Supplier to CDX Service Team (Germany).

Recipient specific data

Request ID	2292
Name:	MDS Test Request
Drawing No.:	-
Drawing dated:	-
Drawing Change Level:	-
Purchase Order No.:	-
Bill of Delivery No.:	-
Report No.:	-
Date of Report:	-

You can directly open the this request [2292](#) after log on CDX using this link.

As an alternative you can manually navigate through CDX as described here:
Once you have logged in [CDX](#), please select the InBox  from the Toolbar (or use the menu Functions InBox). Select MDS Request. In the resulting screen, click Search  (on the right) to locate the client request.

Best regards,
Your CDX Team

CDXにログイン後、リクエスト送信先はメール中のリンクから、直接リクエストを開くことができます。CDX メイン画面（データシート検索）に代わり、受け取った MDS リクエストが表示されます。

使用しているユーザーがない CDX 企業にリクエストを送ってしまった時には、リクエスト受信企業の中で、使用しているユーザーがないため、リクエストが送られなかつたというメールによる通知を受け取ることになります。またリクエスト送信先に一人も E メールが記載されていない企業にリクエストが送信された場合にも、通知されることになります。

プロジェクトの作成

プロジェクトグループによる入力依頼は、全社的に有効です。プロジェクトは入力依頼作成画面上で作成することができます。 [プロジェクト] フィールドの横にある [編集] をクリックして起動すると、新しいポップアップが表示されます。プロジェクトを新規作成するには、 新規 をクリックします。

別の新しいポップアップが表示されますので、そこにプロジェクト名称を入力します。このウィンドウを終了するには、[保存] をクリックします。新しいプロジェクトは、ウィンドウの下部にあるリストに表示されます。プロジェクトをクリックにより選択して、[適用] ボタンを押すと入力依頼画面に戻ります。

入力依頼の送信

全てのデータが入力された後、ツールバーのアイコン  を押すと、システムチェックが実行されます。入力依頼が正常に保存されると、[送信] ボタン  が画面の右下に表示されます。この[送信] ボタンでサプライヤーへ入力依頼を送信します。

入力依頼の拒否

入力依頼またはデータシートを作成することができるユーザーであれば誰でも、入力依頼を拒否することができます。受信した入力依頼がデータシート送信元で取り扱えない場合、その入力依頼を拒否し、コメント付きで返信します。これによりデータシート送信元および送信先の両方で入力依頼のステータスが “rejected” となります。入力依頼が拒否された場合は、データシート送信元での拒否の理由の入力が必須となります。

受信した入力依頼を表示した後、画面の右下には 3 つの選択肢が表示されます。

 Reject  Assign MDS  Create MDS

入力依頼を拒否するためには、[拒否] ボタンをクリックします。入力依頼の拒否理由は、その後に入力する必要があります。

入力依頼への対応

既存データシートの入力依頼への割り当て

入力依頼に対応するには、新規にデータシートを作成するか、既存のデータシートを割り当てるかの2つのオプションがあります。自社が作成した既存のデータシートのみを添付することができます。

この場合、既存のデータシートを割り当てます。ここには2つのオプションがあります：入力依頼の受信済み一覧から直接送信するか、入力依頼自体から送信するかです。受信した1つまたは複数の入力依頼を直接入力依頼の受信済み一覧にマークして、コンテキストメニューの「データシートの割り当て」またはマウスの右クリックで割り当てプロセスを起動することができます。

View	Menu	Export					
Request ID	Type	Project	Deadline date	Status	Requester	Number	Name
8305	TestRequest	TestRequest	10/10/2031	received	CDX Service Team (Germany)		Changed
7893	TestRequest	CDX Webinar	09/07/2018	Overdue	Implementation		Implementation
3160	TestRequest		06/06/2017	Overdue	CDX Service Team (Germany)		Implementation
3158	TestRequest		06/03/2017	Overdue	CDX Service Team (Germany)		Implementation

なお、メニューの「データシートの割り当て」は、以下の条件を満たしている場合にのみ提供されます。

- 選択されたすべての入力依頼は、割り当て可能。（ステータスは「受信済み」 / 「期限切れ」）
- 選択されたすべての入力依頼は、同じデータシートタイプを共有している必要があります。

「データシートの割り当て」をクリックすると、データシートの検索ウィンドウが開き、目的のデータシートを検索して選択することができます。「適用」をクリックすると、データシートの詳細タブが開き、「送信先情報」タブで送信先として入力依頼元が追加され、「入力依頼」タブでは入力依頼にデータシートが割り当てられていることが確認できます。これで、送信先にデータシートを全送信/送信することができます。

 **Unassign MDS** ボタンを押すと、受信したリクエストから割り当てられたデータシートを削除することができます。割り当てた後、入力依頼元に送信/全送信することができます。

データシートの新規作成

[作成]を選択すると、新規データシートが入力依頼に割り当てられた旨のメッセージが表示されます。データシート送信先が入力依頼で指定したデータは自動的に挿入されています。データシートは、前のセクションで説明したように作成する必要があります。データシートが完成したら、送信先情報の画面を開き、指定されているその他の入力必須項目を確認します。ユーザーは通常の方法で送信先データシートを送信もしくは全送信します。

入力依頼の完了

データシート送信先へ割り当てられたデータシートを送信すると、ステータスが承認待ちに変更されます。

- 割り当てられたデータシートが送信される場合、入力依頼固有の確認として、全ての必須フィールドが入力されているかどうかを判断するチェックが行われます。
- 割り当てられたデータシートが拒否された場合、入力依頼のステータスは作業中の状態に戻ります。
- 割り当てられたデータシートが承認されると、入力依頼のステータスは完了に変更されます。

レポート

CDX が MDS および/または SDoC に関連して生成できるレポートには、いくつかのタイプがあります。

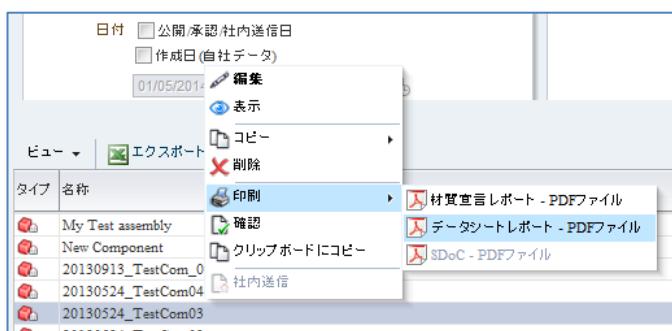
- **材質宣言レポート (ISO30005 による材質宣言)**
- **データシート レポート (材料の成分やコンポーネントについての情報を持つ材料データシートレポート)**
- **SDoC レポート (材質宣言管理のための一致のサプライヤー宣言)**

材質宣言レポートの作成やデータシートレポートには CDX MDS license が必要です。カンパニードミニストレーターは、システム管理 > CDX Licenses メニューからライセンスを注文することができます。

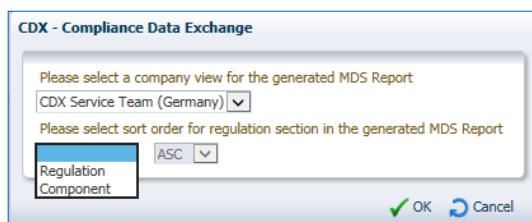
このセクションは上記のレポートについて説明します。

データシートレポート

材質宣言レポート及びデータシートレポートは、印刷アイコンが使用可能になる前に、データシートの内容を表示する必要があります。データシートの検索結果で右クリックし、メニューから印刷を選択してもレポートを作成することができます。



表示したいレポートのタイプを選択する必要があります。データシートレポートは異なる方法で表示することができます：自社企業の観点か、データシート受信企業の観点か。それらのどちらかを選択してください。加えて、データシートレポートに印刷される規制セクションのソート順を選択することができます：



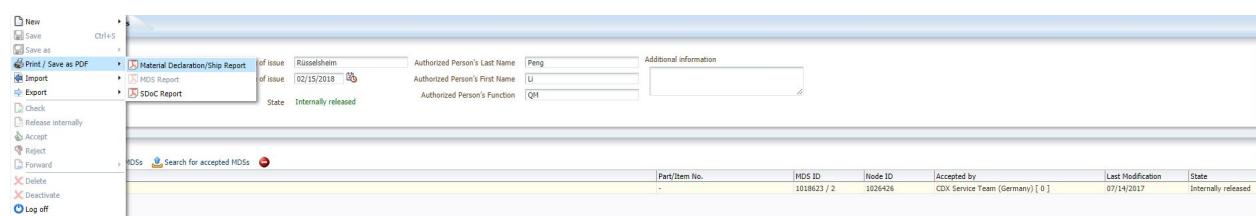
作成されたレポート (pdf ファイル) は、開き、保存することができで、データシートについての完成情報が含まれています：関連構成についての詳細情報を伴って規制に影響を与えて確認されているような、サプライヤーデータ、製品識別そして部品の特徴づけ

材質宣言レポート

材質宣言レポートはデータシートレポートと同じ方法で作成します。材質宣言レポートというのは、この製品の中に、テーブル A (禁止か制限) の化学物質とテーブル B (特定の化学物質) の化学物質が含まれているかどうか表明するレポートです。そういうた化学物質が含まれている場合、レポート内の他の値が計算され表示されます。これらのテーブルは、香港協定とガイドラインに従って示されます。

SDoC レポート

SDoC レポートは、MDS および MD レポートと同様に発表されます。SDoC レポートでは、SDoC を検索してそのいずれか一つを、印刷アイコンが利用可能になる前に選択する必要があります。



作成されたレポート (pdf ファイル) は開いたり、保存することができます。

SDoC は、製品とその関連した材質宣言が法律に従うことを保証している文書で、製品に含んでいる化学物質に関する情報の管理とコントロールに適応します。そして製品と材質宣言に対し誰が担当しているのも表示します。

船の上に乗っかかる製品に限って SDoc は有効です。国際海事機構 (IMO) 内のワーキンググループが、船リサイクルのためのガイドラインについての SDoc の草案の内容とフォーマットを発表しました。

以下の必要条件は、SDoc で満たされます：

- 一致の宣言の独特的な識別。
- 発行人の名前と連絡先。
- 一致の宣言の対象の識別（例：名称、タイプ、モデル番号、ほかに関連する補足情報）。
- 一致の声明。
- 標準規格の完全かつ明確なリストやその他の指定された要件など（もしあれば、選択されたオプションも含まれています）。
- 一致の宣言が発行された日付と場所。
- サインイン（またはサインインに相当する有効な認証）発行人に代わって行動する許可された人の名前と機能。

SDoc の標準なフォーマットは下記にご参考ください。

SDoC のサンプル

Supplier's Declaration of Conformity for Material Declaration management		
1) Identification number:	_____	
2) Issuer's name:	_____	
Issuer's address:	_____	
3) Object(s) of the declaration:	_____	

4) The object(s) of the declaration described above is in conformity with the following documents :		
Document no.:	Title:	Edition/date of issue
5) _____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
6) Additional information :	_____	

Signed for and on behalf of:		

(Place and date of issue)		
7) _____	(Name, function)	(Signature)

SDoC と材質宣言レポートの関連性は、下記のように同じ SDoc ID 番号を使用していることです：

FORM OF MATERIAL DECLARATION	
<Date of declaration>	
Date	
<MD ID number>	
MD-ID-No.	
<Other information>	
Remark 1	
Remark 2	
Remark 3	
<Supplier (respondent) information>	
Company name	
Division name	
Address	
Contact person	
Telephone number	
Fax number	
E-mail address	
SDoC ID no.:	XXXXXXX

Coincident

FORM OF SUPPLIER'S DECLARATION OF CONFORMITY	
Supplier's Declaration of Conformity for Material Declaration management	
1) Identification number:	XXXXXXX

CDX compliance.data.exchange

データシート メ뉴 システム管理 ヘルプ

SDoc検索 詳細

このSDocはドラフト版です。正式版として使用するためにはまずはリリースする必要があります。 社内送信

一般情報 (ID: 303)

発行企業	CDX Service Team (Germany) Supplier	発行場所	Rüsselsheim	権限付与されたユーザーの姓	Schneider	追加情報
代理書名	CDX Service Team (Germany) Supplier	発行日	09/17/2014	権限付与されたユーザーの名	Marcus	asdfasfd
または		ステータス	編集モード	権限付与されたユーザーの機能	function	

宣言の目的

表示	自社のデータシートを検索	承認されたデータシートを検索する					
タイプ	名称	部品番号	データシートID	ノードID	承認したユーザー	更新日	ステータス
①	Electronics module	_WS 00.03.01	1006156 / 2	1006195	CDX Service Team (Germany) Supplier [1]	12/12/2012	社内送信済み
②	Gasket 6"	15-0182-0011	1008950 / 1	1008950	CDX Service Team (Germany) Supplier [1]	05/14/2013	社内送信済み
③	Impeller	123.321	1005227 / 2	1016023	CDX Service Team (Germany) Supplier [1]	02/19/2014	社内送信済み

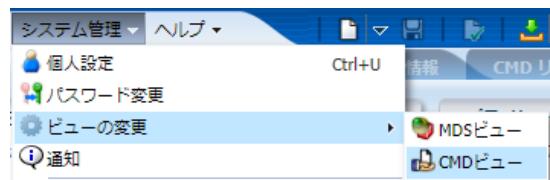
規制と要件

表示	規制を作成する			
資料 No.	タイトル	版	発行日	で指定された
HP987654321-1	HP Fancy Reg	Draft	08/10/2012	PKH Manufacturing [29]
123	Blumenordnung	XYZ	03/02/2012	HP Company [-]
456	Blumenvasenordnung	15C	03/02/2012	FAM GmbH [-]

紛争鉱物申告マネージャー

ビューの変更

前述したように、CDX のメニュー ビューは個人的なニーズに応じて変更することができます。CMD のみを使用する場合は、"CMD ビュー"を設定する必要があります。ビューを変更するには、システム管理メニューまたはツールバーの設定ボタン (⚙️) を使用します。



選択したビュー (MDS または CMD) によって、メニュー項目が異なります。利用できないメニュー項目はうすい状態で表示されます。

どのビューを選択したかにかかわらず、非アクティブビューのすべてのメニュー項目は、"…詳細"ボタンから常に利用可能です。

ここでは、CMD ビューの各メニュー項目について説明します。

CMD メニュー / ツールバー ボタン

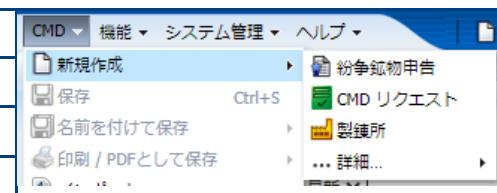
これらの機能は、CMD メニュー項目の下で利用できます。

新規作成

CMD > 新規作成メニュー項目またはツールバーのボタンを使用することができます。
⬇️ボタンをクリックすると、メニュー内の CMD > 新規作成オプションと同じ動作をするメニューが表示されます。



メニュー	内容
紛争鉱物申告	CMD(紛争鉱物申告)を新規作成し表示
CMD リクエスト	CMD リクエストを新規作成し表示
製錬所	製錬所を新規作成し表示



保存

保存は、CMD > 保存メニュー項目からアクセスするか、ツールバーの ⬇️ ボタンを使用して行うことができます。このボタンは、作業中のページが保存できないと表示されません。現在開いているデータを保存します。CMD、リクエスト、製錬所などの項目の保存に使用します。

インポート

インポートの各項目の機能は以下の通りです。

メニュー	内容
CMD バルクリクエストのインポート	「CMD リクエスト」で作業しているときにのみ使用できます - 新規作成時、または CMD リクエスト送信済み一覧にいるときに使用できます。記入済みの MS Excel テンプレートを CDX にインポートして、CMD リクエストを複数のサプライヤーに同時に一括送信することができます。
RMI CMRT のインポート	この機能は、RMI CMRT ファイルをインポートします。
…詳細	MDS ビューで利用可能なメニュー項目を表示します。

エクスポート

エクスポートの各項目の機能は以下の通りです。

メニュー	内容
RMI CMRT のエクスポート	CMD の表示または編集時にのみ使用できます。 有効な CMD マネージャーライセンスが必要です。CMD を RMI CMRT MS Excel ファイルにエクスポートします。
…詳細	MDS ビューで利用可能なメニュー項目を表示します。

確認

この機能は、CMD の表示または編集時にのみ使用できます。CMD のチェックを実行し、見つかったすべての問題をレポートします。チェック機能は、ツールバーの ボタンを使用して実行することもできます。

社内送信

CMD を編集する際にのみ使用できます。自社内で使用するために CMD を確定します。

承認

この機能は、受信した CMD のうち、まだ承認、拒否、キャンセルされていないものを表示する場合にのみ使用できます。承認/拒否ボタンが表示されるので、CMD を承認することができます。

拒否

この機能は、受信した CMD のうち、まだ承認、拒否、キャンセルされていないものを表示する場合にのみ使用できます。承認/拒否ボタンが表示されるので、CMD を拒否することができます。

ログオフ

CDX からログオフし、ログイン/ニュースページを開きます。また、ウィンドウ右上の ボタンでログオフすることもできます。

機能メニュー / ボタン

機能メニューでは、CDX で使用できる機能のリストを見ることができます。ほとんどの機能はツールバーにもボタンがあります。これらの機能の詳細は次の表で説明しています。

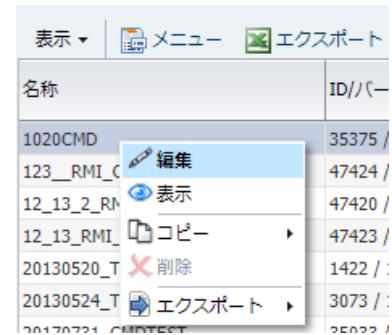
メニュー	内容	ツールバー ボタン	ツールバー ボタン
CMD 検索	CMD の検索画面を表示		
CMD テンプレート検索	CMD テンプレートの検索画面を表示		
CMD 製錬所検索	CMD 製錬所の検索画面を表示		
受信済み一覧	受信した紛争鉱物申告と CMD リクエストの検索画面を表示		
送信済み一覧	送信した紛争鉱物申告と CMD リクエストの検索画面を表示		

CMD 品質レポート	CMD 品質レポートの画面を表示		
不足分レポート	不足分レポートの画面を表示		

検索結果画面からのショートカット

上記のすべてのボタンやメニュー項目に加えて、検索結果画面で CMD をハイライトして右クリックすると、CMD 検索で生成された横のメニューなど、よく使う機能のショートカットが利用できるようになります。

また、メニューをクリックしてコンテキストメニューを開くこともできます。



CMD の新規作成

この機能で最初に行う事は、CMD (Conflict Minerals Declaration) を作成することです。既存のデータを自社の構成に参照してデータを作成する場合も、はじめに、自社から顧客へ送信するための構成を作成する必要があります。

CMD とは何か？

一般的に、CMD とは紛争鉱物（現時点ではタンタル（Ta）、すず（Sn）、タングステン（W）、（金）（Au） = 3TG およびその化合物）がどの製品に使用されているかを示す情報を、サプライチェーン間でやり取りするためのフォームです。

CMD は以下の図に示すパートで構成されていると考えることができます：



これらのパートの説明については、以降の章をご参照ください。そのほかの CMD 中の CDX の構成は、 で表される製錬所です。製錬所とは、原鉱から金属を精製する、またはリサイクル金属を融解して金属を製造するという事を、どちらか一方または両方を行っている企業を指します。製錬所情報は、企業が自らを製錬所として（CDX 登録プロセスに従って） CDX に登録した、製錬業者リストから確認することができます。

新規 CMD

ツールバーの  ボタンをクリックし、Conflict Minerals Declaration を選択すると新規の CMD を作成できます。次に、RMI テンプレートのどのバージョンに沿って CMD 作成するかを選択します。

詳細

CMD について他に知っておいて頂きたいのは、詳細ページは、各要素が親子関係で繋がっているツリー構造になっているという点です。この構造には CMD の名称と、その子供の要素として製錬所情報が常に紐づいています。金属-製錬所のアルファベット順で標準されます。サプライヤーからの CMD を追加すると、その中に含まれる製錬所情報が重複しないようにマージされます。以下の図はそのツリー構造の例です。



画面の右側では以下に説明する詳細情報を確認できます:

共通情報

以下の表に、各項目の詳細を記載します:

項目名	説明	必須かどうか
タイプ	システムで自動設定 - この CMD の種類。現時点では CMD の一種類のみです。	該当なし
テンプレートのバージョン	システムで自動設定 - ユーザーが選択した RMI テンプレートのバージョン。	該当なし
範囲の申告	CMD の申告範囲を選択します。	必須
範囲の説明	この CMD の申告範囲について追加の情報があれば入力します。	任意
ID/バージョン	システムで自動設定 - 最初の数字のセットは CMD の ID を表します。新しいバージョンが作成されるたびに、この番号は変更されませんが、2 番目の番号 (/0.01) は変更されます。実際、CMD が "リリース" されると、バージョンは整数になり、それ以上の編集ができないことを示します。	該当なし
ノード ID	システムで自動設定 - これは、この CMD に関する情報が格納されているデータベース内の実際の場所を指します。CMD の 0.01 バージョンの場合のみ、ID と同じになります。	該当なし
サプライヤー	システムで自動設定 - 作成元の CDX 登録企業名を表示します。	該当なし
名称	自社の基準に従って、この CMD を表す名称を入力します。初期値は変更する必要があります。業界によって命名に関する要求やルールがある場合があります。場合によっては、自社のサプライヤーコードや DUNS ナンバーをここに記載するケースもあります。	必須

日付

CMD がいつ作成されて、いつ更新されたのかという情報が必要になる場合があります。このセクションの情報はシステムが自動的に表示します:

以下の表で、各項目の意味を記載します:

項目名	説明
作成日	この CMD が作成された日を、サーバーで管理している時間で表示します。(サーバーはドイツで管理)

	しています)
リリース日	この CDX がリリースされた(これ以上修正ができない状態になった)日を表示します。
確認日	この CMD のエラーチェックが行われた日を表示します。(いつの要求事項に沿って作成されたデータなのかを確認する場合に便利です)

金属識別

このセクションでは、金属の使用についての質問に回答しなければなりません。以下の質問は RMI のエクセルのテンプレートの質問とほぼ同じです。(選択されたテンプレートのバージョン次第です)。

金属識別

1. 製品自体や製造過程で、3TGが意図的に添加又は使用されていますか？全ての金属について当てはまらない場合、この調査は完了です

番号	金属	回答	コメント
1	タンタル	▼	
2	スズ	▼	
3	ゴールド	▼	
4	タンクスチル	▼	

2. 3TGは製品に残留していますか？

番号	金属	回答	コメント
1	タンタル	▼	
2	スズ	▼	
3	ゴールド	▼	
4	タンクスチル	▼	

以下の 7 つの質問は、紛争鉱物とされている各金属の使用状況についての質問です。以下の表に説明を記載しています:

質問	回答必須かどうか？	コメント入力は必須か？
1. Is the 3TG intentionally added or used in the product(s) or in the production process? If no for all metals, you are done with this survey. 製品や製造工程で意図的に 3TG を添加したり、使用したりしていますか？全ての金属について「いいえ」の場合は、この調査を終了します。	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意
2. Does any 3TG remain in the product(s)? 製品に 3TG は残っていますか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意
3. Do any of the smelters in your supply chain source the 3TG from the covered countries? あなたのサプライチェーン中の製錬所から対象国（カバーされた国）の 3TG を供給していますか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意
4. Does 100 percent of the 3TG (necessary to the functionality or production of your products) originate from recycled or scrap sources? 3TG(あなたの製品の機能や生産に必要)の 100%は、リサイクルやスクランプの供給源に由来していますか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意
5. What percentage of relevant suppliers have provided a response to your supply chain survey? サプライチェーン調査に回答したサプライヤーのうち、関連するサプライヤーの割合は何%ですか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意
6. Have you identified all of the smelters supplying the 3TG to your supply chain? あなたのサプライチェーンに 3TG を供給する全ての製錬所を確認したことがありますか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意

質問	回答必須かどうか?	コメント入力は必須か?
7. Has all applicable smelter information received by your company been reported in this declaration? あなたの会社は、この宣言に報告されて、全ての適用可能な製錬所の情報を受信しましたか？	はい(リストされた各鉱物に適用します。)	任意

コンフリクトフリー policy

このセクションにある質問は、自社のコンフリクトフリー policy に関する質問です。以下の質問は RMI のエクセルのテンプレートの質問とほぼ同じです。 (選択されたテンプレートのバージョン次第です) .

↓コンフリクトフリー policy

A. 紛争鉱物の調達方針を確定しましたか。

回答	コメント
はい	

B. その方針は貴社のホームページで閲覧できますか。 (回答が「はい」の場合、その方針が掲載されているURLをコメント欄に記入する)

回答	コメント
いいえ	

C. 一次サプライヤーに対してDRCコンフリクトフリーであることを要求していますか?

回答	コメント
はい	

以下の 9 の質問は、紛争鉱物についての自社のコンフリクトフリー policy に関する質問です。以下の表に説明を記載しています:

質問	回答必須かどうか?	コメント入力は必須か?
A. Have you established a conflict minerals sourcing policy? 紛争鉱物の調達に対処する方針を定めていますか？	必須	任意
B. Is your conflict minerals sourcing policy publicly available on your website? (Note – If yes, the user shall specify the URL in the comment field.) その方針は貴社のホームページで閲覧できますか？(注意 – はいの場合、ユーザーは該当 URL を備考欄に記入すること。)	必須	任意
C. Do you require your direct suppliers to be DRC conflict-free? 一次サプライヤーに対して DRC コンフリクトフリーであることを要請していますか？	必須	任意
D. Do you require your direct suppliers to source the 3TG from smelters whose due diligence practices have been validated by an independent third party audit program? 直接のサプライヤーに、独立した第三者監査プログラムによってデューデリジェンスが検証された製錬所から 3TG を調達することを要求していますか？	必須	任意
E. Have you implemented due diligence measures for conflict-free sourcing? コンフリクトフリーのデューデリジェンスの施策を実施していますか？	必須	任意
F. Does your company conduct Conflict Minerals survey(s) of your relevant supplier(s)? 貴社の取引先に対して紛争鉱物調査を実施していますか。	必須	任意
G. Do you review due diligence information received from your suppliers against your company's expectations? 貴社の期待に対し、取引先から受け取ったデューデリジェンスの情報を確認していますか？	必須	任意

質問	回答必須かどうか?	コメント入力は必須か?
H. Does your review process include corrective action management? レビュープロセスには、是正処置の管理が含まれていますか？	必須	任意
I. Is your company required to file an annual conflict minerals disclosure with the SEC? 貴社は SEC に紛争鉱物の開示を毎年提出する必要がありますか？	必須	任意

サプライヤーCMDs

直接のサプライヤーからの CMD を自社データに参照する場合（サプライヤーからの CMD はあらかじめ承認しておかないと、自社の CMD に参照することはできません）、サプライヤーの CMD はこの表に追加することができます:

既存のサプライヤーからの CMD を追加（参照）

この場合、 [承認したCMDを検索](#) ボタンから承認済みのサプライヤーCMD 追加することができます。以下の図は CMD の受信済み一覧から検索した画面です:

サプライヤーCMD が見つかったら、選択して、 [適用](#) をクリックします。複数以上の CMD を添付したい場合、コントロールキー（Shift や Ctrl）を利用して複数行を選択し、 [全て適用](#) をクリックします。

選択したサプライヤーCMD が、下の図のように、このセクションのサプライヤーCMD の表と右側のツリーに追加されていることを確認してください。

以下の表に、詳細情報を記載します:

項目名	説明
名称	サプライヤーCMD の名称

企業名	サプライヤーの企業名
ID / バージョン	サプライヤーCMD の ID とバージョン
ノード ID	サプライヤーCMD のノード ID
リリース日	サプライヤーCMD のリリース日
テンプレートバージョン	サプライヤーの CMD テンプレートバージョン

一方、自社 CMD にサプライヤーCMD を添付する際には、サプライヤーCMD からの情報は自動的に自社 CMD 内に取り込まれることになります。：利用できる補足情報と共に、全ての製錬業者が自社の CMD 構造に追加されることになります。バージョン 3 かそれより新しいサプライヤーCMD では、“金属識別”に関して与えられた殆どの回答と“コンフリクトフリーポリシー”の質問は集計され、それぞれの項目に埋められます。所有している情報を特に追加することなく、CMD には製錬業者といくつかの質問への回答が埋められることになります：

1つ以上のサプライヤーCMD が取り込まれた場合には、全てのサプライヤーCMD の多数側から回答が算出されることがあります。自社 CMD 内で手動で質問が回答された場合は、ロールアッププロセスが異なる回答返して メーカー (*) はユーザーに異なった値を示すことになります。自社の CMD に手作業で回答された場合、ロールアッププロセスが違う回答の箇所に (*) が表示されます。集計された回答が表示され、CMD 内でこれらの回答を使用するために選択することができ、または必要時には手動で値を変更することができます。

注意： 内容によっては全ての回答が集計されるわけではなく、自動的に埋められるものではありません。与えられた全ての必要な回答を確認するためと、集計された回答に同意できるような内容確認のために、全ての回答にはレビューが必要になります。

CMD ツリー構造の上部にある、統計ボタンを使用してユーザーは全サプライヤーの回答の概要を確認することができます。CMD の質問 1-7 と A-J までの回答を集計したサマリーテーブルを別画面で見ることができます。それぞれの質問に対して、集計結果に入るいくつかのサプライヤーによって与えられた回答が表示されます。Copy to CMD ボタンを使うことで全ての集計された結果が CMD の詳細画面の回答欄にコピーされます。このテーブルはまた MS Excel ファイルにエクスポートすることができます。

CDX - Compliance Data Exchange

Smelter Statistic Suppliers Responses Statistic and Aggregated Value

Metals identification

1. Is the 3TG intentionally added to your product?

Metal	Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'
Tantalum	Yes	0	2	0
Tin	Yes	0	1	1
Gold	Yes	0	1	1
Tungsten	No	0	0	2

2. Is the 3TG necessary to the production of your company's products and contained in the finished product that your company manufactures or contracts to manufacture?

Metal	Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'
Tantalum	Yes	0	2	0
Tin	Yes	0	1	1
Gold	No	0	0	2
Tungsten	Yes	0	1	1

3. Do any of the smelters in your supply chain source the 3TG from the covered countries?

Metal	Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'	Number of suppliers with response 'Unknown'
Tantalum	Yes	0	1	1	0
Tin	Yes	1	1	0	0

Conflict Free Policy

E. Have you implemented due diligence measures for conflict-free sourcing?

Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'
-	0	2	0

F. Do you collect conflict minerals due diligence information from your suppliers which is in conformance with the IPC-1755 Conflict Minerals Data Exchange standard [e.g., the CFSI Conflict Minerals Reporting Template]?

Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'
Yes	0	2	0

G. Do you request smelter names from your suppliers?

Aggregated suppliers' response	Number of suppliers with response '-'	Number of suppliers with response 'Yes'	Number of suppliers with response 'No'
Yes	0	1	1

 Export  Copy to CMD  OK

サプライヤー CMD ロールアッププロセスの詳細については、「CMD のインポート/エクスポート」の章を参照してください。

プロダクトリスト

「製品（または製品のリスト）」として申告範囲を定義したら、この宣言が適用される製品を入力する必要があります。ここでアイコン  を使用し、いくつかの単一の製品を入力することができます。または、製品番号、製品名およびコメントなどが入った CSV 形式の txt ファイルをアップロードすることもできます。

Product List

Completion required only if reporting level "Product (or List of Products)" is selected

 View    Upload  Browse...

Manufacturer's Product Number	Manufacturer's Product Name	Comments
12345	First Demo Product	
678890	Second	Demo Product

添付ファイル

ここでは、以下のフォーマットで追加情報（例：規格、方針、特別な指示）を紛争鉱物申告に添付することができます：pdf, xls, xlsx, doc, docx

Attachment

 View  Remove  Select new file  Browse...

Filename	Upload Date	Filesize (kbyte)
QT4890-4956779.pdf	9/4/2015	29

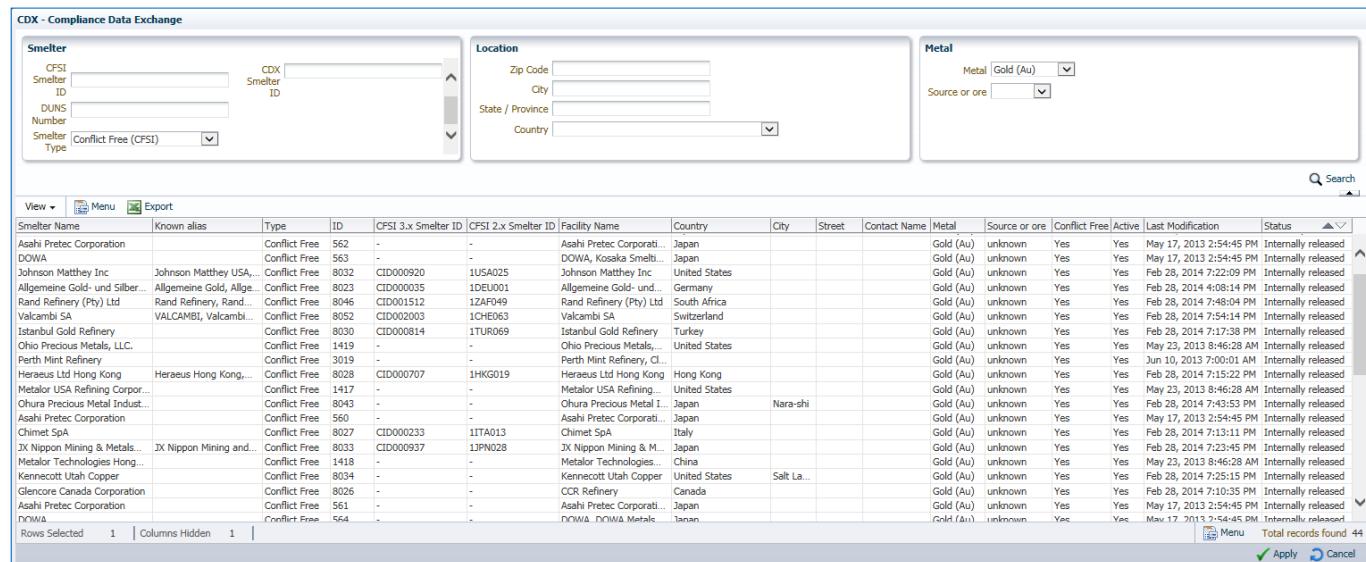
詳細の追加

基本情報が追加されると、次に詳細を追加する必要があります。左上を確認すると、CMS に既存の製錬所を追加する () 、または製錬所候補をその場で追加する () ためのアイコンがあります。

製錬所の追加

あなたの CMD で既存の製錬所を使用するには、CMD ツリーの最上位ノード上で、 をクリックしてください。そうすると、別のウィンドウが現れ、そこで特定の製錬所を検索し、 ボタンをクリックすることで、自分 CMD に適用できるようします。

ここでは、既存の製錬所 () を追加するつもりです。私たちは、金 (Au) -Smelter で検索しました：



Smelter Name	Known alias	Type	ID	CFSI 3.x Smelter ID	CFSI 2.x Smelter ID	Facility Name	Country	City	Street	Contact Name	Metal	Source or ore	Conflict Free	Active	Last Modification	Status
Asahi Pretec Corporation		Conflict Free	562	-	-	Asahi Pretec Corporati...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 17, 2013 2:54:45 PM	Internally released
DOWA		Conflict Free	563	-	-	DOWA, Kosaka Smelti...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 17, 2013 2:54:45 PM	Internally released
Johnson Matthey Inc	Johnson Matthey USA, Inc.	Conflict Free	8032	CID000920	1USPA025	Johnson Matthey Inc	United States				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:22:09 PM	Internally released
Allgemeine Gold- und Silber...	Allgemeine Gold, Alge...	Conflict Free	8023	CID000035	1DFU001	Allgemeine Gold- und...	Germany				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 4:08:14 PM	Internally released
Rand Refinery (Pty) Ltd	Rand Refinery, Rand...	Conflict Free	8046	CID001512	1ZAP049	Rand Refinery (Pty) Ltd	South Africa				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:48:04 PM	Internally released
Valkambi SA	VALCAMBI, Valkambi...	Conflict Free	8052	CID002003	1CHE063	Valkambi SA	Switzerland				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:54:14 PM	Internally released
Istanbul Gold Refinery		Conflict Free	8030	CID000814	1TUR069	Istanbul Gold Refinery	Turkey				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:17:38 PM	Internally released
Ohio Precious Metals, LLC.		Conflict Free	1419	-	-	Ohio Precious Metals,...	United States				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 23, 2013 8:46:28 AM	Internally released
Perth Mint Refinery		Conflict Free	3019	-	-	Perth Mint Refinery, Cl...					Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Jun 10, 2013 7:00:01 AM	Internally released
Heraeus Ltd Hong Kong	Heraeus Hong Kong,...	Conflict Free	8028	CID000707	1HKG019	Heraeus Ltd Hong Kong	Hong Kong				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:15:22 PM	Internally released
Metalor USA Refining Corpor...		Conflict Free	1417	-	-	Metalor USA Refining...	United States				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 23, 2013 8:46:28 PM	Internally released
Ohura Precious Metal Indust...		Conflict Free	8043	-	-	Ohura Precious Metal I...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:43:53 PM	Internally released
Asahi Pretec Corporation		Conflict Free	560	-	-	Asahi Pretec Corporati...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 17, 2013 2:54:45 PM	Internally released
Chimet SpA		Conflict Free	8027	CID000233	1ITA013	Chimet SpA	Italy				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:13:13 PM	Internally released
JX Nippon Mining & Metals...	JX Nippon Mining and...	Conflict Free	8033	CID000937	1JPN028	JX Nippon Mining & M...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:23:40 PM	Internally released
Metalor Technologies Hong...	Metalor Technologies Hong...	Conflict Free	1418	-	-	Metalor Technologies...	China				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 23, 2013 8:46:28 AM	Internally released
Kenncott Utah Copper		Conflict Free	8034	-	-	Kenncott Utah Copper	United States				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:25:15 PM	Internally released
Glencore Canada Corporation		Conflict Free	8026	-	-	GCR Refinery	Canada				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	Feb 28, 2014 7:10:35 PM	Internally released
Asahi Pretec Corporation		Conflict Free	561	-	-	Asahi Pretec Corporati...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 17, 2013 2:54:45 PM	Internally released
DOWA		Conflict Free	564	-	-	DOWA, DOWA Metals...	Japan				Gold (Au)	unknown	Yes	Yes	May 17, 2013 2:54:45 PM	Internally released

該当するゴールド (Au) の製錬所が見つかったら、選択して、 ボタンをクリックします。 (複数行を選択することができます。)

The same process works for these three types of smelters: 「RMI で指定されているコンフリクトフリー製錬所」 「RMI テンプレートで定義されているスタンダードの製錬所」 「CDX に登録された製錬業者の企業」

CMD に選択した製錬所が追加され、左側のツリーでも以下の図のように表示されていることを確認します：



現在、以下 5 種類の異なる製錬所が CDX に存在しています：

- RMI で指定されているコンフリクトフリー製錬所
- RMI CMRT で定義されている標準の製錬所
- CDX に登録された製錬業者の企業
- ユーザーが CDX に登録した製錬所候補
- 実際には製錬設備に含まれていない、卸業者やサプライヤーなどの無効な製錬業者

製錬所の補足入力

CMD ツリー構造で製錬所をクリックすると、右側の領域が変わり、選択した製錬所の詳細が表示されます。ここでは、選択した製錬所の補足入力を確認したり、追加したりすることができます。有効な CMD Manager ライセンスを使用すると、既存の補足入力を MS Excel にエクスポートすることもできます。

CMD 製錬所候補を追加する

まれに、製錬所（候補）を新しく定義して CDX に登録しなければなりません。自社でのみ使用する場合は、自社はそれらの製錬所（候補）に関する情報を全て自社の責任で管理することができます。

その場で自社 CMD に新しい製錬所候補を追加するには、CMD のツリーのトップノードにカーソルを移動させ、 というアイコンをクリックします。別画面で「製錬所候補を作成」 という画面が開き、プロセスに従って製錬所を追加できます。

以下の 3 ステップに沿って新しい製錬所候補を定義します。設定プロセスでは、「前へ」「次へ」ボタンを使って前後ページを移動することができます。

ステップ 1: 製錬所の企業名を入力します。既存の施設を入力しようとした場合は、ドロップダウンリストから製錬所を選択できるようになっています。続けるには下の「次へ」ボタンをクリックします。

ステップ 2: 新しい施設名と所在地を入力します。または既存の製錬所をステップ 1 で選択していた場合は、表示される情報を確認します。

CDX - Compliance Data Exchange

Add alleged Smelter : Facility Data

Select Facility: New

Smelter Name:

Known alias:

Aliases:

住所:

郵便番号:

市町村名:

州:

メールボックス:

国名: *

担当者名:

連絡先メールアドレス:

Buttons: 前へ 次へ キャンセル 適用

施設情報に関して、少なくとも入力必須項目をできるだけ正確かつ完全に入力したら、「次へ」ボタンをクリックして次に進みます。

CDX - Compliance Data Exchange

Add alleged Smelter : Conflict Mineral Data

Metal: Gold (Au) *

Mineral Source: Mine

Is Conflict Free: unknown [Link to "CFS Compliant Gold Smelter List"](#)

Mine Name: X mine

Mine Country: Germany

Buttons: View Add Remove

Metal	Is Conflict Free	Mineral Source	Mine Name	Mine Country
No data to display.				

Buttons: Previous Next Cancel Apply

ステップ3: 材料情報です。この製錬所で精製されている金属、および鉱物源を選択します。「追加」ボタンをクリックすると、設定された金属が画面下部の表に追加され、画面上部の設定画面がクリアになり、次の情報を入力できるようになります。鉱物源の情報は、1つの施設情報にいくつでも入力することができます。

以下に例を示します。私たちは私たちの製錬所のために金の二つの異なる用途を定義しています。それぞれのソースは違う場所の鉱山からです。

CDX - Compliance Data Exchange
Add alleged Smelter - Conflict Mineral Data

金属: 金
鉱物源: 不明
コンフリクトフリー: 不明
鉱山名: 鉱山国
Xmine: Germany
Ymine: Armenia

金属	コンフリクトフリー	鉱物源	鉱山名	鉱山国
ゴールド (Au)	不明	鉱山	Xmine	Germany
ゴールド (Au)	いいえ	鉱山	Ymine	Armenia

適用

製錬所候補の情報を保存し、自社 CMD に追加するためには、**適用** ボタンをクリックします（ボタンはこの 3 ステップの入力必須項目を全て入力し、鉱物源が表に追加されている場合のみ有効です）。

このプロセスが終了すると、この画面が閉じて新しい製錬所候補が CMD に追加されます。

CMD Search Details * Supplier data Recipient data CMD Request

New CMD

- Gold (Au) - Demo Smelter 2 - Australia
- Gold (Au) - Heraeus Precious Metals GmbH & Co. KG - Germany
- Gold (Au) - My first alleged - Germany**
- Gold (Au) - My first alleged - Germany
- Gold (Au) - Tokunki Honten Co. Ltd - Japan

Details

Common Information

Type: Smelter - Alleged
Node ID: 24106
Supplier: My first alleged
Metal: Gold (Au)
Facility Country: Germany

Dates
Supplemental Input

製錬所候補を決めたら、既存の製錬所と同じように、自社の CMD に再利用することができます。唯一の違いは、製錬所候補は自社の CMD でしか使用できないという点です。

製錬所候補は、製錬所の検索画面の製錬所タイプで「Alleged」（製錬所候補）というタイプを選択すると使用できます。

CMD 詳細での製錬所の概要

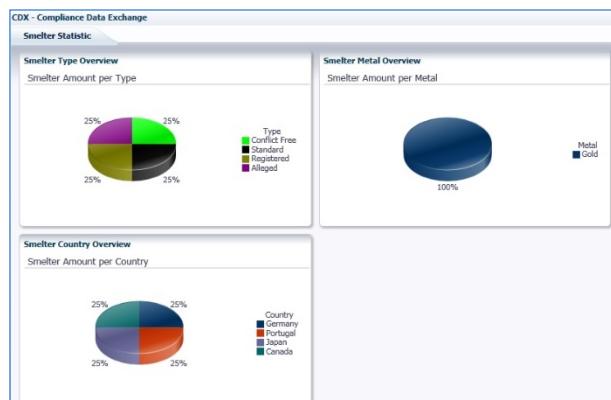
あなたの CMD ツリー構造に含まれた製錬所の概要を取得するには (統計) ボタンを使用して、あなたが使用されている全ての製錬所（製錬所統計）に関するグラフィカルな情報が、別の画面で表示されます。

- 製錬所タイプ
- 製錬所の国
- 製錬所金属

I 複数以上のサプライヤーの CMD があなたの CMD に含

まれる場合は、この画面はまた、

別のタブで「サプライヤー応答統計と集計値」を提供します。



サプライヤーデータ画面

この画面では、CDX 以外の方法で、CMD に関する質問をしたい場合の連絡先情報を顧客に知らせることができます。初期状態では、自社の最初のコンタクト情報が自動的に選択されています。

サプライヤーデータ画面の例は以下の通りです：

CMD コンタクトおよび CMD 回答責任者情報は編集できません。すべての情報は、企業のユーザー リストの情報から取得されます。CMD コンタクトの情報が不足していたり、不正確な場合は、カンパニーアドミニストレーターがユーザー管理画面で修正する必要があります。CMD 回答責任者情報は、ユーザーの「個人設定」に依存します。

ドロップダウンリストから適切な連絡先を選択します。CDX システムは、あなたの企業のコンタクトリストに移動し、コンタクトリストに保存されている E-mail、電話、Fax 情報を表示します。正しいコンタクトデータがこのページにあることを確認すると、送信先情報画面に移ることができます。

送信先情報画面

送信先とは、CDX に登録されている企業で、この CMD を送信する企業を指します。自社企業は送信先に指定できません。また送信先企業に複数の組織が登録されていた場合、1 つの CMD (ある ID/バージョンの CMD) に対しては、1 つの組織しか送信先に指定できません。

以下の表では、送信先情報画面のアイコンを説明します：

アイコン	操作	説明
	送信先の追加	このボタンをクリックすると、企業検索画面が開いて送信先を検索できます。この画面で検索できるのは、CDX に登録されている企業のみです。
	送信先の削除	送信先を選択してこのボタンをクリックすると、送信先から削除することができます。ただし、このボタンがグレーアウトされていない場合に限ります。
	全送信	まだこの CMD が送信されていない企業が、少なくとも一社以上この送信先のリストに追加されていると、このボタンが有効(グレーアウトではない状態)になります。このボタンをクリックすると、この CMD が全送信されます(社内送信された時と同様、送信先の追加以外は、これ以上この CMD に変更を加えられない状態で送信される)。

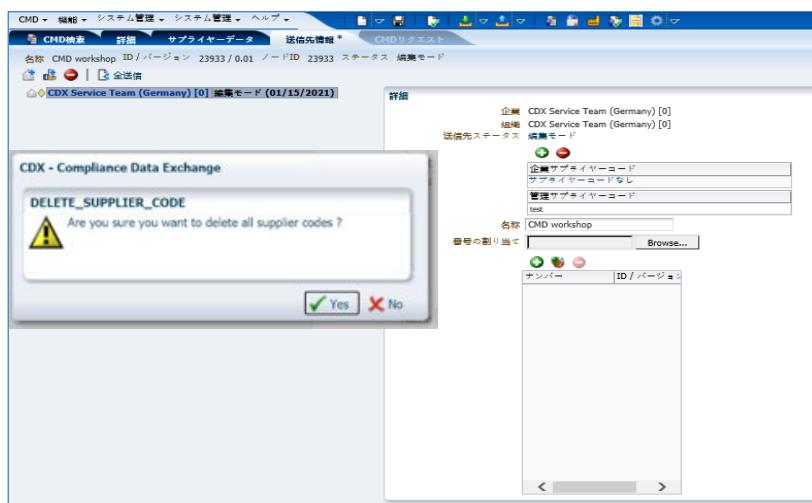
送信先の追加

この画面で送信先の追加ボタンをクリックすると、CDX 登録企業を検索する画面が現れます。送信先の企業を検索して、 **適用** ボタンをクリックすると、送信先情報画面にその企業が追加されます。

送信先リストには、現在のステータスを表すアイコンがついており、承認済み CMD は緑、拒否された CMD は赤、その他（未開封、開封など）は黄色、といったように、信号機のような表示になっています。

加えて、新しい送信先をリストに追加すると、他の送信先と同じように前述の記号が各送信先の横に表示されます。

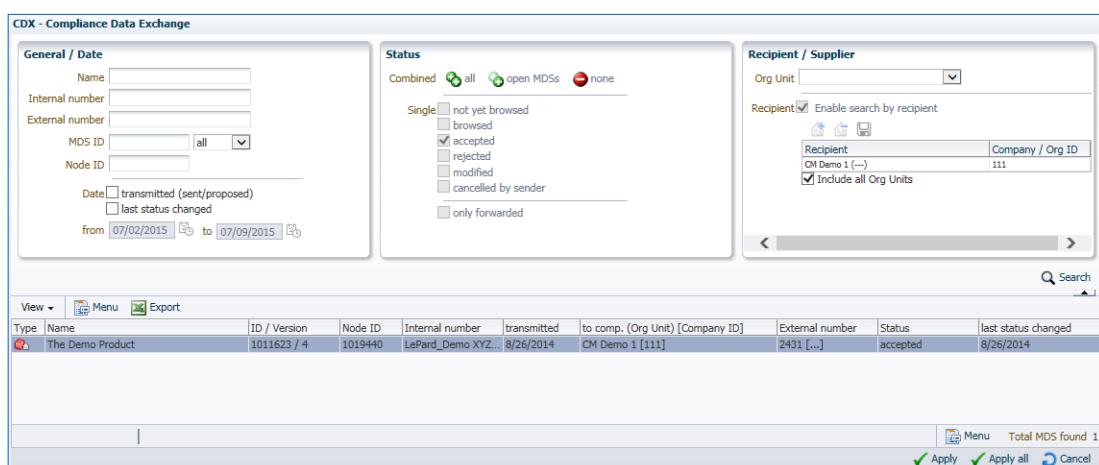
以下の右側のように送信先の具体的な詳細情報が見られます：



追加された送信先に対して、1つまたは複数の企業サプライヤーコードを追加(+)するか、サプライヤーコードを選択せずに(-)を1回クリックしてすべてのサプライヤーコードを削除することができます。その際、この送信先のすべての「企業サプライヤーコード」コードを削除することを確認するメッセージが表示されます。これは、貴社のクライアントがシステムで貴社の情報を追跡する方法です。時には DUNS 番号が使用されることもありますし、特別なコーディングシステムを持っていることもあります。あなたが新しい送信先を追加するとき、その人はすでに貴社の企業情報でサプライヤーコードを定義しています(システム管理 > 企業の章で説明されているように)、事前に定義されたコードは「管理サプライヤーコード」としてロードされ、編集することはできません。

あなたが選択した送信先の合意された通信に従って、サプライヤーコード (DUNS 番号からシステムが生成した番号) と CMD 名称を変更することができます。また、サプライヤーにそれらのデータシートの紛争鉱物を申告するために CMD をデータシートに割り当てるすることができます。あなたは有効な部分/アイテム番号の txt ファイルを作成しブラウザでアップロードするか、または、(+) 有効な部分/アイテム番号を追加したり、割り当たいデータシートを(+)で検索したりします。既に選択された送信先に承認されたデータシートのみここで割り当てることが有效です。

検索ボタン(+)をクリックし、データシートの送信ボックスで承認したデータシートを検索し、選択した送信先企業に送信することができます。この画面では、ステータスまたは送信先の会社を変更することはできません：

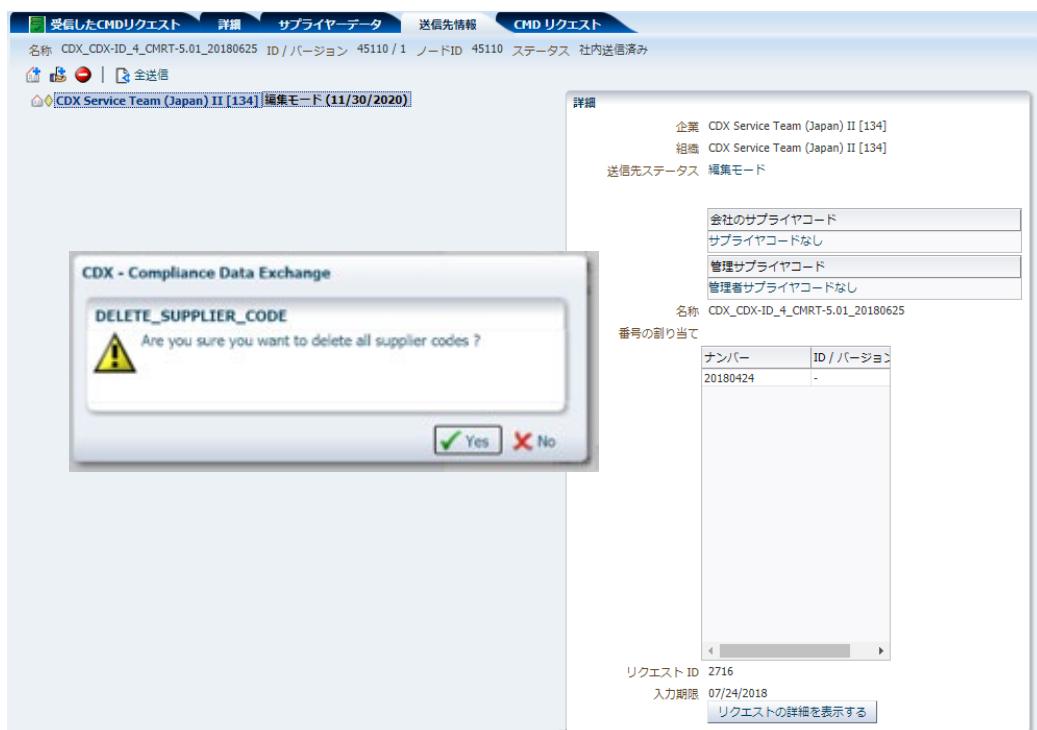


割り当たいデータシートを選択（コントロール/シフトキーで複数選択）し、 **適用** をクリックします。全ての結果を割り当たいには、 **全て適用** をクリックしてください。

リクエスト

「送信先の追加」ボタンの他に、「CMD リクエストの割り当て」ボタンがあります。それをクリックすると、リクエスト検索が開かれ、ユーザーは現在の CMD に 1 つ以上のリクエストを選択することができます。CMD リクエスト検索ダイアログが開き、以下の検索条件が現在の CMD からコピーされます。それらは読み取り専用です： 申告範囲、リクエスト送信先、ステータス（“受信済み”）、テンプレート バージョン。CMD 送信先は検索結果から除外されることに注意してください。

送信先情報タブで選択した送信先がリクエストに関連付けられている場合、CMD リクエストタブがアクティブになります。リクエストタブはそれに応じてリクエストの詳細を更新します。さらに、送信先情報タブの詳細セクションの最後に短いリクエストの要約が追加されます。「リクエストの詳細を表示する」ボタンをクリックすると、CMD リクエストタブに切り替わります。



選択した送信先がリクエストに関連付けられていない場合、CMD リクエストタブは非アクティブになります。

リクエストの詳細については、リクエストの章を参照してください。

エラーチェックプロシージャ

現在、CMD のチェック手順は、前の提案に必須です。チェック手順を開始するには、ツールバーまたは MDS メニューのチェック機能から を使用してください。

また、CMD ツリー構造の上にある ボタンを使用して、事前定義されたルールによる CMD 品質レポートを実行することができます。

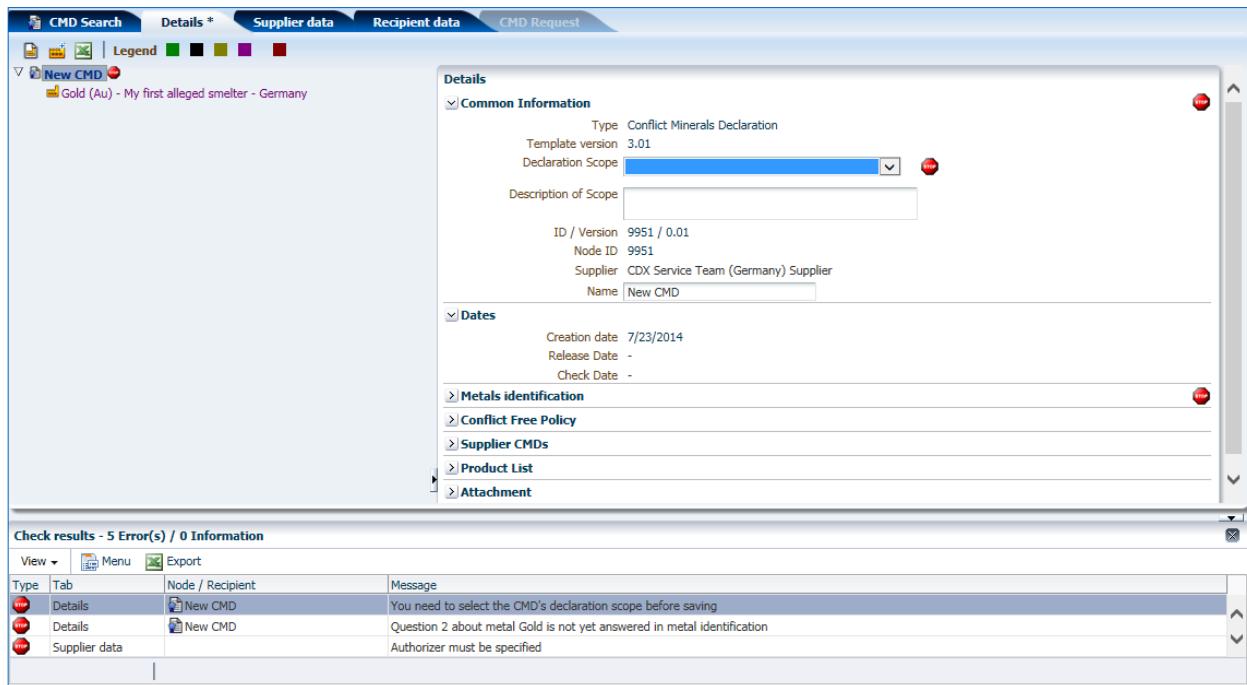
エラーチェック結果の表示

エラーチェックの結果は“エラー”と“情報”的 2 種類で表されます。“エラー”的場合は CMD の全送信は行えず、“情報”的場合は無視して全送信することができます。ただし“情報”的”は、ツリーの中の特定の入力値が疑わしかったり、その状況でデータが適切かどうか、更なる調査を必要としていることを示しているため、完全に無視されるべきではありません。

確認結果で何も検出されなければ、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

エラー チェックの結果 - 0 エラー / 0 情報			
No.	タイプ	タブ	ノード / 送信先
CMDはすべてのチェックに合格しました。			

エラーチェックが結果を返すと、その結果はエラーチェックの結果表に表示されます。有効な CMD マネージャーライセンスがあると、表の上部にあるエクスポートボタンで、エラーチェック結果を MS Excel ファイルにエクスポートすることができます。



The screenshot shows the DXC Compliance Data Exchange software interface. At the top, there are tabs for 'CMD Search', 'Details *', 'Supplier data', 'Recipient data', and 'CMD Request'. Below the tabs, there is a legend with colored squares and a 'New CMD' button. The main area is titled 'Details' and contains sections for 'Common Information' and 'Dates'. Under 'Common Information', fields include 'Type: Conflict Minerals Declaration', 'Template version: 3.01', 'Declaration Scope' (with a red STOP icon), 'Description of Scope', 'ID / Version: 9951 / 0.01', 'Node ID: 9951', 'Supplier: CDX Service Team (Germany) Supplier', and 'Name: New CMD'. Under 'Dates', fields include 'Creation date: 7/23/2014', 'Release Date: -', and 'Check Date: -'. Below these sections is a tree view with nodes: 'Metals identification', 'Conflict Free Policy', 'Supplier CMDs', 'Product List', and 'Attachment'. At the bottom, a 'Check results - 5 Error(s) / 0 Information' table is displayed. The table has columns for 'Type', 'Tab', 'Node / Recipient', and 'Message'. The 'Message' column contains error messages: 'You need to select the CMD's declaration scope before saving', 'Question 2 about metal Gold is not yet answered in metal identification', and 'Authorizer must be specified'. There are red STOP and blue information icons next to the error messages.

詳細タブでは、エラーチェックで問題があった全てのノードについて、エラー (STOP) と情報 (info) のアイコンが表示されます。また右側の項目についての問題であった場合も、その項目の横にアイコンが表示されます。

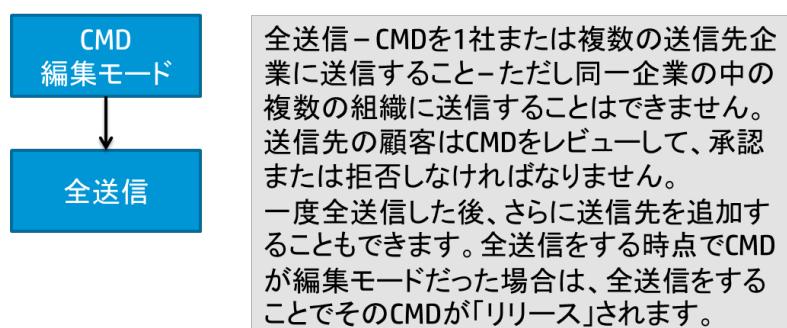
エラーチェックの結果の表で、該当する行をダブルクリックもしくは右クリック>「表示」を選択すると、該当するツリーの箇所に自動的にジャンプします。ノードの詳細情報がグループ化されて折りたたまれている場合は、自動的に広げて表示させます。

エラーチェックを実施すると、エラーチェックの結果の表では一番上の行が選択された状態になりますが、そのほかの全てのエラー/情報も表示され、アイコンがついています。以下の表では、エラーチェックの結果の表の項目を説明します:

項目	説明
タイプ	結果のタイプです。"エラー"または"情報"のいずれかで、アイコンで表示されます。
タブ	該当箇所がどのタブにあるのかを示しています。詳細、サプライヤーデータ、送信先情報のいずれかになります。
ノード/送信先	該当箇所が詳細タブまたはサプライヤーデータのタブの場合、該当するノードの名称、およびそれに該当するアイコンが表示されます。送信先情報タブの場合は、該当する送信先企業の名前が表示されます。
メッセージ	検出されたエラーまたは情報について、何が問題なのかを示すメッセージです。ほとんどのメッセージには変数(パラメーター)が含まれています。このメッセージは多言語対応のため、ログイン中の言語で表示されます。

CMD の全送信

CMD の全送信を行わないと、顧客はあなたが作成した CMD の内容を見ることはできません。以下の図は、全送信の処理の流れを説明しています：



CMD 品質レポート

所有する CMD や同様に取引先のデータの品質を向上させるため、CMD 品質レポート機能を使用することができます。“機能”にある “Conflict Minerals Manager” メニューを通してそれは使用でき、それは二つの部分に分かれています。先ず先の部分でどの CMD をレポートに含めるかを選択することができます。ユーザーはこれを典型的な検索条件 (CMD 名や、CMD ID、テンプレートバージョン等) を使用することで指定することができます。加えてそれらの状態を指定することで検討する CMD を決定することができます：

- ・全サプライヤーCMD (状態：未開封, 開封, 承認済み, 拒否, 送信者による取り消し) のレポート、加えて/または
- ・送信先に既に送信した全ての自社 CMD (状態：未開封, 開封, 承認済み, 拒否, 送信者による取り消し) のレポート、加えて/または
- ・全ての自社 CMD (状態：編集モード/社内送信済み) のレポート

品質レポートの二つ目の部分で、最初の部分の全ての結果 CMD に対して品質プロファイルが実施されます。ユーザーは、自社で作成されたプロファイルのように、事前に決めておいた品質プロファイルを使用することができます。これにより、どのチェックによってエラー、警告、情報あるいはこれらの組み合わせが引き起こされるかフィルターすることができます。

またユーザーは、含まれていたり、除外されていたりする異なる製錬業者のタイプのように CMD の内容を通して検索することができます：

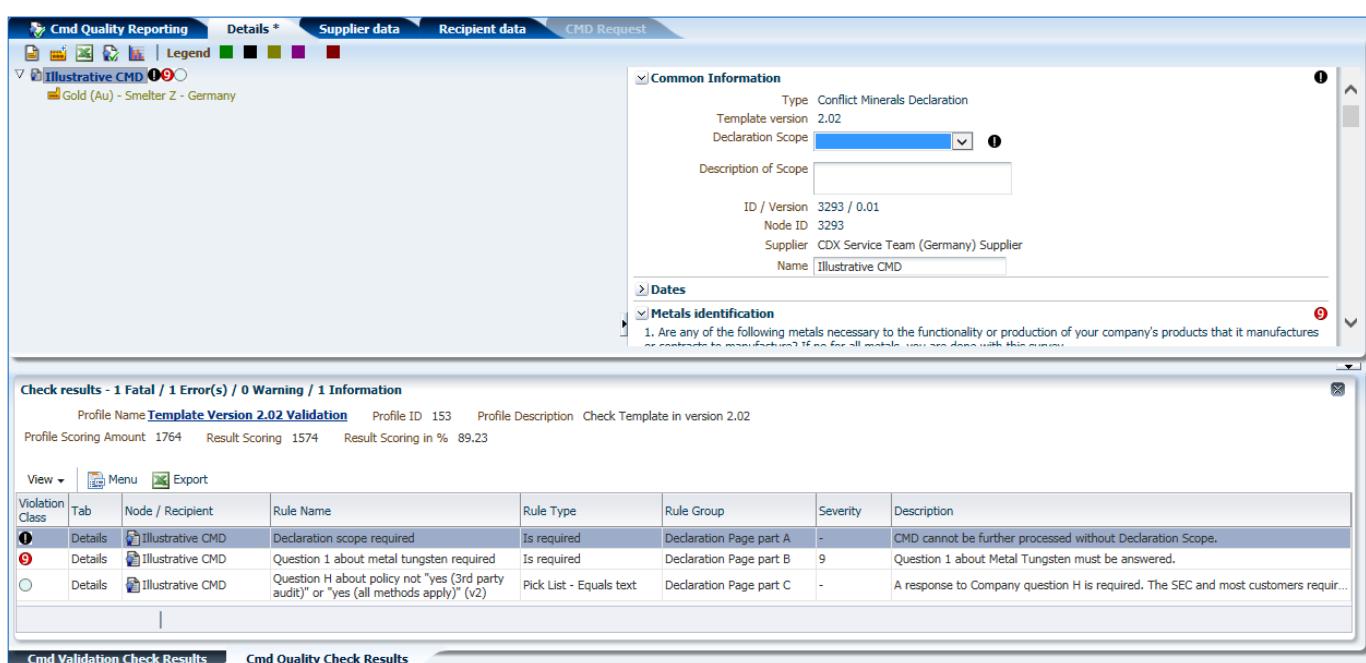
チェック結果 (エラー等の) と一緒にスコアとパーセント値がおののの CMD の結果に対して決定され、結果テーブル中に表示されます。このスコアは品質プロファイルに含まれているチェックをどの位この CMD はパスしたのかを示すものです。

名前	ID / バージョン	ノードID	企業名	ステータス	日付	Recip State	Recip State Date	テンプレートのバージョン	インポート
1-seminar	369 / 1	369	CDX Service Team (Japan) II	社内送信済み	2013/04/11	承認	2013/04/11	1	いいえ
1020CMD	35375 / 2	35696	CDX Service Team (Japan)	社内送信済み	2018/01/05	-	-	5.01	いいえ
1020CMD	35375 / 1	35375	CDX Service Team (Japan)	社内送信済み	2017/10/20	-	-	5.01	いいえ
123_RMI_CMRT 20191128	47424 / 0.01	47424	CDX Service Team (Japan)	福集モード	2019/12/13	-	-	5.12	はい
12_13_2_RMI_CMRT 20191128	47420 / 0.01	47420	CDX Service Team (Japan)	福集モード	2019/12/13	-	-	5.12	はい
12_13_RMI_CMRT 20191128	47423 / 1	47423	CDX Service Team (Japan)	社内送信済み	2019/12/13	-	-	5.12	はい
2-seminar	369 / 2	370	CDX Service Team (Japan) II	社内送信済み	2013/04/11	承認	2013/04/11	1	いいえ
20130520_TestCMD01	1416 / 1	1416	CDX Service Team (Japan) II	社内送信済み	2013/05/20	承認	2013/05/20	2.02	いいえ
20130520_TestCMD03	1417 / 1	1417	testCompany	社内送信済み	2013/05/20	承認	2013/05/20	2.02	はい

データ品質を改善するために、結果テーブルの上部にある “統計” ボタンを使用して、ユーザーはテーブル中の全ての自社 CMD と全てのサプライヤーCMD の統計グラフを見たり、印刷したりすることができます。



ある CMD の品質レポートから詳細な情報を見るためには、結果テーブルの適切な CMD をダブルクリックしてみてください。画面下部の品質レポートチェック結果で CMD 詳細画面を見ることができます：



CMD 構成の上部にある ボタンを使うことで CMD 品質レポートを実行することもできます。どの品質プロファイルを使用するかの選択をすると、上部に CMD 構成と詳細情報と下部には品質チェック結果を表示した画面が現れます。

CMD チェック結果には以下の情報が含まれます：プロファイル名、プロファイル ID、プロファイル説明。表示されているプロファイル名をダブルクリックすると、選択したプロファイルに関する詳細情報を別画面で表示されます。そして、プロファイル総スコア、結果スコア、パーセント (%) による結果スコアを見ることができます。どのチェックルールも、ルール違反やその程度によりスコアが算出されています。プロファイルに含まれるチェックの合計スコアが、プロファイル総スコアとなります。結果スコアは合格したチェックの合計です- パーセンテージは、その CMD がその品質プロファイルに含まれているチェックにどの程度合格したのかを表しています。

結果テーブルには全ての違反内容がリストされています、それは CMD 詳細に対応したシンボルによって表示されています：

項目名	説明
違反レベル	システムの違反レベル。違反の結果:重大なエラー、エラー、警告、情報。 カンパニーアドミニストレーターにより、企業ルールは変更することができます。
タブ	情報や違反の内容を見ることができます。
ノード / 送信先	その CMD の名称。
ルール名	チェックされた CMD に適用されたルールについての説明。
ルールタイプ	条件タイプに関する詳細: 要求されている:質問は回答されなければなりません。 選択肢は既定のテキストと一致:条件付での要求:その項目は他の質問へ回答する上で条件付で要求されています。 条件付での不許可: その項目は他の質問へ回答する上で許可されません。
ルールグループ	違反が見つかった CMD(例:申告ページパート A、B、C と製錬業者リストページ等)の部分を表示します。
重大さ	システム側の違反の重大さは 1(低)から 9(高)まであります。 カンパニーアドミニストレーターにより、このルールは変更することができます。
違反テキスト	ルールに反した際にメッセージを返します。

有効な CMD マネージャーライセンスがあると、表の上部にあるエクスポートボタンで、エラーチェック結果を MS Excel ファイルにエクスポートすることができます。

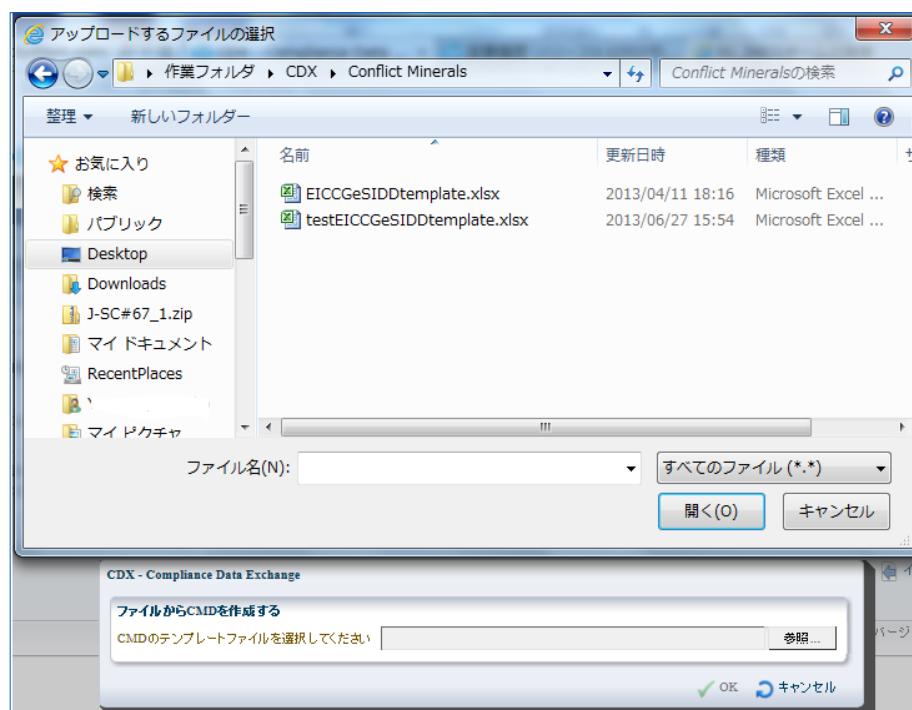
CMD のインポートとエクスポート

CDX バージョン 3 以降、完成した RMI CMR テンプレート(Excel ワークブック)を CDX にインポートしたり、既存の CDX CMD を RMI CMR テンプレート(Excel ワークブック)にエクスポートして、後で使用したり共有したりすることができます。CMD を RMI CMRT ファイルにエクスポートしたり、サプライヤーの CMRT をインポートしたりするには、有効な CMD マネージャライセンスが必要です。

CMD のインポート

「機能」メニューの **CMD 検索** 画面で、右下にある  **インポート** ボタンを使用します。

インポートボタンをクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示され、入力済みの RMI の紛争鉱物申告テンプレートの Excel シートを選択します。



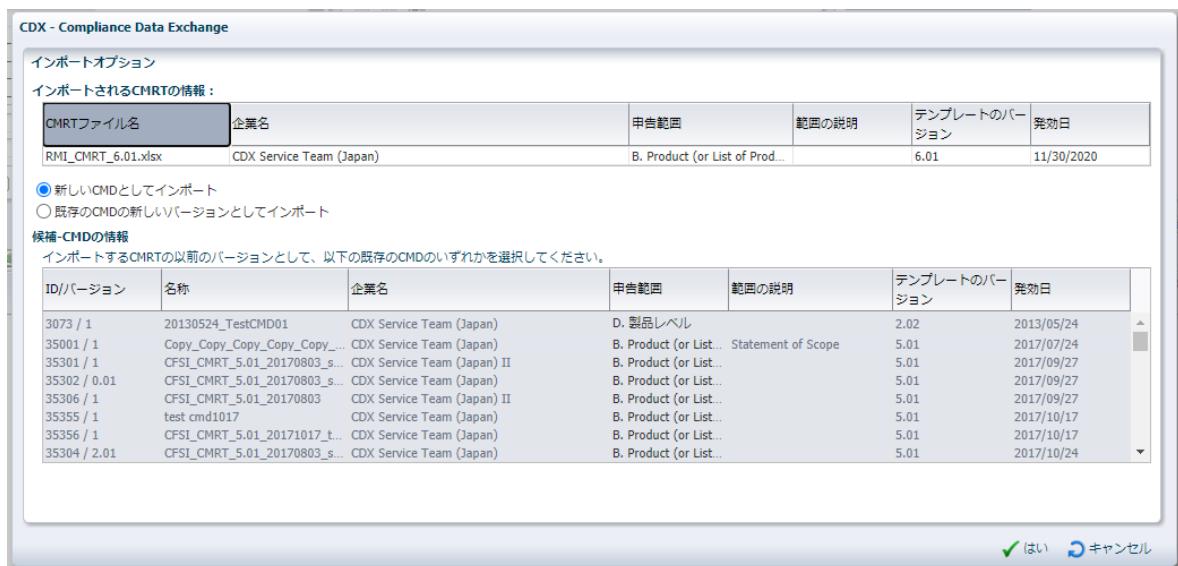
現時点では、Microsoft Excel の拡張子が .xls や .xlsx のファイルのみを CDX にインポートできます。Excel 以外のフォーマットを選択すると、正しいフォーマットを選択するようダイアログが表示されます。



テンプレートファイルを選択し、「開く」をクリックします。続くダイアログで OK ボタンを選択すると、選択した RMI CMR テンプレート Excel ワークブックが CDX にインポートされます。インポート処理中に、以前のバージョンが存在する場合、CDX はバックグラウンドでチェックします。CMD 情報 (ファイル名、会社名、申告範囲...) と、自分の CMD の場合は、以前のバージョンの可能性がある既存の CMD (CMD 候補) がすべて表示されます。あなた自身の CMRT を新しい CMD としてインポートするか、既存の CMD の新しいバージョンとしてインポートするかを選択することができます。インポートする CMD の上位バージョンが利用可能な場合は、これらも表示されますが、下位バージョンしか使用できないため、バージョニングの候補としては表示されません。

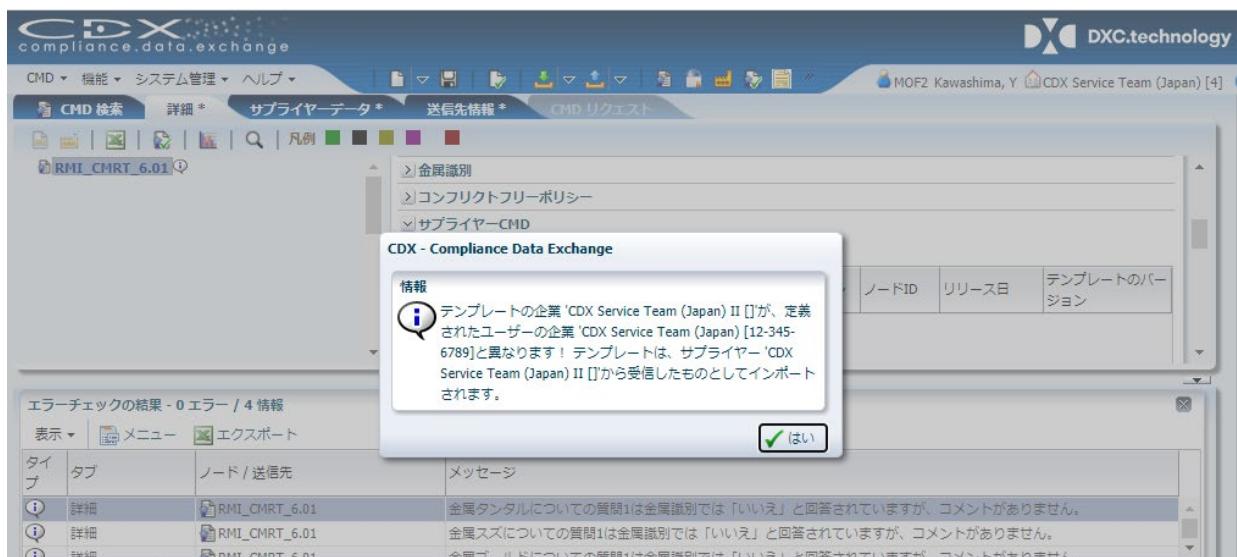
旧バージョンを参照してインポートした後は、旧バージョンと同じ ID が使用されますが、バージョン番号が高くなります。

このステップでは、インポートした CMRT と、会社が所有する他の CMD との関係を追跡することができます。サプライヤーCMRT については、「新しいCMDとしてインポート」することしかできません。

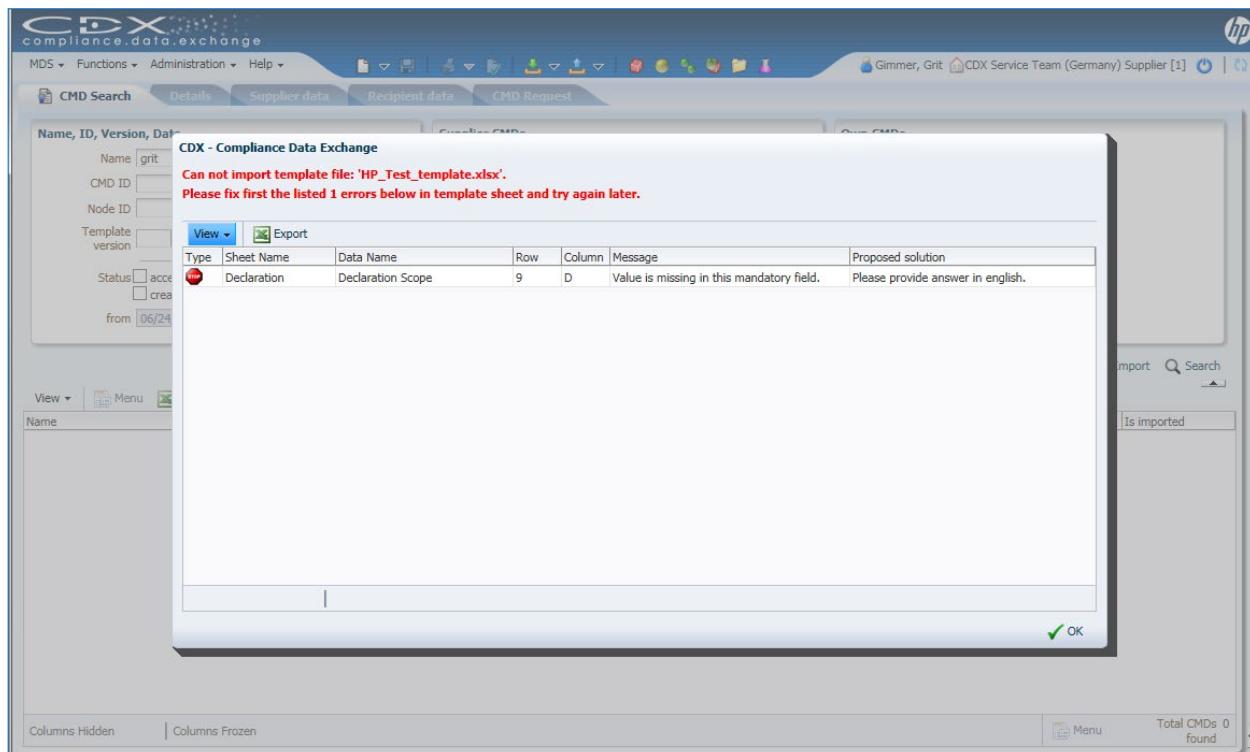


テンプレートの内容から新しい CDX CMD が作成され、新しく作成された CMD の詳細ビューが表示されます。RMI CMR テンプレートには、ユーザー自身の会社の情報、またはユーザーの会社のサプライヤーである別の会社の情報が含まれている場合があります。インポートされた CMD は、テンプレート内の会社名がユーザーの会社名と完全に一致している場合は、ユーザーの会社の CMD として扱われます。現在、企業固有識別子として DUNS 番号が使用されています。そうでない場合、インポートされた CMD は、サプライヤーからのサードパーティ CMD として扱われ、それを承認することなく使用することはできません。このステップでは、CMD マネージャライセンスが必要です。

プロセスの観点からは、サプライヤーCMD のインポートでは、サプライヤー CMD がインポートされたことをユーザーに通知するための追加ダイアログが表示されることを除けば、これら 2 つの状況に違いはありません。

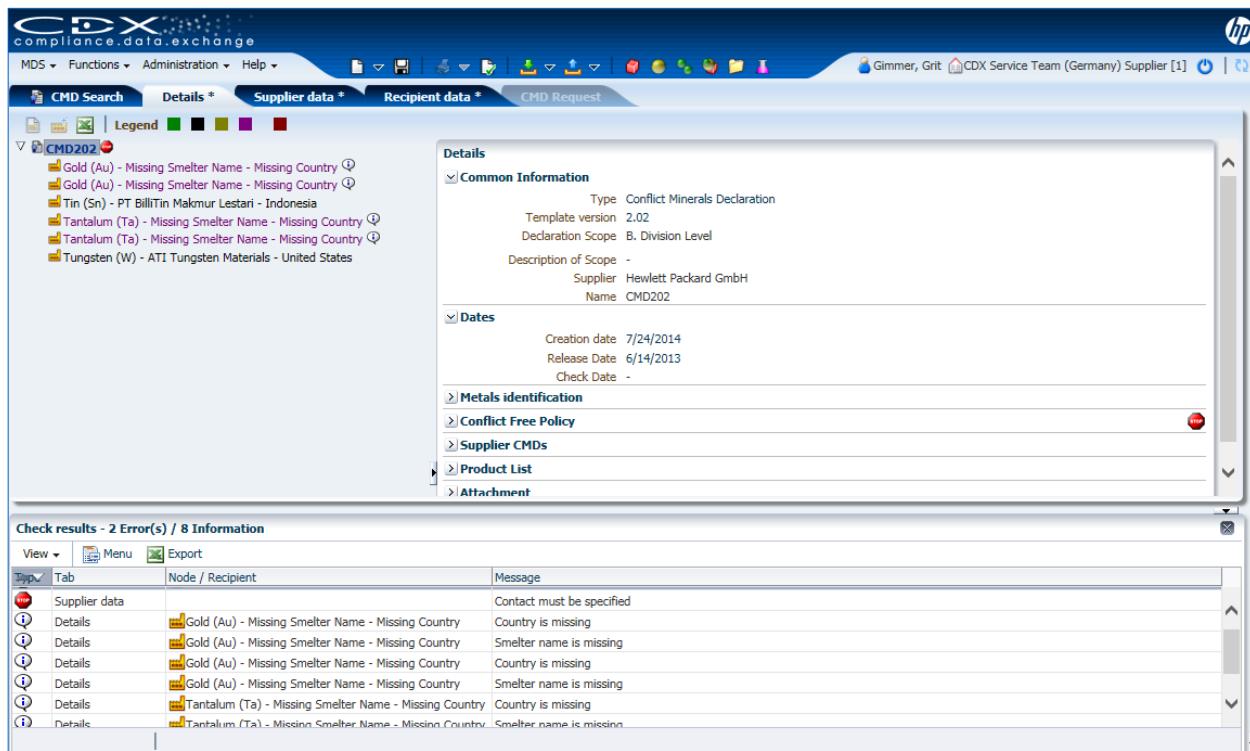


CMD インポート時にテンプレートの内容に対して検証チェックが行われます。いくつかのエラーにより CMD インポートができないことがあります。その時には、インポートが実施される前に xls テンプレート内で修正しなければならないエラーが表示されます。



その他の警告とエラー（インポートに妨げにならないような）も同じ画面に表示されます。ただし、OK ボタンで確認することで、そのテンプレートはインポートされます。

検出された全てのエラー/警告は、CMD の詳細画面の下部にある、エラーチェックの結果に表示されます。エラーが 1 つもない場合は、エラーチェックに合格した旨のメッセージが表示されます。



初期状態では、CMD テンプレートファイルの名称には新たな CMD の名称が使用されます。取引先から受け取りインポートされた CMD テンプレートは送信先情報のみが編集可能です。オリジナルの CMD テンプレートと CDX CMD との間での内容の不備を避けるために、他の項目は閲覧のみとなります。

テンプレートからインポートされた CMD については、テンプレートの名称のみ編集できます。インポート後の CMD

の名称には、初期値としてインポートされたテンプレートのファイル名が設定されます。オリジナルの CMD テンプレートと、インポート後の CDX の CMD の間の矛盾を防ぐため、そのほかの項目は全て編集不可になっています。

インポートした CMD テンプレートは、顧客に送信したり、コピーして編集可能な新しい CMD として利用したり、自社の CMD に、サプライヤーロールアップ（後述）を行って参照することができます。

CMD テンプレートをインポートしたり、その他の方法で CDX に CMD を作成したりしたら、必ず保存することを忘れないようにしてください。

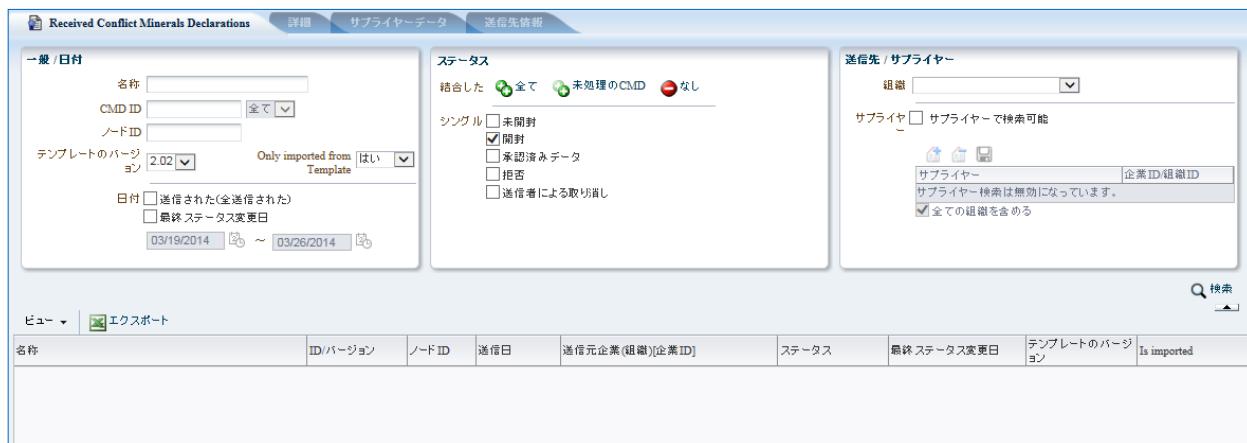
サプライヤーCMD ロールアップ

テンプレートからインポートしたサプライヤーCMD を、自社 CMD に参照するため、更に作業が必要となります。



サプライヤーCMD をインポートした後、ユーザーはインポート CMD を”承認”しなければなりません。まず、ツールバーやドロップダウンメニュー “機能” >受信ボックスの中の”Conflict Minerals Declaration”を開きます。

この画面で、例えばテンプレートからインポートされたのみという項目で「はい」を指定したり（初期値は「いいえ」です）、ステータスという項目で開封を選択したりするなど、検索条件を指定して結果を絞り込みます。もし CMD テンプレートのバージョンが分かっていれば、テンプレートのバージョンの項目のドロップダウンリストから選択することもできます。



注意：インポートされたサプライヤーCMD のステータスは、最初から開封となっています。これは自社のユーザーの誰かが一度その CMD を開封したことを意味しています。

検索結果で CMD をダブルクリックすると、その CMD の詳細画面が表示されます。CMD の内容を確認し内容が有効であれば、MDS メニューの 承認 をクリックしてサプライヤーCMD を承認してください。



サプライヤーCMD を参照する際は、最初に”自社”CMD を編集状態で開くか、新規作成します。そして、詳細画面の右側のサプライヤーCMD を開いて参照してください。

次に、承認した CMD を検索するため検索ボタンをクリックします。すると、承認済みのサプライヤーCMD の検索画面が開き、そこから直接取引のあるサプライヤーの特定の CMD を検索することができます。自社 CMD に参照したい、承認済みのサプライヤーCMD を選択し、**適用** ボタンをクリックします。

注意：一度に複数の CMD を選択する場合は、**shift** または **ctrl** ボタンを押したまま選択してください。そして、**適用** をクリックしてください。**全て適用** ボタンを使用することで CMD の結果テーブルに含まれる全ての CMD を選択することができます。

名称	ID/バージョン	ノード ID	送信日	送信元企業(組織)[企業 ID]	ステータス	最終ステータス変更日	テンプレートのバージョン
20130520_TestCMD03	1417 / 1	1417	2013/05/20	testCompany	承認	2013/05/20	2.02
20130520_TestCMD01	1416 / 1	1416	2013/05/20	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/05/20	2.02
5-semminar	373 / 1	373	2013/04/11	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/04/11	1
3-seminar	371 / 1	371	2013/04/04	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/04/11	1
2-seminar	369 / 2	370	2013/04/04	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/04/11	1
1-seminar	369 / 1	369	2013/04/04	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/04/11	1
seminar test 2	365 / 2	366	2013/03/29	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/03/29	1
seminar test 1	365 / 1	365	2013/03/29	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/03/29	1
testCMD_20130321_01	362 / 1	362	2013/03/21	CDX Service Team (Japan) II [134]	承認	2013/03/21	1

適用 や **全て適用** ボタンをクリックすると、ロールアップのプロセスが実行され、サプライヤーCMD が自社 CMD に追加されます。また、製鍊所のロールアップも同時に行われます。処理が完了すると、サプライヤーCMD と自社 CMD に含まれる全ての製鍊所がマージされます。さらに、自社と承認済みのサプライヤーCMD に使用されている製鍊所が結合されたリストが、自社 CMD のツリーの最上位ノードの下に表示されます。特定のタイプごとの各製鍊所情報は、1 回ずつしか表示されません。ただし、タイプが異なる場合（例えば既知の製鍊所と申請された製鍊所など）は複数回表示されます。

The screenshot shows a list of suppliers on the left and a detailed view of a selected supplier's CMD on the right. The detailed view includes fields for Type (Conflict Minerals Declaration), Template version (2.03), Declaration Scope (B. Division Level), and Supplier (CDX Service Team (Japan)). The table below shows a list of CMDs with columns for Name, Company, ID/Version, Node ID, Date, and Template version.

名前	企業名	ID/バージョン	ノードID	リリース日	テンプレートのバージョン
20130520_TestCMD03	testCompany	1417 / 1	1416	2013/05/19	2.02
5-seminar	CDX Service Team (Japan) II (134)	373 / 1	373	2013/04/11	1
3-seminar	CDX Service Team (Japan) II (134)	371 / 1	371	2013/04/04	1
2-seminar	CDX Service Team (Japan) II (134)	369 / 2	370	2013/04/04	1
1_seminar	CDX Service Team (Japan) II (134)	369 / 1	369	2013/04/04	1

自社CMDの中でサプライヤーCMDの詳細を確認するには、サプライヤーCMDの欄の中で、該当するCMDをダブルクリックするかViewボタンを使用してください。選択したサプライヤーCMDの詳細画面が、別画面で開きます。

The screenshot shows a list of supplier CMDs on the left and a detailed view of a selected supplier's CMD on the right. The detailed view includes fields for Type (Conflict Minerals Declaration), Template version (2.02), Declaration Scope (B. Division Level), and Supplier (CDX Service Team (Germany)). The table below shows a list of CMDs with columns for ID/Version, Node ID, Date, and Supplier.

ID / Version	Node ID	リリース日	Supplier
15520 / 1	15520	2013/05/20	CDX Service Team (Germany)
15520 / 2	15520	2013/04/11	CDX Service Team (Japan)
15520 / 3	15520	2013/04/04	CDX Service Team (Japan)
15520 / 4	15520	2013/04/04	CDX Service Team (Japan)

サプライヤーCMDの詳細画面の右下にある前へまたは次へボタンをクリックすると、ロールアップされた前後のCMDの詳細を表示させることができます。

注意:サプライチェーンの情報を守るために、サプライヤーCMD（他社のCMD）の中のサプライヤーCMDの欄は閲覧することはできないようになっています。

自社CMDに含まれるバージョン3からそれより新しいバージョンのCDXでは、サプライヤーCMDは“金属識別”と“コンフリクトフリー policy”に関する質問に対する殆どの回答が取りまとめられ、関連する項目が自動的に埋められることになります。集計された回答は表示され、自社のCMD内でこれらの回答を使用したり、必要であれば手動でその値を変更したりすることも可能です。サプライヤーCMDからの回答の集計と利用できる統計情報は、新規CMD > サプライヤーCMDの章に記載されています。

自社CMDからサプライヤーCMDと製錬所を取り除くために、サプライヤーCMDセクションでサプライヤーCMDを選択し、をクリックしてください。デザイン上、選択された1レコードのみが削除可能となります。作成した自社CMDにある削除済のサプライヤーCMDの全ての製錬所を残したいのであれば、それを前もって決めておかなければなりません。

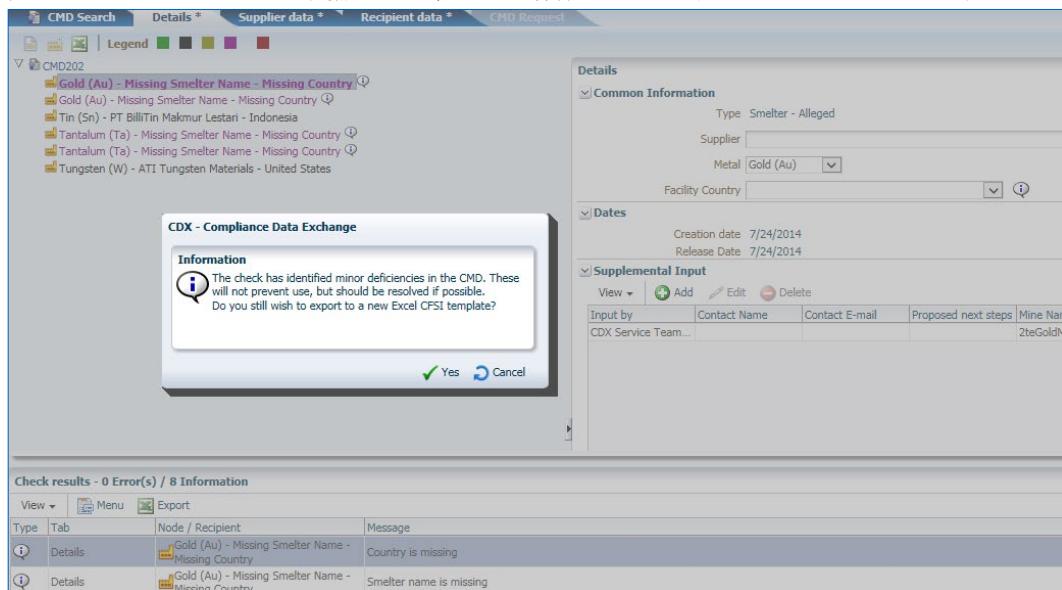
ある製錬所がCMDのロールアップ中に一度以上定義されたら、その製錬所を含むサプライヤーCMDはそれ以降削除されます。ただし、その製錬所を含む全てのCMDが取り除かれるまで、ロールアップCMDにはその製錬所は残ることになります。

CMDのエクスポート

この機能には、有効なCMDマネージャライセンスが必要です。カンパニードミニストレーターは、システム管

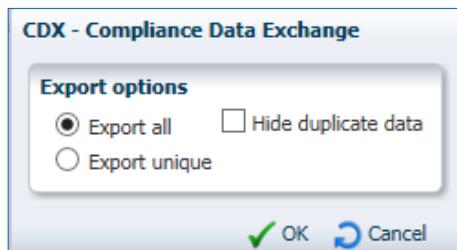
理 > CDX ライセンスメニューでこのようなライセンスを注文することができます。CMD をエクスポートするには、CMD 詳細ビューを表示し、CMD ツリーのトップ ノードの上の  ボタンをクリックします。

CMD のインポートプロセスのように、その CMD の内容に対して、検証のエラーチェックがエクスポート処理中にバックグラウンドで行われます。検出された全てのエラーは、CMD の詳細画面の下部にある、エラーチェックの結果に表示され、修正するため、エクスポートの処理が中断します。それ以外の場合は、CMD テンプレートの Excel ファイルのエクスポートの準備が整い、CMD が作成されてダウンロードができるようになります。



Type	Tab	Node / Recipient	Message
Details		Gold (Au) - Missing Smelter Name - Missing Country	Country is missing
Details		Gold (Au) - Missing Smelter Name - Missing Country	Smelter name is missing

もしその CMD にエラーがないようであれば上部のようなメッセージが現れ、“Yes”をクリックすると処理が進められ、そして以下のような追加のメッセージ画面が現れることになります。この画面では Excel ファイル中の製錬所の重複を避けるようなデータエクスポートの種類を選択することができます：



選択肢としては：

- 全てをエクスポート - 全てのエクスポート可能なデータが対象となります。対象の CMD に異なる補足情報（例えば連絡先や、住所等）を持つ製錬所が含まれる場合には、CMRT “製錬所” リストタブの別々の行に重複して出力されることになります。
- 重複データを隠す - 全てのエクスポート可能なデータが対象となりますが、MS Excel CMRT 内では重複する製錬所行は “隠される” ことになります。“全てをエクスポート” を選択した時のみ、このオプションは選択でき、重複行なしに CMRT 内で全ての製錬所を解かりやすい見ることができます。全てのエクスポート情報を見るには、MS Excel 内で見えないデータを “隠さなく” することができます。
- 単一データのみエクスポート - 製錬所は一度のみエクスポートされます。重複データは許されません。基本的な情報 (CFSI で定義された) のみが MS Excel CMRT にエクスポートされ、他の情報は無視されます。

これらのエクスポートオプションは CMRT バージョン 4.X とそれ以降に対応しています。それ以前のバージョンでは、“全てをエクスポート” のみとなります。

OK をクリックすると、その CMD は CMD テンプレート Excel ファイル用に変換され、生成された CMD は開かれ、保存されるようになります。



CMD リクエスト

これはデータシートリクエスト機能に似ており、CMD リクエストを取引先に送ることができるものです。そしてこれは CDX に登録してある企業だけでなく、まだ登録されていない企業へ送ることも可能です。ただしその場合は、これを使用する前に、CDX システムの外でその取引先と作業を行い、リクエストのコミュニケーションのために CDX を使用するという合意を取る必要があります。ユーザーはどの企業にリクエストを送るかの詳細について掌握しておく必要があります。

リクエストの内容

リクエストにより何の CMD を入力依頼元がリクエストしているのかを知ることができます。

リクエストには以下が含まれています：

- 必須 CMD 属性のセット（基本部分と送信先情報）
- リクエストに固有な、管理データ

リクエストには、入力依頼元は何のデータを期待しているかが記載されています。入力期限と部品番号（製品レベルで CMD をリクエストする場合）は共に必須項目となります。他の情報は必須ではありません。

リクエストを作成する際に、属性にガイダンス情報を入力するのは、やめてください。CMD データ項目に埋め込まれたリクエストの値は、上書きすることはできません。その値が空の時には、CMD サプライヤーは自身の値を書き込むともできます。

管理データ

管理データはそのリクエストに直接参照されています。これは、以下のように企業内でそのリクエストを管理するために入力依頼元（CMD の送信先）が使用するデータになります：

- グループリクエストに使用されるプロジェクト。プロジェクトはカンパニードミニストレーターにより作成され、全社（CMD 依頼元の企業内）で有効です。
- 企業/組織 ID と CMD 入力依頼元のコンタクトパーソン
- 期限、CMD 入力依頼元がリクエストした CMD を受け取りたい期限。

CMD リクエストステータス

リクエストステータスは以下のように表記されます：

- 新たなりクエスト（ステータスは“新規”）
- CMD サプライヤーに送られたリクエスト（ステータスは“送信済み”、CMD サプライヤーにとっては“受信済み”）
- CMD 入力依頼元が質問に回答し、リクエストを送った状態（ステータスは“送信済み”、CMD サプライヤーにとっては“受信済み”）
- CMD サプライヤーがリクエストを受け取ったが、まだ送信していない状態（ステータスは“割り当て”）
- CMD が送信された状態（ステータスは“承認待ち”）
- CMD が承認された状態（ステータスは“完了”）
- リクエスト送信先（CMD サプライヤー）がそのリクエストを拒否した状態（ステータスは“拒否”）
- リクエストがキャンセルされた状態（ステータスは“削除”）
- リクエストの期限が過ぎた状態（ステータスは“期限切れ”）

また、CMD 入力依頼元は、リクエスト検索でコンテキスト メニュー（マウスの右クリック > 削除）を使用するか、CMD リクエストの詳細で CMD メニューの削除機能を使用することで、CMD リクエストのステータスを変更することができます。

リクエストの作成

プロジェクトを使用する際の最初のステップはプロジェクトの作成となります。この章の目的として、プロジェクトを現在使用（プロジェクトはオプションの機能です）していないか、プロジェクトが作成済みであることを想定して行います。

リクエストは閲覧のみ以外のユーザー権限を持つユーザーによってのみ作成されます。リクエストの作成には二つの方法があります：

- CMD メニュー > 新規作成 > CMD リクエストを使用して単一の CMD リクエストを作成する
- MS Excel テンプレートを使用して、そのファイルを CDX にアップロードすることにより、複数の CMD リクエストを作成する

最初の方法は、以下の章に記載されています。自社の CMD リクエストにのみ関連するので、MS Excel ファイルを使用した複数の CMD リクエストの作成については、送信済み一覧の章をご参照ください。

リクエスト属性は以下になります：

項目	説明
受信データ	
企業	このリクエストを受け取る CMD サプライヤー。
企業サプライヤーコード	固有のサプライヤーコードを入力することができます。サプライヤー側ではこのコードは変更することができません。
管理サプライヤーコード	
入力期限	締め切りとなる日付。この項目は必須となります。
ステータス	リクエストのステータス。
ID	システム側で作成される、CMD リクエスト ID。
リクエスターデータ	
企業	システム側で作成される、そのリクエストを作成した CDX 上の企業名と、サプライヤーがどこにリクエストの回答を送ったらいつか。
組織	回答を受け取ることが可能な組織をドロップダウンリストで表示。
CMD コンタクト	リクエストを作成したユーザーID からシステム側で作成されます。
プロジェクト	リクエストが割り当てられたプロジェクト名。
CMD リクエスト	
テンプレートバージョン	その CMD が元にすることが可能なテンプレートのバージョンをドロップダウンリストで表示。
申告範囲	その CMD がカバーできる申告範囲をドロップダウンリストで表示。
部品番号	製品レベルで申告が可能な部品番号。これは必須項目です。
申告期間 から … まで …	紛争鉱物申告について期限を決めてリクエストする場合に入力できる値。
コメント	ここでは、サプライヤーの追加情報、どのような情報を期待しているか、またはリクエストに答える方法を入力することができます。

受信企業の選択

企業検索機能  を使用して、CDX 内に登録されている企業を検索するか、または CDX にまだ登録されていない企業にリクエストを送ることもできます。“CDX に登録されていない”という項目をチェックすることで、追加情報の項目が画面下部に表示されます：

Received CMD Requests Details Supplier data Recipient data **CMD Request ***

Recipient data

Company Not registered in CDX
Supplier Code
Deadline date 12/16/2015 *
Status new

Requester Data

Company CDX Service Team (Germany) Supplier
Organisation unit
CMD Contact Gimmer, Grit
Project

CMD Request

Template version 4.01a (Date of issue : 201)
Declaration Scope A. Company Level
Product/Item Number
Declaration Period from to

Company Data

Company Name *
Street *
Zip or Postal Code *
City *
State / Province
Mailbox
DUNS Number
IMDS Company ID
Country Please select a country ... *
Company Administrator
Last Name *
First Name *

Send

CMD リクエストを送信したい企業の必要情報を入力してください（赤の*が付いている項目は入力必須項目です）。画面の最後には、システムが送信するメールに特定の注意事項を含めることもできます。あなたの会社が有効な CDX ライセンスを持っている場合は、添付ファイルを追加することもできます。これは、あなたのサプライヤーにとって、どのような情報を期待しているか、またはリクエストにどのように答えるか、非常に役立つ情報になるかもしれません。アップロードできるファイル形式は、xls、xlsx、doc、docx、pdf です。添付ファイルを削除するには、削除ボタンを使用してください。

Email Text

To E-mail Language English
Cc
Subject Conflict Minerals Template Request Browse... Send

保存して送信すると、入力したカンパニーアドミニストレーターに、CDX への登録の案内と、システムを利用するための関連情報が記載されたメールが届きます。

Conflict Minerals Template Request - Message (HTML)

FILE MESSAGE Diagnostics ADOBE PDF

Thu 20.08.2015 14:26

CDX Mailer

Conflict Minerals Template Request

To CDX Service Desk

If there are problems with how this message is displayed, click here to view it in a web browser.

Dear name myfirst,

This email was generated by CDX on behalf of **Grit Gimmer at CDX Service Team (Germany) Supplier**. If you are in doubt about the authenticity of this email, please contact Grit Gimmer.

CDX Service Team (Germany) Supplier or their client is required to investigate the source(s) and chain of custody for **Tin, Tungsten, Tantalum, and Gold (3TG)** used in their products, and disclose whether the trade of these minerals has supported conflict in the Democratic Republic of Congo (DRC) and its neighboring countries. Illustrative CMD Request is required, as their supplier, to support this activity. Their company records identify you as the contact at your company for this type of support.

CDX Service Team (Germany) Supplier has elected to use the Conflict-Free Sourcing Initiative (CFSI) Conflict Mineral Reporting Template (CMRT) IPC-1755 data exchange format to collect Conflict Mineral Information. HP's Compliance Data Exchange (CDX) is the supplier reporting data collection service for this information. Your information in CDX is secure and protected; other companies (including HP) can only access your CMRT when and as you permit. If you do not have a completed CMRT, CDX will guide you through the creation process. Use of CDX to create or upload your CMRT and provide the required information to this recipient is free of charge to your company, and provides valuable feedback to your company regarding the quality of the information you have provided.

Please complete your submission by **2015-11-20**. This process will require gathering information from within your company and from your suppliers, so you are encouraged to begin immediately. To simplify reporting, CDX Service Team (Germany) Supplier pre-registered Illustrative CMD Request in CDX and created a Template Request for your company. As the identified contact, you are the CDX Company Administrator responsible to ensure this submission is provided by the deadline specified above.

Important:
For security purposes, the three links below can only be used once, and expire by the submit-by date above.

To complete registration and begin activation, please click the following link: [Activate my company](#)
If your company has already registered in CDX, please click the following link: [Logon to CDX](#)
If you believe receiving this notification is an error or you do not provide 3TG products to the requesting company, please click the following link: [Reject registration](#)

Once your registration is activated:

- Login, and from the Toolbar select the InBox (or use the menu Functions... InBox).
- Select CMD Request.
- On the resulting screen click Search (on the right) to locate the client request.

Video tutorials for common CDX tasks are available at: <https://public.cdxsystem.com/en/web/cdx/tutorials>
The latest CDX News and usage tips are available at: <https://public.cdxsystem.com/web/cdx/home>
The CDX user manual is available on the CDX website: <https://public.cdxsystem.com/web/cdx/help>
CDX training class information is available at: <http://public.cdxsystem.com/web/cdx/training>

カンパニー アドミニストレーターがこの企業登録を有効にするとすぐにEメールで通知されます。サプライヤー企業が登録を確認していない場合、あなたは登録リクエストを更新および/または再送信することができます。これは、画面下部の”送信”ボタンを使用して、リクエスト内で行うことができます。

ここでは、”送信履歴”も利用可能です。この表のエントリをダブルクリックすると、すでに送信された登録リクエストメールを開くことができます。

Send History

Subject	E-Mail address	Date Sent	Sent Status	Has Attachment
Conflict Minerals Template Request	aya-allah.tarif@dx.com	5/14/2018	SENT	No
Conflict Minerals Template Request	aya-allah.tarif@dx.com	5/14/2018	SENT	No

Send

すでにCDXに登録されている企業にリクエストを送信した場合、その企業はCDXで直接リクエストを受信します。

「受信した紛争鉱物申告(CMD)リクエスト」の通知メールを購読しているこの企業のすべてのユーザーには、以下のようなメールが届きます。

Wed 15.06.2016 12:01
CDX Mailer
Conflict Minerals Declaration (CMD) Request received from CDX Service Team (Germany) Supplier (Request ID: 1023)
To Gimmer, Grit

Action Items + Get more apps

Dear Grit Gimmer,

Your company has received a CMD Request.

CMD Request Details

Request ID	1023
Company Name	CDX Service Team (Germany)
Requester	Gimmer, Grit
E-mail	gitter.gimmer@hpe.com
Deadline date	09/15/2016

You can directly open the this request [1023](#) after log on CDX using this link.

As an alternative you can manually navigate through CDX as described here:
Once you have logged in [CDX](#), please select the InBox  from the Toolbar (or use the menu Functions InBox). Select CMD Request. In the resulting screen, click Search  (on the right) to locate the client request.

Best regards,
Your CDX Team

This e-mail is generated automatically. Please do not answer this e-mail.
If you have questions, please contact the CDX Service Desk on <http://public.cdxsystem.com/web/cdx/contact>

Hewlett Packard Enterprise

CDXにログイン後、リクエスト送信先はメール中のリンクから、直接リクエストを開くことができます。CDX メイン画面（データシート検索）に代わり、受け取ったCMD リクエストが表示されます。

使用されているユーザーがないCDX企業にリクエストを送ってしまった時には、リクエスト受信企業の中で、使用されているユーザーがないため、リクエストが送られなかつたというメールによる通知を受け取ることになります。またリクエスト送信先に一人もEメールを購読していない企業にリクエストが送信された場合にも、通知されることになります。

プロジェクトの作成

プロジェクトはリクエストのためのグループの基準で、全社に有効です。プロジェクトはプロジェクト項目の隣にある**編集**をクリックすることで始まるリクエスト作成画面で作られます。それは新たな画面で開きます。プロジェクトを作成したいのであれば、をクリックすることで可能です。

プロジェクト名を入力する箇所で新たにポップアップの画面が開きます。この画面を終わらせるためには、**保存**をクリックしてください。そうすると元の画面に戻ることができます。しかし元の画面との違いとしては、画面の底のリストに新たなプロジェクトを確認することができます。新たなプロジェクトをクリックしてハイライトさせ、 **適用**をクリックしてください。すると画面は、リクエストの画面に戻ります。

リクエストの完了

全ての情報を入力して入力を完了したら、ツールバーにある  アイコンを使用してください。システムはチェックを実行します。リクエストが正常に保存されると、画面の右下部に  **送信** アイコンが現れます。取引先へリクエストを送るためには、それをクリックする必要があります。

リクエストの拒否

リクエストやデータシート/CMD を作成できる誰もが、リクエストを拒否することができます。リクエストを受け取ったものの、CMD サプライヤーではそれを扱うことができない時には、サプライヤーはそれを拒否しコメントを追記することになるかもしれません。そのことで、CMD サプライヤーと CMD 入力依頼元には**拒否**という状態が表示されることになります。リクエストが拒否されると、CMD サプライヤーは必ず拒否の理由を記載する必要があります。

リクエストを見ていると、画面の右下部に以下のオプションが表示されます。



リクエストを拒否するために、Reject ボタンをクリックして、拒否の理由を入力してください。 適用 をクリックして拒否を送信します。

入力依頼への対応

リクエスト用の既存 CMD の割り当て

リクエストに対応するには、新規に CMD を作成するか、既存の CMD を割り当てるかの 2 つの方法があります。自社 CDX 企業が作成した既存の CMD しか割り当てることができません。

ここでは、既存の CMD を割り当てるみましょう。CMD リクエスト受信済み一覧から直接、またはリクエスト自体から、これを行うためのオプションがあります。

受信した 1 つ以上の CMD リクエストを直接リクエスト受信済み一覧にマークして、コンテキストメニューの「CMD の割り当て」またはマウスの右クリックで割り当てプロセスを起動することができます。

表示	メニュー	エクスポート				
リクエスト ID	入力依頼元 [企業ID]	入力依頼元 CMD コンタクト	入力期限	ステータス	プロジェクト	サプライヤー
4033	CDX Service Team (Japan) II [...]	Kawashima, Yoshiko	03/13/2020	受信済み (データシート)		
3935	CDX Service Team (Japan) II [...]	Kawa 编集	09/25/2019	受信済み (データシート)		111 [...]
2716	CDX Service Team (Japan) II [...]	Murai 表示	07/24/2018	割り当て / 期限切れ		
2516	CDX Service Team (Japan) II [...]	Murai 削除	05/09/2018	承認待ち (データシート)		
2473	CDX Service Team (Japan) [4]	Murai CMDの割り当て	04/25/2018	割り当て / 期限切れ		
2455	CDX Service Team (Japan) II [...]	Murai クリップボードにコピー	04/10/2018	受信済み (データシート)		
2438	CDX Service Team (Japan) II [...]	Murai 受信済み	04/09/2018	承認待ち (データシート)		

メニューの「CMD の割り当て」は、以下の条件を満たしている場合にのみ使用できますので、ご注意ください。

- 選択された全てのリクエストは割り当て可能です。 ("受信済み" / "期限切れ" ステータス)
- 選択されたすべてのリクエストは、同じ申告範囲と同じテンプレートバージョンを共有しなければなりません。

「CMD の割り当て」をクリックすると、CMD 検索画面が開き、目的の CMD を検索して選択することができます。適用」をクリックすると、CMD の詳細タブが開き、送信先情報タブで送信先として入力依頼元が追加され、CMD リクエストタブでは、リクエストに CMD が割り当てられていることがわかります。これで CMD を送信先に全送信することができます。

受信したリクエストで既存の CMD を直接割り当てるには、リクエスト画面の下部にある「CMD の割り当て」ボタンをクリックする必要があります。検索画面が開き、特定の CMD を検索することができます。

CMDの割り当て解除 ボタンを使用して、受信したリクエストから割り当てられた CMD を削除することができます。割り当て後、依頼元に全送信することができ、送信先情報画面に自動的に挿入されます。

CMD の作成

CMD の作成を選択すると、新しい CMD がこのリクエストに割り当てられていることがわかります。リクエストされた CMD 送信先情報は自動的に挿入されます。前のセクションで説明したように CMD を作成する必要があります。CMD の作成が完了したら、送信先情報画面に移動してその他の情報を入力し、通常の方法で送信先に全送信します。

リクエストの完成

CMD 入力依頼元に対して、CMD を割り当て送信することによって、そのリクエストの状態は**承認待ち**に変更されます。

- 割り当てられた CMD が送信されると、全ての必須項目が埋められているかどうかに関わらず、リクエスト固有テストが実行されます。
- 割り当てられた CMD が拒否されると、リクエストの状態は**作業中**に戻ります。
- 割り当てられた CMD が承認されると、リクエストの状態は**完了**に変わります。

オープンしている CMD リクエストを完了するには、入力依頼元は、受信した CMD またはインポートした CMD をリクエストに割り当てて、それに応じてステータスを更新することもできます。

不足分レポート

ここまで作業で、サプライヤーCMDを受け取り、処理し、返答することができるようになりました。しかし、SECのルールの元で要求されているように、“デューデリジェンス”を示すためのプロセスは、CMDの中でサプライヤーによって提供されている回答の調査とスコアリングから成り立っています。企業をレポートすることで、前向きなフィードバックループの中での報告のような改善が示されるようならなければなりません。不足分レポート機能では、登録されたCMDが品質面で期待値に達していない時に、サプライヤーにEメールによるフィードバックを行うような取り組みをサポートします。

不足分レポート機能を使用して、ユーザーは誰でも受け取ったかCMDのデータ品質をチェックし、不足分レポートからの結果をCMD作成者にEメールで送ることができます。この機能を使用する前に、CDXカンパニードミニストレーターはチェックプロファイルを定義して、レポート結果を送信するためのEメールのテンプレートメッセージの雛形を用意しなければなりません。これはシステム管理メニューの[不足分レポートマネージャー](#)で対応することができます。

これらのプロファイルを使用して、CMD毎に不足している情報を見つけるために不足分レポートを実行して、そのCMDの提供者に不完全な情報を指摘するEメールを送信することができます。

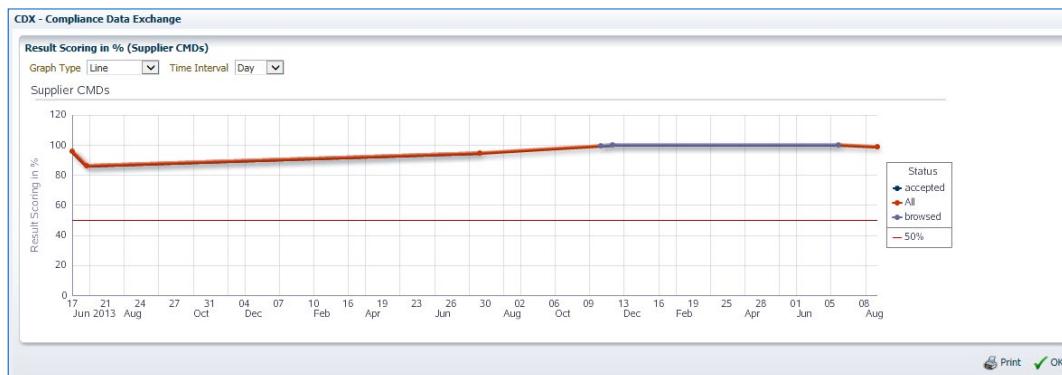
不足分レポートには[品質レポート](#)時と同じ情報に近いものを使われています。最初の部分で、ユーザーはどのCMDがこのレポートに含まれるかを選択することができます。典型的な検索条件(CMD名やCMD ID、テンプレートバージョンのような)を使用することでこれを特定することができます。

不足分レポートの次の部分では、不足分レポートマネージャー内で事前にカンパニードミニストレーターにより定義されている品質プロファイルを選択する必要があります。これは最初の部分の全ての結果CMDに対して実行されます。重大なエラー、エラー、警告、情報、またはそれらの組み合わせを表示するようなチェックのために、フィルタリングも提供します。

チェック結果(重大なエラー、エラーのように)と並び、CMD品質レポートから既に知られているように、スコアとパーセンテート値はおののの結果CMDによって決定され、結果テーブル内に表示されます。このスコア値は、そのCMDがどの程度プロファイルに含まれるチェックに合格したのかを表しています。

Name	ID / Version	Node ID	Company Name	Status	Date	Recipient State	Recip State Date	Template version	Is imported	Result Scoring	Result Scoring in %	Fatal	Error	Warning	Information
CVL Limited 3.01 CMD	21720 / 1	21720	CVL Limited	Internally released	12/2/2014	browsed	12/2/2014	3.01	Yes	2341	99.87	0	0	2	0
New CMD for Grit	11233 / 1	11233	CDX Service Team (Germany)	Internally released	11/20/2014	browsed	11/20/2014	3.01	No	2328	99.32	0	0	9	0
Test_GGI CMD	23991 / 1	23991	CDX Service Team (Germany)	Internally released	7/13/2015	browsed	7/13/2015	4.01	No	2342	99.91	0	0	1	0
CMD202	580 / 1	580	CDX Service Team (Germany)	Internally released	7/1/2013	accepted	7/1/2013	2.02	No	2023	86.31	3	0	10	0
Copy_CMD202	23998 / 1	23998	CDX Service Team (Germany)	Internally released	8/20/2015	accepted	8/20/2015	2.02	No	2323	99.1	0	0	10	0

結果テーブルの上部の“統計”ボタンを使用することで、リストされた全ての CMD の統計グラフを表示し印刷することができます。：



不足分レポートの作成と編集

不足分レポートを作成、更新、送信するために、結果テーブルから 1 つまたは複数の CMD を開くことができます。テーブル内（複数行の選択はコントロールキーを押しながら行ってください）の適切な全ての CMD をマークしてください。そして、選択した CMD のレポートを作成するために、ダブルクリック（複数選択の場合は右マウスをクリック）をしてください。作成を始めるために、コンテキストメニューの **Menu** を使用することもできます。

この例では、3 つの CMD がマークされ、不足分レポートが作成されています。“編集”タブ中に、それらが全て関連情報と一緒に表示されています：

結果テーブルに戻り追加の CMD をマークすると、左側のこのリスト内に追加分も含まれることになります。それらの結果を後で使用したい時には、既存の不足分レポートに保存することができます。ユーザーがもう 1 つの機能を使用すると、結果を失ってしまうことがあります。

画面の右側で、選択した CMD の以下の詳細が表示されている場所をよく確認しておきましょう：

レポート

レポート名	CMD 名からシステムが生成-必用であれば変更することができます。
レポート No.	システムがナンバーを生成（編集不可）。
レポート言語	ここでレポートの言語を選択してください。 初期言語は不足分レポートマネージャーで設定することができます。
回答希望日	回答を希望する日付を入力してください。 初期値はレポート作成日から 5 日後です。

送信情報

このセクションの全ての情報は変更可能です。既存の入力されているテキストはシステムにより生成されており、上書き可能です。

To	CMD サプライヤーデータから生成- CMD 作成者の E メールアドレス
Mail To Name	CMD サプライヤーデータから生成- CMD 作成者の名前
Reply To	ユーザーの ID から生成- 不足分レポート作成者の E メールアドレス
Reply To Name	ユーザーの ID から生成- 不足分レポート作成者の名前
Cc	レポートのコピーを送りたい人の E メールアドレスをここに入力してください。 この項目の初期値を不足分レポートマネージャーで設定することも可能です。
Subject	不足分レポートを E メールで送るための意味のある題名を設定してください（必須入力項目）。システムからこれを埋めるための代用語（例、CMD 名、企業名）を使用することもできます。 この項目の初期値を不足分レポートマネージャーで設定することも可能です。

Send Information

To	chuck.lepard@hp.com	Mail To Name	LePard, Chuck
Reply To	grit.gimmer@hp.com	Reply To Name	Gimmer, Grit
Cc			
Subject Following place holders are allowed in subject line: {CMDName}, {RequesterCompanyName}, {SupplierCompanyName}.			

紹介ヘッダー

プロファイルと事前に定義して送信した情報に基づき、E メールの本文はシステムにより生成されます。品質要求に合わせるために CMD 中で何を変更する必要があるのかといった情報をできるだけサプライヤーに提供するため、ユーザーにより、それを変更することも可能です。

不足分レポートの E メールのために意味がある内容を記載してください。システムからこれを埋めるための代用語（例、CMD 名、企業名）を使用することもできます。この項目の初期値を不足分レポートマネージャーで設定することも可能です。

Introductory Header

Following place holders are allowed: {CMDName}, {RequesterCompanyName}, {SupplierCompanyName}, {DateSent}, {ReplyEmailAddress}, {ResponseDate}.

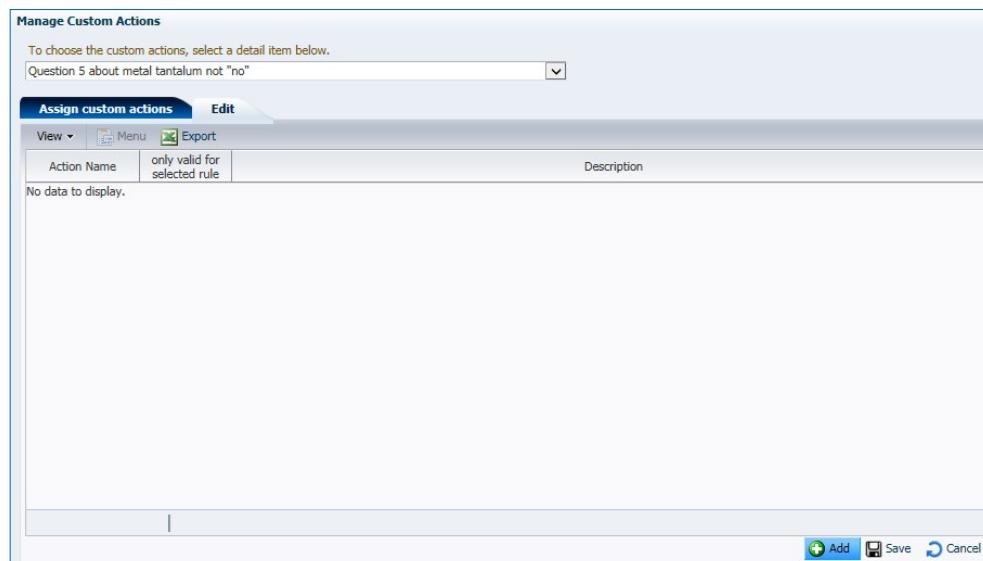
チェック結果

プロファイル（名前、ID、説明）を使用することで CMD 中の重大なエラー、エラー、警告、情報の量を表示することができます。使用したチェックプロファイルに対しての違反は、違反クラス、タブ、ルール名、ルールタイプ、ルールグループ、重大さ、説明、カスタムアクションに関する詳細情報と一緒に結果テーブルに表示されます。

Check results - 0 Fatal / 0 Error(s) / 2 Warning / 0 Information

Violation Class	Tab	Rule Name	Rule Type	Rule Group	Severity	Description	Custom Action
②	Details	Question J about...	Pick List - Equals t...	Declaration Page...	2	As a supplier to a...	
①	Details	Question 5 about...	Pick List - Equals t...	Declaration Page...	1	Please work to ide...	

“カスタムアクション”項目は編集可能です。ここにサプライヤーにより実施された修正ステップを挿入することができます。それぞれの項目の中でダブルクリックをすると、別画面が開き、ルール違反毎の1つまたは複数のアクションを“追加”することができます：



Manage Custom Actions

To choose the custom actions, select a detail item below.

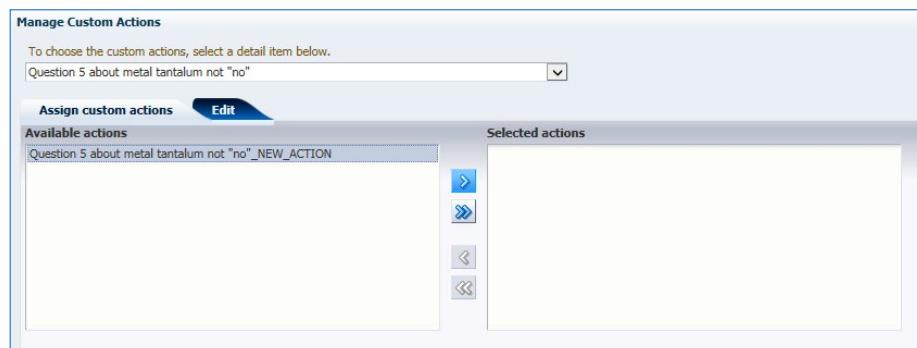
Question 5 about metal tantalum not "no"

Action Name only valid for selected rule Description

No data to display.

Add Save Cancel

“編集”タブを選択して、“追加”をクリックしてください。ドロップダウンリストから詳細のアイテムを選び、説明を入力してください。“選択したルールに対してのみの違反”やそうでないものかどうかを選択することができます。入力した場合には保存をお願いします。これらの作成されたものは、“カスタムアクションの割り当て”タブの“可能なアクション”であり、チェック結果テーブルへのカスタムアクションの割り当てへ（ **適用** をクリックすることで）“選択されたアクション”エリアで1つまたは複数のアクションを追加することができます。



Manage Custom Actions

To choose the custom actions, select a detail item below.

Question 5 about metal tantalum not "no"

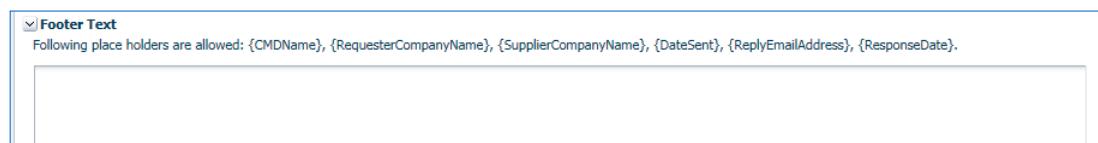
Available actions Selected actions

Question 5 about metal tantalum not "no"_NEW_ACTION

Add Save Cancel

フッターテキスト

不足分レポートのEメールの最後に位置する情報を追加してください。システムからこれを埋めるための代用語（例、CMD名、企業名）を使用することもできます。この項目の初期値を不足分レポートマネージャーで設定することも可能です。

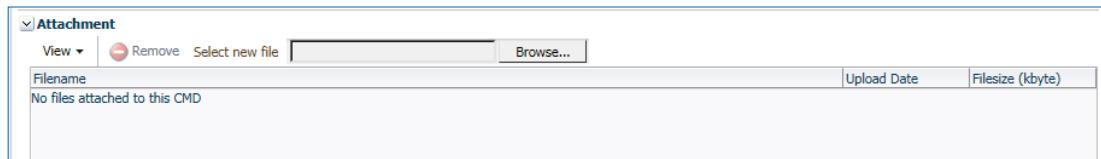


Footer Text

Following place holders are allowed: {CMDName}, {RequesterCompanyName}, {SupplierCompanyName}, {DateSent}, {ReplyEmailAddress}, {ResponseDate}.

添付

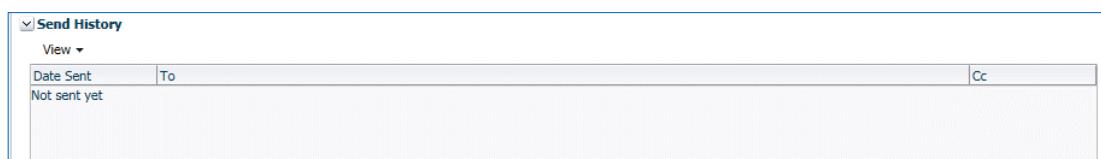
不足分レポート E メールに文章を添付するためには、 “Browse” を行ってください。全ての添付文章のファイル名、アップロード日付とファイルサイズといった情報がリスト化されます。以下のファイル形式はアップロードすることができます： xls, xlsx, doc, docx, pdf。 それぞれのファイルで 5MB までのファイルを計 5 個までアップロードすることができます。  削除 ボタンを使用して添付ファイルは取り除くことができます。



The screenshot shows the 'Attachment' section of a report. It includes a 'View' dropdown, a 'Remove' button, a 'Select new file' button, and a 'Browse...' button. Below these are columns for 'Filename', 'Upload Date', and 'Filesize (kbyte)'. A message at the bottom states 'No files attached to this CMD'.

送信履歴

送信された不足分レポートの日付、To や Cc についての詳細の情報は、既に送信されているレポート E メールのみ閲覧可能です。



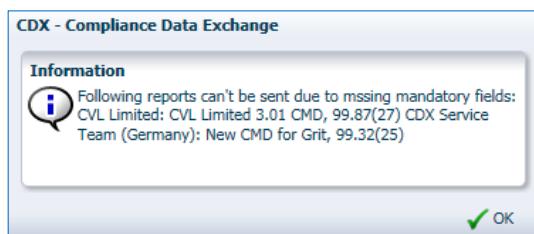
The screenshot shows the 'Send History' section. It includes a 'View' dropdown, a 'Date Sent' field, a 'To' field, and a 'Cc' field. A message at the bottom says 'Not sent yet'.

CMD レポートリスト（左側）の上部のプレビュー ボタンを使用して、生成されたレポートのプレビューを見ることができます。ビューの中から 1 つまたは複数のレポートを取り除くこともできます。

全ての必須情報（アスタリスク*がマークされている）が入力され、不足分レポートが保存されていれば、送信ボタンは使用可能になります：



複数選択は可能です。上記のボタンを使用するか、結果メニューのコンテキストメニューを使用して、マークした全ての不足分レポートを送信することができます。必須項目が足りないことでレポートが送信されない時には、以下のエラーメッセージが表示されます：



不足している情報を入力して、再度送信してみてください。

レポート検索

“レポート検索”タブで、既に送信された不足分レポート同様に作成され保存されたレポートを検索することができます：

Report No.	Report Name	Profile	CMD ID / Version	last sent date	To	Scoring amount	%	Fatal/Error/Warning
27	CVL Limited: CVL Limited 3...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		chuck.leopard@hp.com	2341	99.87	0/0/2
26	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1	09/21/2015	use2@sub2.com	2342	99.91	0/0/1
25	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		xinfeng.chen@hp.com	2328	99.32	0/0/9
22	CVL Limited: CVL Limited 3...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		chuck.leopard@hp.com	2341	99.87	0/0/2
21	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		use2@sub2.com	2342	99.91	0/0/1
20	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		xinfeng.chen@hp.com	2328	99.32	0/0/9
19	Hewlett Packard GmbH: CM...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1			2223	94.84	1/0/10
18	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		islam.al-nahrawy@hp.com	2323	99.1	0/0/10
17	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1			2023	86.31	3/0/10
16	Hewlett Packard GmbH: CM...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1	09/18/2015	cdx-info@hp.com	2223	94.84	1/0/10
5	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1	09/11/2015	cdx-info@hp.com	2023	86.31	3/0/10

検索の範囲を決めるため、いくつかのパラメーターを設定することができます。結果テーブルはレポートNo、レポート名、使用プロファイル、CMD ID/バージョン、最新送信日、メールで送信済み、添付、スコア（%の場合もあり）、重大なエラー/エラー/警告の数と共に状態（新規 および/または 送信済み）がマークされた概要を表示します。全てのレポートはコンテキストメニューを使用して（再度）送信ができる：

Report No.	Report Name	Profile	CMD ID / Version	last sent date	To	Scoring amount	%	Fatal/Error/Warning
41	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Validation	0 / 1		islam.al-nahrawy@hp.com	2323	99.1	0/0/10
27	CVL Limited: CVL Limited 3...	Template Version 4.01a Validation	0 / 1		chuck.leopard@hp.com	2341	99.87	0/0/2
26	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Validation	0 / 1	09/21/2015	use2@sub2.com	2342	99.91	0/0/1
25	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		xinfeng.chen@hp.com	2328	99.32	0/0/9
22	CVL Limited: CVL Limited 3...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		chuck.leopard@hp.com	2341	99.87	0/0/2
21	CDX Service Team (German...	Template Version 4.01a Valid...	0 / 1		use2@sub2.com	2342	99.91	0/0/1

レポートの設定

カンパニードミニストレーターにより行われた設定を確認するためには、“レポートの設定”タブに行ってください。表示されている情報はここでは編集することができません。設定を変更するためには、カンパニードミニストレーターは管理 > [不足分レポートマネージャー](#)メニューを使用する必要があります。

送信済み一覧

送信済み一覧 () は、他社に送信したデータシートか CMD のステータス情報を確認し管理する画面です。自社の入力依頼と CMD リクエストも同様です。

自社データシートと CMD リクエストのために、それぞれの画面中でテンプレート (xls フォーマット) のダウンロードすることができます。そこでは CDX の外で複数のリクエストを作成することができます。ERP、サプライヤーマネジメントや他の社内システムから得られたデータを取り込むことができます。そして、埋められたテンプレートを CDX にアップロードすることができます。この機能により、複数のサプライヤーに同時に MDS または CMD リクエストを一括送信することができます。

検索条件と検索結果テーブルは、選択可能なタイプごとに 1 つの画面にまとめられています。この画面は上部エリアと下部エリアに分かれています。上部エリアには検索条件が表示され、下部エリアには検索結果テーブルが表示されます。

検索条件

以下の表に検索条件をまとめています:

項目名	説明
Sent MDSs / CMDs	
名称	データシートの名称
内部番号	部品番号/材料コード – 構成情報画面の値です。送信先情報の値ではありませんのでご注意ください。
外部 / 部品番号	部品/材料コード – 送信先情報から
データシート ID/ CMD ID / バージョン	データシート ID か CMD ID の 最新バージョン、もしくは全てのバージョンを選択することができます。
ノード ID	システムが自動で表示 – この番号はデータベースでそのデータシート/CMD を一意に特定するための番号です。バージョン番号が 0.01 の場合に限り、上の ID と同じ番号になります。
テンプレートバージョン	特別なバージョンのテンプレートを使っている CMD を検索します。
申告範囲	特定の申告範囲を持つ CMD を検索する – ドロップダウンメニューを使用して、次の申告範囲のいずれかを選択します。Company, Product (or list of products), User defined。CMD 検索でのみ使用可能
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを持つデータシート/CMD を検索します。アスタリスク(*)を使用してワイルドカード検索を行うこともできます。
送信日	送信先に送信された日で検索します。
最終ステータス更新日	最後に更新した日付を期間で指定して検索します。
結合/全て	送信したデータシートを全てのステータスで検索します。(初期値は“全て” – 全てのマークを外し、1 つや複数のステータスを選択するためには、“none”をクリックしてください)。
未処理のデータシート /CMD	クリックすると「未処理のデータシート/CMD」に該当するステータス(送信者によるキャンセルと承認済み以外の全てのステータス)から検索できます。
ステータス:未開封	送信済みデータシートで、送信先が開封していないデータシートを検索
ステータス:開封	送信済みデータシートで、送信先が開封したが、まだ処理されていないデータシートを検索
ステータス:承認済みデータ	送信済みデータシートで、送信先が承認したデータシートを検索
ステータス:拒否	送信済みデータシートで、送信先が拒否したデータシートを検索

項目名	説明
ステータス:編集中	送信済みデータシートで、送信先に拒否されていて、自社が編集または修正中のデータシートを検索
ステータス:送信者によるキャンセル	送信済みデータシートで、送信者がキャンセルしたデータシートを検索
ステータス:送信先によって無効化された	送信済みデータシートで、送信先によって無効化されたデータシートを検索
転送データシートのみ	転送バージョンのデータシートに限定して検索
組織	特定の組織(そのユーザーがその組織に割り当てられている)から送信されたデータシートのみを検索
送信先で検索可能	特定の送信先企業に送られたデータシートを検索
送信先	送信先を1つまたは複数指定して検索(ただし「送信先で検索可能」にチェックが入っている場合に限る)
全ての組織を含める	組織に関わらず、全ての送信先に送信されたデータシート/CMDを検索
データシート 自社の入力依頼	
リクエスト ID	データシートリクエスト ID - システムにより生成される
リクエストグループ ID	グループ ID - システムにより生成される。1つのファイルからインポートされたリクエストは同じ ID. を共有。
テンプレートからインポートされたもののみ	データシートバルクリクエスト Excel シートからインポートされた送信済みデータシートを検索。
タイプ	データシートのタイプ (コンポーネント、セミコンポーネント、材料から選択)
プロジェクト	入力依頼が割り当てられたプロジェクトの名称/番号で検索
入力期限	入力期限で検索。指定する場合は右の項目(From)の日付は左の項目(To)よりも前の日付にする必要があります。
ステータス	入力依頼のステータス(新規、送信済み、拒否、承認待ち、完了)で絞り込むことができます。一回の検索で一種類のステータスしか選ぶことができません。「未処理の入力依頼」にチェックを付けると、拒否と完了以外のステータスで検索できます。
企業で検索可能	顧客毎に検索を行いたいのであれば、このボックスをチェック。
送信先	入力依頼の送信先ごとに検索できます。(ただし「企業から検索可能」にチェックが入っている必要があります。)
入力依頼元	入力依頼をした企業または組織ごとに検索できます。
サプライヤー登録を開く	まだ企業登録が有効になっていない受信企業も検索したい場合は、このボックスにチェックを入れてください。検索対象は、貴社からの依頼により事前に登録された企業に限定されます。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードで送信されたデータシート入力依頼を検索します。アスタリスク(*)を使用してワイルドカード検索を行うこともできます。
割り当てられたデータシート / 名称 / 番号	自社の入力依頼に割り当てられたデータシートで検索できます。データシートを名称または番号で選択します。
統計	所有しているすべてのデータシート入力依頼と受信したデータシート入力依頼の数をそれぞれのステータスで表示します。
テンプレートのダウンロード	ここで、データシート一括入力依頼ファイルを作成するための xls テンプレートをダウンロードすることができます。
インポート	ここで、大量の入力依頼を作成するために充填されたデータシート一括入力依頼ファイルをインポートすることができます。

項目名	説明
CMD 自社の入力依頼	
リクエスト ID	CMD リクエスト ID – システムにより生成される
リクエストグループ ID	グループ ID – システムにより生成される。1 つのファイルからインポートされたリクエストは同じ ID. を共有。
テンプレートからインポートされたもののみ	CMD バルクリクエスト Excel シートからインポートされた送信済み CMD を検索。
プロジェクト	リクエストが割り当てられたプロジェクト名/ナンバー。
無効化されたプロジェクトを含める	検索範囲を拡張し、無効化されたプロジェクトをプロジェクトリストに含めます。
送信先による検索	送信先による検索を行いたい時にはこのボックスをチェック。
送信先	結果を見るなどを望む送信先の一覧(このボックスは送信先による検索ボックスをチェックするまで有効にはなりません)。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを使用して CMD リクエストを検索。
入力依頼元	入力依頼をした企業または組織ごとに検索できます。
期限日 から – まで	期限日を検索することができます。その際に、“から”は希望の最速日で“まで”は回答を希望する最遅日になります。
ステータス	入力依頼のステータス(新規、送信済み、拒否、承認待ち、完了)で絞り込むことができます。一回の検索で一種類のステータスしか選ぶことができません。「未処理の入力依頼」にチェックを付けると、拒否と完了以外のステータスで検索できます。
サプライヤー登録を開く	まだ企業登録が有効になっていない受信企業も検索したい場合は、このボックスにチェックを入れてください。検索対象は、貴社からの依頼により事前に登録された企業に限定されます。
CMD テンプレートバージョン	特定のテンプレートバージョンで送信した全ての CMD リクエストを検索。
申告範囲	特定の申告範囲で送信した全ての CMD リクエストを検索。
製品 / 部品番号	特定の製品または部品番号で送信した全ての CMD リクエストを検索。
割り当てられた CMD	割り当てられた特定の CMD を送受信した全ての CMD リクエストを検索。
名称	この名称を使用した特定の CMD を送受信した全ての CMD リクエストを検索。
ノード ID	このノード ID を使用した特定の CMD を送受信した全ての CMD リクエストを検索。
テンプレートのダウンロード	ここで、CMD 一括入力依頼ファイルを作成するための xls テンプレートをダウンロードすることができます。
インポート	ここで、大量の入力依頼を作成するために充填された CMD 一括入力依頼ファイルをインポートすることができます。

サプライヤー/送信先を選択する時、企業/組織を検索する画面がポップアップで表示されます。

表示メニューのオプションを使用して、表示中の列をオフにしたり、列の並び替えをしたりすることができます。

いずれかの項目にアクセスするには、ダブルクリックすると、構成情報タブに移動します。

貴社が有効な MDS/CMD マネージャライセンスを持っている場合は、 エクスポート コマンドを使用して MS Excel に結果をエクスポートすることができます。（カンパニーアドミニストレーターは、システム管理 > CDX ライセンスメニューで注文することができます）

CMD とデータシートリクエストの一括送信

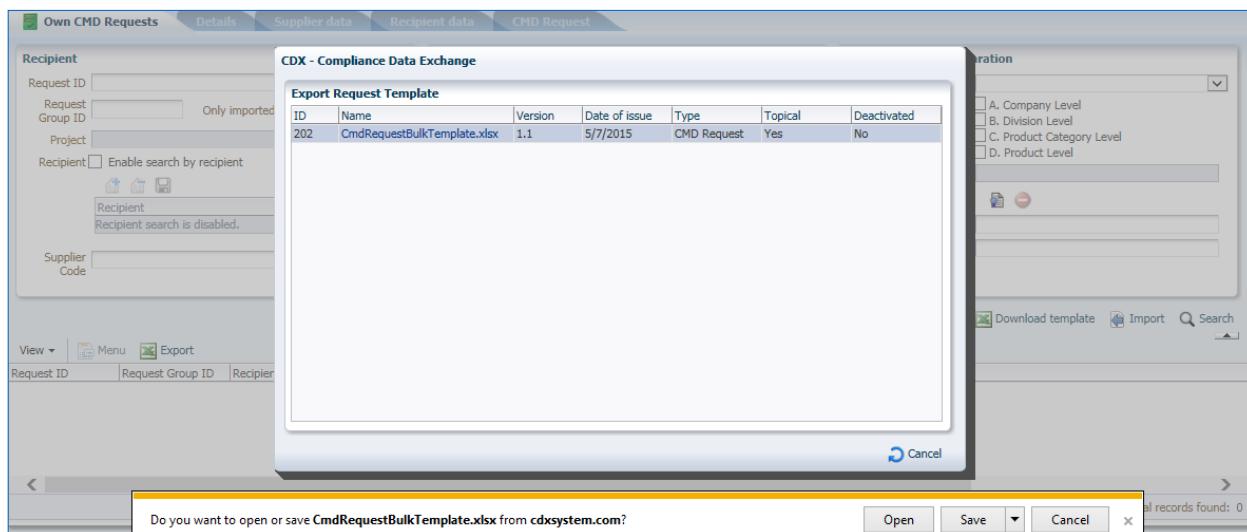
一括リクエストとは、複数サプライヤーに同時に CMD リクエストを送るようにデータシートを送ることができるこによる、既存のリクエスト機能の改良になります。データシートリクエスト送信ボックス、CMD リクエスト送信ボックス（この機能は自社データシートや CMD リクエストに関してのみのため）それぞれでそれは可能となります。特に言及されなければ、そのプロセスは CMD とデータシートリクエストの一括送信と同じです。以下では、CMD リクエスト機能が記載されています。

それぞれのアウトボックス検索画面で、テンプレート（xls フォーマット）をダウンロードすることができます。そのテンプレートで、自社データシートや CMD リクエストをオンラインでリスト化することができます。リクエストファイル内で既に利用できる情報を取り込むために、ERP、サプライヤーマネジメントや他の社内システムからのデータを得ることができます。一度それが準備されれば、リクエストファイルで CDX にインポートすることができます。

CDX からダウンロードされた、使用可能なマスターリクエストテンプレートファイルを受け取るには テンプレートのダウンロード ボタンを使用します。このボタンをクリックすると、全ての使用可能なマスターリクエストテンプレートファイルが別の画面に表示されます。ダウンロードができるマスターテンプレートファイルは現在 1 つのみです（これは対応するテンプレートは殆どが現行で使用されているものということです）。

“名称” カラム中のリンクをクリックすると、対応するマスターテンプレートファイルがダウンロードされ、一括

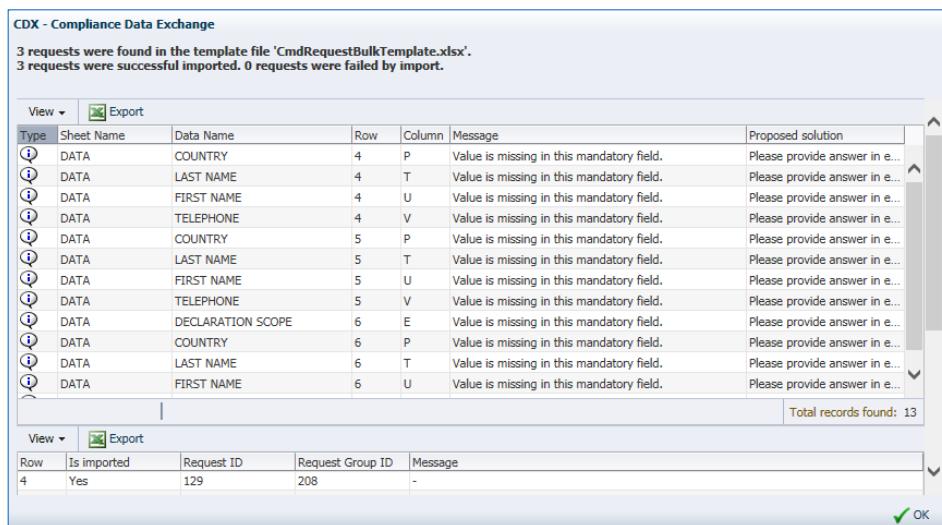
リクエストを作成するためにローカルの PC 上に保存されることになります。



アウトボックス検索画面の新たな“インポート”ボタン (インポート) を使用して、ダウンロードされたリクエストテンプレートファイルに含まれる、(オフラインで) 用意された CMD/データシートリクエストをインポートすることができます。このボタンをクリックすると、別の画面でインポートされるファイルを選択しなければなりません。



インポートするためのテンプレートファイルを選択して、“OK”ボタンをクリックすると、テンプレート中で定義された全てのリクエストがインポートされます。インポートプロセスが終了すると、インポートプロセスについての詳細情報が記載された別のサマリー画面が表示されます：



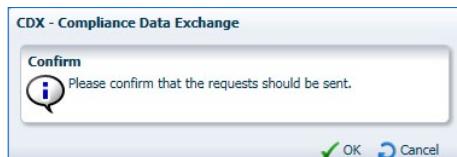
インポートプロセスには二つのサブプロセスがあり (テンプレートファイルの解析と、インポートされたリクエストの実行) 、サマリー画面の最初のテーブルにテンプレートファイルの解析結果が表示されています。次のテーブルでは実施しているリクエストプロセスの結果が表示されています。リクエストが正常に終了すれば、ユニークなリクエスト ID とリクエストグループが与えられ、リクエストが何らかの理由で実行されなければ、リクエストやリクエストグループ ID は与えられず、失敗の原因が、テンプレートファイルに入っている関連する行に対するテーブル内に表示されます。

両テーブルに表示されている結果は、関連のある エクスポート ボタンをクリックすることで、Excel ファイルにエクスポートすることができます。OK をクリックすると、アウトボックス検索画面に戻り、インポートされた結

果が下部の結果テーブルに表示されます：

同一ファイルからの全てのインポート結果は、同じ“リクエストグループ ID”を共有することになります。グループ ID は同じインポートされたリクエストテンプレートに属する全ての関連リクエストを表示するために使用されます。それは全ての関連するリクエストを確認するために後ほど使用されます。テンプレートで定義された全てのリクエストがインポートされます。リクエストの中に何らかの情報が不足していた場合、そのリクエストをダブルクリックして、リクエスト詳細を開き、関連するリクエストを編集することができます。

アウトボックス検索画面は一連のリクエストの一括送信にも使用することができます：CMD/データシートリクエストアウトボックスで複数のリクエストを選択して、コンテキストメニューを開くために右クリックをして、“送信”します。コンテキストメニューの“送信”アイテムは少なくとも 1 つの送信可能なリクエストが選択されている時のみ有効になります。事前に選択された全てのリクエストが送信不可の場合は、“送信”メニューアイテムは使用することができません。“送信”メニューアイテムをクリックすることで、事前に選択された全てのリクエストが送信されます。リクエストが送信される前にユーザーによる確認が必要な場合は、リクエスト毎に別の画面が表示されます（ユーザーによる確認 1 つずつに）。



最後に、事前に選択された全てのリクエストが送信プロセスで処理された時には、別途サマリー画面が開き、一括送信結果を表示します。

メッセージには、単一のリクエスト毎に以下の情報が表示されます：

送信可能： リクエストが送信可能かどうか。リクエストが送信可能でない場合は、必須項目が埋められているかどうかチェックをお願いします。

送信成功： リクエストが送信された - はい か いいえ。

送信キャンセル： リクエストはユーザーによりキャンセルされた（そのため送信されていない） - はい か いいえ。サマリーを Excel ファイルにエクスポートするには、テーブル上部の“エクスポート”ボタンをクリックしてください。

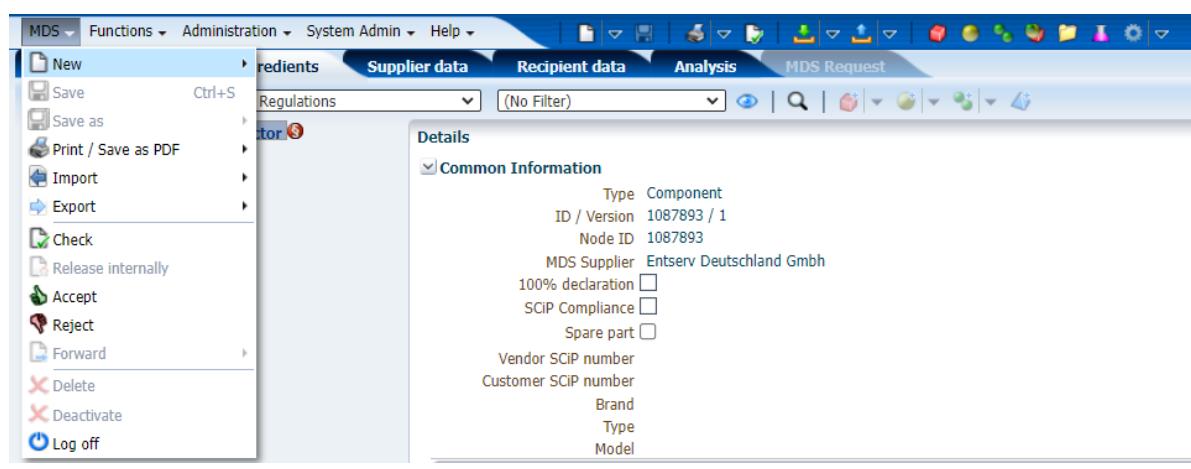
受信済み一覧

受信済み一覧 (📥) では、自社に送られてきた全てのデータシート/CMD や入力依頼と CMD リクエストを確認できます。企業で組織を使っている場合、組織に送られてきたアイテムは、そのユーザーIDが組織に割り当てられていないと検索できません。検索条件は送信済み一覧と同じです。送信済み一覧との違いは、データシートを他のデータシートに参照するためには、閲覧して承認しなければならないことです。

承認/拒否

データシート、入力依頼またはCMD や CMD リクエストを選択してダブルクリックすると、そのアイテムの構成情報または詳細が開きます。検索できる構成と全ての情報は、その企業のルールに基づきます ([ツリーの表示・検索](#) を参照)。また、送信先情報タブもレビューされる必要があります。

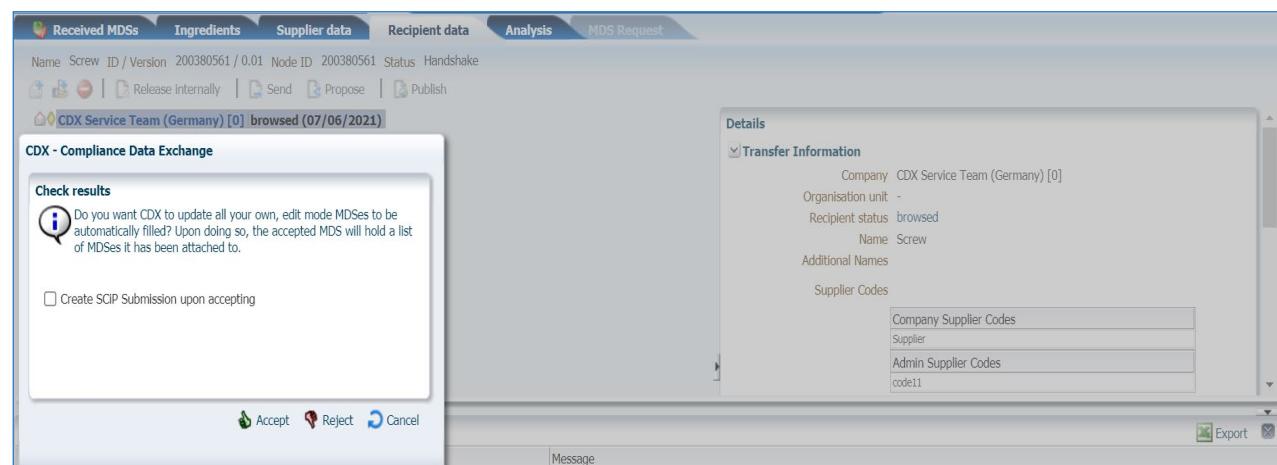
データシートのレビューが完了したら、データシートメニューから「承認」を選択します。「確認」を選択すると、システムでは基本的な基準を満たしているかどうかをチェックします。チェックの結果は以下のようない画面になります:

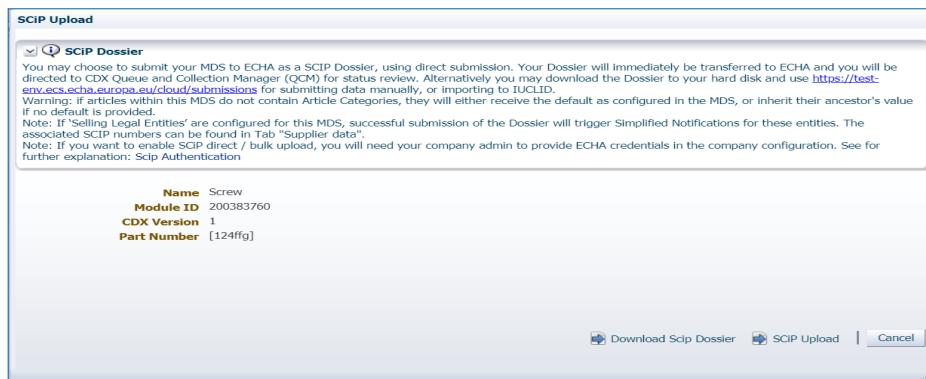


承認 か拒否 かのどちらかを選択することができます:

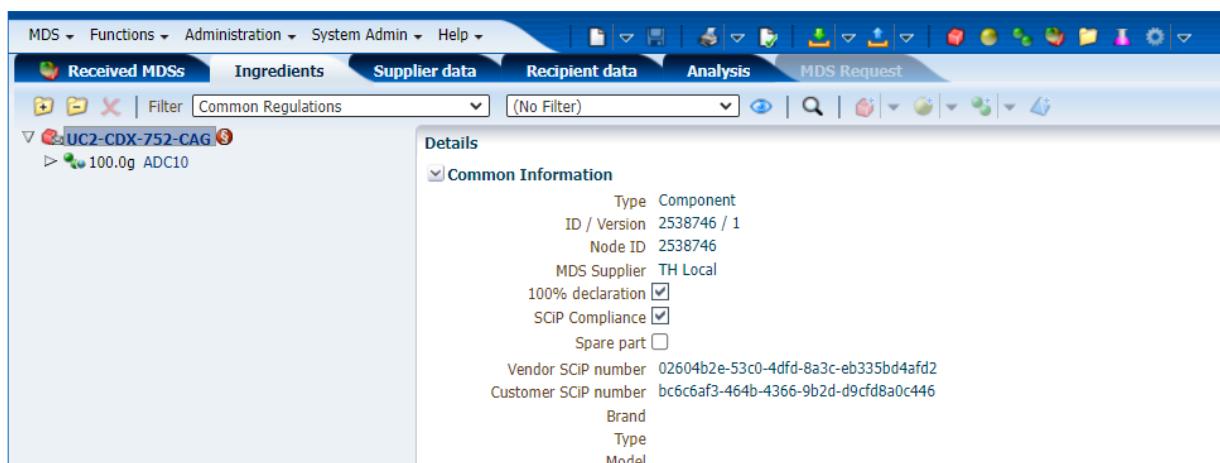
データシート/CMD の承認

データシートがシステムチェックに合格した場合、 Create SCIP Submission upon accepting チェックボックスを選択して をクリックすることで、受信したデータシートの承認時にその SCIP Dossier の作成を選択することができます。データシートのステータスは「承認済み」に変更され、データシート/CMD は検索結果に表示されるようになります。構成のどれか一つに添付されるようになります。SCIP Dossier の作成用チェックボックスを選択すると、SCIP Dossier のポップアップアップ画面がスクリーンショットの下に表示されます。





受信した SCIP Number は Vendor SCIP Number として追加されます。



データシートの拒否

データシートを拒否した場合、拒否の理由を入力する必要があります。ここには、直接理由を説明するか、サプライヤーから疑問点を質問してもらうよう伝えるかのどちらかにするべきです。



拒否の理由を入力したら、**拒否**をクリックします。すると検索結果のステータスが拒否に変更になります。

受信したデータベースの SCIP Dossier のエクスポート

送信されたデータベースのステータスが承認済み、または自動承認済みの場合は、以下のスクリーンショットのように選択された単一のデータベースについて SCIP Dossier を作成して ECHA に送信することを選択できます。

Type	Name	ID / Version	Node ID	transmitted	from comp. (Org Unit) [Company ID]	Number	Status	last status changed	Contact Name	E-mail
SCIP	testFromRecip1117	200380160 / 1	200380160	6/29/2021	CDX Service Team (Germany) [0]	recip1117part1	View	6/30/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	ReceivedMds1315	200379960 / 1	200379960	6/28/2021	CDX Service Team (Germany) (2012-1...	1315part1	Print	7/5/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	Copy_testS2SVWithReceiving	200379560 / 0.01	200379560	6/24/2021	CDX Service Team (Germany) [0]	test1235	Check	6/24/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	testS2SWithReceivingatrec	200379174 / 1	200379174	6/22/2021	CDX Service Team (Germany) (Triple-E...	FF	Copy to clipboard	6/27/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	recipMdsName	200378160 / 1	200378160	6/17/2021	CDX Service Team (Germany) [0]	recippartnur	Show reject reason	6/20/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	recipMdsName	200377760 / 1	200377760	6/16/2021	CDX Service Team (Germany) [0]	recippartnur	Export	6/16/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	nameref1	200077160 / 1	200077160	9/21/2020	CDX Service Team (Germany) [0]	rec1part1 [...]	SCIP Dossier	7/27/2021	Rania Hassan	rania.hassan@
SCIP	Component_200076960	200076960 / 0.01	200076960	9/21/2020	CDX Service Team (Germany) [0]				Rania Hassan	rania.hassan@



受信したリクエストへの既存データベースの割り当て

受信した（データベース）リクエストをリクエスト受信トレイで直接マークし、コンテキストメニューから、またはマウスの右クリックで「データシートを割り当てる」（または「CMDを割り当てる」）を使用して割り当て処理を開始します。

View	Menu	Export	Request ID	Requester [Company ID]	Requester CMD Contact	Deadline date	Status	Project	Supplier Code	Template version	Declaration Scope
6777	CDX Service Team (Germany) [0]	Tester_Webservice	08/11/2040	received	5.01	Company					
6775	CDX Service Team (Germany) [0]	Assign CMD Service	08/11/2040	rejected	5.01	Company					
6771	CDX Service Team (Germany) [0]	Tester_Webservice	08/11/2040	received	5.01	Company					
6757	CDX Service Team (Germany) [0]	Tester_Webservice	08/11/2040	received	5.01	Company					
6756	CDX Service Team (Germany) [0]	Tester_Webservice	08/11/2040	received	5.01	Company					

「データシートを割り当てる」または「CMDを割り当てる」というメニュー項目は、以下の条件を満たした場合にのみ表示されます。

- 選択されたすべてのリクエストは割り当て可能である（「受信」/「期限切れ」状態で～）。
- データシート: 選択されたすべてのリクエストが同じデータシートタイプを共有していかなければならない。
- CMD: 選択されたすべてのリクエストは、同じ申告範囲と同じテンプレートバージョンを共有していかなければならない。

「データシート(CMD)を割り当てる」をクリックすると、データシート(CMD)検索ウィンドウが表示され、必要なデータシートを検索して選択することができます。「適用」をクリックすると、データシート(CMD)の「詳細」タブが表示され、要求者が受信者として「受信者データ」タブに追加され、「リクエスト」タブにはリクエストに割り当てられたデータシート(CMD)が表示されます。これで、データシート(CMD)を受信者に提案/送信できるようになります。

複数のデータシートの拒否

「受信済みデータシート」の中から  をクリックすることで、複数のデータシートの受信を拒否することができます。

The screenshot shows the 'Rejected' tab of the 'Received Data Sheets' section. It includes a search bar, a list of rejected data sheets with details like ID, version, and status, and a table of rejected data sheets with columns for ID, version, date, supplier, status, and reason.

ID	バージョン	ノードID	送信日	送信元企業(組織)(企業ID)	ナンバー	ステータス	最終ステータス変更日	担当者名	Eメール	電話	拒否の理由	サプライヤーコード
1002025 / 1	1002025	2012/01/12	CDX Service Team (Germany) (Supplier... Bum)			accepted	2012/01/12	非公表				
1002031 / 1	1002031	2012/01/12	CDX Service Team (Germany) (Supplier... 1234)			accepted	2012/01/12	Peng 110 Li	peng.li@dx.com	1575		
1003000 / 0.01	1003000	2012/02/06	CDX Service Team (Germany) (Supplier... 1535)			rejected	2017/08/18	非公表			Just a test... but the co...	
1003002 / 1	1003002	2012/02/06	CDX Service Team (Germany) (Supplier... 1244)			accepted	2012/02/06	非公表				

開いているデータシートのうち、ステータスが「未閲覧」または「閲覧済み」でエラーを含むもののみが拒否されます。エラーが発見された場合は、自動的にそのデータシートを拒否する理由となります。結果テーブルに開いているデータシートがなく、すべてのデータシートが既に回答済みまたはキャンセルされている場合は、追加のダイアログが表示されます。



この種の拒否はバッチモードで実行されるため、ユーザーはプロセスの終了を待たずにすぐに作業を継続することができます。バッチ処理が完了して画面が更新された後、拒否が成功した場合、それらのデータシートは拒否されたものとして表示されます。

検索のヒント

CDX の検索機能はとてもシンプルで、且ついろいろな検索項目で絞ることもできます。フィルターを多めに入力すると、より簡潔な検索結果が返ります。検索メニューは次のセクションで紹介する機能と多少似ています。

有効な CDX ライセンスがあれば、検索結果テーブルの上にある  エクスポート ボタンを使って、すべての検索結果をエクスポートすることができます。

ワイルドカードでの検索

アスタリスク (*) は、検索時に便利な文字であり、特に正確なスペルや句読点が不明な場合です。全ての"lead"関連の化合物を検索したい時、名称の項目を"*lead*"で検索すればいいです。とある会社を探している時、しかも、この会社のいくつかの CDX の登録があることを知っている場合は、会社の名称欄に* ABCD の*を入力すると、その文字列を含む全ての企業が結果として返されます。

検索結果の設定

 ボタンで検索結果の列の表示をオフにすることや、列の項目をソートや再配置することができます。

データシート検索オプション

MDS ビューでは、以下のデータシート関連の検索オプションがあります。機能メニューまたはそれぞれのツールバー ボタンから起動します。

コンポーネントの検索項目

以下はコンポーネントの検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
名称, ID, バージョン, 日付	
名称	コンポーネントの名前
部品番号	部品の番号です
データシート ID/バージョン	"最新"を選択したら、最新バージョンのデータシートを検索します。"全て"を選択したら、最新バージョンのデータシートを検索します。注意:他社のデータシートを検索するとき、"全て"で検索したほうがおすすめです。
ノード ID	システムから自動生成されます。実際にデータシートを保存するデータベース上の場所です。データシート ID のバージョンが 0.01 のときと同じです。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを持つデータシートを検索します。アスタリスク(*)を使用してワイルドカード検索を行うこともできます。
SCIP Dossier/No SCIP Dossier/無視	SCIP Dossier/No SCIP Dossier でデータ検索を行う場合、または SCIP Dossier を無視する場合は、このボックスのいずれか 1 つにフラグを立てます。
日付: 公開 / 承認 / 社内送信日	このチェックボックスを入れると、データシートがリリースされた日で検索することができます。
作成日	このチェックボックスを入れると、データシートの作成日で検索することができます。
期間	検索したい期間です。
他社データシート	
承認データシート	このチェックボックスを入れると、承認データシートを検索することができます。
サプライヤー	上記のチェックボックスを入れると、検索したらサプライヤーをリストに追加することができます。

項目名	説明
自社データシート	
自社データシート	このチェックボックスを入れると、自社データシートを検索します。
このユーザーID で最後に更新	このチェックボックスを入れると、このユーザーID で最後に更新したデータシートを検索します。
インポート	検索対象をインポートされたデータシートに絞りたい場合にはこのボックスをチェックしてください。ボックスがチェックされるとインポートソース(現状では“IPC”のみが選択可能)を選択することができます。
組織	このユーザーID がとある特定の組織に割り当てられているかどうか関係なく、この組織に検索したいとき、組織名を選択します。
コンタクトパーソン	サプライヤーの特定のコンタクトパーソンで絞りたいとき、ここで選択します。

セミコンポーネントの検索項目

以下はセミコンポーネントの検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
名称, ID, バージョン, 日付	
名称	コンポーネントの名前
材料コード	材料コード
データシート ID/バージョン	“最新”を選択したら、最新バージョンのデータシートを検索します。“全て”を選択したら全バージョンのデータシートを検索します。注意: 他社のデータシートを検索するときは、“全て”で検索することをお勧めします。あなたが見ることができない(送信されていない)データシートで、より新しいバージョンがシステム上で保存されている可能性があるためです。
ノード ID	システムから自動生成されます。実際にデータシートを保存するデータベース上の場所です。バージョンが 0.01 のときはデータシート ID と同じです。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを持つデータシートを検索します。アスタリスク(*)を使用してワイルドカード検索を行うこともできます。
ステータス: 公開 / 承認 / 社内送信日	このチェックボックスを入れると、データシートがリリースされた日で検索することができます。
SCIP Dossier/No SCIP Dossier/無視	SCIP Dossier/No SCIP Dossier でデータ検索を行う場合、または SCIP Dossier を無視する場合は、このボックスのいずれか 1 つにフラグを立てます。
ステータス: 作成日	このチェックボックスを入れると、データシートの作成日で検索することができます。
期間	検索したい期間です。
他社データシート	
承認/ 公開	ここにチェックを入れると、承認データシートを検索することができます。 ここにチェックを入れると、公開データシートを検索することができます。
サプライヤー	上記のチェックを付けると、検索したらサプライヤーをリストに追加することができます。
自社データシート	
自社データシート	このチェックを入れると、自社データシートを検索します。
このユーザーID で最後に更新	このチェックを入れると、このユーザーID で最後に更新したデータシートを検索します。
組織	このユーザーID がある特定の組織に割り当てられているかどうか関係なく、ここで選択した組織で絞り込みができます。

項目名	説明
コンタクトパーソン	サプライヤー情報で選択された、特定のコンタクトパーソンで絞り込みたい場合は、ここで選択します。

材料の検索項目

以下は材料の検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
名称, ID, バージョン, 日付	
名称	材料の名前
社内材料コード	社内材料コードナンバー - 貴社が材料を参照する番号。
データシート ID/バージョン	“最新”を選択したら、最新バージョンのデータシートを検索します。“全て”を選択したら、最新バージョンのデータシートを検索します。注意:他社のデータシートを検索するとき、“全て”で検索したほうがおすすめです。
ノード ID	システムから自動生成されます。実際にデータシートを保存するデータベース上の場所です。データシート ID のバージョンが 0.01 のときと同じです。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを持つデータシートを検索します。アスタリスク(*)を使用してワイルドカード検索を行うこともできます。
日付: 公開 / 承認 / 社内送信日	このチェックボックスを入れると、データシートがリリースされた日で検索することができます。
作成日	このチェックボックスを入れると、データシートの作成日で検索することができます。
期間	検索したい期間です。
公的材料規格, 材料記号, 材料分類	
標準材料コード	材料の標準材料コードです。これは通常、特定の金属の分類での材料に対して有効です。
材料記号	材料の ISO 記号です。これは通常、特定のポリメリックの分類での材料に対して有効です。
公的材料規格	特定の公的材料規格で検索したいとき、選択します。一度に 1 つの材料規格に検索することができます。“材料規格コード”でワイルドカードで検索することができます。
材料分類	特定の材料分類で検索したいとき、選択します。一度に 1 つの材料分類に検索することができます。
他社データシート	
承認/公開データシート	承認のチェックボックスを入れると、承認データシートを検索することができます。 公開データシートのチェックボックスを入れると、CDX Standard Metals™によって公開された公開データシートを検索することができます。
サプライヤー	上記の(承認/公開データシート)チェックボックスを入れると、検索したらサプライヤーをリストに追加することができます。
自社データシート	
自社データシート	このチェックボックスを入れると、自社データシートを検索します。
このユーザーID で最後に更新	このチェックボックスを入れると、このユーザーID で最後に更新したデータシートを検索します。
組織	このユーザーID がとある特定の組織に割り当てられているかどうか関係なく、この組織に検索したいとき、組織名を選択します。
コンタクトパーソン	サプライヤーの特定のコンタクトパーソンで絞りたいとき、ここで選択します。

データシート検索

データシート検索では、コンポーネント、セミコンポーネント、材料であるかどうかに関係なく、様々な条件（すでに前の表で説明した）でサプライヤーまたは自社のデータシートを検索することができます。

SDoC 検索

SDoC 検索は、MDS ビューの機能メニューから起動します。以下は SDaC 検索の検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
SDoC ID	SDoC ID
データシート ID	SDoC が発行したデータシート ID です。
作成元企業	システムから自動生成されます。CDX 企業名です。
全ての組織を含める	全ての組織を検索したい場合は、このボックスにチェックを入れてください。
ステータス	SDoC のステータス - 編集モードまたは社内送信。
発行日	SDoC が発行された日。
姓	SDoC に関連付けられているユーザーID の姓。
名	SDoC に関連付けられているユーザーID の名。

化学物質の検索項目

以下は化学物質の検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
CAS No.	化学物質を検索するとき一番おすすめの方法です。アルファベットのスペルや句読点などがいりません。これは化学物質の CAS(Chemical Abstract Service) No. です。全ての化学物質が CAS No. を持っていることではありません。CAS No.を持ってない化学物質は、“-”で表示されます。システムのワイルドカードの場合、“system”で表示されます。
名称/ 別名	化学物質の名称や別名のことです。この項目で検索したいとき、ワイルドカードを使ったほうがおすすめです。
EU-Index	EU-Index 番号は化学物質に割り当てられています。全ての化学物質が EU-Index 番号を持っているではありません、またこの項目はブランクのままが多いです。
EINECS-No.	EINECS 番号は化学物質に割り当てられています。全ての化学物質が EINECS 番号を持っているではありません、またこの項目はブランクのままが多いです。
ECHA 物質 ID	ECHA 物質識別は、REACH 規則下の物質を明確かつ正確に識別するためのものです。
ECHA 物質名	ECHA 物質名は、REACH 規則下の物質の化学名を記載しています。
ECHA Iupac 名	IUPAC の学名命名法は、有機物および無機物の両方の化学物質を命名する体系的な方法です。IUPAC の命名法では、接頭辞、接尾辞および接中辞は、物質中の官能基の種類と位置を記述するために使用されます。
ECHA CAS 名	ECHA CAS (Chemical Abstracts Service) 物質名。
化学物質グループ/リスト	分析をより簡単にするために、多くの化学物質はグループに割り当てられています。プルダウンメニューを使用することで、物質が割り当てられている（上限 500 データまで）グループ/リストを確認するためにグローバル化学物質リストと企業固有化学物質リストを識別することができます。

Basic Substance

Name: Tris(nonylphenyl)phosphite Status: active

CAS No.: 26523-78-4

EU-Index: 247-759-6

EINECS/ELINCS No.: 247-759-6

ECHA Substance ID: 100.043.402

ECHA Substance Name: Tris(nonylphenyl) phosphite

ECHA IUPAC Name: Tris(nonylphenyl) phosphite

ECHA CAS Name: Phenol, nonyl-, 1,1',1"-phosphite

Node ID: 3528

Basic Substance groups/lists

- GADS: Declarable
- Red phosphorus compounds
- Renault Complete
- TSCA Section 5(a) SNUR

Common Regulations

REACH Candidate List

Synonyms

Language	ID	Name
German	1	Tri(nonylphenyl)phosphit
German	2	P-3
German	3	Phenol, nonyl-, phosphit
German	4	TNPP
English	1	Tri(nonylphenyl)phosphite
English	2	P-3
English	3	Phenol, nonyl-, phosphite
English	4	TNPP

化学物質リクエスト： 化学物質の追加リクエスト

ユーザーは CDX 内で利用可能な化学物質を探すことができます。ただし、適当な化学物質が見つからない時には、化学物質の追加リクエストを出すことができます。機能メニューの化学物質リクエスト機能から化学物質のリクエストは行うことができます。

化学物質リクエスト画面の結果から、いくつかのアクションが可能となります。検索ボタンを選択することで、明示されたフィルターに合うようにユーザーが作成した全てのリクエストが表示されます。結果リストには、それぞれの物質の名称、CAS No.、登録されたリクエスト日付とリクエストの状況 ((new, sent, enquiry, modified, closed) が表示されます。既存のリクエストは編集することができ、過去のすべてのリクエストは、編集はできませんが閲覧することができます。化学物質検索がうまくいかない時には、化学物質リクエストワークフローをスタートするためのボタンが現れます。

Basic Substance Request

Search Criteria

Substance name: Status:

CAS No.:

View | Menu Export

Create request Search

Substance name (English)	Substance name (German)	CAS No.	Status	Date

Columns Hidden | Columns Frozen Menu Total records 0 found

Create request ボタンをクリックすると、新規の「化学物質リクエスト」が開始されます。リクエストフォームに適切なフィールドを入力する必要があります。フォームの上には、化学物質の追加を依頼するための一般情報が表示されています。完了して保存されると、リクエストは CDX Chemical Service への通知メールを生成します。依頼者と CDX Chemical Service は、以下のようなフォームで依頼内容を確認することができます。

Basic Substance Request Details *

General Info FAQs

Substance data

Substance name (English)
Substance name(German)
CAS No.
EINECS/ELINCS No.
EU-Index
Basic Substance in final Material is Gaseous

Synonyms

Language ID Name
No data to display.

Comment

Comment Log

Comment

Chemical Service はより多くの情報を必要とするので、ユーザーは E メールによるリクエストを受けることになります。数営業日で処理が完了した際に（受理されても、拒否されても）、Chemical Service によってそのリクエストはクローズされます。クローズされる際にはユーザーはそれを E メールで受け取ることになります。クローズされたリクエストは編集することはできません。

化学物質の変更の検索

「化学物質の変更の検索」を使用すると、変更や隠し属性になった、または無効化された化学物質を検索したり、変更履歴を表示したりすることができます。変更履歴画面では、実行した変更をレビューするための期間を選択することができます。結果リストには、化学物質の名称、CAS No.、変更日、種類などの変更情報が表示されます。

リストされている化学物質のいずれかをダブルクリックすることで、詳細な説明を得ることができます。詳細画面が表示され、以下のように分類されます。

- 化学物質（名称、ステータス、CAS No. など）
- 化学物質グループ / リスト（化学物質が属するすべてのグループとリストが表示されます）
- 別名（既知の別名をすべてリストアップしています）

化学物質グループ / 規制の変更

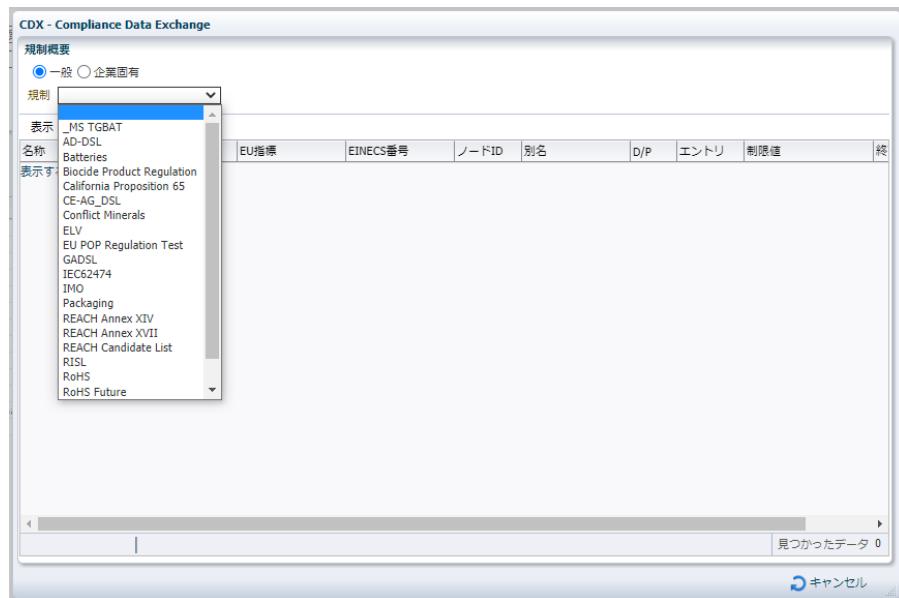
ここでは、グローバル化学物質リストの変更やグローバル規制の変更を検索することができます。変更内容を確認する期間を選択することができます。検索結果のリストには、変更情報のある化学物質のリストが表示され、以下のように分類されます。

- グループ / 規制名称
- 化学物質名称
- CAS No.
- 変更日
- 変更タイプ

化学物質グループや規制の変更に関する通知を受け取るには、システム管理メニューの個人設定で、これらのイベントの E メールを購読することができます。

規制化学物質の概要

特定の規制 (REACH、RoHS、ELV、GADSL など) に関連している化学物質を知りたい場合は、機能 > 化学物質 > 規制化学物質の概要メニュー項目を使用することができます。この別個の独立した画面は、CDX 作業のどの段階でもいつでも開くことができます - この概要画面を開いても、現在のウィンドウは閉じることはありません。



規制を選択するには、ドロップダウンフィールドを使用してください。

規制に関連する全ての化学物質 (例: RoHS) は、名称、CAS No.、EU-Index、Einecs-No、ノード ID、別名、D/P (要申告/禁止)、および規制の入力日、制限値、終了日がリストアップされます。

Regulation Overview (規制概要)						
Regulation Overview (規制概要)						
Regulation Overview (規制概要)						
Regulation Overview (規制概要)						
表示	エクスポート	名称	CAS番号	EU指標	EINECS番号	ノードID
表示	エクスポート	Lead Dibutanoate	65119-94-0	-	265-457-2	30164
		Cadmium Ditantal...	12292-07-8	-	235-561-2	29487
		Trimercuric Bis(tra...	18211-85-3	-	242-096-9	30536
		Lead Hydrogenort...	15845-52-0	-	239-452-9	30317
		Cadmium Disulphide...	14017-36-8	-	237-832-0	29506
		Octadecanoic acid...	101012-93-5	-	309-794-6	43553
		Lead Bis(2-Ethylhe...	301-08-6	-	206-107-0	30110
		Cadmium Selenide...	1306-24-7	-	215-149-3	29475
		(Metaborato-O)Ph...	31224-71-2	-	250-518-8	30361
		Mercury Bis(4-Chl...	15516-76-4	-	239-549-2	30449
		Arsenic acid (H3As...	53404-12-9	-	29289	Lead(IV) arsenate
		1,1'-Biphenyl, 4-Br...	2052-07-5	-	218-141-3	6276
		Lead(2+)-Isooctad...	70727-02-5	-	274-822-5	30234
		Cadmium selenide...	12626-36-7	-	235-724-8	4274
		Cadmium Hydroge...	14067-62-0	-	237-920-9	29464
		Mercury(2+)-Chlor...	26719-07-3	-	247-925-8	30473
		Cadmium Wolfram...	7790-85-4	-	232-226-2	29489
		Silicic acid, chromi...	11113-70-5	-	234-347-6	1031
		Mercury nitride	12136-15-1	-	-	30460
		2,2',4,4'-Tetrabro...	5436-43-1	-	49371	Benzene, 1,1'-oxy...
		(Acetato-O)-[3-(Chl...	5954-14-3	-	227-719-4	30487

すでに述べたように、 エクスポート ボタンを使ってこれらの結果を MS Excel ファイルにエクスポートすることができます。この機能には有効な CDX ライセンスが必要です。

CMD 検索オプション

CMD ビューでは、以下の検索オプションがあります - 機能メニューまたはそれぞれのツールバー ボタンから起動します。

CMD 検索

以下は CMD の検索項目の詳細をまとめています。 (機能の中の紛争鉱物マネージャーから進むことができます)

項目名	説明
名称, ID, バージョン, 日付	
名称	CMD の名称です。
CMD ID / バージョン	CMD の ID です。バージョンで最新を選択すると最新バージョンの CMD を検索します。“全て”を選択すると、全てのバージョンの CMD を検索します。注意: 他社の CMD データシートを検索するとき、“全て”で検索することをお勧めします。あなたが見ることができない(送信されていない)CMD で、より新しいバージョンがシステム上で保存されている可能性があるためです。
ノード ID	システムから自動生成されます。実際に CMD を保存するデータベース上の場所です。バージョンが 0.01 のときは、CMD ID と同じです。
テンプレートのバージョン	RMI テンプレートの特定のバージョンで検索します。
テンプレートからインポートのみ	RMI の Excel のテンプレートからインポートされた CMD のみを検索します。
申告範囲	特定の申告範囲を持つ CMD を検索する - ドロップダウンメニューを使用して、次の申告範囲のいずれかを選択します: Company, Product (or list of products), User defined
部品番号	関連する部品番号を使用して、固有のデータシートに関して作成された CMD を検索します。ワイルドカード検索をするためにアスタリスク(*) を使用することもできます。
サプライヤーコード	特定のサプライヤーコードを持つ CMD を検索します。アスタリスク(*) を使用してワイルドカード検索を行ふこともできます。
ステータス: 承認済み / 社内送信済み	このチェックボックスを入れると、CMD が承認またはリリースされた日で検索することができます。
ステータス: 作成された	このチェックボックスを入れると、CMD の作成日で検索することができます。
期間	検索したい期間です。
サプライヤ-CMD	
承認された CMD	ここにチェックを付けると、サプライヤ-CMD のうち、承認したものだけを検索できます。
サプライヤー	上記のチェックを付けると、特定のサプライヤーを選択し、そのサプライヤーから送信された CMD だけを検索することができます。
自社 CMD	
自社 CMD	ここにチェックを付けると、自社の CMD を検索することができます。
このユーザーID で最後に更新	ここにチェックを付けると、このユーザーID で最後に更新した CMD を検索できます。
組織	このユーザーID がある特定の組織に割り当てられているかどうか関係なく、ここで選択した組織で絞り込みができます。
コンタクトパーソン	サプライヤー情報で選択された、特定のコンタクトパーソンで絞り込みたい場合は、ここで選択します。.

CMD テンプレート検索

CDX のバージョン 3.0 では、複数の RMI テンプレートのバージョンが利用できます。ユーザーは、RMI から公開された全てのバージョンのテンプレートで、インポート、エクスポート、CMD 作成、チェックができます。また、各バージョンの違いも明確になります。現在 CDX でサポートしているバージョンは 6.01, 6.0, 5.12, 5.11, 5.10, 5.01, 5.0, 4.20, 4.10, 4.01b, 4.01a, 4.01, 4.0, 3.02, 3.01, 3.0, 2.03a, 2.03, 2.02, 2.01, 2.0 and 1.0. です。

以下は CMD Template の検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
バージョン	RMI テンプレートのバージョンを選択します。

項目名	説明
期間	RMI テンプレートのバージョンを、期間で指定します。
ステータス	RMI テンプレートのステータスを、有効または無効から選択します。
タイプ	RMI テンプレートのタイプを、マスターまたは会社特定のいずれかで選択します: マスター: インポートまたはエクスポートされた CMD として CDX で使用されている、“未実装”的 RMI テンプレートです。ユーザーは新しい CMD を作成するときには、これを選択する必要があります。 会社特定: 特定の企業から実装された、完全な RMI テンプレートです。
紛争鉱物申告	特定の紛争鉱物申告(CMD)の名称から検索します。

特定のテンプレートの内容を閲覧したい場合は、検索結果の表で、テンプレートの名称をクリックします。すると、テンプレートを開くのか、保存するのかを選択する画面が表示されます。



検索結果では、CDX のユーザープロファイルやテンプレートのタイプによって異なるメニュー (マウスを合わせて右クリックすると表示されます) が利用できます。例えば、マスターのテンプレートが表示されている状態で CDX カンパニーアドミニストレーターが右クリックすると、1つの選択肢が表示され、CDX ユーザーが会社特定のテンプレートで同じことを行うと、違う選択肢が表示されます。

CMD 製錬所検索

以下は製錬所 (Smelter) の検索項目の詳細をまとめています。

項目名	説明
製錬所名	製錬企業の名称または知らせている別名で検索します。この項目を使用する場合は、ワイルドカードを使用して検索することをお勧めします。
RMI 製錬所 ID	RMI によって製錬所に割り当てられた ID。
CDX 製錬所 ID	製錬企業を検索するには、この項目で検索することをお勧めします。 CDX に企業が登録される時にシステムから自動的に割り振られる番号で、検索の際の曖昧さやエラーを抑えられます。
DUNS ナンバー	製錬企業の DUNS ナンバーで検索できます。
製錬所タイプ	製錬所のタイプです。以下のタイプを検索することができます: CSFI によって定められたコンフリクトフリー製錬所、CSFI によって定められたスタンダード製錬所、CDX に登録された製錬所、ユーザーが CDX の画面で定義した製錬所、無効な製錬所。それぞれの項目をマークすることで“無効化された”製錬所を検索することもできます。

項目名	説明
郵便番号	製錬所が登録された場所の郵便番号です。
市町村	製錬所が登録された場所の市町村です。
州	製錬所が登録された場所の州です。
国名	製錬所が登録された場所の国名です。
金属	製錬所が生成している金属を選択します。
発生源ソースまたは原鉱	紛争鉱物の発生源、鉱山、またはスクラップ/リサイクルを選択します。

検索結果で項目をダブルクリックすると、その製錬所の詳細画面が開き、企業、施設、紛争鉱物に関する情報を確認できます。カンパニーアドミニストレーターは、その企業が定義した、紛争鉱物についての情報の変更履歴も見ることができます。カンパニーアドミニストレーターはこの画面で製錬所を作成することもできます。

CMD 製錬所検索画面で、 **Create smelter** ボタンを使用して新たな製錬所の申請作成を行うこともできます。これは既に“CMD に主張された製錬所を追加する”で記載されていることと同様の作業となります。

企業検索

以下はシステム管理メニューの企業検索の検索項目の詳細をまとめています。

項目	説明
企業名	CDX 企業名 - システムは正確な文字列に一致する必要があるため、このフィールドを使用する場合はワイルドカード検索を実行することをお勧めします。

項目	説明
企業 ID	企業を検索するための好ましい方法 - これは数値フィールドであり、企業 ID がシステムで生成された番号であるため、エラーが発生しにくくなっています。
組織	組織名
DUNS ナンバー	企業の DUNS ナンバー
IMDS 企業 ID	既に IMDS に登録されている企業の企業 ID です。CDX での企業登録では、企業は IMDS の企業 ID を入力することができますが、これは必須ではありません。そのため、適切な企業が見つかるかどうかは保証されていません。
郵便番号	CDX に登録されている郵便番号
市町村名	CDX に登録されている市町村
州	CDX に登録されている州
国	CDX に登録されている国
ユーザー名	ユーザーの姓
ユーザー ID	ユーザーのユーザー ID - ユーザー ID を共有しないことが強く推奨されているので、このフィールドはほとんど使用されません。
企業のみ	デフォルトでマークされています - 組織も検索したい場合は、マークを外してください。
類似企業	デフォルトでマークされています - 特定の企業名のみを検索したい場合で、正しく入力されていることを確認したい場合は、マークを外してください。

システム管理メニュー



システム管理メニューには、ユーザーおよび CDX 企業管理に関する機能が含まれており、次の図に示すように、両方のビュー(MDS および CMD)で利用できます。一部のメニュー項目は、カンパニーアドミニストレーターにのみ表示されます。

個人設定

CDX で連絡先情報を維持することは重要です。すべてのユーザーは、システム管理 > 個人設定で管理を行うことができます。さらに、毎日 CDX にログインしたくないかもしれませんので、CDX で特定のイベントが起こった場合に E メールを受け取る設定をすることもできます。

あなたの連絡先情報を見ることから始めましょう。

CDX - Compliance Data Exchange

情報

氏名、電話番号、EメールアドレスといったCDXのユーザー情報は定期的に見直してください。ユーザー情報は常に最新になっていることが重要です。社内の他のCDXユーザーはこの情報を使ってあなたを識別しています。また、システムからの重要なお知らせもこのEメールアドレスに配信されます。

ユーザーデータ

企業ID	0	姓	Rickes
企業名	CDX Service Team (Germany)	名	Julia
ユーザーID	gcdjr001	電話番号	1234
ユーザー承認プロファイル	Company Administrator	FAX番号	
		Eメールアドレス	julia.rickes@dxc.com
		役職	

データ保護 トランザクション機能の個人データを表示する button 1

MDS / CMD拒否に個人データを表示する ?

連絡先 ?

コンタクトパーソン
 コンプライアンスコンタクト
 CMDコンタクト
 CMD-回答責任者

通知 Display notification about not yet browsed MDS in Inbox after logging in

以下の状況に該当した場合、Eメールの受信を希望する

? カンパニーアドミニストレーター ✓ はい ✖ キャンセル

電話番号とFax番号には、すべての国のダイヤルコードが含まれていることが重要です。これはグローバルなシステムであり、他のユーザーがあなたに連絡を取るために、あなたの電話番号全体（国番号を含む）を知る必要があります。

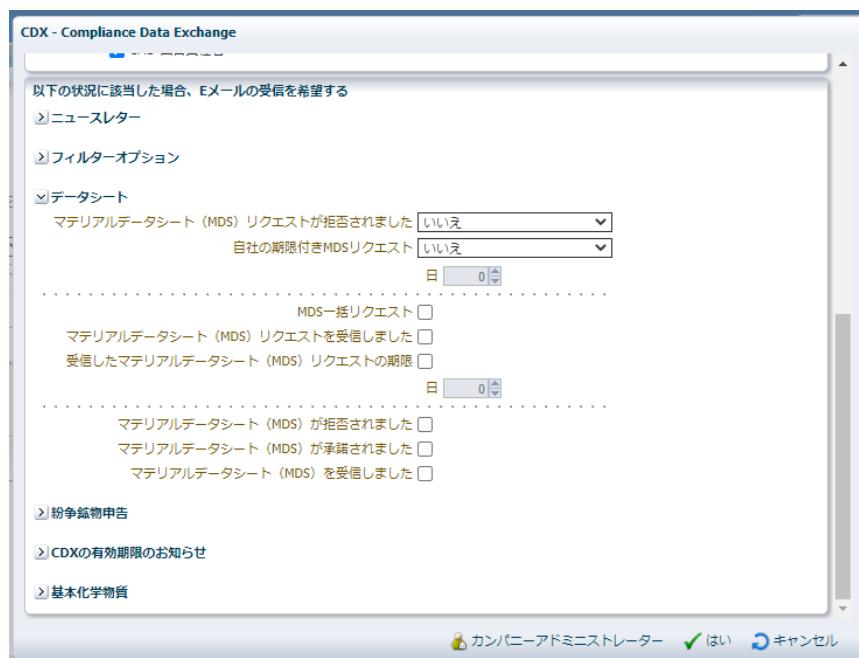
「タイトル」フィールドには、CMD回答責任者に必須のタイトルを入力することができます。データ保護に関しては、各ユーザーは、個人設定で個人データを多様な機能のために表示するかどうかを決定し、確認する必要があります。また、すべてのユーザーは、コンタクトパーソンまたはCMD回答責任者として行動するかどうかをマークする必要があります。コンタクトパーソンは、ユーザー管理画面でカンパニーアドミニストレーターが指定する必要があります。カンパニーアドミニストレーターがコンタクトパーソンとしてあなたをマークした場合は、個人設定に表示されます。CDXコンタクトとして行動することを確認した場合のみ、CDXのコンタクトとして選択することができます。

ログインした後に、まだ閲覧していない受信トレイ内のデータベースについてお知らせを表示し続けるには、「ニュースレター」チェックボックスにチェックを入れるか、チェックを外して無効にします。

CDXユーザーのアカウントは、アカウントの「有効期限」に達した場合、またはユーザーが過去12ヶ月以内にCDXにログインしていない場合、無効化されます。どちらの場合も、ユーザーとカンパニーアドミニストレーターは、数日後にアカウントの有効期限が切れることをEメールで通知されます。ユーザーとして、数ヶ月ごとにCDXにログインし、ユーザー情報が正確かどうかを確認し、「有効期限」の日付がすぐに失効しないように、四半期ごとにCDXのカンパニーアドミニストレーターに確認してください。

画面の下部にある  カンパニーアドミニストレーター ボタンを使用すると、新しいセクション「カンパニーアドミニストレーターデータ」で、そのリストから迅速にあなたの企業のすべてのカンパニーアドミニストレーターを識別することができます。これらのユーザーに直接連絡するためにリストを表示したり、エクスポートしたりすることができます。

更に下側には、特定のイベントが起こった場合にシステムからのお知らせを受け取るかどうかの設定を行うことができます。



以下の場合Eメールでお知らせが届きます:

ニュースレター：重要なお知らせが含まれるIMDSニュースレター（定期発行）が新しく発行されると、メールが届きます。

フィルターオプション：ある組織に割り当てられたユーザーは、その組織が影響を受けている場合に限り、以下のイベントのためのEメールが届きます。

データシートまたは紛争鉱物申告：

- 入力依頼の拒否：自社またはログインしているユーザーが作成した入力依頼が拒否されたタイミングでメールが届きます。
- 自社入力依頼期日：自社またはログインしているユーザーが作成した入力依頼の期日に関するメールが届きます。

下の欄で日数を指定すると、期日の何日前にお知らせを受け取るかを指定することができます。

- 入力依頼の受信：入力依頼を受信するとメールが届きます。
- 受信した入力依頼の期日：受信したデータシートの期日に関するメールが届きます。

下の欄で日数を指定すると期日の何日前にお知らせを受け取るかを指定することができます。

- データシートの拒否：自社から送信したデータシートが拒否されるとメールが届きます。
- データシートの承認：自社から送信したデータシートが承認されるとメールが届きます。
- データシートの受信：データシートが受信されるとメールが届きます。

CDXの有効期限のお知らせ（カンパニーアドミニストレーターのみ）：ユーザーIDの「有効期限」が期限切れになりましたになるとメールが届きます。

化学物質：化学物質グループおよび/または規制の変更をご登録いただくと、定期的に（月に1回）システム上の変更に関するメールが届きます。

パスワードの変更

現行のパスワードを、自身で考えた新しいパスワードに変更できます。この機能は全ユーザー対象です。

ビューの変更

CDXでは、紛争鉱物情報(CMD)と同様に、材料データ情報(MDS)を管理することができます。CDXの見た目をシンプルにし、CMDとMDSの機能へのより論理的なアクセスを提供するために、ここで選択するか、またはツールバーの設定ボタン( ▾)を使用して、個人的なニーズに応じてメニュー「ビュー」を選択することができます。CMDのみを使用する場合は、“CMD ビュー”を設定してください。MDSに焦点を当てている場合は、“MDS ビュー”を使用してください。“MDS ビュー”はデフォルトのビューとして初期設定されています。

通知

システムからのお知らせを表示します。

企業

このメニューは、CDX上の企業（例えば名称と住所とDUNSナンバー）に関する重要な情報を維持するところです。組織の作成もこの機能で行います。組織を作った後に組織をユーザーIDに加えない限り、組織は成り立ちません。カンパニーアドミニストレーターのプロファイルを持つユーザーのみがこのメニューにアクセスできます。

以下の画面は企業の詳細について表示します：

Org Unit

Name: CDX Service Team (Germany)* Zip Code: 65428
Company ID: 0 City: Rüsselsheim
DUNS Number: 07-781-7617 Country: Germany
State / Province: Expiry Range: 365
Street: Eisenstraße 56

Upload S2S Key

Upload File Import
Company Name: DXC.technology - EntServ Deutschland GmbH
Last Uploaded Time: 05/09/2021 14:40:41

Quality Criteria

Maximum allowed % of confidential substances: 0.0
Severity: Error Warning
Automatic weight update: 100% declaration:

If flagged own HDSEs will by default be created as 100% declarations, but this is not enforced flagged, suppliers are requested to submit 100% declarations only. This can be configured as warning or error in the check rule configuration. If set to error, suppliers will not be allowed to send non 100% declaration to your company.

Maximum allowed % of joker substances: 0.0
Severity: Error Warning

Maximum allowed % of tolerance: 50.0
Severity: Error Warning

Days before accept: Please enter number for business days

Regulation

Common: AD-DSL, AutoReg, Batteries, Biodegradable Product Regulation, CE-Mg_DSL, California Proposition 65, Conflict Minerals, GvL, EU POP Regulation Test, ExemptionThresholdExceeded, GAOSEL, IEC62474, IMO, MyRegTest, Packaging, REACH Annex XIV
Company specific: AD&S Spec, Bosch PT, GAOSEL, HPE_new Regulation, HPE_Test_GF_01, HPE_Test_REG_GROUP, HPE_Test, HPE_Test_Pack_Vers, MyNewTestReg, MHSReg_Mof2Test, MHS_REG_TEST, MHS_Regulation, TES1TT, Test_Reg, Test_Reg2, Test_Reg99999
Confirmation required: SCIP Compliance: SCIP Safe Use Instruction Default statement: Safe use instructions Test

画面の右側は企業の登録情報です。企業名と企業 ID は変更できません。もし企業名を変更したい場合、[CDX サービスデスク](#)にご連絡ください。企業 ID はユニークであるため、二度と割り当てられません。

加えてボッシュ社のサプライヤー企業は、画面上に“ボッシュサプライヤーNo.”と“SupplyOn SPIN ID.”を確認することができます。それらはシステムにより生成され、変更することはできません。これらのナンバーがなければ、データシートやCMD やリクエストの送信先としてボッシュ社を追加することはできません。

全ての情報は、システムメンテナンスのためです。有効期限の初期設定は、時間枠（ユーザー アカウントは有効期限）を選ぶことができます。つまり、あらゆるユーザーは、別々な有効期限で設定することができます。90 日、180 日、365 日、730 日という選択肢があります。

次のセクションは “S2S Key Upload” です - これは SCIP データベースに直接 SCIP ドキュメントをアップロードするための前提条件です。ファイルには 3 つの列が含まれています。このファイルは何度でもアップロードすることができます、その都度データは上書きされます。 **インポート** ボタンをクリックして、S2S キー (csv ファイル) をアップロードしてください。SCIP データベースに定義されている会社名と、前回 S2S Key ファイルがアップロードされた日時が表示されます。S2S キーはオーバーライドが可能なので、最後にファイルがアップロードされた時刻を知ることができます。追加情報は ECHA のウェブサイトでご覧いただけます。

品質基準では、カンパニーアドミニストレーターにジョーカーと機密扱い物質の「最大許容範囲」を導入しています。これにより、企業が CDX のデフォルトのしきい値を上書きすることができるようになります。品質基準は、許容範囲/許容範囲を超えた場合に「エラー」または「警告」が発生するかどうかを定義し、企業がサプライヤーに質量許容範囲や物質の範囲に問題があるデータシートを送信させないようにする機能をサポートします。

品質基準は、カンパニーアドミニストレーターの中に別のセクションがあり、組織単位のレベルで設定することができます。企業の管理者が、デフォルトでは「オフ」に設定されている「自動重量更新」を「オン」に設定した場合、サプライヤー、または重量情報を含む自社のデータシートへの参照があれば、測定重量を含まないすべてのノードに、算出された重量が割り当てられます（測定重量 = 算出された重量）。

企業の管理者は、「受信するまでの日数」の欄に数値を入力することで、企業の受信ボックスにある新しいデータシートの自動承認を有効にし、受信ボックスに新着したデータシートをすべて何日後に自動承認するかを定義することができます。このジョブは、ルート企業のすべての OrgUnits に対しても実行されます。この値は、ゼロ（空）、または「0」を含む任意の数字に設定することができます。デフォルト値 null = 自動承認しない。このフィールドが空の場合、自動ジョブは無効となります。

また、受信者のデータシート詳細画面には、データシートがジョブによって承認されたのか、それともユーザーが手動で承認したのかを示す「自動承認済」チェックボックス（読み取りモード）があります。フラグが立てられた自社のデータシートがデフォルトで100%の申告として作成される予定でも、これが強制的なフラグではない場合、サプライヤーは100%の申告のみを提出するよう求められます。これは、チェックルールの設定で警告またはエラーとして設定できます。エラーに設定された場合、サプライヤーは100%でない申告を企業に送信することはできません。データシートを新規作成すると、企業管理者による設定に従って「100%」フラグが自動設定されます。100%のフラグが設定された場合、これは利用可能なすべてのOrgUnitsに適用されますが、設定は可能です。規制が警告からエラーに変更された場合、どのサプライヤーも自社のデータシートを送信できなくなります。画面の中央部で、規制に関する情報を提供したり、確認が要求されたりした時には、カンパニーアドミニストレーターは選択することができます。現行では以下の共通規制が有効です：REACH Annex XIV、REACH Annex XVII、RoHS Future、REACH SVHC、AD-DSL、IEC62474、RoHS、ELV、California Proposition 65、GADSL、Batteries、Packaging、IMO。貴社が企業固有の規制を検討する必要がある場合は、「企業固有の規制」メニューを使用して、貴社のために既存の規制を追加または変更してください。さらに、データシート入力依頼およびデータシートのSCIPコンプライアンスチェックボックスのデフォルト値である「SCIPコンプライアンス」というフィールドがあります。SCIP準拠の提出が必要な場合は、このフィールドにチェックを入れてください。

会社の管理者は、サプライヤーが規制に関する情報を提供しなければならないかどうか、また、サプライヤーの確認が必要かどうかを画面中央で選択することができます（会社全体、または組織単位ごと）。現行では、以下のようないくつかの一般的な規制が有効です。REACH Annex XIV、REACH Annex XVII、RoHS Future、REACH SVHC、AD-DSL、IEC62474、RoHS、ELV、California Proposition 65、GADSL、Batteries、Packaging、およびIMO。貴社固有の規制について検討する必要がある場合は、「会社固有の規制」メニューを使用して、貴社固有の規制を新規に追加したり、既存の規制を変更してください。

さらに、「SCIPコンプライアンス」という項目があります。これは、データシートリクエストおよびデータシートのSCIPコンプライアンスチェックボックスのデフォルト値です。SCIP準拠の提出が必要な場合は、このフィールドにチェックを入れてください。

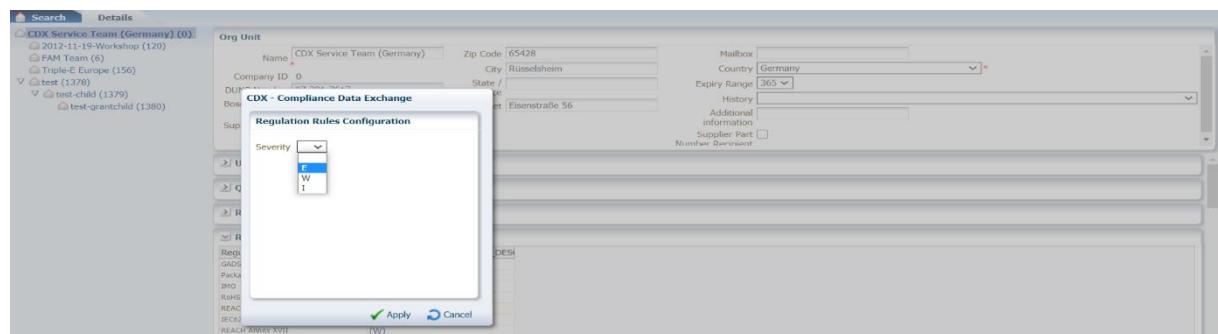
各企業は一般的な安全使用に関する指示のテキストを指定し、CDXが作成したSCIP Dossierでは、SCIPのデフォルトである「安全使用に関する指示なし」の代わりにこのテキストを使用することができます。これは法的説明書を暗示するものです。

The screenshot shows the 'CDX Service Team (Germany)' configuration page. It includes sections for general information (name, address, contact), file upload (S25 Key), quality criteria, regulations, and general check rules. The 'Regulations check rules' section is expanded, showing a table of rules with columns for Check Rule Id, Check Rule Name, Check Rule Description, Importance, and Status (Active). The table includes rules like 'CHECK_DATASHEET_NOTPROD' and 'CHECK_MODULE_NOT_DELETED'.

CDXユーザーには、規則関連としてマークされ、会社の管理者の各OUの設定テーブルに登録されているすべてのチェック規則のリストが表示され、選択したOUのスコープに設定されている各規則の規則名と選択可能な「重要度」が表示されます。デフォルト設定可能な値は「()」に表示されます。ユーザーは、各セルをクリックして、新しく開いたポップアップウィンドウで設定を行います。

The screenshot shows a table titled 'Regulations check rules' with columns for Regulation Name and Substances. It lists various regulations: GADSL, Packaging, IMO, RoHS, REACH Candidate List, IEC62474, REACH Annex XVII, and California Proposition 65. Each entry has a status indicator in parentheses, such as '(W)' for Work in Progress.

CDX ユーザーは、会社の管理画面の各 OU の設定テーブルに登録されている、規制関連としてフラグが立っていないすべてのチェック規則のリストに、ID、名称、選択可能な「重要度」、および「アクティブ」フラグが表示されます。ユーザーは、これがまだアクティブで実行可能ルールチェックであるかどうかを変更し、異なる値：「E」（エラー）、「W」（警告）、「I」（情報）の重要度としてコントロールすることができます。



次のセクションは CDX へのアクセスとその連絡先情報を持っているユーザーの一覧です。コンタクトパーソンのチェックボックスにいれると、データシートの”サプライヤーデータ”タブ上の連絡先リストに表示されます。コンプライアンスコンタクトパーソンのチェックボックスを入れると、コンプライアンスコンタクトとして検索することができます。そして顧客はコンプライアンスの問い合わせについて直接に誰に連絡すれば分かれます。少なくとも一人のユーザーをコンプライアンスコンタクトパーソンに割り当てたほうがおすすめです。ユーザーを管理するのを援助するためにユーザーリストをエクスポートすることもできます。エクスポートされたリストは、前回のログイン情報が含まれます。セキュリティのためにシステムへのアクセスする必要がないユーザーを無効化したほうが非常にお勧めです。個人設定のセクションを見ると分かりますが、ユーザーが自分の E メールを変更することができるの、彼らがそうする場合、彼らは会社を辞めた後でも CDX のデータにアクセスすることができます。[ユーザーを無効化する方法](#)については、システム管理—ユーザーのセクションをご参照ください。

画面の下部には、貴社のサプライヤーのための複数のサプライヤーコードを定義し、管理する機能があります。左の表では、それぞれのボタン(+)または(-)を使用してサプライヤー企業を追加または削除することができ、右の表では、左の表でマークされたサプライヤーのサプライヤーコードを追加(+)または削除(-)することができます。また、ボタンを使用して、既存のサプライヤーコードのリストを.txt ファイルにエクスポートすることができます。サプライヤーコードは、特定のサプライヤーに対する貴社の入力依頼にデフォルトで付けられ、サプライヤーが貴社にデータシートを提出する際に付けられます。

製鍊所の管理

一旦登録されて、有効するならば、どんな企業管理者でも会社の製鍊所施設に関する情報とこれらの施設の各々によって生産される紛争鉱物をメンテナンスすることができます。企業の管理者として CDX にログインし、システム管理メニュー > 企業をクリックします。製鍊所を検索し、検索結果テーブルをダブルクリックし、該当詳細ページに移動します。オンライン登録のとき施設を登録している場合がありますが、サプライヤーが検索画面でそれを見つけるためには、それをリリースしなければなりません。製鍊所のリリースのセクションにご参照ください。

The screenshot shows the 'Org Unit' and 'User' tabs for the company 'My Smelter Company (900644)'. The 'Org Unit' tab displays basic company information like Name, Company ID, DUNS, Zip Code, City, and Country. The 'User' tab lists a single user with details like User ID, Last name, First name, E-mail, Telephone No., Contact Person, and REACH Contacts. A red box highlights the 'Smelter Facility' table in the 'User' tab, which contains two entries: 'My Smelter' and 'second smelter'.

No.	Facility Name	Facility Street	Facility City	Facility Country	Metal
1	My Smelter	Smelter Street	Smelter City	Aruba	Gold (Au)
2	second smelter	smelterstreet	smelter city	Congo, The Democratic Repu...	Tantalum (Ta)

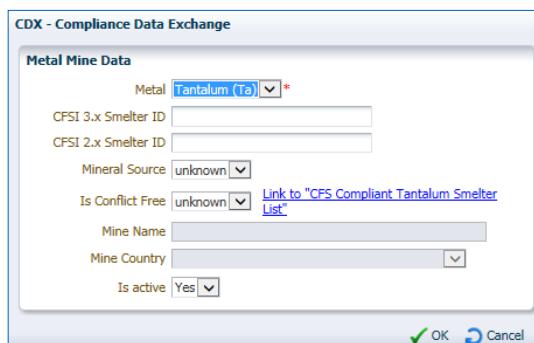
製錬所として登録された企業の場合は、"製錬所施設"タブが表示されます。（それ以外の場合は表示されません。）製錬所の登録プロセスのために、追加 + 、編集 edit 、削除 - この三つのボタン以外、新たな二つのボタン（保存 Save と社内送信 $\text{Release internally}$ ）があります。

新しい製錬所を追加する場合、 + ボタンをクリックし、製錬所の情報を入力します。

The screenshot shows the 'Smelter Facility' data entry dialog box. It includes fields for Facility Name, Street, Zip or Postal Code, City, State / Province, Mailbox, Country, Contact Name, and Contact E-mail. Below these fields is a table with columns: No., Metal, Is Conflict Free, Mineral Source, Mine Name, Mine Country, Version, Last Modification, and Status. A message at the bottom states 'No sourced metal to display.' At the bottom right are 'OK' and 'Cancel' buttons.

No.	Metal	Is Conflict Free	Mineral Source	Mine Name	Mine Country	Version	Last Modification	Status
No sourced metal to display.								

この製錬所に紛争鉱物を追加する場合、アップアップ画面に  ボタンをクリックします:



  ボタンをクリックすると、この定義された紛争鉱物が事前に選択した製錬所に追加されます。

ほかに必要な情報を入力し、  ボタンをクリックすると、新たな製錬所は“製錬所施設”タブに表示されます:

Smelter Facility					
	Add	Edit	Remove		
No.	Facility Name	Facility Street	Facility City	Facility Country	Metal
1	Test Smelter Facility	Southstreet 123	Frankfurt am Main	Germany	Tantalum (Ta)

既存の施設情報を編集か削除する場合、適切なアイテムを選択し、編集  か削除  ボタンをクリックします。紛争鉱物の編集、削除も同じ方法で行います。

施設データは登録が成功した後に自動的に保存されるとは対照的に、更新された施設データは、明示的に保存ボタンをクリックする必要があります。紛争鉱物も同じく適応します。

製錬所のリリース

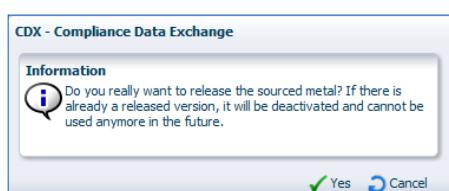
一般的に新しい製錬所が CDX に登録したばかりで、その企業の住所の情報がまだリリースされていないため、まだ更新することができます。この製錬所の住所がまだ変更できるうちに、鉱物などをリリースすることができます。その場合には、施設内で定義された鉱物をリリースするために、施設自体がリリースされている必要があります。そうすると、最初に定義された全ての紛争鉱物が自動的にリリースされます。施設はすでにリリースされている場合は（担当者情報がまだ編集可能）、その中に新たに定義された鉱物は、個々にリリースすることができます。

このボタン  は、この施設かこの施設で作られた紛争鉱物をリリースします。リリースされている施設/紛争鉱物のみ、CDX 上の他の企業に見せることができます。したがって、他の企業の CMD 構造を参照することができます。一旦施設がリリースされたら、その住所情報（市町村国など）は編集することができなくなります。他に施設に関する情報は変更することができます。そして、この施設に紛争鉱物の追加、削除もできます。

リリースと編集のこの二つのモード以外、紛争鉱物には更なるバージョンの性質があります。新しい定義済みの紛争鉱物の最初のバージョンは常にバージョン「0.01」になります。一旦リリースされたら、このバージョンが“1”になります。リリースされたバージョンが常に整数であることに対して、編集モードの紛争鉱物は常に小数でバージョンを持っています。すでにリリースされた紛争鉱物を編集する場合、そのバージョンが自動的に“0.01”増えます。

編集モードで保存された鉱物のみ（前提条件としてはこの施設がすでにリリースされている場合）リリースすることができます。他の場合には、リリースボタン  が使用できません。

同じ源の金属がすでにリリースされたら、古いバージョンが無効化され、将来的にもう使われることができません。（つまり CDX で他のどの会社によっても見られることのできないことを意味します）



現在四種類の紛争鉱物が定義されています。（タンタル、スズ、タングステンと金）

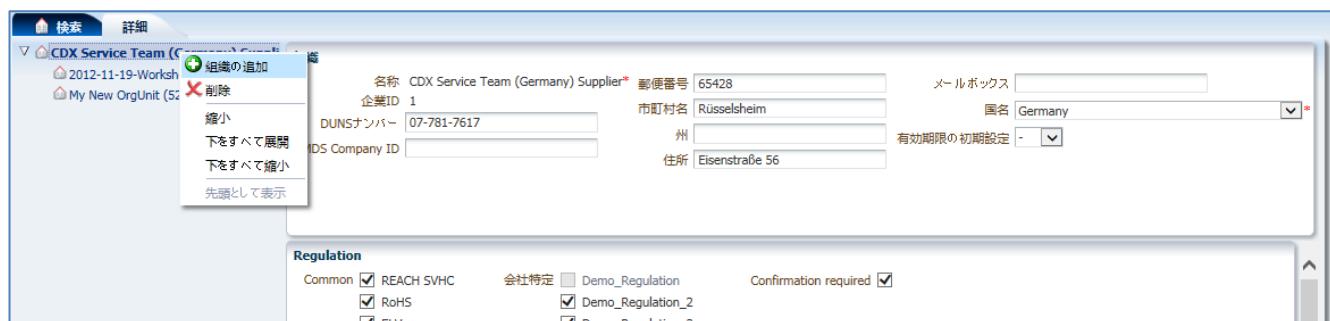
上述の紛争鉱物は、鉱物の源（不明、鉱山、スクラップ、リサイクル）の種類に依存します。そして、コンフリクトフリーかどうかはともかく、それらの各々については、以下が適用されます：

1. 各々の鉱物は複数の源を持つかもしれません。そして、1つの施設の中で共存することができるため、各々の源は別に記入しなければなりません。
2. 同じ鉱物でも異なる源を持つかもしれませんし、またコンフリクトフリー質問（はい、いいえ、不明）に対する答えが異なるかもしれません。Conflict Freeステータスが異なった同じ鉱物が1つの施設内で共存することができるのは、これらの鉱物は異なると考えられています。
3. 同じコンフリクトフリーステータスの紛争鉱物の場合及び同じの源だけど、採掘場所が違うのは、異なる鉱物だと考えられているので、1つの施設内で共存することができます。

組織の追加

画面の左側は、企業の構造です。この時点では、サブ組織が存在しないが、企業名のアイコンを右クリックし、組織の追加を選択すれば組織の追加ができます。

組織の追加をクリックしたら、画面の右側が変わります。



名称 CDX Service Team (Germany) Supplier* 郵便番号 65428
企業ID 1 市町村名 Rüsselsheim メールボックス
DUNSナンバー 07-781-7617 州 国名 Germany
IDS Company ID 住所 Eisenstraße 56 有効期限の初期設定

Regulation
Common REACH SVHC 会社特定 Demo_Regulation Confirmation required
 RoHS Demo_Regulation_2
 EU Demo_Regulation_3

組織の名称を入力する必要があります。また、この時点では、この組織に割り当てられているユーザーがいません。そうすると、サプライヤーからの送信は誰も見ることができません。そんなことを防ぐために、データシートを送信するとき、このようなユーザーのいない組織に送信することができません。組織にユーザーを割り当てる方法は、システム管理ユーザーのセクションをご覧ください。

組織の削除

組織を削除するには、企業画面で削除したい組織を右クリックします。そして、現れたメニューの中の「削除」を選択します。

注意：「削除」メニューが表示されない場合、企業の構成が保存されていない可能性があります。まず「保存」を行なうと削除メニューが表示されます。

ユーザー

このセクションでは、ユーザーの作成と管理について説明します。ユーザー管理の機能はカンパニードミニストレーターのみが使用します。バックアップとして、一企業に最低2名以上のカンパニードミニストレーターを登録されることを強く推奨します。カンパニードミニストレーターには、自社のユーザーおよび権限の管理、パスワードリセットを行う責任があります。ユーザー概要を完成させ、ユーザー管理を簡単にするために、カンパニードミニストレーターは、管理>ユーザーメニューから検索結果リスト上部の エクスポートを使用することで、ユーザーリストをエクスポートすることができます。

ユーザー承認プロファイル

CDXには、三種類のユーザー承認プロファイル(権限)があります。

カンパニーアドミニストレーター (Company Administrator)

カンパニーアドミニストレーターは、データを入力するユーザーである必要がありません。- ユーザー管理プロセスをサポートしていますカンパニーアドミニストレーターは他のユーザー承認プロファイルの権限を包括しています。加えて自社のユーザーID やコンタクトパーソンの作成と管理、組織へユーザーを割り振る、パスワードリセット、ユーザー やコンタクトパーソンの E メールアドレスや電話番号等といったコンタクト情報（有効期限日のようなあらゆるユーザーにとって必要な）を最新に保たなければならない、といった責任があります。カンパニーアドミニストレーターは企業の代表として、他の企業との窓口となります。また、データシート、組織、ユーザー、コンタクトパーソンについての特別な権限を持ちます。

十分な業務カバーおよびバックアップを立てるという観点から、各 CDX 企業に対して少なくとも 2 名以上のカンパニーアドミニストレーターの登録をお願いしております。CDX サービスデスクは、CDX 企業のカンパニーアドミニストレーターを変更することができますが、CDX 企業からの正式な申請がない限り、そうすることはありません。

標準ユーザー (Standard User)

標準ユーザー プロファイルを持つユーザー ID は、管理者権限を持っていません。このプロファイルを持つユーザーはデータシートを作成、送信や全送信などできます。さらに、（提供会社が Web サービスのユーザーではない）会社に送られたデータシートを確認し、承認や拒否することができます。入力依頼を作成したり、応答したりすることができます。

彼らは管理タスクにアクセスすることはできませんが、各ユーザーは、メニューから [個人設定] オプションで、自分の携帯電話や E メールを更新することができます。

ユーザー (Read-Only User)

このユーザーは、カンパニーアドミニストレーターによる登録が必要です。このユーザーは自社のデータシートを閲覧することができますが、作成・変更はできません。ただし、ユーザーが各自の ID に登録された電話番号および E メールを更新することは可能です。

ユーザーの作成

各ユーザーが IMDS システム使用するためには、自分の氏名が登録された、自分だけの ID が必要です。ユーザーの作成を行うには、システム管理 > ユーザーの「ユーザーの作成」ボタンを使います。すると、以下のような画面が表示されます：

次のテーブルのように適切な情報を入力する必要があります：

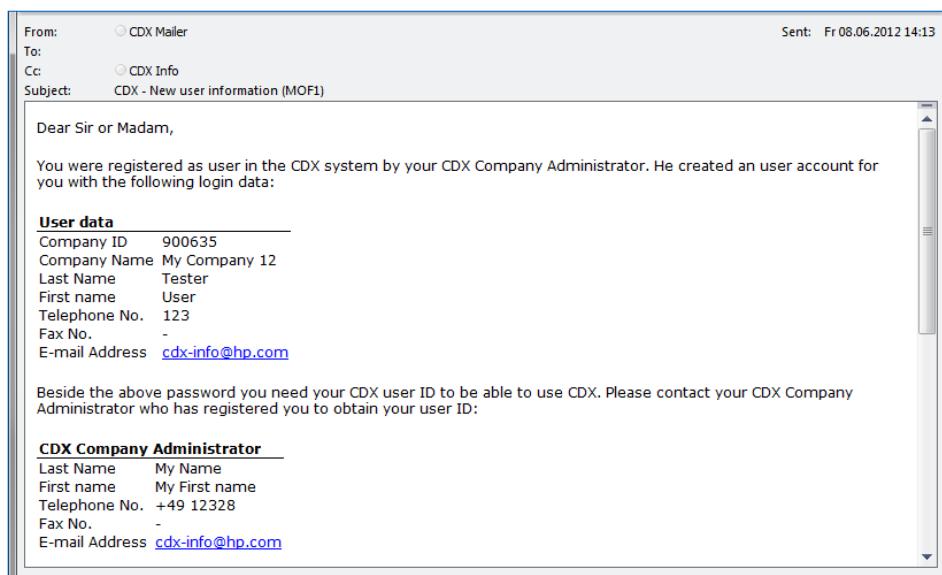
項目名	説明
ユーザーID	システムによる自動設定 - 作成が完了していない段階では割り当てられていません。
企業-ID	システムによる自動設定
企業名	企業名 (変更不可)
組織	そのユーザーID が所属する組織
姓	ユーザーの苗字 (必須)
名	ユーザーの名前 (必須)

項目名	説明
ユーザー承認プロファイル	ユーザーの種類をプルダウンメニューから選択(必須)
電話番号	国コードを含む電話番号(必須)
Fax 番号	国コードを含む FAX 番号(任意)
E メールアドレス	E メールアドレス(必須)
有効日	ユーザーがこのユーザーIDを利用する開始日
有効期限	ユーザーがこの ID でシステムにログインできる最終日
コンタクトパーソン	このチェックボックスを入れると、このユーザーはコンタクトパーソンとして、サプライヤーデータ画面に表示されます。
コンプライアンスコンタクト パーソン	このチェックボックスを入れると、このユーザーはコンプライアンスコンタクトパーソンのリストに表示されます。
CMD コンタクト	CMD サプライヤーデータ上にこのユーザーがコンタクトパーソンとして現れるのであれば、このボックスをチェックする。
MDS ビュー / CMD ビュー	これらのボックスのいずれかにチェックを入れて、このユーザーのデフォルトとして設定するビューを選択します(MDS または CMD ビューも可能です)。ユーザーはこの初期設定を後から自分のユーザーID に変更することができます。
最後にログインした日	システムによる自動設定 -ユーザーが最後にログインした日を表示します。

必要情報を入力したら、保存 () ボタンをクリックします。そうすることで、ユーザーIDを作成することができます。以下の画面が表示されます:



ユーザーIDをお控えください！以下のようなEメールがあなたの宛に届きます。ユーザーのほうも同じメールが届きます、さらにパスワードを含むEメールもユーザーの宛に届きます:



このEメールにはユーザーIDが含まれていないという点をご注意ください。また、最初のログイン時にパスワー

ドを入力するときには、このEメールからコピー&ペーストすることを強くお勧めします。もしアドミニストレーターがユーザーIDを控えていないといった場合は、ユーザーはログイン画面で「IDの確認」ボタンを使ってCDXからユーザーIDを含むメールを安全に受け取ることができます。

新しいユーザーの詳細に戻ると、以下のような画面になります。

The screenshot shows the 'Details' tab of a user profile. On the left, 'Company' information is listed: User ID (gcgdt001), Company ID (1), and Company (CDX Service Team (Germany) Supplier). Below this is an 'Organisation unit' section with a 'Modify' link. The central area is 'User data' containing fields for Last name (Test), First name (GDPR), Authorization profile (Standard User), Telephone No. (12345), Fax No. (empty), Title (empty), E-mail Address (cdx-info@dx.com), and Valid as of (04/20/2018). At the bottom of this section are 'Valid until' fields. The right area is 'Administration' with checkboxes for Contact person, Compliance Contact, CMD Contact, MDS View, and CMD View, all of which are checked. A note next to the 'Contact person' checkbox says 'The user does not want to be this contact'. Below these are 'Last Login Date' and a 'Last Logon Date' field.

「個人設定」の章で説明したように、データ保護に関するルールをユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーが連絡先として確認していない場合は、上記のように表示されます。

ユーザーIDを組織に割り振る

組織に送られた入力依頼やデータシートを閲覧したり、自社データの「サプライヤー情報」で送信元組織を選択したりするためには、そのユーザーIDが組織に割り当てられている必要があります。カンパニーアドミニストレーターはユーザーIDの詳細画面にある企業データの部分の「変更」をクリックすると、その企業に含まれる組織の一覧が表示されます。割り当てたい組織にチェックを付けて 適用 をクリックします。

The dialog box is titled '組織' (Organization). It shows a list of organizations: Org_A (checked), Org_A1, Org_A2, Org_B, and Org_C. At the bottom are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

ユーザーの無効化

ユーザーが退職する、もしくはCDXにログインをする必要がなくなった場合は、必ずそのユーザーIDを無効化する必要があります。推奨される手順は以下の通りです:

- 対象のユーザーIDを検索し、詳細を表示します。
- 「有効期限」を今日の日付にします。
- 保存します。
- ユーザーの検索画面で「有効」のチェックボックスを外して検索します。

パスワードリセット

自社のユーザーのパスワードを再発行するのも、カンパニーアドミニストレーターの役割です。実施するには、システム管理 > ユーザー > から対象のユーザーを検索して詳細を表示させます。ユーザーのEメールアドレスが正しいことを確認してください。詳細画面の右下に「パスワードリセット」というボタンがあります。ボタンをクリックすると、システムから新しいパスワードを含むEメールが、対象のユーザーのEメールアドレスに配信されます。

ユーザー アカウントの管理

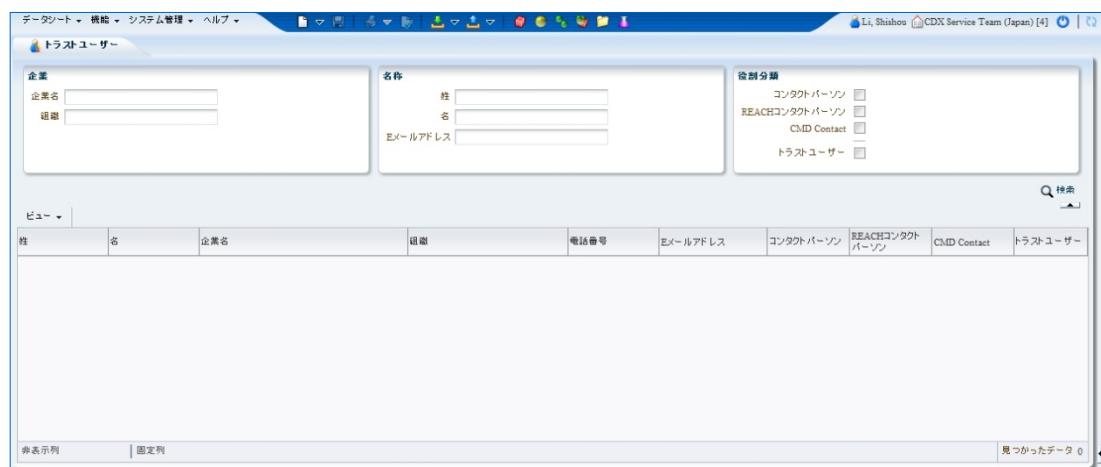
CDX内のどのユーザー アカウントにも“有効期限”日付が設定されています。それはカンパニーアドミニストレーターにより管理されるべきです（初期設定では、ユーザー アカウントが作成されて12か月後）。アカウントの“有効期限”日付が来る前に、そのユーザーとカンパニーアドミニストレーターはそのユーザー アカウントが後数日で失効するという通知のEメールを受け取ることになります。

加えて、CDXユーザー アカウントはそのユーザーが過去12か月以内にCDXにログインしていない場合には無効化されてしまいます。この場合も、そのユーザーとカンパニーアドミニストレーターはそのユーザー アカウントが後数日で失効するという通知のEメールを受け取ることになります。

トラストユーザー

トラストユーザーメニューもカンパニードミニストレーターだけが利用できる機能になります。トラストユーザーの用途は2種類あります。1つは他社のトラストユーザー（サプライチェーン内の全てのユーザーが対象。直接取引があるかどうかは関係ありません）で、自社から送ったデータシートに含まれる全ての化学物質（「機密扱い」の化学物質を含む）情報を見ることができます。これはデータシート内のどの階層にあったとしても同じです。この権限は特定のユーザーにしか与えられず、自社のユーザーには付与できません。トラストユーザーは画面で見ることはできますが、IMDSから情報をダウンロードできるわけではありません。トラストユーザーの考え方では、自社の全てのユーザーは信頼できるという前提に基づいているため、自社のユーザーは全て、自社データシート内の全ての化学物質（「機密扱い」化学物質を含む）を見ることができます。トラストユーザーは他社のユーザーを指定します。このため、このメニューでは自社のユーザーIDは検索できないようになっています。

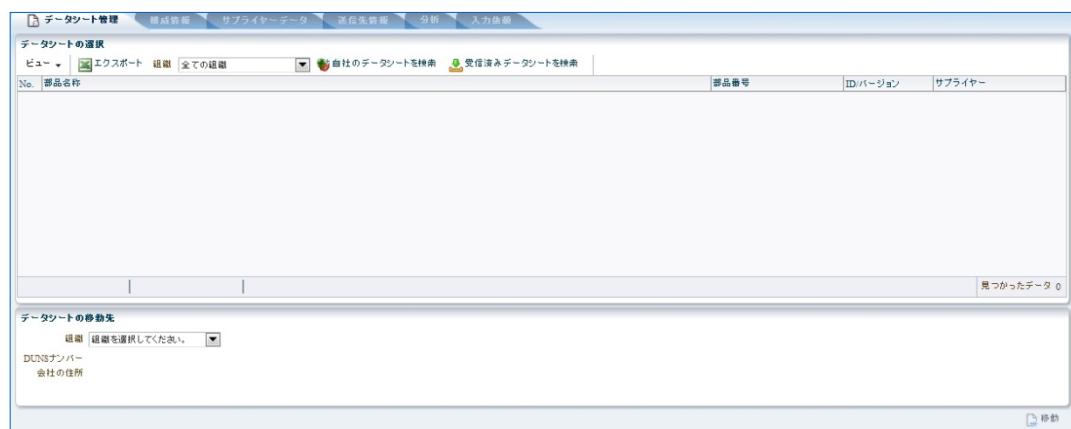
システム管理 > トラストユーザー メニューを開くと、以下のような画面が表示されます：



データシート管理

この機能はカンパニードミニストレーターのみ利用でき、データシート（自社および受信）を組織間で移動させることができます。例えばサプライヤーが違う組織に誤ってデータシートを送ってしまったり、自社のユーザーが誤って自社データシートの送信元に別の組織を割り当てたり、または組織を追加しなかった場合などに有効です。加えてその企業が買収などでCDXの企業IDの再編成が必要になったときなどにも利用できます。

データシート管理画面のサンプルは以下の通りです：



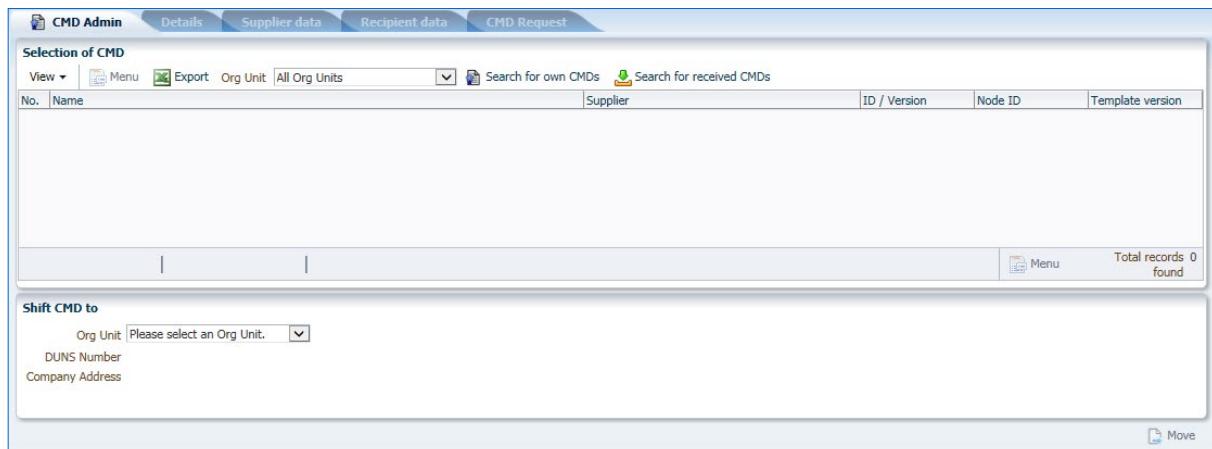
「自社のデータシートの検索」ボタンをクリックすると、通常の検索メニューと同じ画面が表示され、自社データシートを検索できます。この時「承認データシート」のチェックボックスはオフになっています。対象のデータシートをクリックして選択し（複数のデータシートを一度に選択したい場合は、CTRLキーを押したままデータシ

ートをクリックします)、 **適用** ボタンをクリックします。すると画面上部に選択したデータシートが表示されます。さらにその中から移動させたいデータシートをクリックしてハイライト(行に色がついた状態)にします。次に画面下部の「データシートの移動先」の「組織」の横のプルダウンメニューから、移動させたい先の組織を選択し、「移動」ボタンをクリックします。

CMD 管理

この機能は、カンパニードミニストレーターのみが使用でき、CMDを組織間で移動させることができます(自社や受信CMD共に)。サプライヤーが誤った組織へCMDを送信してしまい、誰もそれを見ることができない時や、そのCMDを組織に置くことを忘れてしまった時などに、この機能は有効です。加えて、ユーザー企業が企業統合などでCDX内の組織を再編成する際にも必要になるでしょう。

CMD管理画面は以下のように表示されます:



自社のCMDを検索か、受信したCMDを検索をクリックすると、典型的な検索画面が現れて、自社や受信CMDを検索することができます。それらをクリックして必要な選択して(複数行を選択する場合にはクリックしながらコントロールキーを押してください)、 **適用** をクリックしてください。選択した行が上部に表示されます。移動させたい行はハイライトされます。そして、組織の傍のプルダウンメニューを使用して組織を選択し、**移動**をクリックしてください。

CDX ライセンス

CDXの中で、特定の行動は、支払いの対象となります。これらのアクションは異なる価格設定です。しかも価格/アクションは、時間とともに変化する場合があります。価格設定は、「クレジット」で表されます。あなたが登録すると、10クレジットを無料入手することができます。これで、小さなサプライヤーでも気軽にシステムを利用することができます。10クレジット以上を利用する場合、クレジットを購入する必要があります。

CDX Licensesのオプションは、カンパニードミニストレーターのプロファイルを持つユーザーに対してのみ使用できます。システム管理→CDX LicensesにてCDX Licenses情報を確認することができます。CDX Licenses画面は、三つの部分に分けられます。- アカウント、履歴、注文:

CDX License & Order オーダー履歴

Company Information

企業名: CDX Service Team (Germany)
企業ID: 0

テストライセンス 11/16/2018 ~ 12/16/2018

CDXデータシートライセンス

ライセンスID: 2003
ライセンスタイプ: MDS Small License
ライセンス期間: 07/30/2018 ~ 07/30/2022
残り日数: 259

最大許容サブライヤ数: 100
現在のサブライヤ数: 6 (ディスプレイサブライヤ)
利用可能なサブライヤ数: 94

今後のライセンス

ライセンス	ID	月	ステータス
MDS Small License	4441	12	License
MDS Small License	6360	12	Order

CDX紛争鉱物申告ライセンス

ライセンスID: 1020
ライセンスタイプ: CMD Manager License
ライセンス期間: 07/30/2013 ~ 07/30/2022
残り日数: 259

今後のライセンス

ライセンス	ID	月	ステータス
CMD Manager Lice...	2000	12	License

CDXを注文する

あなたの通貨を選択してください: ユーロ USドル

あなたのライセンスを選択してください: CMD Manager License - 2500.00 Euro
MDS Entry License - up to 10 suppliers, Basic Functions plus Accept and Reject MDS - 2000.00 Euro
MDS Small License - up to 100 suppliers, full functionality - 13500.00 Euro
MDS Medium License - up to 250 suppliers, full functionality - 26500.00 Euro
MDS Large License - up to 500 suppliers, full functionality - 42500.00 Euro

+ CDX-Starter Guidance - On request

CDX License & Order タブには、企業情報と対応するライセンスに関するさまざまな情報があります。最初の(企業の)情報は、企業のデータ(名称と ID)と既存のテストライセンスの詳細です。貴社がまだテストライセンスを依頼していない場合は、"Request Test License"ボタンを押すことで依頼することができます。依頼内容を「はい」ボタンで確認することで、今後 30 日間はすぐにテストライセンスを有効化することができます。

CDX License & Order Order history

Company Information

Company Name: GGI neue Testfirma
Company ID: 208

Request test license

CDX - Compliance Data Exchange

Request Test License

*You are asking a test license for 30 days beginning from 08/16/2017 and ends on 09/15/2017.
Please inform your company's users about this test license.
Continue?*

Yes No

企業情報の横には、貴社の既存の CDX 材料データシートライセンスや CDX 紛争鉱物申告ライセンスが発注されている場合は、今後の CDX 材料データシートライセンスや CDX 紛争鉱物申告ライセンスについての詳細情報を見ることができます。

CDXデータシートライセンス

ライセンスID: 2003
ライセンスタイプ: MDS Small License
ライセンス期間: 07/30/2018 ~ 07/30/2022
残り日数: 259

最大許容サブライヤ数: 100
現在のサブライヤ数: 6 (ディスプレイサブライヤ)
利用可能なサブライヤ数: 94

今後のライセンス

ライセンス	ID	月	ステータス
MDS Small License	4441	12	License
MDS Small License	6360	12	Order

CDX紛争鉱物申告ライセンス

ライセンスID: 1020
ライセンスタイプ: CMD Manager License
ライセンス期間: 07/30/2013 ~ 07/30/2022
残り日数: 259

今後のライセンス

ライセンス	ID	月	ステータス
CMD Manager Lice...	2000	12	License

以下の情報が表示されます。:

- ライセンス ID とライセンス タイプ (システム生成)
- ライセンス期間 (from … to …)
- 残りの日数(アクティブなライセンスの有効期限が切れるまで)

- 許可された最大サプライヤー数(データシートライセンスの場合のみ)
- 現在のサプライヤー数 (データシートライセンスの場合のみ) - 「サプライヤーを表示」をクリックすると、カウントされたサプライヤーが別ウインドウで表示されます。
- 利用可能なサプライヤー数 (データシートライセンスの場合のみ) - 残りのサプライヤー数
- 今後のライセンス - 貴社のライセンスを表示します。

CDX License & Order タブの下部は、注文を配置し、CDX 注文プロセスを開始することができるセクションです。

CDXを注文する

あなたの通貨を選択してください。 ユーロ USドル

あなたのライセンスを選択してください。 CMD Manager License - 2500.00 Euro
 MDS Entry License - up to 10 suppliers, Basic Functions plus Accept and Reject MDS - 2000.00 Euro
 MDS Small License - up to 100 suppliers, full functionality - 13500.00 Euro
 MDS Medium License - up to 250 suppliers, full functionality - 26500.00 Euro
 MDS Large License - up to 500 suppliers, full functionality - 42500.00 Euro

+ CDX-Starter Guidance - On request

お支払い方法を選択してください 請求書 クレジットカード

クレジットカード会社 ユーロでのクレジットカード決済は、Mastercard、VISAカード、およびクレジットカードパートナーであるTetraTechでのみサポートされています。

クレジットカード番号

有効期限 /

CVV番号 CVV番号は3桁または4桁で構成され、クレジットカードの裏面に記載されている番号です。

クレジットカードパートナー

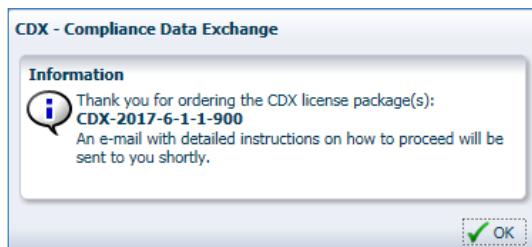
価格 2500.00 ユーロ

提供された情報はDXCテクノロジーによって保持および使用され、該当範囲内および注文処理プロセス中に必要な第三者と共有される場合があることに同意します。その後、DXCテクノロジーおよびそのパートナーは収集済みの情報を速やかに削除する必要があるものとします。

ここでは、必要なライセンス (パッケージ) と支払い方法 (請求書またはクレジットカード) を選択することができます。データのプライバシー情報に同意し、**注文プロセスの開始** をクリックして注文を送信する必要があります。プロセスを開始したら、ご注文の依頼を確認してください。



同様に、以下の情報を提供しています。



その後の処理手順に関するすべての情報は、カンパニードミニストレーターのEメールアドレスに送信されます。

貴社の完了した注文履歴とすべての注文とその主要情報は、オーダー履歴タブに表示されます。

企業固有化学物質リスト

この機能は、有効な MDS ライセンスがある場合にのみ使用できます。この画面では、企業固有化学物質リストをすべて見ることができます。カンパニードミニストレータープロファイルを持つユーザーのみが、企業固有の化学物質リストを作成および更新することができます。この機能は、ツリーをナビゲートしたり、データシートを分析したりする際に便利です。



Company Specific basic Substance Lists

Company

Company Name CDX Service Team (Germany) Supplier

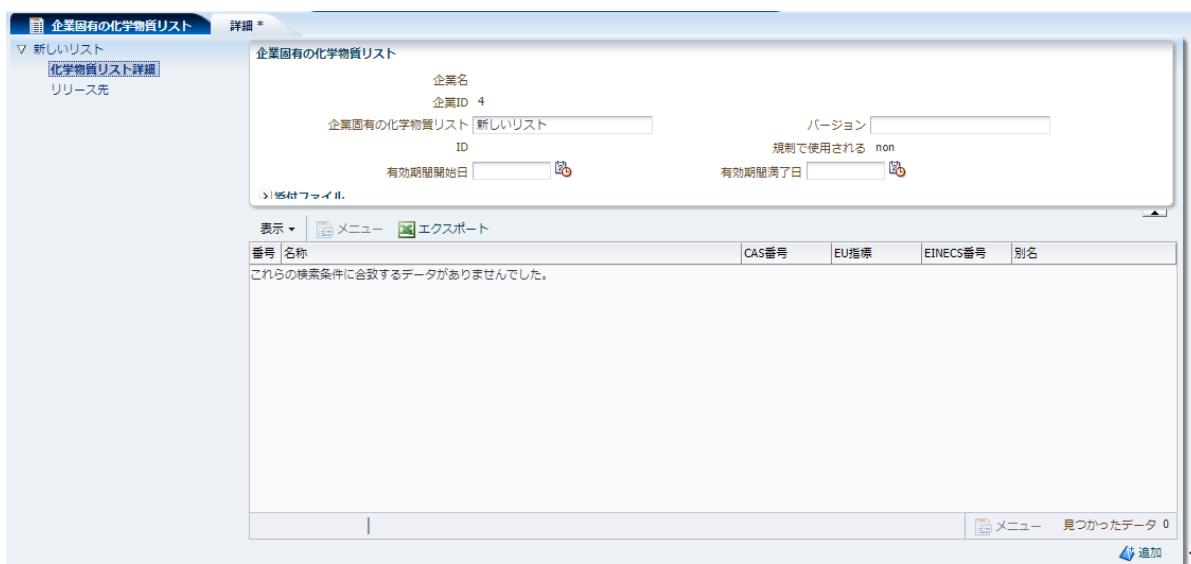
Create basic Substance List

ID	Name	Company Name	Company ID
262	GGI CSSL	CDX Service Team (Germany) Supplier	1
300000...	TestList GGI	CDX Service Team (Germany) Supplier	1

新規に「企業固有化学物質リスト」を作成するには、システム管理メニューの該当機能を使用し、[化学物質リストを作成する](#)をクリックしてください。

新規作成する「企業固有化学物質リスト」の名称を入力してください。また、バージョン番号や有効期限を入力することも可能です。ID は、リストを保存した後にシステムで生成されます。

これで、独自の化学物質リストに化学物質の参照先を追加することができます（複数選択可能）。



企業固有の化学物質リスト

新しいリスト

化学物質リスト詳細

リリース先

企業固有の化学物質リスト

企業名

企業ID 4

企業固有の化学物質リスト [新しいリスト]

バージョン []

規制で使用される non

有効期間開始日 []

有効期間満了日 []

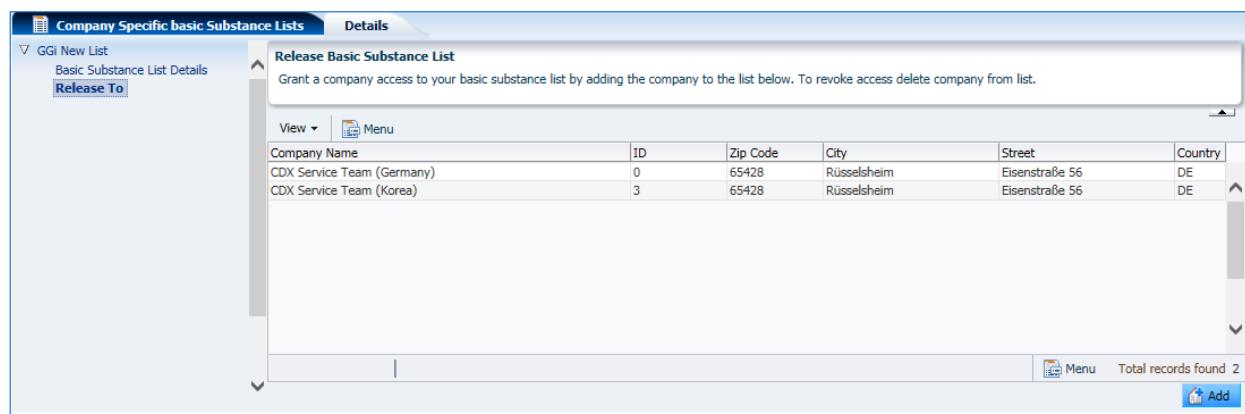
添付ファイル

表示 メニュー エクスポート

番号	名称	CAS番号	EU指標	EINECS番号	別名
これらの検索条件に合致するデータがありませんでした。					

データシート構造のツリーフィルターを通して、自社にとって特別に重要な物質のために、Where-Used 分析を使用して全てのデータシートをフィルター、分析するように、自社の化学物質リストを確認することができます。データシートリクエストにおいて、リクエストされたデータシートに含まれるべき、含まれるべきではない化学物質を顧客に伝えるために、自社の企業固有化学物質リストを追加することができます。

単純にリリースすることで、物質リストへのアクセス権を他の企業に与えることができます。画面の左側にある、[リリース](#) ボタンをクリックして、リストをリリースしたい企業を”追加”してください。



The screenshot shows a software interface for managing substance lists. At the top, there are buttons for 'GGI New List', 'Basic Substance List Details', and 'Release To'. The main area is titled 'Release Basic Substance List' with the sub-instruction: 'Grant a company access to your basic substance list by adding the company to the list below. To revoke access delete company from list.' Below this is a table with columns: Company Name, ID, Zip Code, City, Street, and Country. Two entries are listed: 'CDX Service Team (Germany)' with ID 0, and 'CDX Service Team (Korea)' with ID 3. The table has a 'View' dropdown and a 'Menu' icon. At the bottom, there are buttons for 'Menu', 'Total records found 2', and a blue 'Add' button.

新たに作成された企業固有物質リストを保存した際に、追加された企業は、そのリストへアクセスできるようになります。物質リストの詳細を確認したり、データシートツリーフィルターの中で使用したりするために企業固有物質リストメニュー内でそれを検索できるようになります。アクセスを無効にするには、リストからその企業を削除してください。

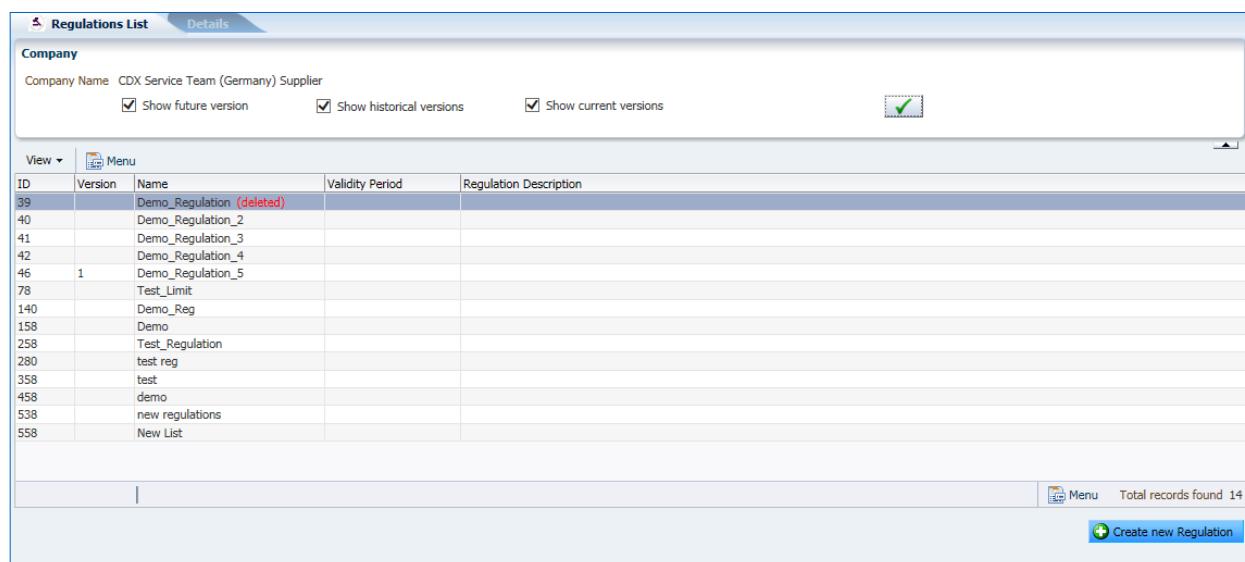
注意：企業固有物質リストがリクエストに追加されると、このリストへのアクセスは無効になります。リストを見るることは可能ですが、リクエストの中でアクセスすることはできません。

企業固有の規制

この機能はカンパニーアドミニストレーターのみが使用することができます。ここで、企業固有規制を検索したり、追加したり、変更したりすることができます。この機能を使用して、カンパニーアドミニストレーターは、特に既存の企業固有物質リストをベースにした企業固有規制を作成することができます。企業固有規制は、管理 > 企業画面内で表示されます。そこでサプライヤーがそれらの規制に関して提供するべき情報を示すため、企業、組織を選択することができます。企業や組織のために定義された規制は表示され、サプライヤーが送信先としてその企業（御社）を追加した時には、データシート受信データ内でサプライヤーにより確認される必要があります。

企業または組織単位で定義され、適用範囲内にある規制は、サプライヤーが貴社を送信先として追加する際に、データシートの送信先情報に表示され、サプライヤーによって確認される必要があります。「均質材料」の範囲内の全ての規制は、チェックが必要です。化学物質が(セミ)コンポーネントの子であり、データシートに「均質材料」の範囲の規制がある場合、チェックルールは問題を示します。さらに、"均質材料"に言及する規則がデータシートの範囲内にある場合、コンポーネントではなく、材料への化学物質参照を追加することが認められています。

新たな規制を作成するためには、規制管理メニューを開き、「新たな規制を作成」をクリックしてください：



The screenshot shows a software interface for managing regulations. At the top, there is a 'Company' section with a 'Company Name' dropdown set to 'CDX Service Team (Germany) Supplier'. Below this are checkboxes for 'Show future version', 'Show historical versions', and 'Show current versions', with the last one checked. The main area is a table with columns: ID, Version, Name, Validity Period, and Regulation Description. The table lists various regulations, including 'Demo_Regulation_(deleted)', 'Demo_Regulation_2', 'Demo_Regulation_3', 'Demo_Regulation_4', 'Demo_Regulation_5', 'Test_Limit', 'Demo_Reg', 'Demo', 'Test_Regulation', 'test reg', 'test', 'demo', 'new regulations', and 'New List'. The table has a 'View' dropdown and a 'Menu' icon. At the bottom, there are buttons for 'Menu', 'Total records found 14', and a blue 'Create new Regulation' button.

作成しようとしている新たな規制に名称を入力しなければいけません、もし既存の物質グループ/リストをベース

にして新たに規制を作成するのであれば、それを選択することができます。その時には対応するボックスを有効にしてください：

CDX Regulations

Create new Regulation

Please enter Regulation Name.

Regulation *
Valid From *

Advanced options

Create new Regulation from existing basic substance group/list
 Create new Regulation by copying existing substance group/list
 Create new Regulation from existing Regulation

Apply Cancel

“適用”をクリックしてください。

化学物質グループ/リストに基づいて新しい規則を作成することを選択した場合、企業固有の化学物質リストを選択して複数の化学物質を含めるか、または既存のリストを規則にコピーすることができます。既存の規則から新しい規則を作成する場合は、適切な規則を選択する必要があります。

新しい規制は規制リストの表に追加され、ダブルクリックで開くことができ、特定の化学物質を追加または削除することができます。規制の詳細タブが表示され、有効期限、バージョン、規制範囲、安全使用説明書などの追加情報を確認および/または追加することができます。規制の確認と規制の説明、添付書類の確認と追加ができます。

Regulations List Details

Regulation Details

test-reg GGI

Regulation Details

Exemption Lists
Query Lists
Use Descriptors

Additional information

Regulation Id 921
Valid From 9/17/2018
Valid To

Regulation Name test-reg GGI
Safe Use Instruction not in scope mandatory

Version 1
Regulation Scope Component Semicomponent Homogeneous Material

Confirmation Description Selecting 'Yes' means that the data provided within this MDS conforms to the rules set forth in regulation test-reg GGI and that all data relevant for reporting in this confirmation description is accurate and complete.

Regulation Description

Attachment

View

No.	Name	CAS No.	Flag	Limit Value	Included	Counter Number	End date	Limit Value Text
No results found for these search parameters.								

Total records found: 0

下部の2つの「追加」ボタンを使用すると、1つまたは複数の化学物質、または完全な化学物質グループやリストを企業別規則に追加することができます。左の「追加」ボタンを使用すると、化学物質検索画面が表示され、特定の化学物質を既知のパラメーター（CAS番号、化学物質名、化学物質グループ/リストなど）で検索し、規制に追加することができます。右の「追加」ボタンをクリックすると、特定の化学物質グループまたは企業固有の化学物質リストを名前やIDで検索できる画面が表示されます。追加した化学物質および/またはグループ・リストの制限、終了日などは、表の項目を右クリックすることで、規制の中で入力することができます。様々な「編集」機能を使用して、情報や値を追加することができます。

No.	Name	CAS No.	Flag	Limit Value	Included
1	MF		D		

適用除外リストのエリアでは、規制に適用除外を含めることができます。

Regulations List Details

test-reg GGI

Regulation Details

Exemption Lists

Query Lists

Use Descriptors

Exemption Lists

Regulation Name: test-reg GGI Version: 1 Valid From: 9/17/2018 Valid To: -

View ▾ Exemption Lists

No.	Name	Description	Default	IPC Code	IPC Authority Code	Valid From
No results found for these search parameters.						

Add

クエリリストエリアでは、"追加"ボタンを使用して、規制にクエリリストとステートメントを含めることができます。

Regulations List Details

test-reg GGI

Regulation Details

Exemption Lists

Query Lists

Use Descriptors

Query Lists

List Number Date

No data to display

Query Dialog

Authorities:
Identity:
Statement:

OK Cancel

使用記述子エリアでは、規制の追加プロパティとして IPC1754 使用記述子を管理することができます。

Regulations List Details

test-reg GGI

Regulation Details

Exemption Lists

Query Lists

Use Descriptors

Use Descriptor Lists

Name	Authority	Identity	Version	Date
No data to display				

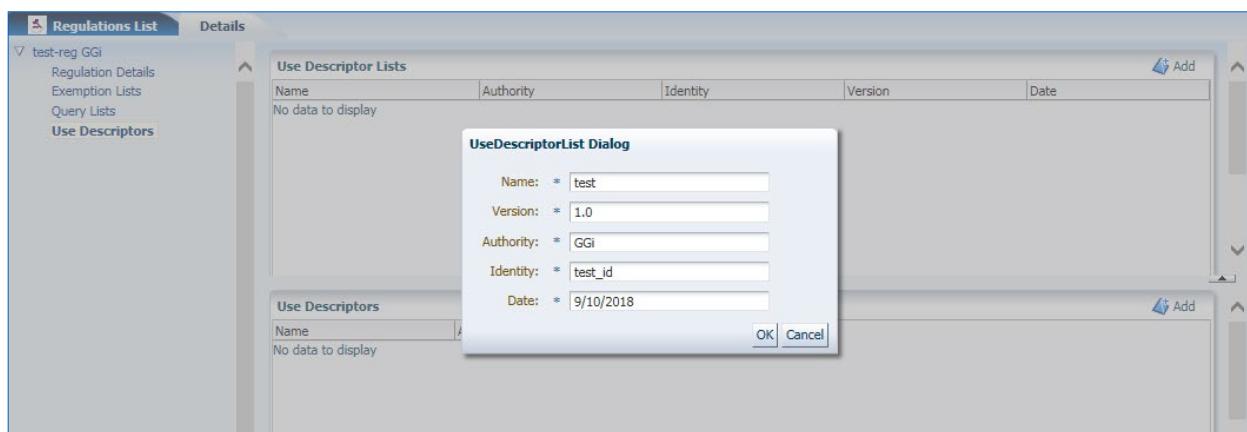
Use Descriptors

Name	Authority	Identity
No data to display		

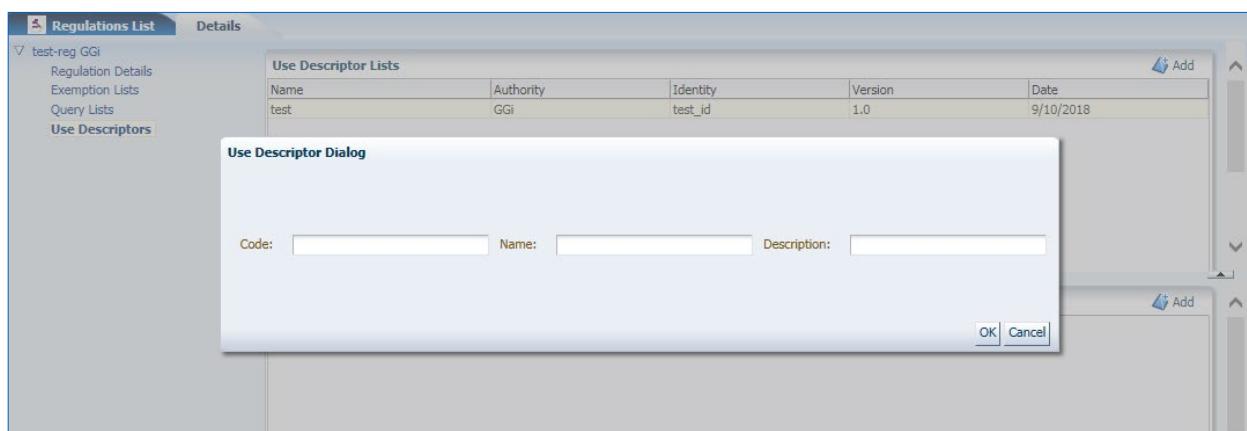
Add

使用記述子は、規則のオプションのプロパティです。使用記述子を設定するには、使用記述子リストに含まれている必要があります。各規則は 0 ~ N 個の使用記述子リストを持つことができます。各リストには、0 ~ N 個の使用記述子を含めることができます。現在、物質レベルの使用記述子については、ヘルプメニューから CDX ヘルプデスクに連絡するか、cdx-servicedesk@dxc.com まで E メールでお問い合わせください。

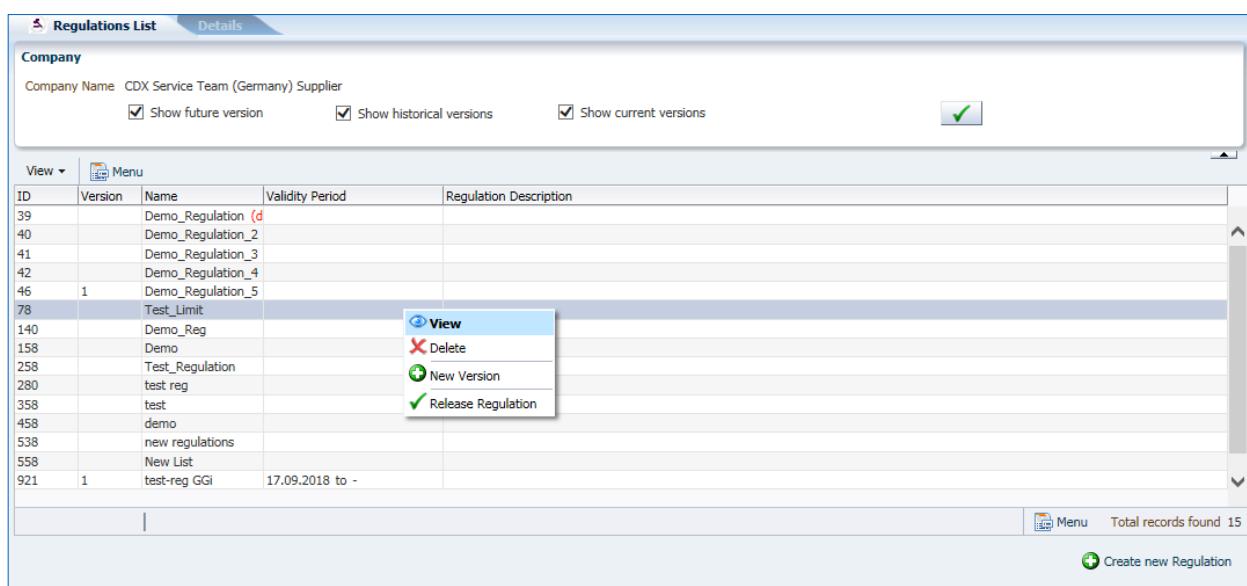
適切な "追加"ボタンを使用して使用記述子リストを追加するか、ダブルクリックするか、コンテキストメニュー(マウスの右クリック)を使用して維持します。



上部ペインで使用記述子リストが選択されている場合は、”追加” ボタンまたはコンテキスト メニューを使用して、下部ペインで対応する使用記述子を追加または変更できます。



新しい規制を使用する準備ができました。規則一覧タブには、貴社の企業固有の規則がすべて表示されます。すべてのバージョンの規制を表示するか、現在のバージョン、将来のバージョン、過去のバージョン（またはそれらの組み合わせ）のみを表示するかを選択することができます。すべての規則は、コンテキストメニューを使用して、閲覧、削除、新しいバージョンへのコピー、またはここでリリースすることができます。



さらに、すべてのエントリが企業管理画面で利用できるようになり、サプライヤーがどの規則に準拠する必要があるか、またその確認が必要かどうかを選択することができます。

The screenshot shows the 'Org Unit' and 'Regulation' sections of the software. In the 'Org Unit' section, fields include Name (CDX Service Team (Germany) Supplier*), Zip Code (65428), City (Rüsselsheim), Country (Germany), and Street (Eisenstraße 56). In the 'Regulation' section, there are two groups: 'Common' (REACH SVHC, ELV, GADSL, Batteries, Packaging, IMO) and 'Company specific' (Demo_Regulation, Demo_Regulation_2, Demo_Regulation_3, Demo_Regulation_4, Demo_Regulation_5, Test_Limit). A 'Confirmation required' checkbox is checked.

規制の論理的な削除(無効化)には、無効化された規制の適用除外やデータシートの構成情報画面での確認の適切な処理も含まれます。

CMD 品質プロファイルマネージャー

この機能はカンパニーアドミニストレーターのみが使用することができます。ここでは、CMD 品質レポートのための（既存の）プロファイルを検索したり変更したり、自社のプロファイルを作成したりできます。プロファイルマネージャー画面は、検索タブや詳細タブがある他の画面と似ています。検索タブでは、閲覧可能な既存の品質レポートプロファイル（自社企業が作成したプロファイルのように、全てのシステムが所有しているプロファイル）を探し、変更することができます。詳細タブでは、これらのプロファイルの詳細を確認することができます。企業が所有しているプロファイルは、追加や削除の個々のルールに従って、ここで変更することができます。

以下のパラメーターを使用して検索することができます：

項目	説明
名称	情報があればプロファイルの名称を入力してください。
ID	情報があればプロファイルのシステムが生成した ID をここに入力してください。
日付 から - まで	プロファイルが発せられた期間を設定して検索を絞り込むことができます。
検索対象	全て、システムが所有している、自社のプロファイルを見たいのであればそれを選択してください。
テンプレートバージョン	対応するプロファイル内で見たいテンプレートバージョンを選択してください。

プロファイルの作成

プロファイルを作成してチェックを割り当てるには、画面右上部の“プロファイルの作成”ボタンを使用してください：

The screenshot shows the 'Profile' creation screen. It includes fields for Name, Origin, ID, Date from, and Template version. Below the form is a table with columns for Name, ID, Issue date, Origin, and Template version. At the bottom right are 'Create profile' and 'Search' buttons.

プロファイルを定義するために、必要な情報を入力してください：プロファイル名（必須）、プロファイルの説明、ベースとしてプロファイルのテンプレートバージョン。この画面の上部のその他の全ての情報は、システムにより生成され編集することができません。

ここまでくると、 ボタンを使用して、新しいプロファイルに要求するチェック事項を追加することができます。別画面が開き、そこで新たな品質レポートプロファイルの内容として様々なルールを選択することができます。それ以上選択することがないのであれば、全ての選択可能なルールが表示されます：

以下の基準によって特別なルールを選択することもできます：

項目	説明
名称	情報があればルールの名称を入力してください。
ID	情報があればルールのシステムが生成した ID をここに入力してください。
タイプ	以下の条件を選択することができます：要求されている;許されていない;条件付で要求されている;条件付きで許されていない;Yes/No – Yes である時;Yes/No – No である時;ピックリスト – 同等のテキスト;ピックリスト – 同等でないテキスト
違反クラス	結果となるルールを検索するためだけの以下のクラスを選択することができます::重大なエラー (Fatal) 、エラー、警告、情報メッセージ

項目	説明
重大度	ルールの重大度を検索するためだけの 1 から 9 までの数値を選択することができます (1 = low; 9 = high)。
グループ	検索のために特定されたルールのためのグループを選択することができます: Declaration Page Part A, Part B, Part C, Cross-タブ、製錬所リストタブ
検索対象	システム生成情報、そのルールが作成された場所。
テンプレートバージョン	対応するルールで見たいテンプレートバージョンを選択してください。
日付 から - まで	ルールが発せられた期間を設定して検索を絞り込むことができます。

品質レポートプロファイルは行いたい多くのチェックを行うことができます。結果テーブル中に要求されるルールをハイライトして (複数選択が可能) プロファイルを追加するために 適用 をクリックしてください。

全て適用 をクリックすると、結果テーブルから全てのルールがプロファイルに割り当てられます。ルールを取り除く際には、CMD 品質プロファイルマネージャーの詳細タブ中のチェックをハイライトして、コンテキストメニューを使用するかプロファイルからそれを“削除する”ためマウスの右クリックを使用してください。

The screenshot shows the 'Details' tab of a profile. On the left, the 'Profile' section displays ID 564, Name 'Test Profile', Description 'Test', Template version '3.01', and Scoring amount '490'. On the right, the 'Origin' section shows the origin company, issue date (11/7/2014), and author (Grit Glimmer). Below these are two tables: 'Profile' and 'Rules'. The 'Rules' table lists several rules with columns for Name, ID, Group, Violation Class, Severity, Type, Scope, and a 'Remove' button. A context menu icon (a red box) is highlighted over the 'Edit' button in the first row of the rules table.

違反クラス “警告”とともに利用可能な全てのチェックのために、カンパニードミニストレーターは企業の要求により、重大度同様に違反クラスを企業所有プロファイル中で変更することができます。これを行うために、テーブル中のルールをダブルクリックするか、コンテキストメニューやマウスの右クリックを使用してください。別画面が選択されたルールについての情報を伴って表示されます。そこで違反クラスと重大度は変更することができます：

The screenshot shows the 'Edit rule' dialog box for a specific rule. The dialog includes fields for Name (Question 4 about metal tin at least 50%), Description (Question 4 about metal tin has been answered with at least "> 50%"), Group (Declaration Page part B), Type (Pick List - Equals text), Violation Class (Warning), Severity (3), and Scope (Company). Below the dialog, the main profile details view is visible, showing the rule table with columns for Name, ID, Group, Violation Class, Severity, Type, and Scope. The rule being edited is highlighted in the table.

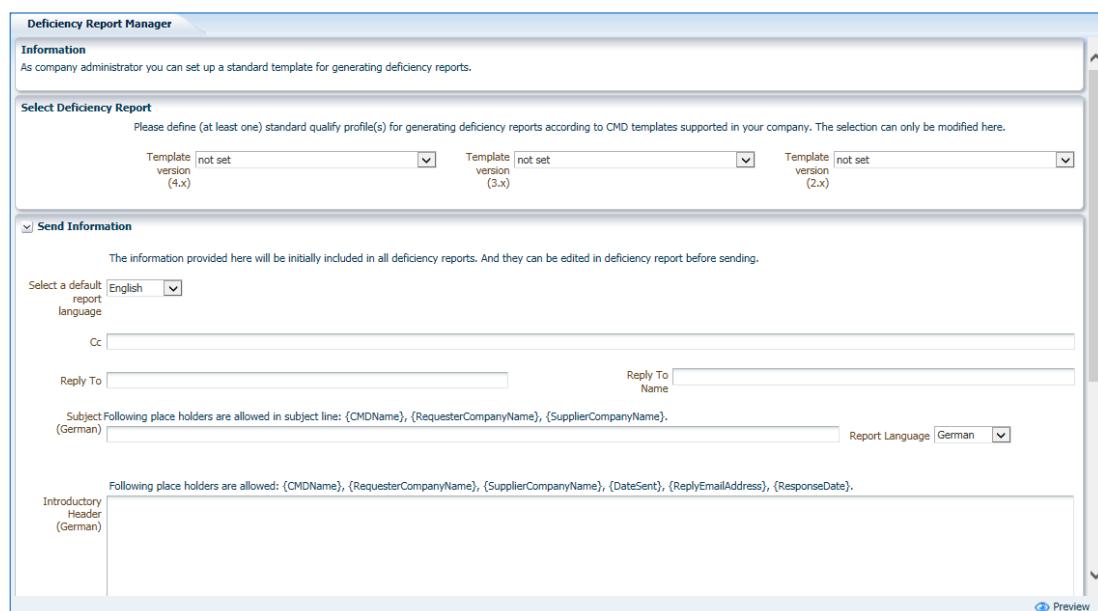
不足分レポートマネージャー

この機能はカンパニードミニストレーターのみが使用することができます。ここではサプライヤーに送られるCMD不足分レポートを生成するためのスタンダードテンプレートをセットアップすることができます。不足分レポートマネージャー画面は二つに分かれています。最初の部分“不足分レポートの選択”では、自社でサポートしているCMDテンプレートに従って不足分レポートを生成するために、少なくとも1つのスタンダード品質プロファイルを定義する必要があります。不足分レポートマネージャー内で、この部分は修正されるのみになります。

次の部分“情報の送信”では、以下のような送信情報を事前定義することができます。

- 初期レポート言語
- そのレポートが送られる、toとccのEメールアドレス
- 返信先となる担当者名とEメールアドレス
- 題名（代用語として含まれる、システム側が作成する情報、例、CMD名称、要求企業等）
- レポート言語
- メールヘッダー（ここにも代用語を含めることができます、例、CMD名称、要求企業等）
- フッターテキスト

“情報の送信”エリアで提供される情報は、全ての不足分レポートに初めは含まれています。そして、送信前に不足分レポートにそれらは記載することができます。与えられた情報は、画面の右下部にある[② プレビュー](#)ボタンを使用して見ることができます。



The screenshot shows the 'Deficiency Report Manager' interface. The 'Information' section is visible at the top, followed by the 'Select Deficiency Report' section where three template versions are listed. Below this is the 'Send Information' section, which contains fields for selecting a default report language (English), entering Cc and Reply To addresses, and specifying a subject line with placeholder variables. A preview button is located at the bottom right of this section.

組織レポート

組織を正しく使用するために、それぞれの組織にはユーザーが割り当てられていないければいけません。その組織に割り当てられているユーザーのみがその組織宛に送られたデータシートを閲覧し、承認し、拒否することができます。組織レポート画面では、ユーザーが割り当てられていないが作成されたり、受信されたデータシートがある組織を表示したりします。

システム管理 > 組織レポートのメニューでは、ユーザーの割り当てがない組織を確認することができます。

Org Unit Report

Company

Company Name: CDX Service Team (Germany) Supplier
Zip Code: 65428
Country: Germany

ID: 1
City: Rüsselsheim

Org Units without users having MD5s linked to

View | Export

Org Unit Name	ID	Zip Code	City	Country
All organization units containing datasheets have at least one user assigned				

Total records found: 0

カンパニードミニストレーターは、組織に割り当てられているがまだ処理されていないデータシートを定期的な確認する必要があります。サプライヤーがデータシートをユーザーが割り当てられていない組織に送信した場合は、誰もそれを受信したと気付きません。これは組織に割り当てられているユーザーのみしか、組織の受信ボックスを見ることがないからです。必要であれば、そのレポートを印刷してください。

統計

CMD 固有統計同様に、データシート統計メニューでは、カンパニードミニストレーターが、特定の期間など、以下の表にある条件に沿ったデータシート数を調べることができます：

項目名	説明
全ての組織	このチェックボックスにチェックを入れると、自社の全ての組織のデータシート統計を見ることができます。
組織	「全ての組織」にチェックが入っていない場合に限り、特定の組織を選択でき、選択した組織に割り当てられたデータシート数を調べることができます。
期間	期間でデータシート数を区切って結果を表示させます。
ソース	CMD や CMD リクエストのために統計日付を見たいのであれば選択してください(CMD 固有統計でのみ使用可能)。
検索対象	受信、送信、自社データシートのうち、どのデータシートや CMD の統計日を調べたいかを選択することができます。

検索結果の表には、選択した組織に割り当てられたデータシートの数を、以下のステータスに分けて表示します：承認済み / 未開封 / 編集中 / 拒否 / 送信者による取り消し

表にはあなたが企業登録したすべての有効な組織が含まれています。

全ての組織 期間 検索対象

組織

ピュー | エクスポート

組織名	承認済みデータ	未開封	編集中	拒否	送信者による取り消し
CDX Service Team (Japan)	1	0	0	0	0
Org_A	0	0	0	0	0
Org_A1	0	0	0	0	0
Org_A2	0	0	0	0	0
Org_B	0	0	0	0	0
Org_C	0	0	0	0	0

CMD リクエストのための情報は、以下の状態で表示されます：受信済、CMD 添付済、承認待ち、完了、拒否、削除、リクエスト合計、リクエスト遅延

CDX の使用ヘルパー

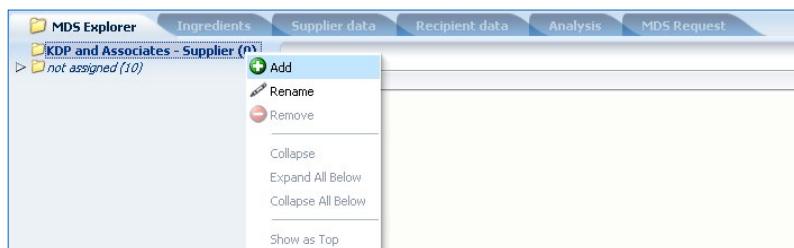
CDX での作業を支援する利用可能なツールがいくつかあります。

MDS Queue and Collection Manager (QCM)

MDS Queue and Collection Manager (QCM) はデータシートおよび入力依頼を整理するために非常に有用です。各ユーザーは、自分自身のディレクトリ構造を持つことができます。データシート、入力依頼とディレクトリをディレクトリの間に動かしたり、コピーしたりすることができます。データシートとデータシートの入力依頼の総量はディレクトリ名の後ろのカッコ内に表示されています。（これはディレクトリ内のデータシートと入力依頼が含まれます）。データシートと入力依頼をダブルクリックで開くことができます。

データシート、入力依頼とディレクトリの移動は、ドラッグ&ドロップすることによって行われます。ユーザーは、データシートを動かす代わりにキーボードの「Ctrl キー」を押しながらドラッグ&ドロップでデータシートのコピーを作成することができます。ここでの”コピーの作成”は、データシートと入力依頼を物理的にコピーするではなく、ただ他のディレクトリにそれらへの第二の「リンク」を作成することを理解することが重要です。まだディレクトリに移動されていないデータシート（自社データと承認済みデータ）と入力依頼（自社データと受信ボックス）は常に「割り当てられていない」ディレクトリにあります。

まず、ディレクトリを追加しましょう。ツリーのトップに右クリックし、追加ボタンを選びます。



自宅のPCの操作方法と同じく、”割り当てられていない”フォルダから適切なフォルダにデータシートを移動することができます。CTRL キーを押しながら複数以上のアイテムを同時に選択することができます。そして、選択したアイテムを適切なフォルダにドラッグ&ドロップします。

さらに、’Queue Management’と呼ばれる別の静的なフォルダがあります。このフォルダには’SCIP submissions’フォルダと’IMDS インポート’フォルダが含まれています。

SCIP Submission

SCIP Submission フォルダには、他の複数のフォルダを含めることができます。フォルダ名は、異なる SCIP Dossier アップロードの作成時間を表しています。SCIP Submissions というディレクトリの子フォルダをクリックすると、下図のような画面が表示されます。

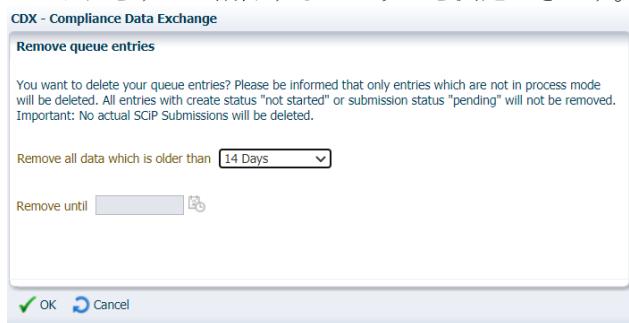
Detail										
Type	Notification Company ID	Company Name	Name	Creation Status	Intern Validation Error	Submission Status	Submission Number	Error Message:	SCIP Number	Entry time
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	test_subset	Successful		Report is ok	ATB321760-32		2036578a-9aa2-...	21.04.2021 - 19...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	769861000 - F164...	Successful		ECHA Validation.	ATB95468-04		019cafa-6d1e-...	21.04.2021 - 17...
SSN	1592	BOLI CaseStudy	testson123456	Successful		Report is ok	ATB29506-22		18d7a95-5962-...	21.04.2021 - 09...
SSN	120	2012-11-19-Workshop	testson123456	Successful		ECHA Validation.	ATB154799-16		ce30c73-002e-...	21.04.2021 - 09...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson123456	Successful		Report is ok	ATB62950-19		3c28373-022d-...	21.04.2021 - 09...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson123456	Successful		Report is ok	ATB712276-20		3c28373-022d-...	21.04.2021 - 09...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson123456	Successful		Report is ok	ATB746558-08		3c28373-022d-...	21.04.2021 - 09...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson123456	Successful		Report is ok	ATB901680-19		3c28373-022d-...	21.04.2021 - 09...
SSN	1592	BOLI CaseStudy	testson123456	Successful		ECHA Validation.	ATB461691-20		18d7a95-5962-...	21.04.2021 - 09...
SSN	120	2012-11-19-Workshop	testson123456	Successful		ECHA Validation.	ATB353642-28		ce30c73-002e-...	21.04.2021 - 09...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson123456	Successful		Report is ok	ATB607404-27		3c28373-022d-...	21.04.2021 - 09...
SSN	120	2012-11-19-Workshop	test	Successful		ECHA Validation.	ATB430657-27		85601434-5614-...	21.04.2021 - 02...
SSN	1592	BOLI CaseStudy	test	Successful		Report is ok	ATB493746-17		b6fbffbc-a3d7-...	21.04.2021 - 02...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	test	Successful		Report is ok	ATB571368-19		da0951c-9236-...	21.04.2021 - 02...
SSN	1592	BOLI CaseStudy	testson	Successful		ECHA Validation.	ATB46264-15		8e3d022-bd3d-...	21.04.2021 - 01...
SSN	120	2012-11-19-Workshop	testson	Successful		ECHA Validation.	ATB734974-09		57e30771-796d-...	21.04.2021 - 01...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testson	Successful		Report is ok	ATB092784-21		b1e0bfe-39ed-4...	21.04.2021 - 01...
SSN	120	2012-11-19-Workshop	testComp	Successful		ECHA Validation.	ATB617942-15		fda7c67-8069-4...	21.04.2021 - 01...
SCIP	0	CDX Service Team (Germany)	testComp	Successful		Report is ok	ATB720990-18		8007ce50-e699-...	21.04.2021 - 01...

「詳細」では、表の上に以下のように表示されます。

- SCIP Submission アップロードジョブを開始したユーザーのユーザーID
- ジョブのステータス

ジョブをキャンセルまたは再開するためのボタンです。これらのボタンは、カンパニーアドミニストレーターと SCIP Dossiers をアップロードしたユーザーにのみ表示されます。

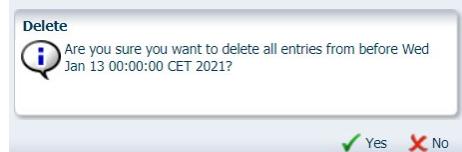
「日付ごとにキューエントリを削除」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。ユーザーは、14日、3ヶ月、または6ヶ月以上前のエントリをすべて削除するかどうかを決定できます。さらに、ユーザーは独自



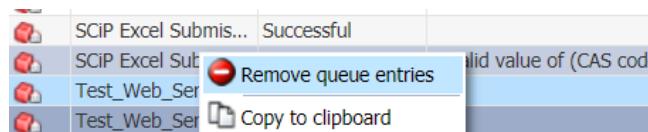
の日付を使用することもできます。

「OK」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

CDX - Compliance Data Exchange



- この画面を確認すると、エントリが削除されます。
- また、選択したエントリをQCMから削除することもできます。選択したエントリ（データシート）の上で右クリックし、「キューエントリを削除」をクリックします。このボタンをクリックすると、本当にエントリを削除してよいかどうか、ユーザーはもう一度確認されます。（上図参照）



重要：削除されるのは、プロセスマードではないエントリ（作成ステータスが「開始」または提出ステータスが「保留」）のみとなります。

SCIP の作成や提出に失敗した場合は、関連する行をクリックすることで「ジョブの再起動」ボタンが有効になります。

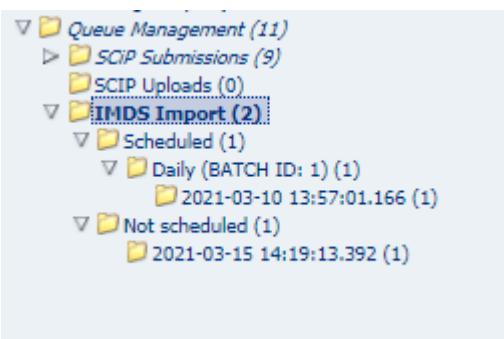
検証レポートが利用可能な場合、関連する各提出物の「提出状況」列に「ECHA 検証レポート」というリンクが用意されています。

このリンクをクリックすると、ECHA によって生成されたすべての検証メッセージを示す別のダイアログが表示されます。



IMDS Import

IMDS Import フォルダには、「スケジュール」と「非スケジュール」の2つのフォルダがあります。カンパニーアドミニストレーターは、IMDS インポート画面を使ってインポートジョブを作成することができます。(データシートのインポート/エクスポート) 1つのジョブは、1回(非スケジュールフォルダ)または日次/週次(スケジュールフォルダ)で実行することができます。一度だけ実行される全てのジョブは、実行日時が含まれた新しいフォルダに作成されます。スケジュールされたジョブには、バッチ ID を含む日次または週次というサブフォルダがあります。すべての実行結果は、日次/週次フォルダの異なるサブフォルダに表示されます(下図参照)。



日次/週次フォルダの詳細セクションは、下図のようになります。ステータスは、そのジョブの全体的な状態を表します。日次/週次フォルダ内の日付/時刻フォルダをクリックすると、この明示的なアップロードのステータスが表示されます。

Detail	
View > Menu Export Modify IMDS access credentials	
Type	Name
	2021-03-18 10:59:00.025

ジョブ情報には、そのジョブのすべての検索パラメータに関する情報が含まれます。また、カンパニーアドミニストレーターはジョブを削除することができます。

CDX - Compliance Data Exchange

Job Information

Here you will find general information about your current job. If you quit the job, please be informed that the job will not be executed until the end date, but will be ended immediately.

Search Criteria

Name	ma	last edited by me	No
Part/Item No.		Update Std.-Material	Update to newer version
MDS ID		Std.-Material handling	Convert into nodes
Node ID		Basic Substance handling	Replace by placeholder substance
Version	current	Unconditional Release	No
published / accepted / internally released	No		
created (own MDSs)	No		
own MDSs	Yes		
own Modules	Yes		
accepted MDSs	No		
published MDSs	No		

Job execution time 13:14

Job run from 08.03.21

Job run until 12.03.21

If you want to delete this job, click on "Delete job". Otherwise close the job information by clicking on "OK".

OK Delete Job

QCMの各IMDSインポートバッチで、ユーザーはIMDSからデータをインポートするために必要な最初に与えられたIMDSアクセス資格(ユーザーID、パスワード)を「IMDSアクセス資格の変更」ボタンを押して変更することができます。このボタンをクリックすると、ユーザーはIMDSシステムで検証される有効なユーザーIDとパスワードを入力するよう求められます。検証が正常に済んでから「資格の変更」ボタンを押して変更を行ってください。

CDX - Compliance Data Exchange

Use your IMDS user id and password to log on to the IMDS company containing the MDSs you want to import into CDX. Please note that this company requires an IMDS-AI license in order to use the IMDS MDS Import functionality.

Import IMDS MDS - IMDS Login

User ID gcdrh001

Password *****

Modify credentials Cancel

通常は下図のように、インポートされた、またはインポートする必要があるすべてのデータシートが詳細に表示さ

れます。

Type	Name	Creation Status	Error description	IMDS Node ID	ID / Version	Node ID
YTest	Successful			2000158010	200299352 / 2	200300615
YRRecycPla	Successful			2000158006	200299351 / 2	200300614
Uploaded material 9floatingperc	Successful			1000000031367	200299350 / 2	200300613
TS Test SCIPDossier_ArticleIdentifier	Successful			2000156626	200299348 / 2	200300611
TS SVHC Material	Successful			1000000023207	200299347 / 2	200300610
TS SCIP Material	Successful			2000156620	200299346 / 2	200300609
TS SCIP Component 001 (no SCIP d...	Successful			2000155222	200299345 / 2	200300606
TS SCIP	Successful			2000155862	200299341 / 2	200300604
TS R06 Reporting Test MDS 2	Successful			907051769	200120804 / 0.02	200300601
TS R06 Reporting Test MDS 1	Successful			907108524	200120795 / 0.02	200300592
TS R06 Reporting Test MDS 1	Successful			907051780	200120786 / 0.02	200300583
TS R06 Reporting Test MDS - Simpl...	Successful			907052112	200252964 / 1	200300578
TS R06 Reporting Test MDS - Simpl...	Successful			907052118	200252960 / 1	200300574
TS O5A Reach Non-Complex Compo...	Successful			10000000021982	200299297 / 2	200300530
TS O5A Reach Mixed-Complex Com...	Successful			10000000022247	200299292 / 2	200300525
TS O5A Reach Complex Component...	Successful			10000000022258	200299283 / 2	200300517
TS O5A Aggregation Sample - Mixe...	Successful			10000000023201	200299276 / 2	200300510
TS Confidential Test Component 5 - ...	Successful			10000000029982	200299264 / 2	200300502
TS Component with SCIP data	Successful			2000158028	200300494 / 1	200300494
TRUNK LID UPPER PANELING	Successful			2000152834	200299262 / 2	200300492
ThM recycle Polymer	Successful			10000000028095	200299260 / 2	200300490
ThM Name_EN 01	Successful			10000000021721	200299259 / 2	200300489
ThM Material2000155826	Successful			2000155826	200299258 / 2	200300488
	Ignore		Skipping MDS (Node-ID: 1000000021865) because it was already imp...	10000000021865		
	Ignore		Skipping MDS (Node-ID: 2000151837) because it was already importe...	2000151837		

クリップボード

クリップボード機能は、材料データシート、化学物質と入力依頼のデータを保持し、簡単に再利用することができます。たとえば、頻繁に使用される材料は、異なる材料データシートに再利用するために、クリップボードに保持することによって便利になります。

初めて CDX にログインするとき、メニュー → 機能 → クリップボードを選択し、以下の画面の右側が表示されます：



次回 CDX にログインしたら、クリップボードの内容は前回ログインしたときのままであります。つまり、よく使っているデータを検索せずに簡単に再利用することができます。

クリップボードを使わないとき、クリップボード画面の左下の矢印ボタン をクリックしたら、クリップボード画面をたたむことができます。

クリップボードのデータを全て削除するとき、全て削除ボタン をクリックします。

ツリー検索

この機能を使用すると、ツリー内のノード(データシートの場合)や製錬所(CMD の場合)を見つけることができます。この機能は、データシートまたは CMD の詳細画面で作業しているときに、 をクリックすることで有効になります。以下のようないい處が開きます。



ツリーをテキスト検索することができます（テキスト検索を使用する場合は、ワイルドカード検索を使用することをお勧めします）。また、名称、番号、データシート ID、ノード ID、または CAS No.（データシートの場合）、金属、名称、国名、製鍊所 ID、またはタイプ（CMD の場合）をツリー内で検索することもできます。これは、構造体に複数のノードがある場合に非常に便利です。

化学物質グループ

特定の化学物質があなたの製品に報告されている場所（例えば RoHS 指令、REACH、GADSL など）を知る必要があります。1 つずつ検索を行うことができますが、これはかなり面倒で時間がかかります。そのため、CDX は、複数の化学物質グループを実装しました。これらの化学物質グループは、化学物質の検索、ツリーフィルター、および WhereUsed 分析で使用されている。新しいグループは頻繁に追加されていくので、ここでは、グループについて詳しく説明しません。以下はよく使われているグループです：

- Conflict Minerals
- GADSL: Declarable
- GADSL: Prohibited
- HKC Relevant
- Rare Earth Elements and their Compounds
- REACH SVHC
- RoHS

ツリーフィルター

ツリーのフィルターを使用すると、ツリー構造内の特定のグループ内の物質を見つけることができます。たとえば、ツリー構造内の全ての RoHS 指令の化学物質を見たいとしましょう：



まず、全体のツリー構造を展開する必要があります、その後は、Global Substance Lists（初期値）からのグループ RoHS 指令を選択し、RoHS グループ化学物質は、以下のように赤で表示されます：

自社の企業固有化学物質リストや、リストにアクセスする検眼がある企業から何らかの固有リストを使用することができます。初期に設定されている“Global Substance Lists”に代わって“企業固有化学物質リスト”をフィルターに選ぶと、ツリーフィルター内に使用可能な企業固有化学物質リストが表示されます。

検索結果の設定

ユーザーは、自分のニーズに合わせて任意の検索結果を設定することができます。ここでは詳細を説明しませんが、すべての検索結果は同様に動作します。「表示」をクリックすると、結果テーブルのどの列がどのような列になっているか、その順序を変更したり、特定の列でソートしたりすることができます。表示からフィールドを削除するには、そのフィールドをクリックします(フィールドを追加するには、再度フィールドをクリックします)。検索結果画面で特定のデータシートを右クリックすると、実行している検索の種類に応じて別のオプションが表示されます。

検索結果のエクスポート

ユーザーは、 エクスポート が表示されている検索結果をエクスポートすることができます。ほとんどの場合、この機能には有効なデータシートまたは CMD マネージャーライセンスが必要です。これはカンパニードミニストレーターがシステム管理 > CDX ライセンスメニューで注文することができます。エクスポートされたデータは、結果テーブルのビューと同じ言語(およびソート順)で表示されます。アイコンをクリックすると、次のアクションを決定できる以下のようない領域が開きます。



企業固有エンハンスメント

サプライヤ一部品番号送信先

一部の企業では、サプライヤーからサプライヤ一部品番号(内部番号)を要求されます。CDX は、サプライヤ一部品番号送信先(SPNR)としてマークされている企業のために、部品番号を表示することで、この要求をサポートしています。

サプライヤーからサプライヤーの部品番号が必要な場合は、ヘルプメニューから CDX ヘルプデスクに連絡するか、電子メールで cdx-servicedesk@dxc.com に連絡して、サプライヤ一部品番号送信先として登録してください。

サプライヤーがデータシートを作成し、SPNR マークの付いた企業を送信先に追加すると、サプライヤーの部品番号が構成情報タブから送信先情報タブの「転送情報」にコピーされます。サプライヤー(データシート作成者)は、自動的に記入された番号を削除するか、または番号を追加することができます。

送信先企業の場合、サプライヤ一部品番号は送信先情報の転送情報に表示されます。

ボッシュグループ - 固有拡張機能

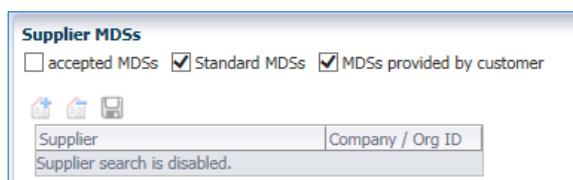
ボッシュグループに納入を行う企業であれば、以下のエンハンスメントに注意しなければなりません：

ボッシュサプライヤ登録

ボッシュ社のサプライヤー企業は、SupplyOn portal を通して CDX 内で登録される必要があります。CDX に SupplyOn ID を持った企業のみが、登録したデータの送信先としてボッシュ社を追加することができます。そうでない企業は以下のようなエラーメッセージを受け取ることになります：登録されたボッシュのサプライヤーだけが、データをボッシュに送信することが許されます。ボッシュの取引企業で SupplyOn ID (管理) 企業メニューでカンパニーアドミニストレーターは詳細を確認することができます。) を持っていないのであれば、ボッシュに連絡するようにしてください。

顧客により提供されたデータシート

プロセスを合理化するために、ボッシュグループのユーザーは自社のまたはサプライヤーから受け取ったデータシートを公開することができます。サプライヤー企業は自社のデータシート内に、これらの“顧客により提供された”データシートを使用することができます。全てのボッシュサプライヤーは、そのようなデータシートを検索するために以下の画面で、追加項目を使用することができます：データシート検索、部品、セミコンポーネント、材料検索



同一階層申告

ボッシュグループに対して、データシートを同一階層で申告したいのであれば、データシートの添付エリアにより多くの情報が含まれた最低でも 1 つのドキュメントを追加しなければなりません。ドキュメントが添付されていなければ、送信も公開もできません。

部品 / アイテムナンバー

ボッシュグループへのサプライヤーは受信データ内に、単一の番号ではなく、幅がある番号の特別な部品/アイテム ナンバー項目を挿入することができます。以下が例です：

The image shows two windows side-by-side. The left window is titled 'Add new number' and contains fields for 'Number type' (set to 'Range'), 'Lower limit' (1000001), and 'Upper limit' (1000100). It has 'Apply' and 'Cancel' buttons. The right window shows a list of numbers with a header 'Name: REQ2' and a 'Part/Item No.' field containing '1000001 - 1000100'. It includes a 'Forwarding allowed' checkbox (checked) and a toolbar with a green plus sign, a red minus sign, and a blue refresh icon.

入力される値は、1-10桁の英数字（上限値、下限値定義するため）で3桁の数値が続きます。“a-z”、“A-Z”そして”0-9”以外の入力は許されていません。

入力された数値の幅はシステムによってチェックされます。誤った数値を入力した際には、エラーメッセージが表示されます。

規制

ボッシュは固有の規制を順守するようにサプライヤーに要求しています。正式には、N2580 テンプレート情報が使用され、現在 CDX では要求されています。部品や材料データシートを作るために、ボッシュのサプライヤーは“規制ウィザード”を使用することが求められており、その中でユーザーはいくつかの規制と要求される要求情報に対応するようにガイドされます。

企業固有の規制

データシートの受取先としてボッシュを追加すると、受信データの中で“企業固有”セクションを見ることになります。そこでは企業固有規制が埋められなければなりません：

The screenshot shows a table titled 'Company specific' under the heading 'Regulation'. The table has columns for 'Regulation', 'Regulation complied?' (with dropdown menus), and 'Relevant data provided?' (with dropdown menus). The rows list various Bosch regulations: Bosch Diverse, Bosch PAH, Bosch Plasticizers, Bosch Manufacturi..., and Bosch Cooling Lub... Each row has a dropdown menu in the 'Regulation' column and a dropdown menu in the 'Relevant data provided?' column.

企業別規制の質問にお答えください。：

- 規制に準拠していますか?- はい / いいえ / 製品に影響はありません
- 関連データを提供しましたか?- はい / 申告義務はありません / 他の申告フォーマットを使用しています

1つでも回答がなされないと、チェックルーチンがエラーメッセージを返すことになります、そして、そのデータシートをボッシュに送信/公開することができなくなります。

規制物質概要

ボッシュ固有規制に関する物質についての詳細情報は、**機能 > 規制物質概要** メニューで確認することができます。“企業固有”と代表企業 (Bosch) を選択してください。“規制” ドロップダウン項目の中で、全ての選択可能なボッシュ固有規制は選択することができます。結果テーブルでは、規制登録日、規制値、終了日と同様に、名称、CAS No、EU-Index、Einecs-No、ノード ID、別名、D/P (要申告 / 禁止) を伴って選択した規制に関連する全ての物質が表示されます：

Regulation Overview										
Company Name: Bosch Group [900778] <input type="button" value="Search"/>										
Regulation: Bosch Plasticizers <input type="button" value="Search"/>										
View <input type="button" value="View"/> <input checked="" type="checkbox"/> Export										
Name	CAS No.	EU-Index	Einecs-No.	Node ID	Synonym	D/P	Entry	Limit Value	End date	
Di-n-octylphthalate	117-84-0	-	204-214-7	1691	ISO 1043-3	D	E2009		06/06/2019	
1,2-Benzenedicarboxylic acid, decyl ester	119-07-3	-	204-295-9	45262707	Phthalic acid, decy...	D	E2009			
Dimethyl-terephthalate	120-61-6	-	204-411-8	857528	1,4-Benzenedicarb...	D	E2009			
Dimethyl-phthalate	131-11-3	-	205-011-6	1619	-	D	E2009			
Diallyl-phthalate	131-17-9	607-086-00-4	205-016-3	1492	Allyl Phthalate	D	E2009			
1,2-Benzenedicarboxylic acid, octyl ester	131-18-0	-	205-017-9	10448620	Dipentyl phthalate	D	E2009			
Di-“isodecyl” phthalate	26761-40-0	-	247-977-1	1606	Bis(8-methylnonyl)...	D	E2009			
Diisotridecyl-phthalate	27253-26-5	-	248-368-3	2415104	1,2-Benzenedicarb...	D	E2009			
Diisooctyl-phthalate	27554-26-3	-	248-523-5	310086	Di“iso-octyl” phtha...	D	E2009			
Di-“isononyl” phthalate	28553-12-0	-	249-079-5	1608	Bis(7-methyloctyl)...	D	E2009	0.1		
Diundecyl-phthalate	3648-20-2	-	222-884-9	11690	1,2-Benzenedicarbo...	D	E2009			
1,2-Benzenedicarboxylic acid, 41451-28-9	41451-28-9	-	-	81004610	-	D	E2009			
1,2-Benzenedicarboxylic acid, 605-50-5	605-50-5	-	210-088-4	10449447	Diisopentyl phthalate	D	E2009			
1,2-Benzenedicarboxylic acid, 68515-47-9	68515-47-9	-	271-089-3	11697	DTDP	D	E2009	0.1		
Dicyclohexyl-phthalate	84-61-7	-	201-545-9	1556	DCHP	D	E2009			
Diethyl-phthalate	84-66-2	-	201-550-6	1565	Ethyl phthalate	P	E2009			
Diisobutyl-phthalate	84-69-5	-	201-553-2	1604	Phthalic acid diiso...	D	E2009			
Dihexyl-phthalate	84-75-3	-	201-559-5	3349068	1,2-Benzenedicarb...	D	E2009			
Diundecyl phthalate	85507-79-5	287-401-6	80994	1,2-Benzenedicarb...	D	E2009				

 エクスポート ボタンを使用して、表示されているおのおのの規制の結果を MS Excel にエクスポートすることができます。

CDX セキュリティ

次のセクションでは、外部侵入に対するシステムの保護とアプリケーション内に認可されたデータアクセスしかできないメカニズムです。

物理セキュリティ

CDX コンピューターは DXC のサービス マネージメント センター (SMC) 内で管理されます。DXC の SMC はサーバーの物理的な安全性を保証し、適切なインフラ (ネットワーク可用性、システム障害対策) を提供します。許可されている人員 (オペレーティング管理者およびシステム管理者) のみが同機器へのアクセス権を有し、オペレーティング システムの物理的な操作や機能的な障害を不可能なものとしています。

オペレーティングシステムセキュリティ

CDX システムは UNIX オペレーティング システムを使用しており、オペレーティング システムレベルにおけるアクセスは DXC の管理者にのみ許可されます。DXC の標準的プロセスにより、システムへの外部アクセスに対する防御は確実です。

データベースセキュリティ

IMDS システムは Oracle データベースを使用しており、同データベースへのアクセスは、システム管理者およびデータベース管理者にのみ許可されます。

ネットワークセキュリティ

ネットワークセキュリティでは、3 つのレベルで検討する必要があります：ファイアウォールセキュリティ、データ転送とウェブアプリケーションサーバー。

ファイアウォールセキュリティ

ファイアウォールは、二つのネットワークの間でアクセスを制御するシステムです。ファイアウォールは、2 つのメカニズムを使用しています：データを拒否することとデータフローを有効にすることです。ファイアウォールは、公衆ネットワークから内部ネットワークおよび非公開ネットワークを保護し、同時に、通信用のフィルターとして機能します。この場合、ファイアウォールは、潜在的侵入者や保護する必要なデータの間の第一バッファとして機能します。CDX システムへの全てのアクセスがログに記録され、分析することができます。

データ転送

CDX システムは、暗号化された HTTPS データ転送プロトコルを使用しています。データが適切に暗号化されている場合のみ、インターネット経由でデータを安全に伝送することが保証されます。HTTPS の暗号化は、三つの効果があります：1) リモート認証（あなたが本当に www.cdxsystem.com にアクセスすることを確認してください）2) 誰もデータを読み取ることがないことを保証します。3) 全てのデータ操作の監視（ハッシュコードで）。

ウェブアプリケーションサーバー

選択した J2EE サーバーは、保護と可用性の機能を提供することにより、システムを保護する別の手段を提供します。

アプリケーションセキュリティ

IMDS を利用するサプライヤー各社は、IMDS 内でユーザー登録を行う必要があります。ユーザー登録を行うと、パスワードを取得できます。このパスワードは 90 日毎、またはパスワードリセット機能を用いたパスワードリセットが行われた後に変更する必要があります。

パスワードは、前回使用したパスワードと異なっている必要があります、8~12 文字（大文字・小文字）の間で、少なくとも数字を 1 行含んでいなくてはなりません。また、パスワードは大文字と小文字を区別します。入力可能な文字は ISO-8859-1 で指定されている文字です。

これらの方を用いて、ユーザーID およびパスワードを取得しているユーザーのみによる IMDS アクセスが保証されます。
個々に設定されたユーザーの権限により、アクセスできる Web のエリアや/またはデータが設定されています。特定のプロファイルを有するユーザーのみ、同アプリケーションにおいて一定の機能を実行することができます。
(ユーザープロファイルを参照してください)

CDX - アドオンサービス

CDX システムを提供することに加えて、DXC は、お使いのコンプライアンスへの取り組みの技術をサポートします。CDX に関する全ての追加サービスの詳細については、当社のインターネットページ上でご覧ください：
www.cdxsystem.com

プロジェクトサポート

DXC は、ベスト・プラクティス・プロセスとデータ統合を取り巻くソリューションの設計と実装に関して CDX ユーザーをサポートするために、統合およびコンサルティングサービスを提供しています。DXC は、CDX システムを使用する際にデータ準備、入力、レポートなどにかかるコストと労力を最小限に抑えることができます。

CDX ウェブサービス

CDX の Web サービスを使用するには、貴社は、最小 1 つの注文をする必要があります。当社の注文の価格設定スケジュールの説明について [CDX 情報ページ > CDX システム](#) からを参照してください。

CDX Web サービスの転送プロトコルは、HTTPS となります。このように、Web サービスクライアントは、事前定義された URL への HTTPS 要求を送信し、HTTPS 応答を期待します。基本的な通信フォーマットは XML です。メッセージコンテンツフォーマットのための XSD が定義されるべきです。（利用可能の DTD は、適切なツールを使用し XSD に変換することができる）。Web サービスの実装テクニックは SOAP です。

ウェブサービスは大きく二つのカテゴリーに分けられています：ダウンロードサービスとアップロードサービス。この二つの基本的な違いは以下のとおりです。アップロードサービスは、クライアントからサーバーにドキュメントを転送し、入力がどう処理されたに関する情報を含む応答ドキュメントを受け取ります。（成功した場合、新しく作られたエンティティの情報が表示されます。失敗した場合、エラーの説明が表示されます）ダウンロードサービスについて、クライアントは単にサーバー上からダウンロードできるファイル（このファイルは URL を通じて転送することができます。）を指定したり、要求したドキュメントを受信したり（成功した場合）、それとも、エラーメッセージを受信したりします（要求したファイルが存在しないか、それとも転送できない場合）。

このサービスのユーザーマニュアルは、CDX > ヘルプ > CDX ウェブサービスマニュアルか、[CDX の情報ページ](#)からダウンロードすることができます。

アップロード

アップロードは、バッチ方式で処理されます。アップロードは、非同期 Web サービスとして動作することを意味します。サーバーにファイルをアップロードした後、クライアントがサーバーに到達したファイルに関するメッセージが表示されます。（例”ジョブが承認されました。”）アップロードファイルが処理された後にクライアントがシステムにアクセスして、ファイルの処理に関するメッセージを表示することができます。

ダウンロード

ダウンロードに関連するいくつかのファイルがユーザーの社内システムで動作することができます。ダウンロードは全ての企業（コアデータ）に共通のファイルは、固定の時間（サーバー時間の深夜）に作成されます。コアデータの最新バージョンのみがいつでも利用できるようになります。

同社の特定のファイルは、要求に応じて生成されます。最後の世代のタイムスタンプは、企業テーブルに格納され、次の会社のダウンロード要求の出発点になります。ファイルに入れるデータの量によっては、ファイルの生成には、使用者が少ない週末に延期されることがあります。生成されたファイルは、30 日間システム上に残ります。

CDX - 基本情報

次のセクションでは、CDX システムに関する基本的な情報が含まれています。

CDX の使用条件

CDX データの任意の使用を排除するために、全ての CDX ユーザーが最初のログオン時に CDX 使用条件に同意する必要があります。使用条件は、CDX のログイン画面のリンクから入手できます。

CDX に対応するブラウザバージョン

以下のブラウザはテストされ、CDX の全ての機能を付与されています。下記に記載されていないバージョンでは、十分にテストされていません。

- Microsoft Edge (現在のバージョン)
- Mozilla Firefox (現在のバージョン)
- Google Chrome (現在のバージョン)

ただし、CDX の機能のほとんどはこれらのブラウザで動作するはずです。明示的にマイクロソフトの Internet Explorer (IE) 11 またはそれ以前のバージョンでは、CDX アプリケーションの使用から除外となります。

CDX アプリケーションでサポートされている全てのブラウザのバージョンは、CDX システム→リリースノートで (www.cdxsystem.com) 掲載されています。

言語

CDX では項目名、メニュー、ボタンなどの表示言語を以下の中から選択することができます：ドイツ語、英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、日本語、韓国語、中国語。ただし入力される値は全て英語です。ユーザーが入力した文字列がシステムで翻訳されるという事はありません。

表示される言語は、基本的にはログイン前に選択します。また、ブラウザの設定でポップアップを表示できるようにしてください。また、ユーザーマニュアルは PDF ファイルでブラウザ上に表示されます。オンラインヘルプは英語のみ対応しています。

60 分インアクティビティ自動ログアウト

全ての CDX のユーザーにシステムの可用性を保証するために、CDX のどのアクションも実行しないユーザーは、自動的に 60 分後にログアウトされます。

アイテムの選択

検索結果などで表示されたアイテムをダブルクリックすると、そのデータの詳細が表示されます。また右クリックでも編集/閲覧を選ぶことができます。

色が薄くなったアイコン/記号

構成情報画面に表示されるツリーで、ノードを表しているアイコンの色が薄くなっている時は、その参照データシートが削除されたことを表しています。

化学物質

化学物質は、コンポーネント、セミコンポーネント、または、材料と同じように作成することができません。必要な化学物質が見つからない場合は、特定の物質を探索するための CAS 番号のようなユニークな識別子を使用してください。あなたがリストに物質を追加する必要がある場合、機能メニューにある化学物質リクエスト機能を使用してください。

ネットワークパフォーマンス指標

CDX を使用するための PC のインターネットアクセス量は、1 つの ISDN 容量 (64 キロビット/秒) に標準化されています。システムはゆっくりと動作するように表示された場合、これは、いくつかの要因があります。（例えば、自社のインターネット接続やインターネットサービスプロバイダのインターネットサーバの性能）パフォーマンスをテストするには、CDX ではシステムで実行できるセルフテストを提供します。分析の結果では、比較値を見るることができます。

ネットワークパフォーマンステストは、[ヘルプ] メニューの「ネットワークパフォーマンス指標」を、「クリックして、ログイン後 CDX で見つけることができます。結果はブラウザでお使いの PC のネットワークのパフォーマンスが含まれています。

CDX Network Performance Index Report

Hostname: modeloffice.cdxsystem.com

Test Finished.

I. Introduction:

Generally users see as performance related issues

1. System is slow (long response times) but functionality working correctly
2. System unexpectedly logs users out of the application
3. Data retrieved from the application is not loaded correctly/complete into the screens

Bullet 2 and 3 might have different reasons, although experienced in a few cases could be caused by slow performance in combination with the client's Browser behavior. HP completed various individual performance investigations for CDX-users having problems due to long response times. The experience and results of these activities were bundled in here and should help together with your personal measure results to solve your performance issues.

Please take this report containing your measures and descriptions and contact in your company the adequate IT specialists for help.

II. Client - Network Measures:

5 single measures and average in absolute time value.

Client:

The speed of the client Javascript implementation is of primary interest regarding the performance of a modern-UI Web-Application. Reference is a standard PC with 2GB RAM, a processor with 3 GHz and Internet Explorer 9. This measure shows the time needed to perform some javascript code on your browser. Lower is better.

Test #	Your Values		Comparision Values
1		31 ms	70 ms
2		32 ms	70 ms
3		45 ms	70 ms
4		33 ms	70 ms
5		30 ms	70 ms

Network:

Performing the measurement of the current network speed. For each transfer size (1, 10, 100 kByte, 1MByte) five individual transfers have been performed from the CDX-server to your Brower. Displayed values are averages. Dependent factors: Quality of your connection to your Internet-provider, quality of the provider's connection to public Internet, bandwidth between you and your provider and bandwidth between your provider and the Internet. The comparison values show a typical broadband connection with 3 Mbit/sec.

Bandwidth (higher is better):

Test #	Size	HTTP Version	Your Values	Comparision Values
1	1 kByte	1.0	21 kByte/sec	5 kByte/sec
2	1 kByte	1.1	19 kByte/sec	5 kByte/sec
3	10 kByte	1.0	188 kByte/sec	80 kByte/sec
4	10 kByte	1.1	172 kByte/sec	80 kByte/sec
5	100 kByte	1.1	1016 kByte/sec	180 kByte/sec
6	1 MByte	1.1	2169 kByte/sec	250 kByte/sec

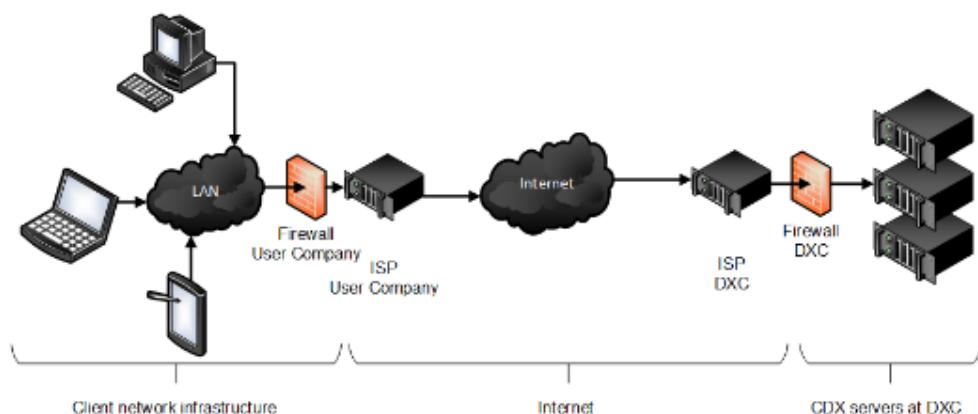
The term "latency" in this context describes the time it takes for HTTP requests to travel from your browser to the CDX server, being processed, and the answer being sent back to your browser. The measurement is done using the 1kByte file transfers shown above. Latency is measured in milliseconds. Reference values show a fair international latency. Latency (lower is better):

Test #	HTTP Version	Your Values	Comparision Values
1	1.0	44 ms	200 ms
2	1.0	49 ms	200 ms
3	1.0	47 ms	200 ms
4	1.0	51 ms	200 ms
5	1.0	47 ms	200 ms
6	1.1	49 ms	200 ms
7	1.1	48 ms	200 ms
8	1.1	48 ms	200 ms
9	1.1	51 ms	200 ms
10	1.1	64 ms	200 ms

V. Understanding the Performance-Relevant Factors:

Performance is a very complex problem which has to be looked at in every special case.

When a user is working with CDX three major network components are involved in the data transfer. The first part consists of the local network, the internet proxy and the network line to the Internet Server Provider (ISP) of the user's company. The second part is the public Internet itself and the third part is the connection to DXC's ISP and through an DXC firewall until it reaches the CDX servers. This is summed up in the following picture:



The DXC network components are monitored 24h a day.

The first and second component 'Client network infrastructure' and 'Internet' are out of DXC's influence.

From our experience it can be concluded that most of the problems exist within the client's network infrastructure. In many cases the bandwidth of the internet connection to the ISP was too slow. In other companies the proxy, firewall or router devices routing the traffic from/to the internet were too busy or due to organizational needs not really topographically optimized.

As a first step we would recommend to first contact your local network administrators and ISP to check the local infrastructure using this report.

Working with CDX a lot of data is exchanged between the client's browser and the CDX servers. Each data package contains individual data; therefore, we must prevent the data from being cached in the client's infrastructure. This is the reason why CDX behaves 'heavier' than other (static) websites - their data might never leave the customers infrastructure because it is cached on the proxy.

With this background DXC recommends a minimum average bandwidth of 64 kbytes/sec for each CDX user.

It might be interesting to run this report at different work-hours. In some cases DXC observed that company networks were blocked at certain times due to data exchange activities.

We hope that this report helps to solve your problems together with your IT-support.

Whenever we obtain more information on performance issues of general interest, we will update the information in this report.

V. Detailed Measurements:

Test #	Filename	HTTP Version	Time	Bandwidth
1	load1k.txt?param=9499435	1.0	34 ms	30 kbyte/s
2	load1k.txt?param=4344893	1.0	34 ms	30 kbyte/s
3	load1k.txt?param=9679611	1.0	45 ms	23 kbyte/s
4	load1k.txt?param=3842516	1.0	33 ms	31 kbyte/s
5	load1k.txt?param=80208	1.0	32 ms	32 kbyte/s
6	load1k.txt?param=4277095	1.1	32 ms	32 kbyte/s
7	load1k.txt?param=5984171	1.1	32 ms	32 kbyte/s
8	load1k.txt?param=1512023	1.1	33 ms	31 kbyte/s
9	load1k.txt?param=2350222	1.1	32 ms	32 kbyte/s
10	load1k.txt?param=144555	**	29 ms	30 kbyte/s

CDX 内のチェックルール一覧

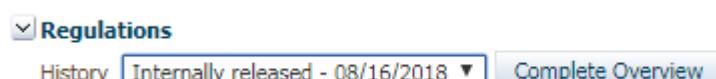
データシートやCMDで説明したように、ツールバーの  ボタンや、データシート/CMDメニューのチェック機能を使えば、いつでも構造をチェックすることができますが、送信や全送信の前にチェックすることも必須です。入力された質量、数量、公差、リサイクル情報、材料分類、構成情報の有効な状態、誤った構造、サプライヤーや送信先情報画面でのデータの欠落など、ツリー構造の様々な項目の妥当性チェックに加えて、システムは、規制の範囲に応じて、データシートに添付された化学物質ごとに、規制ごとに数回のチェックを実行します。

データシートの規制チェック（注：大文字の単語は実際の値のプレースホルダです）：

- 化学物質の期限をチェックするとき、P/E フラグ対象化学物質の場合、確認日が">"以降にある場合は、ユーザーに "A due date for SUBSTANCE is given under REGULATION. Please observe" という情報メッセージが表示されます。
- 化学物質の期限をチェックするとき、P/E フラグ対象化学物質の場合、確認日が"<"以前の場合は、ユーザーに "SUBSTANCE is not allowed beyond DATE under REGULATION" という情報メッセージが表示されます。
- 閾値をチェックするとき、均質の材料/セミコンポーネントまたはコンポーネントであれば、規制範囲内の化学物質の実際の含有率を計算します。次に、規制で定義されている化学物質の閾値と比較します。閾値に達した場合、または閾値を超えた場合は、ユーザーに "The calculated amount for SUBSTANCE under REGULATION exceeds the threshold of LIMIT VALUE" という情報メッセージが表示されます。
- 適用除外の有無をチェックするとき、P/E フラグ対象化学物質に適用除外が必要なのに適用除外が設定されていない場合、ユーザーに "Please check for REGULATION, an exemption is required for SUBSTANCE as it is marked as exempted." という情報メッセージが表示されます。
- 使用記述子有無をチェックするとき、使用記述子が設定されているが、P/E 対象化学物質の使用記述子が設定されていない場合、ユーザーに "Under REGULATION a use descriptor may be required for SUBSTANCE." という情報メッセージが表示されます。

履歴 ルールチェック：

上記のルールは、社内送信されたデータシート（2018年10月CDXリリース6.0ロールアウト後に確定したすべてのデータシート）に対して、社内送信時に範囲内にあった規制に対して実行することができます。ユーザーは、規制ビューを「Current」から「社内送信」に切り替え、ボタンを押す必要があります。



用語説明

このセクションでは、CDX システムで使用されている一般的な用語を示しています。

100% 宣言

各データシートは、データシートの全ての部分が含まれている化学物質によって定義されなければならないことを「100%宣言」と定義することができます。100%宣言のために同じレベルのノードや参照データシートの総重量が100%未満、または親ノードの下のノードやデータシートの合計が親ノードの総重量より少ないと許されません。

化学物質

化学物質は、自然な化学元素や作られた化学の組み合わせです。その安定性を維持するために必要な全ての化学薬品が含まれます。その安定性を低下させません、かつマイクアップを変えずに材料から分離することができる溶媒を除外します。データシートが、「100%で宣言」として定義されている場合、データシートをリリースするため、ツリー構造の最上部からの全てのパスが順番に化学物質で終了しなければなりません。

CMD (Conflict Minerals Declaration)

CMD は、グループ内の紛争鉱物がどこから来たかを示すサプライチェーンに沿って渡された情報です。現在紛争鉱物として定義されています：タンタル (Ta)、錫 (Sn)、タングステン (W)、及び金 (Au)。

CMD リクエスト

この機能使用することで、CMD の受領者が“プル”プロセスをサプライヤーと行うことができるようになります。CMD の受領者は、CMD リクエストの中で、テンプレートバージョン、申告範囲や CMD の期限日といったような期待しているデータ特質を指定します。CMD サプライヤーはリクエストの指定に合致した CMD を添付することになります。

コンポーネント

コンポーネントとは組み立てコンポーネントと同じものです。1つのコンポーネントは複数の異なったコンポーネント、セミコンポーネント、材料から成り得ます。

香港条約

(HKC, Hong Kong International Convention for the Safe and Environmentally Sound Recycling of Ship)

HKC は、船舶のリサイクルを規制する国際条約です。HKC は船に関しては、バーゼル条約を置き換えることを意図しています。現在、解体された船はバーゼル条約の観点から、廃棄物と考えられています。これは船舶のリサイクルに関連する要求事項を実行不可能につながります。

したがって、IMO 条約につながる香港会議を開催しました。これは、2015 年に発効すると考えられています。HKC の一部は、船を動作させたり、解体の対象になったりすることができるようになるの認証を達成するために、サプライチェーン全体での懸念物質を文書化するための要件です。CDX は基本的には産業が HKC から生じる要件に準拠することを可能にするツールです。

(材料宣言、SDoC をご参照ください。)

詳細については、<http://www.imo.org/about/conventions/listofconventions/pages/the-hong-kong-international-convention-for-the-safe-and-environmentally-sound-recycling-of-ships.aspx> および <http://ec.europa.eu/environment/waste/ships/pdf/Convention.pdf> を参照してください。

IPC1754 (Class E, F, G)

IPC 1754 規格のデータは、3 つの異なるクラスで表現することができます。E、F、G です。

E は、いわゆる「製品に関する記述」の略です。このクラスは、製品中の単一化学物質/化学物質グループを報告するものではなく、製品に関する一般的な記述を行います。一般的なステートメントは、いわゆるクエリリストによって形式化されています。一例として、IAEG®によって提供されている AD-DSL(Aerospace and Defence Declarable Substance List)があり、“お使いの製品には放射性物質が含まれていますか?”や“お使いの製品に AD-DSL で言及されている物質を使用していますか?”といった質問をカバーしています。回答は事前に定義されており、“Yes”、“No”、“Unknown”のいずれかになります。

F は、いわゆるパーシャルマテリアル宣言 (PMD) と呼ばれるもので、AD-DSL のようなリストで定義された宣言可能な物質のみを報告することをサプライヤーに要求します。

G は、AD-DSL のような参照リストでカバーされていない物質はプレースホルダに集約されることがあります、物質の全質量を報告するためにサプライヤーを必要とする完全な物質開示 (FMD) です。

CDX は 3 つのクラスすべてをサポートしていますが、クラス E をインポートすると、サプライヤーと依頼者の情報だけの空のデータシートになります。

材料

全てのユーザーがデータシートを入力する必要がありません。実際に材料の組成の内容に詳しい製造する会社のユーザーがデータシートを記入したほうが良いです。公共規範や標準に製造された材料では、標準のデータシートが用意されています。全ての材料は、公共規範または標準に製造され、全ての公共の規範や基準は 100% に、材料の化学物質を記載しています。

材料宣言 (Material Declaration)

材質宣言は、香港条約の要件に固有のもので、データシートの特別報告です。CDX のデータシートは、ERVESIS プロジェクトの調査結果から生じる、ドイツ船級協会が提案した材料宣言のフォーマットに直接に適応できます。材料宣言は造船産業のための特別報告書です。(SDOC をご参照ください。)

データシート (Material Datasheet)

データシートは、論理データ・ユニットであり、製品の完全な情報パッケージを構成しています。データシートは、トップノードとそのサプライヤーおよび送信先に関する割り当てられた情報で構成されています。一番上のノードは、異なるノードまたは他のデータシート、または物質への参照を含むことがあります。データシートは、バージョン管理の対象となります。データ変更があった場合、MDS 新しいバージョンが生成される必要があります。バージョンが送信され、受け入れられ、またはリリースされた場合には、データシートに変更を加えることができなくなります。

入力依頼

この機能は、データシートの送信先との「プル」プロセスを開始することができます。データシートの送信先は、名前、製品番号または入力依頼中のデータシートの締切日と予想される特性を指定します。データシートのサプライヤーは、既存のデータシートを追加したり、それとも単純に要求された仕様に合致するデータシートを作成することができます。

ノード

ノードは、MDS のツリー構造内に作成された要素です。これは、含むデータシートの内部で使用できますが、参照データシートのように処理されます。参照されたデータシートとは異なり、ノードの内容を変更することができます。

パスワード

インターネットに接続したコンピューターは簡単に居場所をつきとめることができます。したがって、ご自身のシステムを守ることは極めて重要です。CDX では、パスワードは最低でも 8 桁必要で、最低 1 文字以上は数字でなければなりません。また小文字、大文字、数字を混ぜて使うべきでしょう。新しいパスワードは、「新パスワード」ボタンを使用するか、カンパニーアドミニストレーターがユーザープロファイルの「PW リセット」ボタンを使用することにより生成されます。パスワードは当該 ID に登録されている E メール宛てにしか送信されません。複数人で同じ ID を共用すると、使用条件に違反するだけでなく、こうした点でも不都合が発生します。

REACH-SVHC (高懸念物質)

CDX では、SVHC 候補リストに含まれる全ての物質は「SVHC」物質リストの一部です。このリストを使用してユーザーが含まれている REACH-SVHC のためのデータシートの構成情報を検索することができ、REACH-SVHC を検索したり、Where-Used 分析画面にて REACH-SVHC が含まれたデータシートを分析することができます。

参照

参照は、他の場所で作成された公開または受け入れられた後のツリー構造（最上位ノードの下や木の子ノードの下

のいずれか) に装着されているデータシートへのリンクです。

SCIP データベース (Substances of Concern in Products Database)

改正された廃棄物に関する欧州委員会 (EC) 指令 (廃棄物フレームワーク指令) では、EU のすべての製品の製造者と輸入者は、REACH 候補リストの 0.1% w/w 以上の物質を含むすべての成形品と複合製品の製品登録情報を、集中管理された物質データベース、いわゆる SCIP データベースに入力することを要求されています。SCIP データベースは、この製品および懸念物質情報を収集・管理し、廃棄物処理業者および消費者が要求に応じて情報にアクセスできるようにします。この情報は、有害化学物質の汚染をさらに減らし、循環型経済を促進することを目的としています。SCIP は基本的に REACH 第 33 条施行スキームの一部であり、EEA 向けに製造または輸入する企業は、2021 年 1 月 5 日から SCIP Dossier をこのデータベースに提出することが義務付けられています。CDX は SCIP 文書の提出をサポートしています。

SDOC (適合サプライヤー宣言)

これは香港コンベンションの要件に基づいて造船産業のための特別レポートです。基本的には、SDOC は 1 つのいずれかが、数、またはその製品の全てが香港条約の要件に準拠していることを述べ、サプライヤーの法律上の文です。 SDOC は製品を指し、これらは、製品のコンプライアンスの状態を記録するために、材料宣言を添付しなければなりません。

セミコンポーネント

セミコンポーネントは、例えば、長さ、面積又は体積 (ここで、成分は、単位量で使用されます) のような測定単位によって使用されます。この例としては、ワイヤーによって使用されるメートル、または塗料で使用されるグラムです。

重大度

CMD 品質レポート機能で使用される、これは違反のシステムレベルの重大度です。重大度のレベルは 1 (低) から 9 (高) が有効です。カンパニードミニストレーターにより企業ルールのため変更することができます。

SUI (安全使用説明書)

安全使用説明書とは、有害物質を含む製品の安全な使用方法を詳細に説明した文書です。CDX では、SUI は、データシートの詳細 (「添付ファイル」の項) に文書として添付することができます。SUI が添付されているデータシートは、データシート名の後に表示されるアイコン (💡) によって、検索結果で識別することができます。会社固有の規則は、SUI を必要とするように設定することができます。

ツリー構造

ツリー構造は、各データシートの主要部分です。これは、製品に含まれる個々のノードおよび参照から構成されているコンポーネント、セミコンポーネント、材料、化学物質の構造図です。

違反レベル

CMD 品質レポート機能で使用されます。これは違反のシステムレベルです。以下のクラスが正常な入力となります: 重大なエラー、エラー、警告そして情報 “重大なエラー” 以上はカンパニードミニストレーターにより企業ルールを変更することができます。

有効な情報

CDX のウェブサイトとその他サービスとツール

www.cdxsystem.com

コンタクト:

CDX サービスデスク

e-mail: CDX-ServiceDesk@DXC.com

または CDX システム > ヘルプ > ヘルプデスクへのメール送信

問い合わせ先

DXC Technology Germany

EntServ Deutschland GmbH

CDX Team

Alfred-Herrhausen-Allee 3 - 5

65760 Eschborn

Germany

dxc.technology